はじめに

このたびは「Vodafone 705T」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

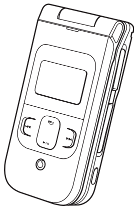
●Vodafone 705Tをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
●本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
●本書を万一紛失または損傷したときは、**お問い合わせ先**（21-28ページ）までご連絡ください。
●ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

Vodafone 705Tは、3G/UMTS方式とGSM方式に対応しております。

ご注意
・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
・本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
・本書の内容に関して、一部日本では提供していない機能、サービスの説明が記載されている場合があります。
Not all functions and services described in this user guide are available in Japan.
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら**お問い合わせ先**（21-28ページ）までご連絡ください。
・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

●電話機

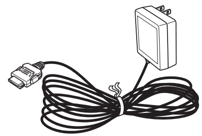


●マクロレンズ※1

●電池カバー

●ユーティリティーソフトウェア(CD-ROM)※1※2

●急速充電器（TSCS01）

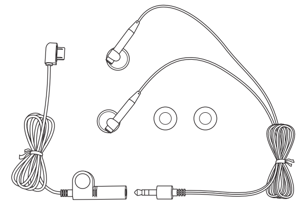


●電池パック（TSBAH1）

●取扱説明書

●3Gガイドブック

●マルチステレオイヤホンマイク※1



●USBケーブル※1

●ファーストステップガイド

※1 試供品です。オプション品としてのお取扱はございません。
※2 付属のユーティリティーソフトウェアは予告無く変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
なお、最新版ユーティリティーソフトウェアはボーダフォンホームページ内（www.vodafone.jp）よりダウンロードいただけます。

● 上記の他に、シガーライター充電器、ビデオ出力ケーブル、オーディオリモコン付きステレオイヤホンマイクなどのオプション品が用意されています。詳しくは、最寄りの**ボーダフォンショップ**または**お問い合わせ先**（21-28ページ）までご連絡ください。

● 705Tは、miniSD™メモリカード（以下メモリカードといいます）を利用できますが、本製品にはメモリカードが同梱されていません。メモリカードに関する機能をご利用いただくためには、市販のメモリカードをご利用ください。記憶容量が1Gバイト（※2006年3月現在）までのメモリカードに対応していますが、市販されているすべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

目次

1 ご利用になる前に

2 基本的な操作のご案内

3 文字の入力方法

4 アドレス帳

5 TV コール

6 カメラ

7 メディアプレイヤー

8 メモリカード

9 データ管理

10 外部接続

11 設定

12 セキュリティ

13 便利な機能

14 オプションサービス

15 Vodafone live!

16 メール

17 ウェブ

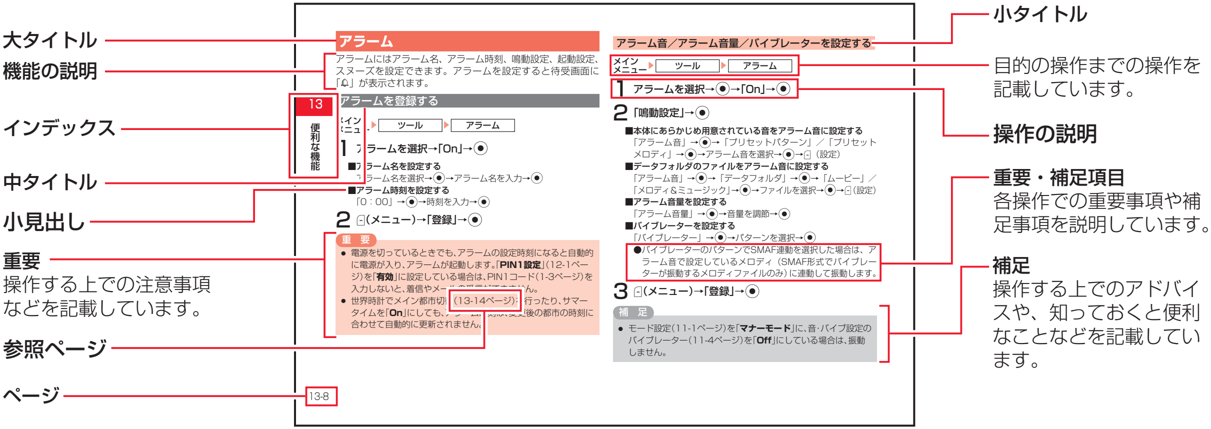
18 Vアプリ

19 ボーダフォンライブ！キャスト

20 Abridged English Manual

21 付録

本書の見かた



記号について

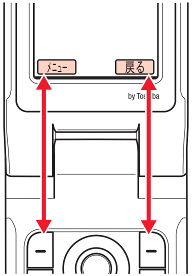
本書では、操作の説明に「▶」と「→」を使用しています。
「▶」は項目を順に選択し、目的の操作まで進みます。
「→」は操作の手順を示しています。
項目の選択は基本的に◉や⊡（選択）で行います。また、操作説明は省略している場合があります。

ディスプレイ表示について

本書で記載しているディスプレイ表示は説明用に簡略化しているため、実際のディスプレイ表示と異なります。

ソフトボタンの使いかた

画面下の左右に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタンを押します。



- メニュー の操作を行う場合は、Lソフトボタン[-]を押します。
- 戻る の操作を行う場合は、Rソフトボタン[-]を押します。

補足

- ソフトボタンの表示は、利用する機能によって異なります。
- 本書ではソフトボタンを押す場合の操作を以下のように記載しています。
  →[-](メニュー)

マルチファンクションボタンの使いかた

上下や左右を押して項目を選んだり、カーソルを移動します。また中央を押して選んだ内容を決定・実行します。画面下の中央には、「 」のように操作できるボタンが表示されます。

操作 (本書での表記)	機能
上を押すとき	ショートカットメニューを呼び出す※ 音量を大きくする カーソルを上に移動する
下を押すとき	アドレス帳を呼び出す※ 音量を小さくする カーソルを下に移動する
左を押すとき	発信履歴を呼び出す※ 音量を小さくする カーソルを左に移動する
右を押すとき	着信履歴を呼び出す※ 音量を大きくする カーソルを右に移動する
中央を押すとき	待受画面からメインメニューを呼び出す 選択している項目を決定・実行する 撮影する(シャッター)

※ 待受画面から呼び出せる機能はマルチファンクションボタンの設定(11-12ページ)で変更できます。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- 製品本体および取扱説明書には、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使い方をご指導ください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解のうえ本文をお読みください。

表示の説明

表示	表示の意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷[※1]を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷[※1]を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害[※2]を負うことが想定されるか、または物的損害[※3]の発生が想定されること”を示します。

※1　重傷とは失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
🛇 禁止	🛇は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
❗ 指示	❗は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の使用､または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

⚠危険

分解禁止

電話機・電池パック・充電用機器・マルチステレオイヤホンマイクを分解・改造・修理しないこと

発熱・破裂・発火・感電・けが・故障の原因となります。電話機の改造は電波法違反になります。

故障したときの修理は､最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（21-28ページ）までご連絡ください。

火気禁止

電話機・電池パック・充電用機器・マルチステレオイヤホンマイクを火の中に入れたり、加熱しないこと
また､水にぬれた場合でも加熱用機器（電子レンジなど）で強制的に乾燥させないこと

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

火気禁止

電話機・電池パック・充電用機器・マルチステレオイヤホンマイクを火やストーブのそばなど、高温になる場所で充電・使用・放置しないこと

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

⚠危険

水ぬれ禁止

電話機・充電用機器・電池パック・マルチステレオイヤホンマイクを水、汗、海水などの液体でぬらさないこと

発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。誤って水などの中に落としたときは、すぐに電源を切り、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」(21-28ページ)までご連絡ください。

水ぬれ禁止

電話機・充電用機器・電池パック・マルチステレオイヤホンマイクを屋外や浴室など水などがかかる場所に置かないこと

また、周りにコップや花びんなど、液体の入った容器を置かないこと

ぬれると、感電・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

電話機と電池パックの取り付けや電話機と充電用機器などの接続は、無理な取り付けまたは接続をしないこと

また、コード類などを使用して(+)(−)を逆に接続しないこと

電池パックの液もれや破裂・発熱・発火・感電・故障の原因となります。

禁止

電池パックのコネクター(金属端子部分)に金属片(ネックレスやヘアピンなど)を接触させないこと

電池パックがショートして、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。

指示

電話機の電池パックは、付属または指定の電池パックを使用すること

また、電池パックはこの電話機だけに使用すること

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

指示

電話機の電池を充電するときは、付属または指定の充電用機器を使用すること

また、充電用機器はこの電話機の電池パックの充電だけに使用すること

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

⚠警告

禁止

ぬれた電池パックを充電しないこと
発熱・破裂・発火・感電・回路のショートによる故障の原因となります。万一、水などの液体がかかってしまった場合は、ただちに急速充電器のプラグを抜いてください。

禁止

自動車などの運転中に電話機を使用しないこと
また、電話機の通話以外の機能（メール・ゲーム・カメラ・ビデオ・音楽再生・電話機内蔵のモバイルライトなど）も使用しないこと
交通事故の原因となります。運転をしながら携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

禁止

ガソリンスタンドなど、火災や爆発のおそれがある場所で使用しないこと
ガスに引火し、火災・爆発の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では電話機の電源を切り、充電もしないでください。

禁止

ストラップ・ビデオ出力ケーブル（オプション品）・マルチステレオイヤホンマイクなどを持って振り回さないこと
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

高精度な電子機器の近くでは電話機の電源を切ること
電子機器に影響を与える場合があります。
影響を与えるおそれのある機器の例：心臓ペースメーカ・補聴器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。
医用電気機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときやお手入れをするときは、急速充電器のプラグをコンセントから抜くこと
感電・火災・故障の原因となります。

指示

航空機内などの使用を禁止された場所では電話機の電源を切ること
スケジュール、アラームなど電源が自動的に入る設定をしている場合は、設定を解除してから電源を切ること
航空機内での携帯電話機の使用は法律で禁止されています。

指示

通話・メール・撮影などをするときは周囲の安全を確認すること
安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

⚠警告

指定の電源・電圧で使用すること
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災の原因となります。
急速充電器：家庭用AC100〜240V
シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

急速充電器のプラグにほこりが付着しているときは、プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などで、ほこりをふき取ること
プラグやコンセントにほこりが付着していると、火災の原因となります。

車載用機器などは、次のことを守り設置、配線を行うこと
- **運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならないこと**
- **シートベルトの脱着部やドアなどの可動部に挟まないこと**

コード類が足や運転装置にからむと運転の妨げになり、事故の原因となります。また、車載用機器などの落下に驚いて、急ブレーキや急ハンドルの操作により事故の原因となります。

電池パック内部からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、眼科の医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に障害を与える原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに電話機の使用を中止すること
また、電源を切って電話機に触れないこと
落雷・感電の原因となります。雷鳴が聞こえた場合は、使用を中止し、屋内などの安全な場所へ移動してください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめること
発熱・破裂・発火の原因となります。最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（21-28ページ）までご連絡ください。

急速充電器を家庭用ACコンセントに差し込むときは、プラグに金属製ストラップなどの金属類が触れないようにして、確実に差し込むこと
感電・ショート・火災の原因となります。

⚠警告

指示

電話機・電池パック・充電用機器に発煙・異臭などの異常が発生したり、破損したときは、すぐに次の作業を行うこと

1．充電中であれば、急速充電器またはシガーライター充電器（オプション品）を家庭用ACコンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。
2．電話機が熱くないことを確認し、電話機の電源を切り、電池パックを取り外してください。

そのまま使用（充電）すると､電池パックが発熱･破裂･発火したり、電話機が発熱する原因となります。異常がある場合は、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（21-28ページ）までご連絡ください。

禁止

電話機・電池パックを落としたり、強い衝撃を与えないこと

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

禁止

ズボンのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないこと

無理な力がかかるとディスプレイやバッテリーなどが破損し、発熱・発火・けがの原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカ、植込み型除細動器や医用電気機器の近くで電話機を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ること

1．植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、植込み型心臓ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
2．満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電話機の電源を切ってください。電波により植込み型心臓ペースメーカなどの作動に影響を与える場合があります。
3．医療機関の屋内では、次のことに注意してご使用ください。
   - ･手術室､集中治療室（ICU）､冠状動脈疾患監視病室（CCU）には電話機を持ち込まない
   - ･病棟内では、電話機の電源を切る
   - ･ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電話機の電源を切る
   - ･医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う
   - ･スケジュール、アラームなど電源が自動的に入る設定をしている場合は、設定を解除してから電源を切る

⚠警告

4．医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（不要電波問題対策協議会「平成9年4月」）に準拠、ならびに「電波の医用機器などへの影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

禁止

急速充電器はAC100～240Vの家庭用電源以外では使用しないこと

指定以外の電源をご使用になると火災や充電器の発熱・発火・故障の原因となります。

⚠注意

禁止

電話機・電池パックを直射日光のあたるところや炎天下の車内など、高温になる場所で使用・放置しないこと
発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

電話機・電池パック・マクロレンズ・充電用機器を幼児の手の届く場所には置かないこと
電池パック、マクロレンズ、メモリカード（市販）などを誤って飲み込んだり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

充電用機器の端子（金属部分）に針金などの金属を接触させないこと
発熱・やけどの原因となります。

禁止

急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）を家庭用ACコンセントやソケットから抜くときは、コードを引っ張らないこと
コードの破損により感電･発熱･発火の原因となります。急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）を持って抜いてください。

禁止

急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）のコードを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないこと
また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないこと
コードの破損により感電･発熱･発火の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で急速充電器を抜き差ししないこと
感電・故障の原因となります。

禁止

電話機・マクロレンズに磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないこと
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないこと
電話機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なうおそれがあります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと
落下して、けがや故障の原因となります。バイブレーター設定中は特に気をつけてください。

禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないこと
不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに、コネクターにテープなどを貼り絶縁してから、個別回収にお出しになるか、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」までお持ちください。
電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。

禁止

汗をかいた手で触ったり、汗をかいて湿気のこもった衣服のポケットなどに入れないこと
汗や湿気によって内部が腐食し、発熱・故障の原因となることがあります。

禁止

シガーライター充電器（オプション品）は、自動車のエンジンを切った状態で使用しないこと
自動車用バッテリー消耗の原因となります。

指示

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、指定のヒューズと交換すること
指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。
ヒューズの交換については、シガーライター充電器（オプション品）の取扱説明書を参照してください。

指示

電池パック内部からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりすることがあります。

⚠注意

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談すること

指示

本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。これにより、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

使用箇所	使用材料／表面処理
外装ケース（ボタン操作部、メインディスプレイ部、サブディスプレイ部、電池部、カメラ周り部）	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
フロントボタン操作部	PC樹脂・シリコンゴム／ UV硬化塗装処理
メインディスプレイパネル、サブディスプレイパネル	強化ガラス／ポリエステルフィルム
ボタン（10キー部）	PC樹脂
ボタン（10キー部以外）	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
イヤーパッド	ポリエステルエラストマー樹脂／ウレタン系塗装処理
お知らせLEDランプ、充電LEDランプ	アクリル樹脂
フラッシュパネル	アクリル樹脂
アイコンバッジ	アクリル系UV硬化樹脂
イヤホンマイク端子キャップ、メモリカードキャップ	ポリエステルエラストマー樹脂／ウレタン系塗装処理
外部接続端子キャップ	ポリエステルエラストマー樹脂／ウレタン系塗装処理
ネジ	鉄／ニッケルメッキ(下地銅メッキ)
スピーカー穴メッシュ	ステンレス鋼板／アクリル系焼付け塗装処理
マルチステレオイヤホンマイク	TPE ／ ABS樹脂
カメラパネル	強化ガラス
マクロレンズ	PC樹脂・焼結合金（ネオジューム合金）／エポキシ塗装
ヒンジキャップ	PC樹脂

⚠注意

指示

レシーバーにピンなどの金属片が吸着していないか確かめてから使用すること

金属片が耳などにささるなどして、けがの原因となります。

指示

心臓の弱い方は、電話機の着信バイブレーター（振動）や着信音量の設定に気をつけること

驚いたりして、心臓に影響を与える可能性があります。

指示

電話機を折りたたむときは、手や物をはさまないように気をつけること

また、電話機を開くときは、ヒンジ部（つなぎ目）に指を挟まないこと

けがやディスプレイ（液晶）などの破損の原因となります。

禁止

モバイルライトを撮影や簡易ライト用途以外に使用しないこと

目がくらむことにより視力障害・けがの原因となります。

禁止

USB充電・ACチャージャー充電などの充電中には、紙・布・布団などをかぶせたりしないこと

発熱・発火・やけど・故障の原因となります。

指示

マルチステレオイヤホンマイクの使用中は、音量を上げすぎないこと

また、長時間連続して使用しないこと

大きな音で耳を刺激することによって聴力に悪い影響を与えたり、適度な音量でも長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音が外にもれてまわりの方の迷惑になったり、周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。

禁止

メモリカードスロットにメモリカード（市販）以外のものを入れないこと

発熱・感電・故障の原因となります。

通常はキャップをはめた状態でご使用ください。

禁止

メモリカード（市販）の取り付けや取り外しをするときは、顔などを近づけないこと

また、小さなお子様には触らせないこと

カードから指を急に離した際にカードが飛び出して、けがの原因となります。

禁止

メモリカード（市販）のデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、メモリカードを取り出したり、電話機の電源を切らないこと

データ消失・故障の原因となります。

⚠注意

メモリカード（市販）は対応品以外のものを使用しないこと

禁止

データ消失・故障の原因となります。
記憶容量が1Gバイト（※2006年3月現在）までのメモリカードに対応しています。

ビデオ出力ケーブル（オプション品）・マルチステレオイヤホンマイクなどを子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所に保管しないこと

禁止

誤って、首などに巻きつけたりすると、けがの原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて発光させないこと

禁止

視力障害の原因となります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。

USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないこと

禁止

故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。

USIMカードは指定以外のものを使用しないこと

禁止

指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。

サブディスプレイに貼られているポリエステルフィルムははがさないこと

禁止

強化ガラスの飛散防止のポリエステルフィルムをはがして使用した場合、サブディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

マクロレンズで太陽や強い光を見ないこと

禁止

集光作用により、視力障害の原因となります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

●この電話機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

●この電話機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご使用ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。

●この電話機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や映像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。

●この電話機はデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。したがって、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。

●デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。

●以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・動作中に電源を切ったとき
・電池の充電量がなくなった（放電しきった）とき
・故障したり、修理に出したとき

●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。

●メモリカード（市販）をご使用される場合は、ご使用前にメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

●携帯電話を長時間利用した場合に、特に高温環境では携帯電話が熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

●海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。
また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、リビア、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。
輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。

●補聴器をお使いでこの電話機をご使用する場合、一部の補聴器の動作に干渉することがあります。もし干渉がある場合は補聴器メーカーまたは販売業者までご相談ください。

自動車内でのご使用にあたって

●運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されていますので、ご使用にならないでください。
●駐停車が禁止されていない安全な場所に自動車を止めてからご使用ください。

航空機内でのご使用について

●航空機内では、ご使用にならないでください。
電源も入れないでください（スケジュール、アラームなど電源が自動的に入る設定をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください）。航空機内で携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。

お取り扱いについて

●この電話機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
●この電話機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
●電話機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
●マクロレンズをお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたりすることがありますので、ご使用にならないでください。
●雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水にぬらさないよう十分ご注意ください。電話機・電池パック・充電用機器・マルチステレオイヤホンマイクなどは防水仕様ではありません。
●電池パックは電源を入れたままはずさないでください。故障の原因となります。
●電話機から電池パックを長い間はずしていたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化することがありますのでご注意ください。なお、これらに関して発生した損害につきまして、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●電池パックは消耗品で、リチウムイオン電池を使用しています。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換が必要です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
●交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックは、コネクターを絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ボーダフォンショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。

Li-ion

●この電話機のディスプレイは特性上、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。また、長時間同じ画像を表示させていると残像が発生する可能性があります。
●マルチステレオイヤホンマイクはしっかりとイヤホンマイク端子に差し込んでください。中途半端に差し込んでいると、通話時、相手の方にノイズが聞こえる場合がありますのでご注意ください。

●マルチステレオイヤホンマイクをご使用中に音量を上げすぎないでください。耳に負担がかかり障害が出たり、適度な音量でも長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音が外にもれてまわりの方の迷惑になったり、歩行中などでは周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。
●通常は、イヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップなどをはめた状態でご使用ください。キャップをはめずに使用していると、ほこり・水などが内部に入り故障の原因となります。
●マルチステレオイヤホンマイク・ビデオ出力ケーブル（オプション品）を端子から抜くときは、コード部分を引っ張らずプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると破損・故障の原因となります。
●ストラップ・マクロレンズ・USBケーブル・マルチステレオイヤホンマイク・ビデオ出力ケーブル（オプション品）などをはさんだまま、電話機を折りたたまないでください。故障や破損の原因となります。
●この電話機のアンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（1-6ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まることがあります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないようにしてください。
●この電話機は磁石を使用したセンサーにより、電話機の開閉状態を検出しています。そのため、マイク（送話口）付近にマクロレンズや磁石を近づけると誤動作する場合がありますのでご注意ください。
●機種変更・故障修理などで、電話機を交換するときは、電話機に保存されたメールやデータなどを引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
●USIMカードを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
●USIMカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。
●USIMカードを濡らさないでください。また、湿気の多いような場所に置かないでください。故障の原因となります。
●USIMカードを火のそばや、ストーブのそばなど高温の場所にて使用および放置しないでください。故障の原因となります。
●保管の際、直射日光や高温多湿な場所は避けてください。放置した場合、故障の原因となります。
●USIMカードは乳幼児の手の届かない場所に保管するようにしてください。誤って飲み込んだり、けがの原因となったりする場合があります。
●USIMカードの取扱いについては、ご使用前にUSIMカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

モバイルカメラについて

●カメラ機能は、一般的なモラルを守ってお使いください。
●カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
●大切なシーン（結婚式など）を撮影される場合は、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
●カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
●撮影が禁止されている場所での撮影はおやめください。

モバイルライト、イルミネーションについて

●高温もしくは低温下または湿気の多いところではご使用にならないでください。モバイルライトの寿命が短くなることがあります。
●モバイルライトおよびイルミネーションには寿命があります。発光を繰り返すうち、光量が減ってきます。

著作権などについて

●音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権などについて

●他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社東芝　モバイルコミュニケーション社（以下、東芝といいます。）が提供する東芝製携帯電話上のソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます。）を使用その他の処分をされる前にこのソフトウェア使用許諾契約（以下、本契約といいます。）を注意深くお読みください。本契約のすべての条項に同意できない限り、お客様は本ソフトウェアを使用その他の処分を行うことはできません。本契約は、お客様と東芝との間で締結されたものとみなされ、本契約と共に提供される東芝またはそのライセンサーの著作物たる本ソフトウェアに関して適用されます。

1．使用許諾

東芝はお客様ご本人に対し、東芝製携帯電話上の本ソフトウェアを使用する譲渡不能かつ非独占的な権利を許諾します。お客様は本ソフトウェア、その関連書類、本契約で許諾された権利の一部または全部を、改変、翻訳、レンタル、コピーまたは譲渡することはできません。また本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標またはその他のいかなるマークも除去することはできません。さらに本ソフトウェアをベースにした派生品を作成することもできません。

2．著作権

本ソフトウェアは使用許諾されるもので販売されるものではありません。本ソフトウェアに関するいかなる知的財産権もお客様に譲渡されるものではありません。本ソフトウェアに関するすべての権利は東芝またはそのライセンサーが保有するものであり、本契約に明示的に記載されていない限り、いかなる権利もお客様が有するものではありません。また、お客様は、本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標その他のいかなるマークも除去することはできません。

3．リバースエンジニアリング

お客様は本ソフトウェアの一部またはすべてをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、改変、翻訳もしくは逆アセンブルすることができません。お客様が法人の場合には自己の従業員に本項に規定する禁止事項を遵守せしめるものとします。本項および本契約の規定を遵守できなかった場合は、東芝はお客様に対する何らの催告を要せず直ちに本契約を解除できるものとします。

4．保証

本ソフトウェアは現状有姿で提供され、東芝は本ソフトウェアに関し、その品質、性能、商品性および特定の目的への適合性に対する保証を含め、あらゆる明示または黙示の保証も致しません。

5．責任の限定

東芝は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じたお客様の損害について一切責任を負いません。いかなる場合においても、本ソフトウェアおよび本契約に基づく東芝の責任は、本ソフトウェアに対してお客様が実際に支払った金額があれば当該金額を上限とします。

また、修理や点検の場合、お客様の東芝製携帯電話に登録された情報内容（メモリダイヤル、アドレス情報など）が変化、消去するおそれがあります。情報内容は、別にメモを取るなど必ずお控えください。情報が変化、消失したことによる損害などの請求につきましては、東芝は一切責任を負いません。

6．準拠法

本契約は、日本国法に準拠するものとし、本契約に関し紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

7．輸出管理

お客様は、本ソフトウェアに関し、「外国為替及び外国貿易法」及び関連法令ならびに「米国輸出管理法および同規則」（以下、関連法令等という。）を遵守するものとします。お客様は、関係法令等に基づき必要とされる日本国政府または関係国政府等の許可を得ることなく、関係法令等で禁止されているいかなる仕向地、自然人若しくは法人に対しても直接または間接的に本ソフトウェアを輸出、再輸出しないものとし、また第三者をして輸出させてはならないものとします。

8．第三者ライセンサーの権利

お客様は、本ソフトウェアに関する東芝のライセンサーが、自己の権利と名において本契約内容を実現する権利を有することを了承するものとします。

以上

商標・特許

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more the following United States Patents and／or their counterparts in other nations :

4,901,307	5,504,773	5,109,390
5,535,239	5,267,262	5,600,754
5,416,797	5,778,338	5,490,165
5,101,501	5,511,073	5,267,261
5,568,483	5,414,796	5,659,569
5,056,109	5,506,865	5,228,054
5,544,196	5,337,338	5,657,420
5,710,784		

Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems,Inc. の商標または登録商標です。

miniSD™はSD Card Associationの商標です。

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson multimedia.

Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule® は株式会社エイチアイの商標です。

Bluetooth™ は、Bluetooth SIG の商標であり、東芝はライセンスに基づき使用しています。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD (“MPEG-4 VIDEO”) AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG-LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC.
SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

T9 Text Input is covered by Japan Pat.No.特許 3532780,3492981 and other patents pending.

CE 0682

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種705Tの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
この携帯電話機705TのSARは、0.602W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省　電波利用ホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会　くらしの中の電波ホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ボーダフォンのボディ SAR ポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。
＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
ボーダフォングループでは、ボディ SARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ボーダフォンのホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.vodafone.jp/japanese/information/sar/

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）という単位を用いて測

定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.618W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機705Tでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association（CTIA）のホームページ
http://www.phonefacts.net.（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」
この携帯電話機705Tは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで身体に装着した場合のSARの最高値は0.838W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のホームページをご参照ください。

（http://www.who.int/emf）（英文のみ）

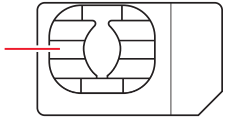
＊身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

USIMカードのお取り扱い

USIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記憶されたICカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に取り付けてご使用ください。

USIMカードをご利用になる前に

- ●705Tのご利用にはUSIMカードが必要です。
- ●USIMカードにはアドレス帳やSMSを保存できます（4-11、16-10ページ）。
- ●USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のボーダフォン携帯電話にもご利用いただけます。
- ●他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入し故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- ●IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ●お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- ●USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。
- ●USIMカードに関するその他の内容については、USIMカードに付属の取扱説明書をご覧ください。



USIMカードについてのご注意

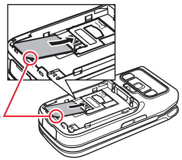
- ●USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- ●紛失･破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
- ●解約の際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- ●お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- ●USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- ●お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、控えを取っておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ●USIMカードやボーダフォン携帯電話（USIMカード挿入済）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、**お問い合わせ先**（21-28ページ）までご連絡ください。

USIM カードを取り付ける／取り外す

●USIMカードの取り付けや取り外しは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

USIMカードを取り付ける

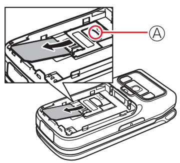
1 IC部分（1-1ページ）を下にして、下図に示す向きにUSIMカードをまっすぐ差し込む



2 USIMカードが固定されるよう奥まで差し込む

USIMカードを取り外す

1 下図のⒶの位置を指で押しながら、USIMカードを押し出すようにして引き抜く



重　要

- USIMカードを取り扱う際には、IC部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、無理に取り付けたり取り外そうとすると、USIMカードが変形し破損の原因となります。
- 取り外したUSIMカードをなくさないようにご注意ください。

補　足

- 705Tの修理やUSIMカードを交換した場合、本体やメモリカードに保存した着うた®やVアプリ、動画などのファイルがご利用できなくなる可能性があります。
  - ・着うた®は（株）ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

PINコードについて

USIMカードには、PIN1 ／ PIN2コードと呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、忘れないように別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

PIN1コード

PIN1コードとは、第三者による705Tの無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。「**PIN1設定**」（12-1ページ）を「**有効**」にしている場合は、電源を入れたときにPIN1コードを入力しないと705Tを使用することができません。PIN1コードは変更できます（12-1ページ）。
お買い上げ時は「**9999**」に設定されています。

PIN2コード

PIN2コードとは、USIMカード内に保存されているデータを変更する場合などに使用する4～8桁の暗証番号です。PIN2コードは変更できます（12-1ページ）。
お買い上げ時は「**9999**」に設定されています。

PINロック解除コード（PUKコード）

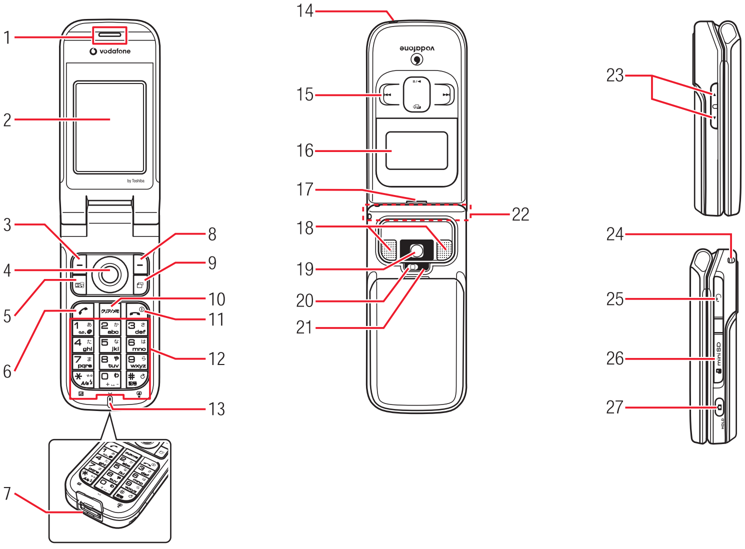
PINロック解除コード（PUK1 ／ PUK2コード）とは、PIN1 ／ PIN2ロック状態を解除するために使用する暗証番号です。間違ったPIN1 ／ PIN2コードを3回続けて入力すると、PIN1 ／ PIN2ロック状態になります。PINロック解除コードは、**お問い合わせ先**（21-28ページ）までご連絡ください。

重　要

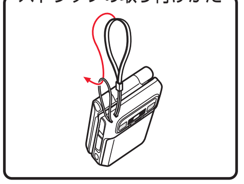
- 間違ったPINロック解除コードを10回続けて入力すると、USIMカードがロック（USIMロック）されます。USIMカードがロックされた場合は、ロックを解除する方法はありません。**お問い合わせ先**（21-28ページ）までご連絡ください。

各部の名称と機能

本体



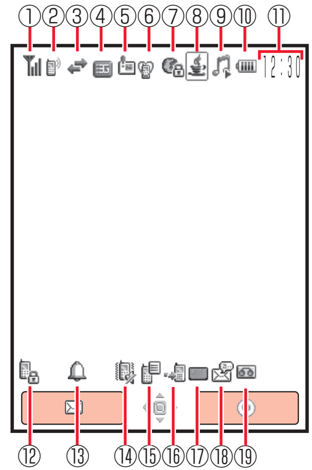
ストラップの取り付けかた



1 **レシーバー（受話口）**
2 **メインディスプレイ**
3 **Lソフトボタン**：選択をしたり、メニューを利用するときなどに使用します。また、待受画面からメールメニューを呼び出すことができます。
4 **マルチファンクションボタン**：カーソルを上下左右に移動するときやマルチファンクションボタンに設定された機能（11-12ページ）を呼び出すときなどに使用します。
センターボタン：待受画面からメインメニューを表示させるときに使用します。また、メインディスプレイの最下段中央の表示に連動し、選択している項目を決定したり操作を実行します。カメラ利用時はシャッターボタンとして使用します。
5 **メディアプレイヤーボタン**：待受画面からメディアプレイヤーのメニューを呼び出すことができます。
6 **開始ボタン**：電話をかけるときや受けるときに使用します。
7 **充電端子／外部接続端子**：充電するとき（1-12ページ）や各種オプション品などを接続するときに使用します。
8 **Rソフトボタン**：操作を戻したり、キャンセルする場合などに使用します。待受画面からボーダフォンライブ！を呼び出すことができます。また、待受画面で長く（約1秒以上）押すと、ボーダフォンライブ！のメニューを呼び出すことができます。
9 **マルチアプリボタン**：使用中の機能を終了させずに別の機能に切り替えるときに使用します（13-1ページ）。
10 **クリア／メモボタン**：入力した文字を消したり、操作を戻すときに使用します。また、待受画面では簡易留守録設定／解除や再生に使用します。
11 **電源／終了ボタン**：電源のオン／オフや通話を終了するとき、操作を終了し待受画面に戻るときに使用します。
12 **ダイヤルボタン**：電話番号や文字を入力するときなどに使用します。待受画面でを長く（約1秒以上）押すと、留守番電話サービス（14-3ページ）を聞くことができます。待受画面でを長く（約1秒以上）押すと、国際電話をかけるときの「+」を入力することができます。
＊／↵／ϟボタン：＊の入力や改行、濁点・半濁点、大文字・小文字切り替えなどに使用します。また、リスト表示された画面を前ページへスクロールさせたり、カメラでモバイルライトの点灯・消灯に使用します。
＃／ボタン：＃や記号などを入力するときに使用します。また、リスト表示された画面を次ページへスクロールさせることができます。
待受画面でを長く（約1秒以上）押すと、マナーモードの切り替えができます（2-9ページ）。
13 **マイク（送話口）**
14 **充電ランプ**:充電中は点灯し、充電が完了すると消灯します。
15 **ミュージックプレイヤーボタン**：音楽の再生や一時停止、巻き戻しや早送りに使用します。
16 **サブディスプレイ**：本体を閉じているときに電話の着信やメールの受信などをお知らせします。
17 **イルミネーション**：電話の着信やメールの受信などがあるとイルミネーションが点滅します。
18 **スピーカー**
19 **カメラ**：静止画や動画を撮影するときに使用します。
20 **モバイルライト**：カメラ撮影時のライトとして使用します。簡易ライトとして利用することもできます（11-12ページ）。

21 **カメラ／ムービーランプ**：カメラ、ムービー起動時に点滅します。
22 **内蔵アンテナ部分**：705Tのアンテナは本体に内蔵されています。
23 **サイドキー**［▲］**／サイドキー**［▼］：上下の移動や、音量の調節に使用します。また、［▲］を長く（約1秒以上）押して、ショートカットキー（11-12ページ）として使用します。
24 **ストラップ取り付け穴**
25 **イヤホンマイク／ AV OUT端子**：マルチステレオイヤホンマイクやビデオ出力ケーブル（オプション品）を差し込みます。
26 **メモリカードスロット**：メモリカードを差し込みます。
27 **サイドキー**［◘］：カメラを起動するときなどに使用します。また、カメラ利用時はシャッターボタンとして使用します。本体を閉じて［◘］を長く（約1秒以上）押すと、ホールド（12-6ページ）の設定／解除の切り替えができます。

メインディスプレイ



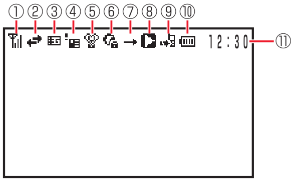
① 📶 **（電波状態）**
電波の状態を4段階で表示します。
📶：強　📶：弱
📶：中　📶：微弱
圏外 **（圏外）**
✈ **（オフラインモードOn）**（2-10ページ）
⇆ **（外部接続によるデータ同期中）**

②／（音声／TVコール通話中）
（シークレットモードOn）（12-5ページ）
（電話回線利用時のデータ通信中）
③（パケット送受信中）
（パケット通信待機中）
（パケット通信エリア内）
④／（3G/UMTS網接続中／ローミング中）
／（GSM網接続中／ローミング中）
／（GPRS網接続中／ローミング中）
（ボーダフォン以外の通信事業者のサービスエリア内かエリア外）
⑤（重要度の高いMMS受信）
（コンテンツ・キー受信）
コンテンツ・キー（16-2ページ）の配信を待っている状態で、操作中にコンテンツ・キーを受信した場合に表示します。
／（新着MMS／SMS）（16-1ページ）
（新着プッシュ）（16-19ページ）
（新着キャスト）（19-1ページ）
⑥（マナーモード）（11-1ページ）
（運転中モード）（11-1ページ）
（ミーティングモード）（11-1ページ）
⑦（SSL対応サイト接続中）
セキュリティで保護されているサイトに接続中、表示します（17-1ページ）。
／（Bluetooth™接続中／接続待機中）（10-2ページ）
（Bluetooth™切断）
⑧／（Vアプリ実行中／一時停止中）（18-2ページ）

⑨（音楽ファイル再生中）（7-2ページ）
（音楽ファイル再生保留中）
（ムービーファイル再生中）（7-2ページ）
（ストリーミング中）（7-6ページ）
（メモリカード挿入中）（8-1ページ）
⑩（電池レベル）
電池残量を5段階で表示します。
：十分残っています　：残りわずかです
：中位残っています　：充電してください
：少なくなっています
（充電中）（1-12ページ）
⑪時計表示
⑫（本体操作ロック中）（12-2ページ）
⑬（アラーム設定中）（13-8ページ）
⑭（サイレント・バイブレーター設定中）（11-3、11-4ページ）
（サイレント設定中）（11-3ページ）
（バイブレーター設定中）（11-4ページ）
⑮（お知らせ一発メニュー再表示）（1-9ページ）
⑯（不在着信あり）（2-7ページ）
⑰（SMSフル）
SMSの受信件数が一杯になったときに表示します。
⑱（留守番電話メッセージあり）（14-3ページ）
（音声電話呼出なし転送中）（14-2ページ）
（TVコール呼出なし転送中）（14-2ページ）
（音声電話・TVコール呼出なし転送中）（14-2ページ）
⑲／／／（簡易留守録On ／簡易留守録あり）（2-4、11-13ページ）
／／（簡易留守録Off ／簡易留守録あり）（2-4、11-13ページ）

サブディスプレイ

本体を閉じた状態でも、サブディスプレイで情報を確認できます。



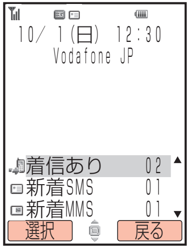
①（電波状態）
電波の状態を4段階で表示します（メインディスプレイと同様）。
（圏外）
（オフラインモードOn）（2-10ページ）
（外部接続によるデータ同期中）
②（パケット送受信中）
（パケット通信待機中）
（パケット通信エリア内）
③／（3G/UMTS網接続中／ローミング中）
／（GSM網接続中／ローミング中）
／（GPRS網接続中／ローミング中）
（ボーダフォン以外の通信事業者のサービスエリア内かエリア外）
④（重要度の高いMMS受信）
（コンテンツ・キー受信）
／（新着MMS/SMS）（16-1ページ）
（新着プッシュ）（16-19ページ）
（新着キャスト）（19-1ページ）
⑤（マナーモード）（11-1ページ）
（運転中モード）（11-1ページ）
（ミーティングモード）（11-1ページ）
⑥（SSL対応サイト接続中）
／（Bluetooth™接続中/接続待機中）（10-2ページ）
（Bluetooth™切断）
（本体操作ロック中）（12-2ページ）
（ホールド設定中）（12-6ページ）
⑦（全曲再生プレイモード）（7-7ページ）
（リピートプレイモード）（7-7ページ）
（全曲リピートプレイモード）（7-7ページ）
（ランダムプレイモード）（7-7ページ）
（1曲再生プレイモード）（7-7ページ）
／（Vアプリ実行中／一時停止中）（18-2ページ）
（アラーム設定中）（13-8ページ）
⑧（バックグラウンド再生中）（7-8ページ）
（バックグラウンド一時停止中）
（ミュージックプレイヤー起動不可）
（留守番電話メッセージあり）（14-3ページ）
／／／（簡易留守録On・簡易留守録あり）（2-4、11-13ページ）
／／（簡易留守録Off・簡易留守録あり）（2-4、11-13ページ）
⑨（不在着信あり）(2-7ページ)
（メモリカード挿入中）（8-1ページ）
⑩（電池レベル）
電池残量を5段階で表示します（メインディスプレイと同様）。
（充電中）（1-12ページ）
⑪時計表示

お知らせ一発メニューについて

未確認の情報があることをお知らせします。また、その情報を表示させることができます。

1 **お知らせ一発メニュー表示→確認したい項目を選択→◉**

未確認情報が表示されます。



お知らせ一発メニューの表示内容

着信あり：不在着信があったことをお知らせします。最新の20件までを確認できます（2-7ページ）。

新着SMS：新着のSMSがあることをお知らせします（16-1ページ）。

新着MMS：新着のMMSがあることをお知らせします（16-1ページ）。

新着プッシュ：新着のプッシュがあることをお知らせします（16-19ページ）。

配信レポート：未読の配信レポートがあることをお知らせします（16-13ページ）。

新着キャスト：新着の情報があることをお知らせします（19-1ページ）。

キャスト情報：情報のダウンロードに失敗したことをお知らせします（19-2ページ）。

留守番電話通知：留守番電話センターに伝言メッセージをお預かりしていることをお知らせします（14-3ページ）。

スヌーズ終了：スヌーズを設定したアラームが鳴り、アラームを一時停止した場合に表示されます。スヌーズを解除できます（13-9ページ）。

補　足

- お知らせ一発メニューの表示を終了したい場合は、（戻る）または を押します。お知らせ一発メニューの表示が終了すると待受画面に「」が表示されます。また、◉を長く（約1秒以上）押してお知らせ一発メニューを再表示させることもできます。
- 未確認の情報が100件を超えた場合は、件数に「>100」が表示されます。
- 「**新着キャスト**」、「**キャスト情報**」については、最新の情報1件のみ確認できます。

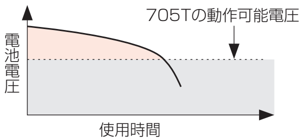
電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

電池パックについて

●705Tの電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。使用時間にともなって下図のように徐々に電圧が下がる性質があります。



●高温環境や低温環境では性能が低下し、使用時間が短くなります。また、高温下での使用は電池パックの寿命を短くすることがあります。
●低温下での充電は、十分な性能が得られません。充電は5℃～35℃の場所で行ってください。
●電池パック単体で保管する場合は、電池パックのコネクターがショートしないようにケースなどに入れて、なるべく乾燥した涼しいところで保管してください。このとき、あまり充電されていない状態で保管することをおすすめします。
●利用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。利用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
●環境保護のため、不要になった電池パックは、コネクターを絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ボーダフォンショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。
●衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

電池の消耗について

●電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。月に10%～20%、半年で約半分程度の自然放電を行います。
●電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受、モバイルライトの利用、Vアプリの起動などは、電池の消耗が多くなります。

電池レベルについて

●ディスプレイの電池レベル表示（1-7、1-8ページ）は、ご使用の時間経過とともに変化します。電池レベル表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。電池切れ「▭」になるとメッセージや電池アラーム音でお知らせし、約30秒後に電源が切れます。

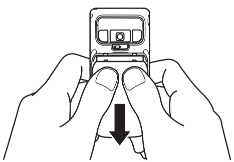
充電を行うときは

●電池パック単体では充電できません。必ず705Tに電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。また、指定の急速充電器、シガーライター充電器（オプション品）を使用してください。
●充電端子、電池パックのコネクター、外部接続端子などを時々乾いた綿棒などで清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。

●「**充電器との接続を確認してください**」と表示された場合は、充電端子、電池パックのコネクター、外部接続端子などを乾いた綿棒などで清掃し、セットし直してください。
それでも表示が消えない場合は、直ちに充電を中止し、最寄りの**ボーダフォンショップ**へお持ちいただくか、**お問い合わせ先**（21-28ページ）までご連絡ください。
●湿気の多いところでは充電しないでください。
●電源を入れたまま充電できますが、充電時間は電源を切ったときにくらべて長くなります。
●電源を入れて充電している場合は、充電中は画面上に「」が表示され、充電が完了すると「」へ変わります。
●充電中は705Tや急速充電器などが温かくなることがありますが、故障ではありません。ただし、極端に熱くなる場合には異常の可能性がありますので、その場合には直ちに使用を中止してください。
●充電中に電話がかかってきたときは、通常の着信と同様に着信音やバイブレーター、イルミネーションの点滅でお知らせします。

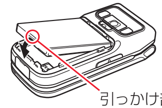
電池パックを取り付ける／取り外す

1 下図のように電池カバーを両指で軽く押しながらスライドさせ、取り外す

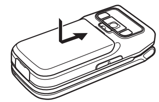


2 電池パック裏面の端子部と本体の突起部を合わせ、電池パックを押し込む

●電池パックを取り外す場合は、引っかけ部に爪をかけて持ち上げます。



3 電池カバーを取り付ける

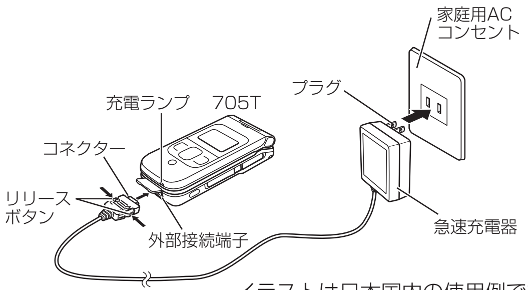


重　要

● 電池パックは、電源を切ってから取り外してください。また、引っかけ部以外のところから持ち上げて外さないようにしてください。

急速充電器を利用して充電する場合

充電時間	約140分



イラストは日本国内の使用例です。

1 **705Tに急速充電器のコネクターを取り付ける**

●705Tの外部接続端子のキャップを開け、急速充電器のコネクターの刻印がある面を上にして接続します。

2 **急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントに差し込む**

充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

3 **充電ランプが消灯したら急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントから抜く**

4 **705Tから急速充電器のコネクターを取り外す**

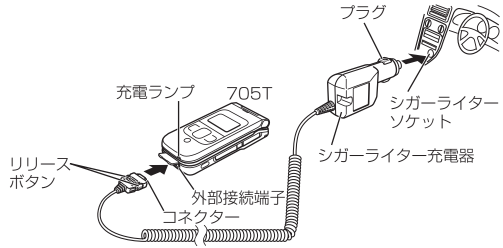
●コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜きます。

重　要

- 急速充電器は家庭用AC100～240Vの電源に対応しています。
- 急速充電器のプラグは日本国内用です。海外での充電には、渡航先に対応した変換プラグをお買い求めのうえ、ご使用ください。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

シガーライター充電器（オプション品）を利用して充電する場合

充電時間	約140分



1 **705Tにシガーライター充電器のコネクターを取り付ける**

●705Tの外部接続端子のキャップを開け、シガーライター充電器のコネクターの刻印がある面を上にして接続します。

2 **シガーライターソケットにプラグを差し込む**

充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

3 充電ランプが消灯したらプラグをシガーライターソケットから抜く

4 705Tからコネクターを抜く

●コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜きます。

重　要

- 車のバッテリーの消耗を防ぐため、必ずエンジンをかけてご使用ください。
- 車からはなれる際はシガーライター充電器を外してください。キーを抜いてもシガーライターが使える車（キーを抜いても充電ランプが点灯する車）で使用した場合は、車のバッテリーが消耗され、バッテリーがあがる原因となります。
- 運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を長く（約1秒以上）押す

電源が入り、待受画面が表示されます。

補　足

- 電源を入れると、以下の動作を行います。
  - ・ウェイクアップ音が鳴ります（11-5ページ）。
  - ・充電ランプが点灯します。
  - ・カメラ／ムービーランプが点灯します。
  - ・イルミネーションが点滅します。
- 「**PIN1設定**」（12-1ページ）を「**有効**」にしている場合は、電源を入れたあとにPIN1コードを入力してください。
- お買い上げ後、初めて705Tの電源を入れた場合や「**オールリセット**」（11-16ページ）を行ったあとには、以下の画面が表示されます。
  - ・日付／時刻の設定（1-14ページ）
  - ・ネットワーク自動調整（15-2ページ）

  （待受画面で●、、、またはのいずれかを押した場合）

電源を切る

1 を長く（約1秒以上）押す

電源が切れます。

補　足

- 電源を切る場合に、以下の動作を行います。
  - ・シャットダウン音が鳴ります（11-5ページ）。
  - ・イルミネーションが点滅します。

日付／時刻の設定

待受画面に表示される日付／時刻を設定します。設定された日付／時刻は、メイン都市切替（13-14ページ）で設定した都市の日付／時刻となります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定

1 「日時設定」→(●)→日付／時刻を入力→(●)

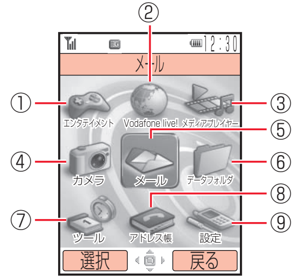
- 年は西暦の下2桁、月、日、時、分は、それぞれ2桁で入力します。また、時刻は24時間制で入力します。
- 日付／時刻の入力中に(◀▶)を押すと、カーソルを移動できます。また、(▲▼)を押すと、カーソル上の数字を繰り上げたり、繰り下げることができます。
- 日時設定を行うと自動的に曜日が設定されます。

補　足

- 入力できる日付は、2000年1月2日から2099年12月30日までです。
- 時刻を12時間制で表示できます（11-9ページ）。
- 時計表示は変更できます（11-8ページ）。
- サマータイム（13-13ページ）を設定できます。

機能の呼び出しかた

待受画面で(●)を押すと、メインメニューが表示されます。
(✥)で目的のアイコンを選択したあと(●)を押すと、各項目内のメニューが表示されます。



メインメニュー

①エンタテイメント

ゲームなどの機能を呼び出すことができます（18、19章）。

・Vアプリ　　・キャスト

②Vodafone live!

ウェブから、画像やメロディなどをダウンロードできます（15、17章）。

・Vodafone live!　　・履歴
・URL入力　　・ブラウザ設定
・ブックマーク

③ メディアプレイヤー

音楽ファイルやムービーファイルを再生できます（7章）。

- ミュージックダウンロード
- プレイリスト
- Beat Engine Box
- サウンド
- 再生履歴
- ムービーダウンロード
- ムービー
- 再生履歴
- URL入力
- ブックマーク
- 再生履歴

④ カメラ

静止画や動画を撮影できます（6章）。

- カメラ起動
- ムービー起動
- バーコードリーダー
- 設定
- メモリ容量確認

⑤ メール

MMSやSMSの送受信ができます（16章）。

- 受信ボックス
- 新規作成
- 下書き
- 送信済みボックス
- 未送信ボックス
- サーバーメール操作
- 定型文
- 設定

⑥ データフォルダ

保存した画像やメロディなどの各種ファイルを管理できます（9章）。

- ピクチャー
- ムービー
- メロディ &ミュージック
- Vアプリ
- お気に入り
- 定型文
- その他ファイル
- メモリ容量確認

⑦ ツール

便利な機能を呼び出すことができます（13章）。

- スケジュール
- アラーム
- 辞書
- 簡易電卓
- 通貨換算
- ボイスレコーダー
- カウントダウンタイマー
- メモ帳
- 番号メモ
- 世界時計
- バックアップ

⑧ アドレス帳

電話番号やE-mailアドレス、顔写真などをアドレス帳に登録できます（4章）。

- アドレス帳
- 新規登録
- 通話履歴
- グループ設定
- メールグループ設定
- 名刺送信
- ご自分の番号
- アドレス帳設定
- メモリ容量確認

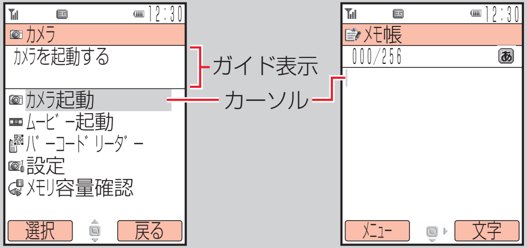
⑨ 設定

各種設定を行うことができます（11、12章）。

- モード設定
- 音・バイブ設定
- ディスプレイ設定
- 一般設定
- 発着信設定
- メディアプレイヤー設定
- セキュリティ設定
- メモリ設定
- ネットワーク設定
- 外部接続
- 位置情報設定

補　足

- お買い上げ時に設定されている各項目の初期値は機能一覧(21-2ページ)を参照してください。
- カーソルとは、文字の入力画面で表示される「|」または「■」、メニュー画面などで表示される「　　　」をいいます。
- メニュー画面でのガイド表示には、カーソルで選択している項目の内容が表示されます。



暗証番号

705Tのご使用にあたっては、「操作用暗証番号」、「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

- 「操作用暗証番号」、「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」は忘れないように、別にメモなどを取り、他人に知られないよう管理してください。万一お忘れになった場合は、お手続きが必要となります。詳しくは、**お問い合わせ先**(21-28ページ)までご連絡ください。
- いずれの暗証番号についても、他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

操作用暗証番号について

「**9999**」もしくはご契約時にお決めいただいた4桁の暗証番号です。705Tの各機能を操作する場合に必要です。操作用暗証番号は変更できます（12-1ページ）。

交換機用暗証番号について

ご契約時に申し込み書に記入された4桁の暗証番号です。オプションサービスを一般電話から操作する場合に必要です。

発着信規制用暗証番号について

ご契約時にお決めいただいた4桁の暗証番号です。発着信規制の設定を行う場合に必要です。発着信規制用暗証番号は変更できます（14-8ページ）。

電話をかける

1 電源が入っていることを確認する

●電波の状態を確認してください。

2 待受画面で電話番号を入力し、[発信]を押す

電話がかかります。

●一般電話へかける場合は、必ず市外局番から入力してください。
●携帯電話・自動車電話・PHSへかける場合は、「0」から始まる電話番号を全桁入力してください。
●間違えて入力したときは[終話]を押すか、[クリア/メモ]を長く（約1秒以上）押して待受画面に戻します。[クリア/メモ]または[クリア]（クリア）を押すと、右端から1桁ずつ消去できます。
●相手がお話中のときは「プープー…」という話中音が聞こえます。[終話]を押して電話を切り、しばらくたってからもう一度かけ直してください。

3 通話が終わったら、[終話]を押す

重　要

- 705Tのアンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（1-6ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まる場合があります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。
- 付属のマルチステレオイヤホンマイクを本体に巻きつけないでください。また、マルチステレオイヤホンマイクを内蔵アンテナ部分に近づけるとノイズが入ることがあります。
- 705Tの向きや位置によって通話品質が変わることがあります。

補　足

- 待受画面で電話番号を入力したあと[メニュー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  発信／**TVコール**（5-1ページ）／**アドレス帳登録**（4-2ページ）／**メール送信**（16-4、16-7ページ）／**マニュアルハイフン**（「**ー**」を表示）／**ポーズ**（13-19ページ）／**国際発信**（下記）／**発信者番号非通知**（11-15ページ）／**発信者番号通知**（11-15ページ）
- 通話中に[メニュー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  保留／**送話音声Off**／**全音声Off**／**アドレス帳**（4-7ページ）／**通話履歴**／**録音開始**／**ご自分の番号**／**プッシュトーンOff**
- 705Tではウェブ閲覧中に音声電話を受けたり、音声通話中にメール受信などを同時に行うことができます。これをマルチ接続といいます。マルチ接続は、3Gサポートエリア内（UMTS圏内）で行うことができます。

国際電話のかけかた

国際電話をかけるとき、相手の電話番号を入力したあとで、国際コード（ボーダフォンの国際電話専用ダイヤル「0046」＋「010」）と国番号リストから選択した国番号を付加して電話をかけることができます。

●国際電話サービスをご利用になるには、別途お申し込みが必要です。詳しくは3Gガイドブックをご覧ください。操作方法については13-16ページを参照してください。

国際コードと国番号を付加する

1 待受画面で電話番号を入力→[メニュー]（メニュー）→「国際発信」→◉

2 相手の国を選択→◉→「日本」/「海外」→◉

電話番号の前に「**0046010**」/「**+**」と国番号が付加されます。

3 ⌐を押す

電話がかかります。

電話番号を通知する

発信者番号通知サービスをご利用の場合は、相手の電話機のディスプレイにお客様の電話番号を表示させることができます（11-15ページ）。

以前かけた電話番号にもう一度かける

以前かけた電話の日時や電話番号（発信履歴）を最新の20件まで記憶し、電話をかけ直すことができます。

1 待受画面で◀を押す

電話をかけた相手の電話番号と日時が表示されます。アドレス帳に登録されている相手の場合は、名前が表示されます。

2 かけたい相手を選択し、⌐を押す

電話がかかります。

3 通話が終わったら、⌐を押す

補　足

- マルチファンクションボタンの設定(11-12ページ)を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- 発信履歴の内容は、電源を切っても削除されません。
- 通話の状況によっては、すべての履歴が残らない場合があります。
- 発信履歴を表示したあと[-](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  詳細/**発信**/**TVコール**(5-1ページ)/**メール送信**(16-4、16-7ページ)/**アドレス帳登録**(4-2ページ)/**拒否リスト追加**(12-4ページ)/**削除**/**国際発信**(2-1ページ)/**発信者番号非通知**(11-15ページ)/**発信者番号通知**(11-15ページ)
- シークレットメモリ(4-3ページ)に設定している相手に電話をかけても、シークレットモード(12-5ページ)が「**Off**」の場合は、発信履歴に電話番号だけ表示されます。

電話を受ける

1 **電話がかかってきたら、[通話キー]を押す**

電話がつながります。

2 **通話が終わったら、[終話キー]を押す**

補　足

- エニーキーアンサー(11-14ページ)を「**On**」にしている場合は、[通話キー]の他、[0]～[9]、[*]、[#]のいずれかを押して電話を受けることができます。
- オープン通話(11-14ページ)を「**On**」にしている場合は、705Tを開くだけで電話を受けることができます。
- かかってきた電話に出られなかった場合は、お知らせ一発メニュー(1-9ページ)が表示されます。
- アドレス帳に登録している相手から電話がかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前や顔写真が表示されます。ただし、シークレットメモリ(4-3ページ)に設定している相手から電話がかかってきても、シークレットモード(12-5ページ)が「**Off**」の場合は、電話番号のみ表示されます。
- 相手から電話番号の通知のない着信は、「**発番通知不可**」、「**非通知設定**」、「**公衆電話**」のいずれかが表示されます。
- 着信中に[方向キー]または[サイドキー上]、[サイドキー下]を押して、着信音量を調節できます。
- 通話中に本体を閉じても通話を終了できます。ただし、Bluetooth™対応機器やマルチステレオイヤホンマイクを接続している場合は、終了できません。
- 転送電話サービス(14-2ページ)の転送条件または留守番電話サービス(14-3ページ)の転送条件を「**着信／通話中**」にすると、着信中に[ソフトキー](転送)を押して電話を転送できます。

電話に出られないとき

着信を保留にする

かかってきた電話／ TVコールにすぐに出られないときは、その電話を保留にできます。

1 **電話／TVコールがかかってきたら、[ソフトキー](保留)を押す**

相手には現在電話に出られないことがアナウンスされます。

2 **電話に出られるようになったら、[ソフトキー](解除)を押す**

電話／ TVコールがつながります。

3 **通話が終わったら、[終話キー]を押す**

重　要

- 応答保留中でも電話／TVコールをかけてきた相手には通話料金がかかります。
- 応答保留中に[終話キー]を押した場合は、保留中の通話が終了します。
- オープン通話(11-14ページ)を「**On**」にし、本体を閉じている状態で着信を受けた場合は、保留できません。

補　足

- 応答保留中に●を押して電話を受けることもできます。
- エニーキーアンサー(11-14ページ)を「**On**」にしている場合は、応答保留中に[-]、[発信]の他、[0]～[9]、[*]、[#]のいずれかを押して電話を受けることができます。
- 電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないときに指定した番号へ転送したり(14-2ページ)、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりするサービス(14-3ページ)があります。

メッセージを録音する（簡易留守録）

音声電話に出られないときに相手のメッセージを録音できます。最大3件、1件あたり最大15秒録音できます。

1 電話がかかってきたら、[クリア/メモ]を長く(約1秒以上)押す

応答メッセージが再生されたあと、録音が始まります。

●録音可能時間が経過するか、通話が終了すると自動的に停止します。

重　要

- TVコール(5-1ページ)や割込通話(14-5ページ)では簡易留守録を使用できません。
- 録音されたメッセージが3件になると録音できません。メッセージを削除してください。

補　足

- 応答メッセージ再生中または相手のメッセージ録音中に[-](応答)を押すと、通話できます。
- メッセージ録音中に[-](スピーカー)を押すと、録音中のメッセージをスピーカーで聞くことができます。

録音されたメッセージを再生する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 簡易留守録

1 「再生」→●

2 メッセージを選択→●

●未再生のメッセージには「[未再生アイコン]」が、再生済みのメッセージには「[再生済みアイコン]」が表示されます。

補　足

- 待受画面で[クリア/メモ]を押してもメッセージを一覧表示できます。

メッセージを削除する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 簡易留守録

1 「再生」→●

2 メッセージを選択→[-](メニュー)→「削除」→●→[-](Yes)

着信を拒否する

かかってきた電話／TVコールを拒否できます。

1 電話がかかってきたら、[キー]を押す

補 足

- 転送電話サービス（14-2ページ）と留守番電話サービス（14-3ページ）を停止している場合は、着信中に[キー]（転送）を押すと、着信を拒否します。
- 割込通話サービス（14-5ページ）が設定されていて、通話中にかかってきた割込通話の着信を拒否する場合は、[キー]（メニュー）を押して「**着信拒否**」を選択します。
- 電話の着信制限（12-3ページ）をすることで、かかってきた電話を自動的に拒否することもできます。

通話中の操作

受話音量を調節する

相手の声の大きさをマルチファンクションボタンやサイドキーを使って調節できます。

1 通話中に[キー]または[キー]／[キー]を押す

現在の設定が表示されます。

2 [キー]／[キー]／[キー]で受話音量を調節する

補 足

- 通話中に調節した受話音量は、通話が終わると、元の設定に戻ります。

相手の声を録音する

音声通話中に相手の声を録音できます。1件あたり60秒まで録音できます。

1 音声通話中→[キー]（メニュー）→「録音開始」→[キー]

●録音可能時間が経過するか、通話が終わると自動的に停止します。手動で停止する場合は、[キー]（終了）を押します。

補足

- 録音した音声は、データフォルダ(9-1ページ)の「**メロディ&ミュージック**」フォルダ内の「**ボイスレコーダー**」フォルダに保存されます。
- 再生方法は、13-12ページを参照してください。
- Bluetooth™対応機器でハンズフリー通話をしている場合は、録音できません。

通話中に番号メモを登録する

メモ内容は、あとで確認したり、電話をかけたりできます。メモは5件まで記憶できます。

電話番号などをメモする

1 通話中にダイヤルボタンを押す

通話を終了すると、番号メモが自動的に登録されます。

●以下の数字と記号を最大40桁までメモできます。

0～9 ＊ ＃ ＋ − P

補足

- TVコール通話中にも、番号メモできます。

番号メモを確認する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 番号メモ

1 番号メモを選択→◉

補足

- 番号メモに登録した電話番号を選択し、発信キーを押すと相手に電話をかけることができます。
- 番号メモを選択中に、(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
詳細／**発信**／**TVコール**(5-1ページ)／**メール送信**(16-4、16-7ページ)／**アドレス帳登録**(4-2ページ)／**拒否リスト追加**(12-4ページ)／**削除**／**発信者番号非通知**(11-15ページ)／**発信者番号通知**(11-15ページ)

ハンズフリー通話に切り替える

スピーカーから相手の声が聞こえるように切り替えることができます。

1 通話中に(🔊)を押す

●(🔇)を押すと元に戻ります。

通話履歴の確認

以前かけた電話、かかってきた電話、不在着信の履歴（日時や電話番号）をそれぞれ最新の20件まで確認できます。

発信履歴を確認する

1 待受画面で◐を押す

●発信履歴を表示中に◐を押すと着信履歴が、◑を押すと不在着信履歴が表示されます。

●発信履歴では以下のアイコンが表示されます。

　：音声発信を行った場合に表示されます。

　：TVコールの発信を行った場合に表示されます。

補　足

- マルチファンクションボタンの設定(11-12ページ)を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- メインメニュー(1-14ページ)の「**アドレス帳**」から、通話履歴を表示させることもできます。
- 履歴に表示された相手を選択し、を押すと相手に電話をかけることができます。
- 発信履歴の内容は、電源を切っても消去されません。
- 発信履歴の件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に削除されます。
- アドレス帳に登録している相手に電話をかけた場合は、履歴に相手の名前が表示されます。ただし、シークレットメモリ(4-3ページ)に設定している相手に電話をかけても、シークレットモード(12-5ページ)が「**Off**」の場合は、電話番号のみ表示されます。
- 発信履歴を表示したあと、(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  詳細／**発信**／**TVコール**(5-1ページ)／**メール送信**(16-4、16-7ページ)／**アドレス帳登録**(4-2ページ)／**拒否リスト追加**(12-4ページ)／**削除**／**国際発信**(2-1ページ)／**発信者番号非通知**(11-15ページ)／**発信者番号通知**(11-15ページ)

着信履歴／不在着信履歴を確認する

1 待受画面でを押す

- 着信履歴を表示中にを押すと不在着信履歴が、を押すと発信履歴が表示されます。
- 不在着信履歴と着信履歴では以下のアイコンが表示されます。
  ／：音声／TVコール着信時
  ／：音声／TVコール不在着信時
  ／：音声／TVコール拒否時
  ／：非通知の音声／TVコール着信拒否時
  ／：公衆電話からの音声／TVコール着信時
  ／：公衆電話からの音声／TVコール着信拒否時

補　足

- マルチファンクションボタンの設定(11-12ページ)を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- メインメニュー(1-14ページ)の「**アドレス帳**」から、通話履歴を表示させることもできます。
- 履歴に表示された相手を選択し、を押すと相手に電話をかけることができます。
- 着信履歴、不在着信履歴の内容は、電源を切っても消去されません。
- 着信履歴、不在着信履歴の件数がそれぞれ20件を超えると、一番古い履歴から順に削除されます。
- アドレス帳に登録している相手から電話がかかってきた場合は、履歴に相手の名前が表示されます。ただし、シークレットメモリ(4-3ページ)に設定している相手から電話がかかってきても、シークレットモード(12-5ページ)が「**Off**」の場合は、履歴に電話番号のみ表示されます。
- 着信履歴、不在着信履歴を表示したあと、(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  詳細／**発信**／**TVコール**(5-1ページ)／**メール送信**(16-4、16-7ページ)／**アドレス帳登録**(4-2ページ)／**拒否リスト追加**(12-4ページ)／**削除**／**国際発信**(2-1ページ)／**発信者番号非通知**(11-15ページ)／**発信者番号通知**(11-15ページ)

通話時間を確認する

前回の通話時間や前回までの合計通話時間を確認できます。

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ 通話履歴

1 「通話時間」→●

■前回の通話時間を確認する
「通話時間」→●

■通話時間の合計を確認する
「累積通話時間」→●

■通話時間の合計をリセットする
「累積時間リセット」→●→操作用暗証番号（1-16ページ）を入力

重　要

- 表示される通話時間は目安です。
- 累積通話時間では、メールやウェブの通信時間は含まれません。
- 累積通話時間は、999時間以上は加算されません。

通話料金を確認する

前回通話したときの通話料金やUSIMカードに保存されている累積通話料金を確認します。

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ 通話履歴

1 「通話料金」→●

■前回の通話料金を確認する
「通話料金」→●

■通話料金の合計を確認する
「累積通話料金」→●

■通話料金の合計をリセットする
「累積料金リセット」→●→PIN2コード（1-3ページ）を入力→[-]（決定）

■表示通貨を設定する
「通貨設定」→●→[-]（変更）→PIN2コード（1-3ページ）を入力→[-]（決定）→通貨単位（3文字）を入力→●→レートを入力→●

■通話後に料金を表示するかどうかを設定する
「通話料金表示設定」→●→「On」／「Off」→●

重　要

- 表示される通話料金は目安です。実際に請求される通話料金とは異なる場合があります。
- 多者通話（14-6ページ）をした場合は、電話をかけた相手すべてを合わせた通話料金が表示されます。
- 累積通話料金では、メールやウェブの通信料金は含まれません。
- 電波が弱くなって通話が切断したり、国際電話をかけた場合は、通話料金は表示されません。

データ通信量を確認する

前回使用のパケット通信データ量や現在までの合計パケット通信データ量を確認します。

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ 通話履歴

1 「データ通信量」→●

■前回のデータ送受信量を確認する
「データ通信量」→●

■データ送受信量の合計を確認する

「累積データ通信量」→◉

■データ送受信量の合計をリセットする

「累積データ量リセット」→操作用暗証番号（1-16ページ）を入力

重　要

● 表示されるパケット通信データ量は目安です。

ご自分の電話番号とE-mailアドレスの確認

お客様の電話番号や「**ご自分の番号**」（4-10ページ）で登録した名前、E-mailアドレスなどを確認します。

1 待受画面→◉→[キー]

通話中に確認する

1 通話中→[キー]（メニュー）→「ご自分の番号」→◉

マナーモードを設定／解除する

公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑にならないようマナーモードに切り替えることができます。マナーモードにすると、画面上に「[アイコン]」が表示されます。

●映画館・劇場・美術館などでの鑑賞中は電源をお切りください。

●電車や新幹線の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従ってください。

●航空機内では、運航の安全に支障をきたすおそれがありますので電源をお切りください。

●病院・研究所などの使用が禁止されている場所では、精密機器などに影響を及ぼす場合がありますので電源をお切りください。

●レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないようご注意ください。

●街の中では、通行の妨げにならないように十分ご注意ください。

マナーモードに切り替える

1 待受画面で[#キー]を長く（約1秒以上）押す

マナーモードに切り替わります。

マナーモードを解除する

1 マナーモード中に[#キー]を長く（約1秒以上）押す

マナーモードが解除されます。

重　要

● マナーモードにしても、カメラ利用時のシャッター音、録画開始音・終了音は鳴ります。
● 遠隔監視モード（5-4ページ）を「**On**」にしていて、アドレスリストに登録されている電話番号から着信した場合は、マナーモードの設定にかかわらず、「ピーピーピー」と音が鳴り、TVコールがつながります。

補　足

● マナーモードのバイブレーター（11-4ページ）やアラーム（11-6ページ）の設定は変更できます。

オフラインモードを設定／解除する

電源を切らずに電波の送受信を停止して、電話の発着信やメールの送受信などネットワークサービスを利用できないようにします。オフラインモードを「**On**」にすると、画面上の電波状態の表示が「 」に変わります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ オフラインモード

1 「On」／「Off」→●

重　要

- オフラインモードを「**On**」にすると、電話を受けることができなくなるので、通常使用するときは「**Off**」にするのを忘れないようにしてください。
- オフラインモードを「**On**」にしても110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安本部）には発信できます。

海外での利用（国際ローミング）

705Tは、日本以外の国や地域に行っても、音声通話などを利用できます。ご利用可能なエリアや国際ローミングについて、詳しくは、国際ローミングサービスガイドをご覧ください。

●国際ローミングをご利用になるには、別途お申し込みが必要です。

利用する事業者を設定する

お客様のいる国や地域によって事業者を切り替える必要があります。また、事業者を自動的に切り替えることもできます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ネットワーク設定 ▶ 事業者選択

1 「事業者選択設定」→●

■事業者を優先度設定により自動で切り替える
「自動」→●

■利用したい事業者を選択する
「手動」→●→事業者を選択→●
●選択可能な事業者には「 」または「 」が表示されます。

利用する事業者を新規登録する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ネットワーク設定 ▶ 事業者選択

1 「新規追加」→●→「未登録」→●

■事業者名を入力する
「事業者名」→●→事業者名を入力→●

■国番号を入力する
「国番号」→●→国番号を入力→●

■事業者番号を入力する
「事業者番号」→●→事業者番号を入力→●

2 ［-］（メニュー）→「保存」→●

●保存を行うには、すべての項目を入力してください。

優先度を設定する

事業者選択を「**自動**」(2-10ページ)にした場合に利用する優先度を設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ネットワーク設定 ▶ 事業者選択

1 「優先度設定」→◉

■事業者を優先度設定リストの最後に追加する

⊟(メニュー)→「追加」→◉→事業者を選択→◉

■事業者を優先度設定リストに挿入先を指定して追加する

⊟(メニュー)→「挿入」→◉→事業者を選択→◉(2回)→挿入先を選択→◉

■事業者の優先順位を変更する

⊟(メニュー)→「移動」→◉→移動したい事業者を選択→◉(2回)→移動先を選択→◉

■事業者を削除する

⊟(メニュー)→「削除」→◉→⊟(Yes)

海外設定(3G/GSM)

お客様のいる国や地域によっては本体の無線通信方式を切り替える必要があります。日本で使用する場合は「**3G(日本/海外)**」に、海外で使用する場合は「**自動**」にすることをおすすめします。

通信方式を切り替える

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ネットワーク設定 ▶ 海外設定(3G/GSM)

■自動に設定する

「自動」→◉

■3G/UMTSモードの通信方式を設定する

「3G(日本/海外)」→◉

■GSMモードの通信方式を設定する

「GSM(海外)」→◉

海外で電話をかける

海外で電話をかけるときは、相手によってかけかたが異なります。

●お客様のいる国や地域によっては海外設定(3G/GSM)(左記)を切り替える必要があります。

日本の一般電話/携帯電話へかける場合

日本の国番号を付けて電話をかけます。日本の携帯電話にかける場合、相手が滞在している国にかかわらず同様の操作で電話をかけることができます。

1 **待受画面で0を長く(約1秒以上)押す**

「+」が入力されます。

2 **国番号「81」を入力**

3 **市外局番の最初の「0」を除いた相手の電話番号を入力**

4 **電話番号を確認し、発信キーを押す**

電話がかかります。

滞在している国の一般電話／携帯電話へかける場合

日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。国番号を入力したり、相手の市外局番の最初の「0」を除いたりする必要はありません。

1 待受画面で電話番号を入力

2 電話番号を確認し、[発信キー]を押す

電話がかかります。

その他の国へかける場合

1 待受画面で[0キー]を長く(約1秒以上)押す

「+」が入力されます。

2 国番号を入力

●国番号については、国際ローミングサービスガイドをご覧ください。

3 市外局番の最初の「0」を除いた相手の電話番号を入力

4 電話番号を確認し、[発信キー]を押す

電話がかかります。

補　足

- 日本の携帯電話や一般電話からお客様の705Tに電話をかける場合、お客様が国際ローミング中でも日本国内にいるときの操作と同様に、電話番号のみを入力します。
- 海外の携帯電話や一般電話からお客様の705Tに電話をかける場合は、お客様がどこに滞在していても、日本の国番号「81」を付加し、最初の「0」を除いたお客様の電話番号を入力します。ただし、国際電話のかけかたは、相手の携帯電話機や通信事業者によって異なります。

緊急通報について

以下の場合でも、110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安本部）へは発信することができます。

●オフラインモード設定中（2-10ページ）
●本体操作ロック中（12-2ページ）
●固定電話番号設定中（12-5ページ）
●発着信規制設定中（14-7ページ）

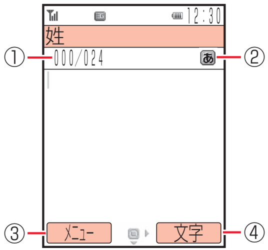
重　要

- 国際ローミング中(2-10ページ)に緊急通報する場合は滞在している国の電話番号となります。事前に電話番号を確認してください。海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、705Tの機能設定状態によって動作が異なるため、すべての国やエリアでの接続を保証できるものではありません。
- TVコールで緊急通報した場合は、音声通話となります。
- GSM圏内では、データ通信中に緊急通報できません。

文字入力について

705Tでは、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字、記号、絵文字、顔文字を入力できます。
かな入力方式には、標準方式とポケベル方式（3-8ページ）の2種類があります。本書では、標準方式での入力例を中心に記載します。

文字の入力画面



①入力文字数／登録可能文字数が表示されます。登録可能文字数は、機能によって異なります。
②現在の文字入力モードがアイコンで表示されます。
③⊡（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
決定／**元に戻す**／**やり直し**／**コピー**／**切り取り**／**貼り付け**／**範囲選択**／**挿入**／**カーソル移動**／**ユーザ設定**
④文字入力モードを変更できます。

文字入力モードを変更する

1 文字の入力画面→⊡（文字）

●利用できない文字入力モードは表示されません。

2 文字入力モードを選択→◉

文字入力モードが変更されます。

文字入力モードアイコン

あ：全角かな（漢字変換）
A：全角英大文字
a：全角英小文字
A：半角英大文字
a：半角英小文字
0：全角数字
0：半角数字
ｱ：半角カタカナ
アドレス：アドレスライブラリ（3-8ページ）の入力
絵文字：絵文字の入力
顔文字：顔文字の入力

補　足

- かな入力方式（3-16ページ）で標準方式とポケベル方式の切り替えができます。上記のアイコンは標準方式で表示されるアイコンです。ポケベル方式に設定した場合は、アイコンの表示が「あ」から「あ」に変わります。
- 半角カタカナ入力モード「ｱ」はアドレス帳（4-1ページ）のヨミガナ入力で使用します。

ボタンの割り当て（標準方式）

文字入力モード／ボタン	全角かな（漢字変換）※	半角カタカナ	全角英大文字 半角英大文字	全角英小文字 半角英小文字	全角数字 半角数字
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	.@−_1	.@−_1	1
2	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABC2	abc2	2
3	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEF3	def3	3
4	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHI4	ghi4	4
5	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL5	jkl5	5
6	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO6	mno6	6
7	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS7	pqrs7	7
8	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUV8	tuv8	8
9	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ9	wxyz9	9
0	わをん、。ー	ﾜｦﾝｰ	〜／？！0	〜／？！0	0
*	大文字・小文字切り替え 濁点・半濁点・改行 読点（、）・句点（。）・長音（ー）	大文字・小文字切り替え 濁点・半濁点 読点(､)･句点(｡)･長音(-)	大文字・小文字切り替え 改行		改行
#	記号・絵文字・顔文字・英数字 逆順で表示	記号・英数字 逆順で表示	記号・絵文字・顔文字・英数字 逆順で表示		記号・絵文字・ 顔文字・英数字
●	入力中の文字を確定／入力を終了				入力を終了
◎	カーソルの移動、◎で改行 ◎で未確定文字変換	カーソルの移動	カーソルの移動 ◎で改行		
クリア/メモ	入力した文字の消去（3-12 ページ）				

※ ユーザ辞書（3-11ページ）の読み仮名入力時は、全角かな、長音（ー）のみ入力できます。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

全角かな（漢字変換）入力モードで文字を入力して漢字などに変換します。

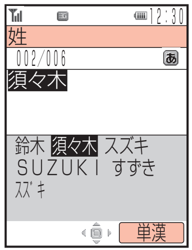
例 名前の「**須々木**」を入力する

1 文字の入力画面→「すずき」を入力

- 3（3回）→◎→3（3回）→＊→2（2回）を押します。
- 一度に40文字まで変換できます。

2 -(変換)→◎／◎

- クリア/メモを押すと、「**すずき**」のあとに続けて入力できます。



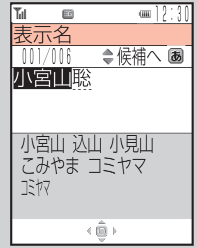
3 ◎で「須々木」を選択→◉

「**須々木**」が確定されます。

●文字の入力を終了するときは、確定したあと◉を押します。

補 足

- 全角かな(漢字変換)入力モードでは、入力した文字が単語や熟語、文節単位で変換されますが、目的の漢字に変換されない場合は、◎で文字の範囲をもう一度指定してから-(変換)を押して変換します。例えば、「**こみやまさとし**」と入力して-(変換)を押して変換すると、「**小宮山聡**」が表示されます。「**こみや**」と「**まさとし**」の組み合わせにするときは、右の画面で◎を押し、カーソルを「**こみや**」に指定してから-(変換)を押し、変換候補を選択します。



- 変換操作設定（3-17ページ）を「**上下キー**」にしている場合は、予測エリアの変換候補を◎で選択します。
- 文字の変換中、小文字、濁点、半濁点にならない文字のあとで＊を押すと「**、**」、「**。**」、「**ー**」が表示されます。

3

文字の入力方法

小文字（a、っなど）を入力する

数字入力モード以外では、カーソル上の文字（未確定）の大文字、小文字を切り替えることができます（対応している文字のみ）。

例「**あ**」を小文字に切り替える

1 文字の入力画面→[1]

「**あ**」が入力されます。

2 [*]→[●]

「**ぁ**」が確定されます。

●「**つ**」のように小文字と濁点の両方の入力ができる文字の場合は[*]を押して小文字、濁点を切り替えます。

濁点（゛）／半濁点（゜）を入力する

全角かな（漢字変換）入力モードと半角カタカナ入力モードでは、カーソル上の文字（未確定）を濁点や半濁点に変えることができます（対応している文字のみ）。

例「**が**」を入力する

1 文字の入力画面→[2]

「**か**」が入力されます。

2 [*]→[●]

「**が**」が確定されます。

●「**は**」のように濁点と半濁点の両方を付けられる文字の場合は、[*]を押して濁点、半濁点を切り替えます。

補　足

● カーソル上に小文字や濁点、半濁点に対応していない文字があるとき、またはカーソルが文字（未確定）の右側にあるときに[*]を押すと、読点（、）、句点（。）、長音（ー）を入力できます。

単漢字で変換する

全角かな（漢字変換）入力モードで目的の漢字が表示されない場合、同じ読みの漢字（1文字単位）の変換候補を表示させてから、選択できます。

例「**鱸**」（すずき）を入力する

1 **文字の入力画面→「すずき」を入力**

2 **[-]（変換）→[-]（単漢）**

漢字の変換候補が表示されます。

- 入力画面に「**単漢**」が表示されない場合は、単漢字で変換できません。

3 **「鱸」を選択→◉**

「**鱸**」が確定されます。

補足

- 全角かな（漢字変換）入力モードで、下記の読み（いっぱん、がくじゅつ...）をひらがなで入力→[-]（変換）→[-]（単漢）で単漢字変換に切り替えると、表にある特殊な文字を表示できます。

読み	文字（記号）
いっぱん	＃＆＊＠§☆など、すべて「**きごう**」に含まれます。
がくじゅつ	＋－±×÷＝など、すべて「**きごう**」に含まれます。
かっこ	‘ ’　“ ”　（ ）など、すべて「**きごう**」に含まれます。
ぎりしゃ	ΑΒΓαβγなど。
たんい	°′″℃￥＄など、すべて「**きごう**」に含まれます。
ろしあ	АБВабвなど。
きじゅつ	、。，．・：など、すべて「**きごう**」に含まれます。
きごう	、。，．・：など。
けいせん	─│┌┐┘└など。

3

文字の入力方法

英字／数字／カタカナに変換する

全角かな（漢字変換）入力モードから文字入力モードを変更しなくても、カタカナやそのボタンに割り当てられている英数字に変換できます。

例 全角かな（漢字変換）入力モードで「TOM」（半角）と入力する

1 文字の入力画面→文字の割り当てられたボタンを押す

● [8]（1回）→[6]（3回）→[→]→[6]（1回）を押し､「**やふは**」を入力します。

2 [-]（英数カナ）

英字、数字、カタカナの変換候補が表示されます。

● 文字の入力画面に「**英数カナ**」が表示されていない場合は、英数カナ変換できません。

3 [↕↔]で「TOM」（半角）を選択→[●]

「TOM」（半角）が確定されます。

補足

- 日付や時刻を入力したい場合に､全角かな（漢字変換）入力モードのままで入力できます｡例えば､[1][2][3][0]を順に押して「**あかさわ**」と入力し､[-]（英数カナ）を押すと､英数字やカタカナの他に「**12／30**」や「**12:30**」が表示されます｡
- 変換操作設定（3-17ページ）を「**上下キー**」にしている場合は、予測エリアの変換候補を[↕]で選択します。

文字を逆順で表示する

数字入力モード以外では、文字が未確定のとき、[#]を押すたびにカーソル上の文字をボタン割り当て一覧（3-2ページ）の逆の順番に表示させることができます。

例 [2]に割り当てられた文字を入力する

[2]を押す

┌→か→き→く→け→こ┐

[2]のあと[#]を押す

⇒ ┌→か→こ→け→く→き┐

記号を入力する

全角記号と半角記号を入力できます。

1 文字の入力画面→[#]

全角記号ウィンドウが表示されます。

● 半角記号を入力する場合は、[#]を2回押します。

2 記号を選択→[●]

選択した記号が入力され、記号ウィンドウが閉じます。

● 記号ウィンドウに表示されている記号を連続して入力する場合は、[メール]を押して記号を選択します。

補足

- 一度選択した記号は､記号ウィンドウの点線上の履歴エリアに表示されます｡履歴エリアの記号を選択して入力することもできます｡

絵文字を入力する

入力できる絵文字については21-11ページを参照してください。

1 文字の入力画面→[#記号](3回)

絵文字ウィンドウが表示されます。

●機能によっては入力できない場合もあります。

2 絵文字を選択→[●]

選択した絵文字が入力され、絵文字ウィンドウが閉じます。

●絵文字ウィンドウに表示されている絵文字を連続して入力する場合は、[メール]を押して絵文字を選択します。

補　足

- 一度選択した絵文字は、絵文字ウィンドウの点線上の履歴エリアに表示されます。履歴エリアの絵文字を選択して入力することもできます。
- 絵文字は、文字の入力画面で[-](文字)→「**絵文字**」を選択しても入力できます。
- [-](変換)を押して変換した場合に変換候補に絵文字が表示されることがあります。

英数字を入力する

全角英数字、半角英数字を入力できます。

1 文字の入力画面→[#記号](5回)

全角英数字ウィンドウが表示されます。

●半角英数字を入力する場合は、[#記号]を6回押します。

●機能によっては[#記号]を押す回数が異なります。

2 英数字を選択→[メール]

選択した英数字が入力され、英数字ウィンドウが閉じます。

●英数字ウィンドウに表示されている英数字を連続して入力する場合は、[●]を押して英数字を選択します。

顔文字を入力する

1 文字の入力画面→[#記号](4回)

顔文字ウィンドウが表示されます。

●機能によっては[#記号]を押す回数が異なります。

2 顔文字を選択→[●]

選択した顔文字が入力され、顔文字ウィンドウが閉じます。

●顔文字ウィンドウに表示されている顔文字を連続して入力する場合は、[メール]を押して顔文字を選択します。

補　足

- 「**かお**」と入力し、[-](変換)を押して変換した場合も、変換候補に12種類の顔文字が表示されます。
- 顔文字は、文字の入力画面で[-](文字)→「**顔文字**」を選択しても入力できます。

スペースを入力する

1 文字の入力画面→[○▶]

スペースが入力されます。

●確定済みの文字の前にスペースを入れるときは、記号ウィンドウから入力します（3-6ページ）。

改行を入力する

1 文字の入力画面→文字を入力し、確定する

2 改行したい位置で*を押す

「↵」が表示され、改行されます。

- 入力する画面によっては改行できない場合もあります。
- 改行アイコン「↵」のあとに文字を続けて表示するように設定できます（3-16ページ）。

E-mailアドレス／URLの一部を入力する

アドレスライブラリを利用して、E-mailアドレスやURLの一部を簡単に入力できます。

例 E-mailアドレスの一部「.co.jp」を入力する

1 文字の入力画面→(文字)→「アドレス」→●

アドレスライブラリが表示されます。内容は以下の通りです。

.ne.jp	.net
.co.jp	http://
.ac.jp	www.
.or.jp	.html
.com	.vodafone.ne.jp

2 「.co.jp」→●

「**.co.jp**」が入力されます。

ポケベル方式で入力する

かな入力方式（3-16ページ）を「**ポケベル方式**」に変更します。文字を入力する場合は、2つの数字を組み合わせて1つの文字にします。組み合わせは、以下の通りです。

先に押すボタン＼後に押すボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	―	／
7	ま	み	む	め	も	¥	&			
8	や	（	ゆ	）	よ	*	#			
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

- （色付きの枠）は、入力後に*を押して、大文字と小文字を切り替えられます。
- A、aの場合、すべて半角になります。
- A、a、A、aの場合、ひらがなはカタカナになります。
- a、aの場合、英字は小文字で入力されます。

例「**よしお**」を入力する

1 **文字の入力画面**→[8][5]→[3][2]→[1][5]→[●]

「**よしお**」が確定されます。

文字の変換機能

705Tでは、東芝のかな漢字変換エンジン「モバイル ルポTM」を搭載しています。モバイル ルポTMでは、「本を買う」「犬を飼う」のように前後の言葉のつながりから最適な変換をするAI変換を採用しています。さらに、入力予測（下記）を利用することで、長文メールも簡単にすばやく入力することができます。

Mobile Rupo AI変換対応

※モバイル ルポTMは株式会社 東芝の商標です。

また、ユーザ辞書（3-11ページ）に特殊な読み方をする漢字やよく使う略語などを登録しておくと、文字入力時に呼び出すことができます。

入力予測を利用する

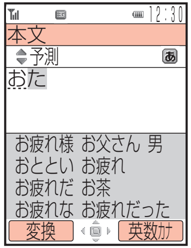
入力予測には変換予測とフレーズ予測があります。変換予測は、全角かな（漢字変換）入力モードで入力した文字から予測される変換候補を表示する機能です。フレーズ予測は、一度確定した文章からフレーズ（句）を学習し、先頭のフレーズをもう一度入力することにより、あとに続くフレーズの候補を表示する機能です。入力予測を利用することで目的の語句を簡単にはやく入力することができます。
使い込む程に予測辞書として言葉が学習され、変換候補の精度があがっていきます。また、入力予測の設定を解除したり、予測辞書をお買い上げ時の状態に戻すことができます（3-16ページ）。

変換予測を利用して入力する

例「**お父さん**」を入力する

1 文字の入力画面→[1](5回)→[4]

「**おた**」を入力すると、予測エリアに「**おた**」から予測される変換候補が表示されます。



2 ↑/↓→◎で「お父さん」を選択→●

「**お父さん**」が確定されます。

補　足

- 変換操作設定（3-17ページ）を「**上下キー**」にしている場合は、予測エリアの変換候補を◎で選択します。

フレーズ予測を利用して入力する

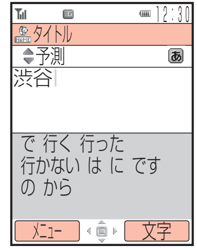
例 一度確定したフレーズ「**渋谷でライブ**」をもう一度入力する

1 文字の入力画面→「し」を入力

予測エリアに「**渋谷**」が表示されます。

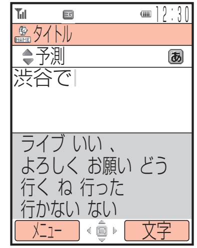
2 ↑/↓→◎で「渋谷」を選択→●

「**渋谷**」が確定されます。予測エリアに「**で**」が表示されます。



3 ↑/↓→◎で「で」を選択→●

「**で**」が確定されます。予測エリアに「**ライブ**」が表示されます。



4 ↑/↓→◎で「ライブ」を選択→●

「**ライブ**」が確定されます。

補　足

- 変換操作設定（3-17ページ）を「**上下キー**」にしている場合は、予測エリアの変換候補を◎で選択します。

よく使う言葉をユーザ辞書に登録する

ユーザ辞書とは、特殊な読み方をする漢字やよく使う略語などを登録しておく機能です。100語まで登録できます。
登録した語句を呼び出すには、文字の入力画面で、ユーザ辞書に登録した読み仮名を入力し、変換します。

1 **文字の入力画面→⊟(メニュー)→「ユーザ設定」→◉→「ユーザ辞書編集」→◉→「辞書登録」→◉**

2 **「登録語句」→◉→語句を入力→◉**

- 12文字まで登録できます。
- 記号や絵文字も登録できます。

3 **「読み仮名」→◉→読み仮名を入力→◉**

- 8文字まで登録できます。
- 全角ひらがなで入力します。

4 **⊟(メニュー)→「登録」→◉**

補足

- 同じ読み仮名の語句は、4件まで登録できます。
- 以下の方法でも登録できます。
  待受画面→◉→「**設定**」→◉→「**一般設定**」→◉→「**ユーザ辞書**」→◉→「**新規登録**」→◉

入力中の文字をユーザ辞書に登録する

1 **文字の入力画面→⊟(メニュー)→「範囲選択」→◉**

2 **登録したい文字の先頭または最後へカーソルを移動→⊟(始点)→◈で範囲を指定→⊟(終点)**

- 12文字まで登録できます。
- 記号や絵文字も登録できます。

3 **「辞書登録」→◉**

範囲選択した語句が設定されたユーザ辞書登録画面が表示されます。

4 **「読み仮名」→◉→読み仮名を入力→◉**

5 **⊟(メニュー)→「登録」→◉**

登録した語句を編集する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ ユーザ辞書

1 **「登録語編集」→◉**

2 **語句を選択→⊟(メニュー)→「編集」→◉**

3 **「登録語句」／「読み仮名」→◉→語句／読み仮名を編集→◉**

4 **⊟(メニュー)→「登録」→◉**

登録した語句を削除する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ ユーザ辞書

■1件削除する

「登録語編集」→◉→語句を選択→⊡（メニュー）→「削除」→◉→⊡（Yes）

■全件削除する

「全件削除」→◉→操作用暗証番号（1-16ページ）を入力→⊡（Yes）

文字の編集

文字の入力画面で入力されている文字の編集を行うことができます。また、クリップボード（3-13ページ）に記憶された文字データは、文字の入力画面で貼り付けることができます。

入力した文字を修正する

1 文字の入力画面→修正したい文字の前へカーソルを移動→[クリア/メモ]

1文字削除されます。

●カーソルの右側の文字をすべて削除する場合は、[クリア/メモ]を長く（約1秒以上）押します。

2 正しい文字を入力

補　足

- カーソルが文末にあるとき、[クリア/メモ]を押すと左側の一文字が削除されます。[クリア/メモ]を長く(約1秒以上)押すと、左側のすべての文字が削除されます。
- 文字の入力画面→⊡(メニュー)→「**カーソル移動**」→◉→「**最後へジャンプ**」／「**先頭へジャンプ**」を選択すると文末または文頭へカーソルがジャンプします。

コピー／切り取り／貼り付けをする

文字の編集を行う場合は、クリップボードを使うと便利です。クリップボードとは、文字のコピーや切り取りを行った内容を一時的に記憶しておく場所のことです。範囲選択した文字、絵文字をコピーや切り取りをし、入力画面でカーソル位置に貼り付け（ペースト）ができます。

1 文字の入力画面→⊟(メニュー)→「コピー」／「切り取り」→◉

2 コピー／切り取りを行いたい文字の先頭または最後へカーソルを移動→⊟(始点)→◈で範囲を指定→⊟(終点)

指定した範囲の文字がクリップボードに記憶されます。

3 貼り付ける位置へカーソルを移動→⊟(メニュー)→「貼り付け」→◉→貼り付ける文字を選択→◉

補　足

- クリップボードの記憶を消去したい場合は、文字の入力画面→⊟(メニュー)→「**貼り付け**」→◉→クリップボードを選択→⊟(メニュー)→「**一件削除**」／「**全件削除**」を選択します。
- クリップボードに記憶できる件数は、最新の20件、1件あたり256文字までです。

元に戻す／やり直しをする

直前に行った操作を元に戻したり、やり直すことができます。

1 文字の入力画面→⊟(メニュー)→「元に戻す」→◉

重　要

- 一括変換(3-15ページ)や置き換え(3-15ページ)を行った文字は元に戻せません。

補　足

- 「**元に戻す**」の操作を取り消したい場合は、⊟(メニュー)→「**やり直し**」を選択します。

文字データを引用する

メール本文に署名（16-18、16-19ページ）を挿入したり、メモ帳（13-12ページ）やアドレス帳（4-2ページ）に登録している内容をカーソル位置に挿入できます。

1 文字の入力画面→[-]（メニュー）→「挿入」→●

2 引用したい項目を選択

■メモ帳
「メモ帳」→●→メモ帳を選択→●

■MMS ／ SMSの署名
「署名」→●

■アドレス帳
「アドレス帳」→●→アドレス帳を選択→●→引用したい項目を選択→●

■ご自分の名前、電話番号など
「ご自分の番号」→●→引用したい項目を選択→●

■URLの履歴
「アドレス送信履歴」→●→URLを選択→●

■ご自分の電話番号
「電話番号」→●

重　要

- 操作の状況によっては挿入できない項目もあります。

その他の文字編集機能

メモ帳に登録する

文字の入力画面で範囲選択した文字をメモ帳（13-12ページ）に登録できます。

1 文字の入力画面→[-]（メニュー）→「範囲選択」→●

2 登録したい文字の先頭または最後へカーソルを移動→[-]（始点）→◎で範囲を指定→[-]（終点）

3 「メモ帳登録」→●→メモ帳を選択→●→[-]（Yes）

●すでに登録されているメモ帳を選択した場合は、上書きされます。

アドレス帳に登録する

文字の入力画面で範囲選択した電話番号やE-mailアドレスをアドレス帳に登録できます。範囲選択した内容が数字のときには、「**電話番号**」に登録され、「@」を1つ含む半角英数字や「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）のときには、「**Eメール**」に登録されます。

●アドレス帳については4-2ページを参照してください。

1 文字の入力画面→[-]（メニュー）→「範囲選択」→●

2 登録したい文字の先頭または最後へカーソルを移動→[-]（始点）→◎で範囲を指定→[-]（終点）

3 「アドレス帳登録」→●→「新規作成」／「追加登録」→●

重要

- アドレス帳に登録できない文字や記号が選択範囲に含まれていると、アドレス帳に登録できません。

補足

- 範囲選択した数字の間に「⁎#/P−+( )」が含まれていても、電話番号として認識されます。ただし、「( )」は登録時に省かれます。

確定した文字を変換する（一括変換）

一度確定した文字を範囲選択して再変換できます。ただし、漢字、絵文字は一括変換できません。

1 文字の入力画面→⊟(メニュー)→「範囲選択」→◉

2 変換したい文字の先頭または最後へカーソルを移動→⊟(始点)→◈で範囲を指定→⊟(終点)

3 「一括変換」→◉

■ひらがなを漢字に変換する

「かな漢字変換」→◉→変換候補を選択→◉

■すべて全角に変換する

「全角変換」→◉

■すべて半角に変換する

「半角変換」→◉

■英字をすべて大文字に変換する

「大文字変換」→◉

■英字をすべて小文字に変換する

「小文字変換」→◉

クリップボードの内容に置き換える

範囲選択した文字をクリップボード（3-13ページ）の内容に置き換えることができます。

1 文字の入力画面→⊟(メニュー)→「範囲選択」→◉

2 置き換えたい文字の先頭または最後へカーソルを移動→⊟(始点)→◈で範囲を指定→⊟(終点)

3 「置き換え」→◉→クリップボードから置き換える文字を選択→◉

削除する

1 文字の入力画面→⊟(メニュー)→「範囲選択」→◉

2 削除したい文字の先頭または最後へカーソルを移動→⊟(始点)→◈で範囲を指定→⊟(終点)

3 「削除」→◉

予測辞書をリセットする

入力予測機能（3-9ページ）で学習した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1 **文字の入力画面→[-]（メニュー）→「ユーザ設定」→◉→「ユーザ辞書編集」→◉**

2 **「予測辞書リセット」→◉→[-]（Yes）**

入力予測を設定する

入力予測機能（3-9ページ）を利用するかどうかの設定ができます。

1 **文字の入力画面→[-]（メニュー）→「ユーザ設定」→◉→「入力予測」→◉**

2 「On」／「Off」→◉

かな入力方式を設定する

かな入力方式を標準方式とポケベル方式（3-8ページ）から選択できます。

1 **文字の入力画面→[-]（メニュー）→「ユーザ設定」→◉→「かな入力方式」→◉**

2 **「標準方式」／「ポケベル方式」→◉**

文字サイズを変更する

文字の入力画面で表示される文字サイズを選択できます。

1 **文字の入力画面→[-]（メニュー）→「ユーザ設定」→◉→「文字サイズ」→◉**

2 **「大」／「標準」→◉**

改行制御を設定する

改行するときに、文字の入力画面でも改行して表示するかどうか設定します。

●改行制御を「**Off**」に設定した場合、「↵」のあとに続けて文字を入力します。

1 **文字の入力画面→[-]（メニュー）→「ユーザ設定」→◉→「改行制御」→◉**

2 「On」／「Off」→◉

補足

- 改行制御を「**On**」にしている場合は、メモ帳の入力中などに最後の行で⊙を押すと改行アイコン「↵」が表示され、改行されます。
- 改行制御を「**Off**」にしている場合でも、メール（16-4、16-7ページ）を送信した場合、相手には改行制御が「**On**」の状態で表示されます。相手には「↵」は表示されません。

変換操作設定

予測エリア（3-10ページ）の変換候補を選択するときのマルチファンクションボタンの操作方法を設定できます。

1 **文字の入力画面→[-]（メニュー）→「ユーザ設定」→◉→「変換時のカーソル操作」→◉**

2 **「4方向」／「上下キー」→◉**

アドレス帳の登録

アドレス帳は、本体、USIMカード、メモリカードに保存できます。本体には最大500件、USIMカード、メモリカードの場合は容量によって異なります。また、USIMカードは、登録できる項目の最大文字数などが異なる場合もあります。

大切なデータを失わないために
アドレス帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化することがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なアドレス帳などは控えを取っておかれることをおすすめします。アドレス帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

項目	内容	登録の可／不可		
		本体	メモリカード	USIMカード
名前／姓 名前／名	24文字まで（USIMカードは「名前」として）登録できます。	○	○	○
ヨミガナ(姓) ヨミガナ(名)	24文字まで（USIMカードは「ヨミガナ」として）登録できます。	○	○	○
表示名	49文字まで登録できます。	○	○	—
電話番号	最大3件、1件につき40桁まで登録できます。	○	○	○
Eメール	最大3件、1件につき64文字まで登録できます。	○	○	○
住所	郵便番号、国、都道府県、市町村、番地、住所付加情報を登録できます。郵便番号、国は20文字まで、都道府県、市町村、番地、住所付加情報は50文字まで登録できます。	○	○	—
役職	32文字まで登録できます。	○	○	—
会社名	32文字まで登録できます。	○	○	—
誕生日	生年月日を登録できます。	○	○	—
URL	128文字まで登録できます。	○	○	—
グループ	グループを設定できます。	○	○	○
顔写真	着信時に表示させる静止画を登録できます。	○	—	—
音／シークレット	相手先別に着信イルミネーションや着信音パターン、シークレットメモリなどを設定できます。	○	—	—
位置情報	地図や位置情報を表示できます。	○	—	—
メモ	64文字まで登録できます。	○	—	—

基本的な項目をアドレス帳に登録する

アドレス帳には相手の名前や電話番号、E-mailアドレスなどを登録できます。アドレス帳の保存先は、あらかじめ指定できます（4-11ページ）。

●アドレス帳を登録するには、「**姓**」、「**名**」、「**電話番号**」、「**Eメール**」のいずれかを設定してください。

メインメニュー ▶ アドレス帳

1 「新規登録」→◉

■**姓名を設定する**

「姓」／「名」→◉→名前（姓／名）を入力→◉

●ヨミガナや表示名は、名前を入力すると自動的に入力されます。ヨミガナを編集する場合は、「**ヨミガナ**」を選択します。

■**電話番号を設定する**

「電話番号」→◉→電話番号を入力→◉→種類を選択→◉

●マニュアルハイフン「-」やポーズ（13-19ページ）を入力する場合は、電話番号入力中に⊟（メニュー）を押したあと、「**マニュアルハイフン**」／「**ポーズ**」を選択します。

■**E-mailアドレスを設定する**

「Eメール」→◉→E-mailアドレスを入力→◉→種類を選択→◉

2 ⊟(メニュー)→「保存」→◉

重　要

● USIMカードのアドレス帳に登録する場合(4-11ページ)は、「**名前**」の項目に姓と名を両方入力します。

補　足

● 新規登録は以下の方法でも行うことができます。
待受画面→◎→⊟(メニュー)→「**新規登録**」→◉

● アドレス帳の保存先に同姓同名の表示名がある場合は、「**保存**」を選択して◉を押したあと上書きするかどうかのメッセージが表示されます。上書きしない場合は⊟(No)を押すと、新規登録されます。

顔写真を設定する

メインメニュー ▶ アドレス帳

1 「新規登録」→◉

■**カメラで撮影して設定する**

「顔写真」→◉→「カメラ起動」→◉→撮影する→◉

●撮影方法については6-5ページを参照してください。

■**データフォルダの画像を設定する**

「顔写真」→◉→「データフォルダ」→◉→「ピクチャー」→◉→画像を選択→◉

●選択した画像が、設定する画像サイズに合わない場合は画像サイズの調節を行います（6-20ページ）。

2 ⊟(メニュー)→「保存」→◉

●保存を行うには、「**姓**」、「**名**」、「**電話番号**」、「**Eメール**」のいずれかを設定してください。

重　要

● プロパティ(9-6ページ)で転送不可となっているピクチャーファイルは、顔写真に登録できません。

着信音などを個別に設定する

メインメニュー ▶ アドレス帳

1 「新規登録」→◉→「音／シークレット」→◉

■着信イルミネーションを設定する

「イルミネーション設定」→◉→色／「通常設定連動」を選択→◉

■着信音量を設定する

「着信音量」→◉→項目を選択→◉→「設定」／「通常設定連動」→◉→着信音量を調節→◉

■着信音パターンを設定する

「着信音パターン」→◉→項目を選択→◉→「プリセットパターン」／「プリセットメロディ」／「データフォルダ」／「通常設定連動」→◉→着信音パターンを選択→◉→⊟（設定）

■メール受信の鳴動時間を設定する

「着信音パターン」→◉→「メール受信」→⊟（メニュー）→「鳴動時間」→◉→「一周期」／「通常設定連動」→◉

■バイブレーターを設定する

「バイブレーター」→◉→項目を選択→◉→パターンを選択→◉

■シークレットメモリを設定する

「シークレット設定」→◉→「On」／「Off」→◉

- シークレットメモリのアドレス帳は、シークレットモード（12-5ページ）を「**On**」にすると表示されます。シークレットメモリには、「 」が表示されます。

2 ⊟（メニュー）→「保存」→◉

- 保存を行うには、「**姓**」、「**名**」、「**電話番号**」、「**Eメール**」のいずれかを設定してください。

補　足

- 「**通常設定連動**」を選択した場合は、イルミネーション設定（11-11ページ）やモードの設定（11-1ページ）に従います。
- シークレットメモリに設定している相手へ電話をかけても、シークレットモード（12-5ページ）が「**Off**」の場合は、発信履歴に電話番号だけが記録されます。
- シークレットメモリに設定している相手から電話がかかってきても、シークレットモードが「**Off**」の場合は、電話番号のみが表示されます。

その他の項目を設定する

メインメニュー ▶ アドレス帳

1 「新規登録」→◉

■表示名／住所／役職／会社名／メモを設定する

各項目を選択→◉→項目を入力→◉

■誕生日を設定する

「誕生日」→◉→誕生日を入力→◉

- 「**誕生日**」を設定する場合、年は西暦の4桁で、月や日はそれぞれ2桁で入力します。

■URLを設定する

「URL」→◉→URLを入力→◉→種類を選択→◉

■グループを設定する

「グループなし」→◉→グループを選択→◉

2 ⊟(メニュー)→「保存」→◉

●保存を行うには、「**姓**」、「**名**」、「**電話番号**」、「**Eメール**」のいずれかを設定してください。

補　足

● アドレス帳保存先(4-11ページ)を「**本体**」または「**メモリカード**」にしている場合は本体に登録されているグループから、「**USIMカード**」にしている場合はUSIMカードに登録されているグループから登録できます。

発信履歴／不在着信履歴／着信履歴の電話番号を登録する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ 通話履歴

1 「発信履歴」／「不在着信履歴」／「着信履歴」→◉

2 電話番号を選択→⊟(メニュー)→「アドレス帳登録」→◉→「新規作成」→◉

●登録されているアドレス帳に追加する場合は、「**追加登録**」を選択したあと、追加したいアドレス帳を選択します。

補　足

● 受信メールの電話番号やE-mailアドレスをアドレス帳に登録することもできます。
● 待受画面で電話番号を入力し、⊟(メニュー)→「**アドレス帳登録**」を選択して、アドレス帳に登録することもできます。
● 待受画面で◀◎または◎▶を押して、通話履歴を表示させることもできます。

アドレス帳の登録件数を確認する

●シークレットモード（12-5ページ）を「**Off**」にしている場合は、シークレットメモリの件数は含みません。

メインメニュー ▶ アドレス帳

1 「メモリ容量確認」→◉

グループ設定

グループには、グループ名とグループアイコンを登録できます。また、グループごとに着信イルミネーションや着信音量、着信音パターン、バイブレーターを設定できます。ただし、アドレス帳ごとに設定している場合は、アドレス帳の設定が優先されます。

グループ名とグループアイコンを登録する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ グループ設定

1 「未登録」→◉

●本体に登録する場合は「[本体アイコン]」を、USIMカードに登録する場合は「[USIMアイコン]」を選択します。

2 「グループ1」→◉→グループ名を入力→◉

3 グループアイコンを選択→◉

4 ⊟(メニュー)→「保存」→◉

補足

- グループ名を選択し、⊟(メニュー)を押すと以下の操作を行うこともできます。
  編集／**アイコン変更**

グループオプションを設定する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ グループ設定

1 グループを選択→◉

2 「グループオプション」→◉

■着信イルミネーションを設定する

「イルミネーション設定」→色／「通常設定連動」を選択→◉

■着信音量を設定する

「着信音量」→◉→項目を選択→◉→「設定」／「通常設定連動」→◉→着信音量を調節→◉

■着信音パターンを設定する

「着信音パターン」→◉→項目を選択→◉→「プリセットパターン」／「プリセットメロディ」／「データフォルダ」／「通常設定連動」→◉→着信音パターンを選択→◉→⊟（設定）

■メール受信の鳴動時間を設定する

「着信音パターン」→◉→「メール受信」→⊟（メニュー）→「鳴動時間」→◉→「一周期」／「通常設定連動」→◉

■バイブレーターを設定する

「バイブレーター」→◉→項目を選択→◉→パターンを選択→◉

3 ⊟(メニュー)→「保存」→◉

補　足

- グループを選択中に[-](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(選択しているグループによっては表示されない項目があります)。
  作成／**削除**／**編集**／**リセット**
- 「**グループオプション**」を選択中に[-](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  編集／**オプションリセット**／**保存**
- 「**通常設定連動**」を選択した場合は、イルミネーション設定(11-11ページ)やモードの設定(11-1ページ)に従います。
- お買い上げ時にあらかじめ本体に登録されているグループ名は変更できません。

メールグループ設定

メールグループに登録しておくと登録したメールグループのメンバー全員にメールを送信できます。メールグループは5つまで登録でき、1つのメールグループには宛先を10件まで登録できます。

メールグループ名を変更する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ メールグループ設定

1 **メールグループを選択→[-](メニュー)→「メールグループ名変更」→(●)**

2 **メールグループ名を入力→(●)**

補　足

- メールグループを選択中に[-](メニュー)を押して、以下の操作を行うこともできます。
  選択／**リセット**

メールグループにメンバーを登録する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ メールグループ設定

1 **メールグループを選択→(●)**

■メンバーを入力して登録する

「未登録」→(●)→「名前」／「宛先」→(●)→名前／宛先を入力→(●)→[-]（メニュー）→「保存」→(●)

■アドレス帳からメンバーを登録する

「未登録」→☐（メニュー）→「アドレス帳から追加」→◉→メンバーを選択→◉→宛先を選択→◉

重　要

- シークレットメモリ(4-3ページ)のアドレス帳は、シークレットモード(12-5ページ)を「**On**」にすると選択できます。

メールグループのメンバーを変更する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ メールグループ設定

1 **メールグループを選択→◉→メンバーを選択→☐(メニュー)→「編集」→◉**

2 **「名前」／「宛先」→◉→名前／宛先を変更→◉**

3 **☐(メニュー)→「保存」→◉**

補　足

- メンバーを選択中に☐(メニュー)を押して、以下の操作を行うこともできます。
  詳細／削除／追加

アドレス帳の利用

1 **待受画面→◎**

◎または◎を押すと、50音順の前の行または次の行を表示できます。

2 **相手を選択→◉**

◎または◎を押すと、同じ行の前または次のアドレス帳を表示できます。

■電話をかける場合

電話番号を選択→☐

■ボーダフォン携帯電話にメッセージを送る場合

電話番号を選択→☐（メニュー）→「メール送信」→◉→「SMS」／「MMS」→◉

■MMSを送信する場合

メールアドレスを選択→☐（メニュー）→「メール送信-MMS」→◉

●SMSの作成については16-7ページを参照してください。

●MMSの作成については16-4ページを参照してください。

補　足

- シークレットメモリ(4-3ページ)のアドレス帳は、シークレットモード(12-5ページ)を「**On**」にすると表示されます。シークレットメモリのアドレス帳には、「☐」が表示されます。
- マルチファンクションボタンの設定(11-12ページ)を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- メインメニューの「**アドレス帳**」から、アドレス帳表示させることもできます。
- アドレス帳を表示したあと、☐(メニュー)を押して以下の操作を行うことができます。
  詳細／検索切替／新規登録／編集／削除／複数選択／エクスポート／メモリカード／並び替え

補　足

- アドレス帳を表示したあと、相手を選択して［発信］を押しても電話をかけることができます。アドレス帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、デフォルト電話番号(4-10ページ)にかかります。

アドレス帳の表示を切り替える

アドレス帳は「**本体／USIM**」と「**メモリカード**」で切り替えて表示します。本体に保存されているアドレス帳は「［本体］」、USIMカードに保存されているアドレス帳は「［USIM］」、メモリカードに保存されているアドレス帳は「［SD］」が表示されます。

1 待受画面→［アドレス帳］

2 ［メニュー］(メニュー)→「メモリカード」→●

アドレス帳の検索方法

アドレス帳の検索方法は5種類あります。検索切替を行うと、次にアドレス帳を開くときに、前回選択した検索方法が起動します。

1 待受画面→［アドレス帳］

2 ［メニュー］(メニュー)→「検索切替」→●

■リスト表示で検索する（初回起動時）

「リスト表示」→●→アドレス帳を選択→●

■ヨミガナの頭文字を2タッチで検索する

「2タッチ検索」→●→［0］～［9］、［*］のいずれかを押す→［1］～［5］のいずれかを押す→アドレス帳を選択→●

■ヨミガナで検索する

「ヨミガナ検索」→●→ヨミガナを入力→●→アドレス帳を選択→●

■電話番号で検索する

「電話番号検索」→●→電話番号を入力→●→アドレス帳を選択→●

■グループから検索する

「グループ検索」→●→グループを選択→●→アドレス帳を選択→●

補　足

- 2タッチで検索するときに使用するボタン割り当ては、以下の通りです。例えば、「**よ**」から始まるヨミガナのアドレス帳を呼び出す場合は、［8］［5］の順に押します。その他を呼び出す場合は、［*］を押します。

		後に押すボタン				
		1	2	3	4	5
先に押すボタン	1	あ	い	う	え	お
	2	か	き	く	け	こ
	3	さ	し	す	せ	そ
	4	た	ち	つ	て	と
	5	な	に	ぬ	ね	の
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ
	7	ま	み	む	め	も
	8	や	―	ゆ	―	よ
	9	ら	り	る	れ	ろ
	0	わ	を	ん	―	―

- 2タッチ検索には、アドレス帳に登録されているヨミガナが使用されます。

アドレス帳を並び替える

1 待受画面→◎→☐(メニュー)→「並び替え」→◉

2 「誕生日順」/「ヨミガナ順」→◉

アドレス帳の内容をコピー/移動する

本体、メモリカード、USIMカード間でアドレス帳をコピー/移動できます。

1 待受画面→◎→☐(メニュー)→「複数選択」→◉

2 アドレス帳を選択→◉

3 ☐(メニュー)→「コピー」/「移動」→◉

4 「本体」/「USIM」/「メモリカード」→◉

重　要

- アドレス帳に登録できる項目は、本体、USIMカード、メモリカードで異なります(4-1ページ)。

補　足

- 操作3で☐(メニュー)を押すと、以下の操作を行うこともできます。
  チェック解除/**削除**/**エクスポート**/**詳細**/**全チェック解除**

アドレス帳の編集

アドレス帳は、個別に編集、削除を行うことができます。

1 待受画面→◎

2 アドレス帳を選択→☐(メニュー)→「編集」→◉

3 項目を選択→◉→項目を編集→◉

4 ☐(メニュー)→「保存」/「新規保存」→◉

補　足

- マルチファンクションボタンの設定(11-12ページ)を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- アドレス帳の項目を選択中に☐(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(選択している項目によっては表示されない項目があります)。
  選択/**編集**/**保存**/**新規保存**/**種別変更**/**デフォルトに設定**/**項目削除**/**顔写真変更**/**顔写真削除**/**設定リセット**

デフォルト電話番号を変更する

電話番号を2件以上登録している場合は、そのうち1件がデフォルト電話番号に設定されています。デフォルト電話番号に設定するとアドレス帳選択中に[発信]を押すだけで電話をかけることができます。また、スピードダイヤルに設定できます（4-11ページ）。

1 **待受画面→[下]**

2 **アドレス帳を選択→[-](メニュー)→「編集」→[●]**

3 **電話番号を選択→[-](メニュー)→「デフォルトに設定」→[●]**

●デフォルト電話番号は、青字で表示されます。

補　足

- 電話番号が1件しか登録されていない場合は、その電話番号が自動的にデフォルト電話番号に設定されます。
- デフォルト電話番号が削除された場合は、残った電話番号の一番上にある電話番号が、自動的にデフォルト電話番号に設定されます。

アドレス帳を削除する

1 **待受画面→[下]**

2 **アドレス帳を選択→[-](メニュー)→「削除」→[●]**

3 **「一件」／「全件」→[●]**

●全件削除する場合は、操作用暗証番号（1-16ページ）を入力します。

4 **[-](Yes)**

ご自分の電話番号について

お客様ご自身の情報を「**ご自分の番号**」に登録できます。登録できる項目は、名前、ヨミガナ、表示名、ご自分の電話番号（3件まで）、E-mailアドレス（3件まで）、住所です。また、登録した情報は、通話中に確認したり（2-9ページ）、メール作成時などに挿入して利用できます。

情報を登録する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ ご自分の番号

1 **[-](メニュー)→「編集」→[●]**

2 **項目を選択→[●]→情報を入力→[●]**

補　足

- 各項目の設定方法については4-2ページを参照してください。
- 操作1で[-](メニュー)を押すと、以下の操作を行うこともできます。

詳細／名刺送信

- 操作1で[-](メニュー)→「**名刺送信**」を選択すると、ご自分の電話番号をMMSで送信することができます。
  また、ご自分の電話番号をBluetooth™通信で送信することもできます(4-11ページ)。

ご自分の電話番号を Bluetooth™ 通信で送信する

「**ご自分の番号**」の登録内容をvファイル（9-7ページ）として他の携帯電話やパソコンなどにBluetooth™通信を利用して送信できます。

メインメニュー ▶ アドレス帳

1 「名刺送信」→◉

●Bluetooth™送信については10-3ページを参照してください。

スピードダイヤル

スピードダイヤルを登録する

スピードダイヤルには、本体に登録されているアドレス帳から9件まで登録できます。

●スピードダイヤルに登録されるのは、デフォルト電話番号（4-10ページ）です。

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ アドレス帳設定

1 「スピードダイヤル」→◉

2 「未登録」→◉→アドレス帳を選択→◉

重　要

● シークレットメモリ（4-3ページ）を「**On**」にしているアドレス帳は選択できません。

補　足

● スピードダイヤルを削除する場合は、削除したいスピードダイヤルを選択し、⊡（削除）を押します。

スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルのリストにアドレス帳を登録すると、待受画面で[1]～[9]のいずれかの番号と[発信]を押すだけで音声電話をかけることができます。

1 待受画面→[1]～[9]→[発信]

電話がかかります。

●[1]～[9]は、スピードダイヤルで登録されている番号です。

アドレス帳設定

アドレス帳の保存先を設定する

アドレス帳を新規登録する場合の保存先を設定できます。

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ アドレス帳設定

1 「アドレス帳保存先」→◉

2 「毎回選択」／「本体」／「USIMカード」／「メモリカード」→◉

●毎回保存先を指定する場合は、「**毎回選択**」を選択します。

スクロール速度を設定する

リスト表示中に(上下キー)を押したときのスクロール速度を設定できます。

メインメニュー▶ アドレス帳 ▶ アドレス帳設定

1 「スクロール速度」→●

2 「速い」／「遅い」→●

アドレス帳の使用を禁止する

メインメニュー▶ アドレス帳 ▶ アドレス帳設定

1 「アドレス帳使用禁止」→●

2 「On」→●

3 操作用暗証番号（1-16ページ）を入力

- アドレス帳を使用したい場合、操作用暗証番号（1-16ページ）を入力することで、一時的にアドレス帳使用禁止が解除されます。

重 要

- アドレス帳使用禁止を「**On**」にしている場合は、スピードダイヤル（4-11ページ）で電話をかけることはできません。

TV コールについて

705TではTVコールを利用できます。TVコールとは、TVコール対応機どうしで、お互いに画像を送信しながら通話できる機能です。

●705Tは3GPPで標準化された3G-324Mに準拠しています。
●TVコールは、3Gサポートエリア内（UMTS圏内）でのみ使用できます。3Gサポートエリア内にいる場合は、画面上に「[3G]」が表示されます。
●705Tではお互いの表情を見ながらの通話には対応しておりません。

TV コール画面の見かた



- [3G]：3Gサポートエリア内（UMTS圏内）表示
- [icon]：TVコール通話中
- [icon]：送話ミュート中
- [icon]：全音声ミュート中
- [icon]：高速モード中
- [icon]：標準モード中
- [icon]：高画質モード中
- [icon]：ハンズフリー中
- [icon]：ハンズフリー（Bluetooth™接続）中
- [icon]：カメラ画像Off中
- [icon]：静止画送信中
- [icon]：音声接続完了表示
- [icon]：映像接続完了表示

TV コールをかける

TVコールをかけると、かけた相手に静止画を送信します。また、静止画の代わりにカメラで撮影している画像を送信することもできます。

1 3Gサポートエリア内（UMTS圏内）にいることを確認する

2 電話番号を入力し[-]（メニュー）→「TVコール」→[●]

TVコールがかかります。

3 通話が終ったら、[終話]を押す

補 足

- TV コール対応機以外に TV コールをかけた場合は、警告画面が表示され音声発信が行えます。3G サポートエリア外にいる相手に TV コールをかけた場合は警告画面が表示されます。
- 通話中に [-]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  保留／**音声ミュート**／**アドレス帳参照**／**画面設定**／**ご自分の番号**（2-9 ページ）

TV コールを受ける

1 TVコールがかかってきたら、[通話キー]を押す

TVコールがつながります。

2 通話が終ったら、[終話キー]を押す

補　足

- 着信中の TV コールを保留にできます（2-3 ページ）。
- 着信中の TV コールを拒否できます（2-5 ページ）。
- エニーキーアンサー（11-14 ページ）を「**On**」にしている場合は [通話キー] の他、[0]～[9]、[*]、[#] のいずれかを押して TV コールを受けることができます。
- オープン通話（11-14 ページ）を「**On**」にしている場合は、705T を開くだけで TV コールを受けることができます。
- かかってきた TV コールに出られなかった場合は、お知らせ一発メニュー（1-9 ページ）が表示されます。
- アドレス帳に登録している相手から TV コールがかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前が表示されます。ただし、シークレットメモリ（4-3 ページ）に設定している相手から電話がかかってきても、シークレットモード（12-5 ページ）が「**Off**」の場合は、電話番号のみが表示されます。
- 着信中に [上下キー] を押して、着信音量を調節できます。
- 通話中に [メニューキー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  保留／**音声ミュート**／**アドレス帳参照**／**画面設定**／**ご自分の番号**（2-9 ページ）

TV コール通話中の操作

受話音量を調節する

1 通話中→[▲]／[▼]→[上下キー]／[▲]／[▼]

ミュートを設定する

1 通話中→[メニューキー]（メニュー）→「音声ミュート」→[●]

2 「送話音声Off」／「全音声Off」→[●]

● 通話中に音声ミュートを解除する場合は、通話中に[メニューキー]（解除）を押します。

補　足

- 通話中に [右キー] を押すたびに、送話音量ミュートとその解除を行えます。

相手の声の出力先を切り替える

相手の声の出力先を、スピーカーまたはレシーバーに切り替えます。

1 通話中→[メニューキー]（[スピーカー]／[レシーバー]）

ズームを利用する

1 通話中→[上下キー]→[上下キー]／[▲]／[▼]

5 TVコール

重 要

- ズーム機能は、送信画像が静止画に設定されている場合、利用できません。
- 音声ミュート（5-5 ページ）を「**送話音声 Off**」、「**全音声 Off**」にしている場合、ズーム機能を利用できません。

表示画面を切り替える

画面に表示される画像の位置や大きさを変更します。

1 通話中→[-]（メニュー）→「画面設定」→●

2 「画面切替」→●

■相手の画像を大きく、自分の画像を小さく表示する
「相手画像大」→●

■相手の画像だけ表示する
「相手画像のみ」→●

■自分の画像を大きく、相手の画像を小さく表示する
「自画像大」→●

■自分の画像だけ表示する
「自画像のみ」→●

送信画像を変更する

1 通話中→[-]（メニュー）→「画面設定」→●

2 「送信画像」→●

■カメラで撮影している画像を送信する
「カメラ画像」→●

■データフォルダから送信する画像を選択する
「データフォルダ」→●→画像を選択→●（3回）
●選択した画像が設定する画像サイズに合わない場合は、画像サイズの調節を行います（6-20ページ）。

■画像を送信しない
「画像Off」→●

補 足

- 通話終了後は送信画像設定（5-4 ページ）で設定した内容に戻ります。
- 通話中に ◐ を押すたびに、「**カメラ画像**」と「**画像Off**」が切り替わります。

送信画像に静止画を設定する

1 通話中→[-]（メニュー）→「画面設定」→●

2 「静止画送信」→●

■データフォルダから設定する
「データフォルダ」→●→ファイルを選択→●（3回）
●選択した画像が設定する画像サイズに合わない場合は、画像サイズの調節を行います（6-20ページ）。

■静止画を表示しない
「停止」→●

受信画質を変更する

あらかじめ設定してある受信画質（右記）を、通話中に変更できます。

1 通話中→⊡(メニュー)→「画面設定」→◉

2 「受信画質」→◉

3 受信画質を選択→◉

TV コール設定

TVコールの発着信方法や表示画像などをあらかじめ設定できます。

送信画像を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ TVコール設定

1 「送信画像」→◉

■カメラで撮影している画像を送信する

「カメラ画像」→◉

■データフォルダの画像を設定する

「データフォルダ」→◉→画像を選択→◉（2回）

■本体にあらかじめ用意されている画像を設定する

「プリセット画像」→◉（2回）

●通話中に送信画像の変更（5-3ページ）ができます。

受信画質を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ TVコール設定

1 「受信画質」→◉

2 受信画質を選択→◉

●通話中に受信画質の変更（左記）ができます。

ズームを設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ TVコール設定

1 「ズーム」→◉

2 「標準(x1)」／「ズーム」／「最大ズーム」→◉

遠隔監視モードを設定する

遠隔監視モードを「**On**」に設定すると、アドレスリストに登録されている電話番号からTVコール着信があった場合、ボタン操作をせずにTVコールを受けるように設定できます。閉じた状態では、通常のTVコール着信になります。

●モード設定(11-1ページ)にかかわらずスピーカーから「ピーピーピー」と音が鳴り、自動的にTVコールがつながります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ TVコール設定

1 「遠隔監視モード」→◉→「モード設定」→◉

2 「On」／「Off」→●

アドレスリストに登録する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ TVコール設定

1 「遠隔監視モード」→●→「アドレスリスト」→●

2 ⊟(追加)→操作用暗証番号(1-16ページ)を入力

■アドレス帳から登録する

「アドレス帳」→●→相手を選択→●→電話番号を選択→●（2回）

■電話番号を直接入力して登録する

「ダイヤル入力」→●→電話番号を入力→●

■通話履歴から登録する

「通話履歴」→●→相手を選択→●（2回）

補足

- すでにアドレスが登録されている場合、「**アドレスリスト**」を選択したあと ⊟（メニュー）を押して以下の操作を行うこともできます。
  詳細／**追加**／**編集**／**削除**

音声ミュートを設定する

TVコール通話中の送話または送受話の音声をミュートに設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定

1 「TVコール設定」→●→「音声ミュート設定」→●

2 ミュートの方法を選択→●

●通話中に音声ミュートの設定（5-2ページ）ができます。

受話音声の出力先を設定する

相手の声の出力先をスピーカー、レシーバーのどちらにするかを設定できます。相手の声をスピーカーから聞くには、「**On**」に設定します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ TVコール設定

1 「ハンズフリー設定」→●

2 「On」／「Off」→●

バックライトを設定する

通話中のバックライトの「**On**」／「**Off**」を設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ TVコール設定

1 「バックライト設定」→●

2 「On」／「Off」→◉

保留画像を設定する

応答保留時や通話中保留時に相手に送信する画像を設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ TVコール設定

1 「保留画像設定」→◉→「応答保留」／「通話中保留」→◉

■**本体にあらかじめ用意されている画像を設定する**

「プリセット画像」→◉（2回）

■**データフォルダの画像を設定する**

「データフォルダ」→◉→画像を選択→◉（2回）

カメラについて

705Tは、デジタルズーム機能に対応した有効画素数130万画素のカメラを搭載しています。705Tでは、静止画や動画を撮影できます。また、QRコード（バーコード）を読取ることもできます（6-11ページ）。

カメラ利用時のご注意

- ●撮影した静止画は「JPEG形式」で、動画は「MPEG-4形式」で保存されます。
- ●手ぶれにご注意ください。705Tが動かないようにしっかり持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影を行ってください。
- ●レンズカバーに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなります。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- ●撮影する場合は、レンズに指やストラップなどがかからないように注意してください。

ディスプレイ表示について

撮影中の画面について

カメラ／ムービー撮影中の画面には、ファインダー画面とプレビュー画面があります。

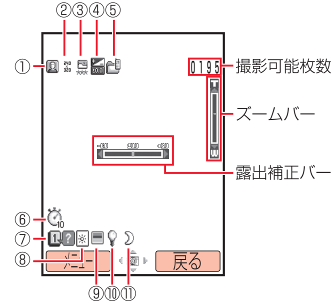
■ファインダー画面

カメラ／ムービーを起動し、撮影するまでの画面です。

■プレビュー画面

撮影後の画面です。

カメラ機能で表示されるアイコン



ファインダー画面

※画面は「**モバイルカメラモード**」（6-5ページ）の場合です。

①**撮影モード／連写**

- ：デジタルカメラモード　：連写（高速）
- ：モバイルカメラモード　：連写（中速）
- ：バーコードリーダー　：連写（低速）

②**画像サイズ**

- ：W1280×H960　：W120×H160
- ：W640×H480　：W112×H112
- ：W240×H320　：W96×H128
- ：W144×H176

③**画質**

- ：ファイン　：エコノミー
- ：ノーマル

④**露出補正**

…… ：－6.0…±0…＋6.0

⑤**保存先**

：本体　　　：メモリカード

⑥**セルフタイマー**

：5秒　　　：20秒

：10秒

⑦**キーガイド表示**

：キーガイド表示

⑧**ホワイトバランス**

：太陽光　　　：蛍光灯（昼白色）

：曇り　　　：白熱灯

：蛍光灯（昼光色）

⑨**色調調整**

：鮮やか　　　：あっさり

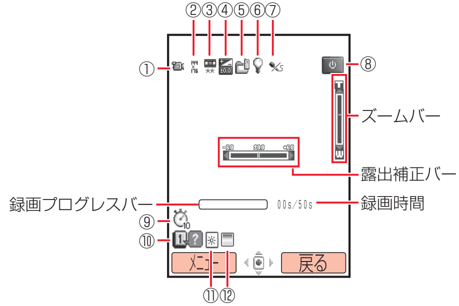
⑩**モバイルライト**

：モバイルライト点灯中

⑪**夜景モード**

：夜景モード設定中

ムービー機能で表示されるアイコン



ファインダー画面

※上記の画面は「**MMSメール**」（6-9ページ）の場合です。

①**ムービー**

：ムービー起動中

②**録画モード**

：ビデオカメラ（W320×H240）

：MMSメール（W176×H144）

：ムービー写メール（W128×H96）

③**画質**

：ファイン　　　：エコノミー

：ノーマル

④**露出補正**

…　…　：−6.0…±0…+6.0

⑤**保存先**

：本体　　　：メモリカード

⑥**モバイルライト**

：モバイルライト点灯中

⑦**音声録音**

：音声録音Off設定中

⑧**状態表示**

：スタンバイ中
：録画中
：再生中
：一時停止中
：停止中
：早送り
：巻き戻し
：コマ送り
：コマ戻し

⑨**セルフタイマー**

：5秒
：10秒
：20秒

⑩**キーガイド表示**

：キーガイド表示

⑪**ホワイトバランス**

：太陽光
：曇り
：蛍光灯（昼光色）
：蛍光灯（昼白色）
：白熱灯

⑫**色調調整**

：鮮やか
：あっさり

ファインダー画面でのカメラ、ビデオの共通操作

ズームを調節する

を押すとズームを調節できます。
各撮影モードおよび録画モードの倍率については6-5、6-9ページを参照してください。

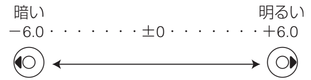


重　要

- セルフタイマー（6-15ページ）起動中は、ズームを利用できません。
- 倍率を上げるほど画質は粗くなります。

露出を補正する

を押すと、明るさを調節できます。



補　足

- 蛍光灯の下など、撮影環境によっては画像に縞模様が出る場合がありますが、明るさを調節することにより軽減させることができます。

モバイルライトを利用する

［*］を押すと、モバイルライトの点灯／消灯が切り替わります。モバイルライトを点灯すると、ファインダー画面に「💡」が表示されます。

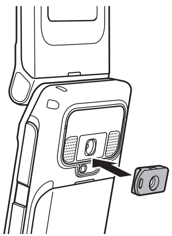
キーガイド表示を利用する

［1］を押すと、ファインダー画面表示中のボタン操作方法が表示されます。キーガイド表示を終了させる場合は、［-］（戻る）を押します。

その他の共通操作

マクロレンズを利用する

QRコード（6-11ページ）を読取る場合は、マクロレンズを取り付けてください。カバーを取り外してから、カメラのレンズ部分に近づけると磁石の作用により装着されます。
取り外すときは、軽く引き離すようにしてください。



テレビ表示機能について

ファインダー画面やプレビュー画面、撮影した静止画や動画をテレビに出力できます（13-16ページ）。

メモリの使用率を確認する

本体のデータフォルダとメモリカードの使用率を確認できます。

メインメニュー ▶ カメラ

1 「メモリ容量確認」→◉

静止画について

フレームやセルフタイマー、シャッター音、画像効果の設定などができ、撮影した静止画は「JPEG形式」（パソコンで主流の保存形式）で本体のデータフォルダ（9章）やメモリカード（8章）に保存されます。また、撮影した静止画を編集したり、顔写真（6-6ページ）を撮影してアドレス帳に登録できます。

静止画撮影モードについて

静止画の撮影モードには、「**デジタルカメラモード**」、「**モバイルカメラモード**」、「**バーコードリーダー**」があります。

■デジタルカメラモード

パソコンなどの外部接続機器へ表示をする場合の高画質な静止画を撮影します。

■モバイルカメラモード

壁紙設定などで利用する場合の静止画を撮影します。

■バーコードリーダー

QRコードを読取る場合のモードです。

撮影モード	画像サイズ	最大ズーム
デジタルカメラモード	W1280×H960	－
	W640×H480	約2倍
モバイルカメラモード	W240×H320	約2倍
	W144×H176	約3.3倍
	W120×H160	約4倍
	W112×H112	約4倍
	W96×H128	約5倍
バーコードリーダー	－	－

静止画を撮影する

「**モバイルカメラモード**」（左記）で撮影した静止画は、データフォルダ（9-1ページ）の「**ピクチャー**」フォルダに自動的に保存されます。「**デジタルカメラモード**」（左記）で撮影した静止画は、「**ピクチャー**」フォルダ内の「**デジタルカメラ**」フォルダに自動的に保存されます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ カメラ起動

1 メインディスプレイに被写体を表示→◉／▯

シャッター音が鳴り自動保存後プレビュー画面が表示されます。

重　要

- 暗い場所では光量が不足するため、画質が落ちて白い点が見えることがあります。明るい場所で撮影するか、モバイルライトを使用することをおすすめします。

補 足

- 待受画面で[カメラキー]を押してもファインダー画面が表示されます。
- ファインダー画面を表示中に無操作の状態で約1分30秒経過すると待受画面に戻ります。
- ファインダー画面を表示中に[-](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。撮影モードによっては表示されない項目もあります。
  撮影／**撮影モード**／**データフォルダ参照**／**夜景モード**／**連写**／**フレーム**／**保存先設定**／**その他の機能**
- 撮影したあと、[-](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。撮影モードによっては表示されない項目もあります。
  送信／**削除**／**フルスクリーン表示**／**顔写真設定**／**画像編集**
- 自動保存先は変更できます(6-15ページ)。また、「**モバイルカメラモード**」(6-5ページ)で撮影した静止画は、フォルダを変更することもできます。

撮影した静止画を削除する

プレビュー画面に表示されている静止画を削除できます。

1 **プレビュー画面→[-](メニュー)→「削除」→[●]→[-](Yes)**

撮影した静止画を顔写真に設定する

撮影した静止画をアドレス帳の顔写真（4-2ページ）に設定できます。カメラを起動して顔写真に設定する場合は、撮影モード(6-5ページ)を「**モバイルカメラモード**」に、画像サイズ(6-5ページ)を「**W112×H112**」にあらかじめ設定してください。

1 **プレビュー画面→[-](メニュー)→「顔写真設定」→[●]**

■顔写真付きのアドレス帳を新規作成する

「新規作成」→[●]→アドレス帳を作成

■アドレス帳に顔写真を追加登録する

「追加登録」→[●]→アドレス帳を選択→[●]→アドレス帳を編集

- 「**追加登録**」を選択し、すでに顔写真が登録されているアドレス帳を選択した場合は[●]を押して顔写真を変更できます。
- アドレス帳の登録方法については4-2ページを参照してください。

静止画撮影で利用できる機能

撮影モードを設定する

撮影モードを設定すると、ファインダー画面に「[icon]」（デジタルカメラモード）、「[icon]」（モバイルカメラモード）または「[icon]」（バーコードリーダー）が表示されます。

1 ファインダー画面→[-]（メニュー）→「撮影モード」→●

■**高画質な静止画を撮影する**
「デジタルカメラモード」→●

■**壁紙設定などで利用する場合の静止画を撮影する**
「モバイルカメラモード」→●

■**QRコードを読取る**
「バーコードリーダー」→●

補　足

- 「**デジタルカメラモード**」や「**モバイルカメラモード**」の画像サイズを変更する場合は、6-13ページを参照してください。

夜景モードを設定する

夜景モードを設定すると、ファインダー画面に「[icon]」が表示されます。

1 ファインダー画面→[-]（メニュー）→「夜景モード」→●

2 「On」／「Off」→●

重　要

- 夜景モードを「**On**」にしている場合は、「高速」での連写（下記）は利用できません。
- 夜景モードを「**On**」にしている場合は、ホワイトバランス（6-16ページ）、色調調整（6-16ページ）は利用できません。

補　足

- 夜景モードの設定は、カメラ終了時に「**Off**」に戻ります。

連写を利用する

9枚の静止画を連続撮影できます。連写を設定すると、ファインダー画面に「[icon]」（高速）、「[icon]」（中速）または「[icon]」（低速）が表示されます。

1 ファインダー画面→[-]（メニュー）→「連写」→●

2 連写速度を選択→●

重　要

- 撮影モード（6-5ページ）を「**デジタルカメラモード**」にしている場合は、連写を利用できません。
- 夜景モード（左記）を「**On**」にしている場合は、「高速」での連写は利用できません。

補　足

- 連写は約2秒（高速）、約3秒（中速）、約4秒（低速）の間に9枚撮影します。
- プレビュー画面を表示中に[-]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  表示／削除
- 連写の設定は、カメラ終了時や撮影モード切り替え時に「**Off**」に戻ります。

フレームを設定する

静止画を撮影する前に、フレームを設定して撮影することができます。本体にあらかじめ用意されているフレームは7種類（W240×H320、W144×H176、W120×H160）と3種類（W112×H112）です。また、データフォルダからも選択できます。

1 ファインダー画面→[-]（メニュー）→「フレーム」→●

■本体にあらかじめ用意されているフレームを設定する
「プリセットフレーム」→●→フレームを選択→●

■ダウンロードフレームを設定する
「ダウンロードフレーム」→●→「ピクチャー」→●→フレームを選択→●

■フレームを解除する
「Off」→●

重　要

- 撮影モード（6-5ページ）を「**デジタルカメラモード**」にしている場合や、画像サイズ（6-5ページ）を「**W96×H128**」にしている場合は、フレームを設定できません。

補　足

- フレーム確認画面で、[*]または[#]や◀または▶を押すとフレームを切り替えることができます。
- フレームの設定は、カメラ終了時や撮影モード切り替え時に「**Off**」に戻ります。

動画について

撮影した動画は「MPEG-4形式」（携帯電話で主流の保存形式）で本体（データフォルダ）やメモリカードに保存されます。

- 「**ビデオカメラ**」録画モードで撮影したMPEG-4形式のファイル（.3G2）、またはデータフォルダに保存されているMPEG-4形式のファイル（.3G2）は、メールに添付したり、Bluetooth™通信を利用して送信できません。また、着信音パターンやアラーム音としても登録できません。
- 「**MMSメール**」録画モードでは動画の圧縮形式に「**MPEG-4**」または「**H.263**」が選択できます。「**MPEG-4**」は国内のボーダフォン携帯電話で広く使われている圧縮形式です。「**H.263**」は海外のボーダフォン携帯電話などで使われています。動画の送信先でファイルを開けない場合、圧縮形式を変更してもう一度撮影してください。

動画録画モードについて

動画の録画モードには、「**ビデオカメラ**」、「**MMSメール**」、「**ムービー写メール**」があります。

■ビデオカメラ
長時間（最大20分）録画します。

■MMSメール
メール添付用の動画を録画します。

■ムービー写メール
ボーダフォン携帯電話（PDC）のMPEG-4対応機に、メールに添付して送信するための動画を録画します。

録画モード	録画サイズ	最大ズーム
ビデオカメラ	H240×W320	約2倍
MMSメール	H144×W176	約2倍
ムービー写メール	H96×W128	約3.3倍

動画を撮影する

撮影した動画は、「**本体**」の「**ムービー**」フォルダに自動的に保存されます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ ムービー起動

1 メインディスプレイに被写体を表示→●／▯

開始音が鳴り、録画が開始されます。

●録画モード（6-9ページ）を「**ビデオカメラ**」にしている場合は、▯を押すと録画が一時停止します。●を押すと録画が再開します。

2 ●／▯

終了音が鳴り、自動保存後、プレビュー画面に撮影したはじめの画像が表示されます。

補　足

- 待受画面で▯を長く（約1秒以上）押してもファインダー画面が表示されます。
- 録画中に表示される録画時間は目安です。
- ファインダー画面を表示中に無操作の状態で約1分30秒経過すると待受画面に戻ります。
- ファインダー画面を表示中に▯（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  録画開始／録画モード切替／データフォルダ参照／コントローラー非表示／音声録音／保存先設定／その他の機能
- 撮影後のプレビュー画面で▯（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  送信／削除／再生／フルスクリーン表示／コントローラー非表示／アドレス帳登録
- 「**ビデオカメラ**」（左記）で録画した動画の場合は、プレビュー画面で早送り／巻き戻し、コマ送り／コマ戻しの操作ができます。
  早送り／巻き戻し　：再生中に◎（約1秒以上）
  コマ送り／コマ戻し：▯（一時停止）→◎
- 録画の一時停止中は、録画終了（保存）、録画中止の操作もできます。
  録画終了（保存）：▯
  録画中止：▯
- 自動保存先は変更できます（6-15ページ）。フォルダを変更することもできます。

撮影した動画を削除する

プレビュー画面に表示されている動画を削除できます。

1 **プレビュー画面→⊟(メニュー)→「削除」→◉→⊟(Yes)**

撮影した動画を着信音パターンに設定する

「**MMSメール**」、「**ムービー写メール**」で撮影した動画をアドレス帳の音声着信の着信音パターン(4-3ページ)に設定できます。

1 **プレビュー画面→⊟(メニュー)→「アドレス帳登録」→◉**

■着信音パターンを設定したアドレス帳を新規作成する

「新規作成」→◉→アドレス帳を作成

■アドレス帳に着信音パターンを追加登録する

「追加登録」→◉→アドレス帳を選択→◉→アドレス帳を編集

- 「**追加登録**」を選択し、すでに着信音パターンが登録されているアドレス帳を選択した場合は◉を押して着信音パターンを変更できます。
- アドレス帳の登録方法については4-2ページを参照してください。

動画撮影で利用できる機能

録画モードを設定する

録画モードを設定すると、ファインダー画面に「 」(ビデオカメラ)、「 」(MMSメール)または「 」(ムービー写メール)が表示されます。

1 **ファインダー画面→⊟(メニュー)→「録画モード切替」→◉**

■長時間(最大20分)録画する

「ビデオカメラ」→◉

■メール添付用の動画を録画する

「MMSメール」→◉

■MPEG-4対応のボーダフォン携帯電話用の動画を撮影する

「ムービー写メール」→◉

音声なしで録画する

音声のない動画を撮影できます。音声録音を「**Off**」にすると、ファインダー画面に「 」が表示されます。

1 **ファインダー画面→⊟(メニュー)→「音声録音」→◉**

2 **「Off」→◉**

補　足

- 音声録音の設定は、ムービー終了時や撮影終了時に「**On**」へ戻ります。

動画の圧縮方法を設定する

「**MMSメール**」で撮影する動画の圧縮方法を設定できます。

1 **ファインダー画面→▭(メニュー)→「その他の機能」→◉→「エンコード形式」→◉**

2 「MPEG4(日本)」/「H.263(海外)」→◉

補　足

- エンコード形式の設定は、ムービー終了時や録画モード切り替え時に「**MPEG4(日本)**」に戻ります。

QRコードについて

カメラでQRコードを読取り、QRコードデータとして保存できます。保存できるのは最大10件です。ただし、データ容量が大きい場合は、保存できる件数が少なくなることがあります。また、読取った情報から、URLへの接続、メールの送信、アドレス帳の登録などを行うこともできます。

重　要

- QRコードが汚れていたり影がかかっていたりすると読取れないことがあります。
- QRコードのサイズやバージョンによっては、情報を読取れないことがあります。

補　足

- 読取ったQRコードが分割データの場合は、連続して読取ることができます(最大16分割)。保存する場合は、1件のQRコードデータとして保存されます。

QRコードを読取る

QRコードを読取る場合は、マクロレンズを取り付けます(6-4ページ)。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ バーコードリーダー

1 **QRコードをメインディスプレイのガイドにあわせる→◉**

- ◈で露出補正を行うことができます。
- 読取ったQRコードが分割データの場合は、▭(Yes)を押し、読取りを繰り返してください。すべて読取るとQRコードデータが表示されます。

2 **▭(メニュー)→「保存」→◉**

補　足

- QRコード読取り画面で▭(メニュー)を押したあと、以下の操作を行うこともできます。
  読取り/**読取りデータ確認**/**露出補正**/**カメラモード切替**
- 読取ったあと▭(メニュー)を押して、以下の操作を行うこともできます。
  選択/**保存**/**コピー**/**メールへ挿入-SMS**/**メールへ挿入-MMS**

補　足

- 読取ったデータによっては、●を押して、以下の操作を行うことができます。

データ	できる操作
MAILTO：から始まる	メール送信-SMS（16-7ページ）、メール送信-MMS（16-4ページ）
MEMORY：から始まる	アドレス帳登録（4-2ページ）
URLを含む	URLへの接続と表示
Media Player URLを含む	URLへの接続と表示
メールアドレスを含む	メール送信-MMS、アドレス帳登録
TEL：から始まる	発信、メール送信-SMS、メール送信-MMS、アドレス帳登録
画像データ※を含む	表示、保存、プロパティ
サウンドデータ※を含む	再生、保存、プロパティ

※ 画像データはJPEGまたはPNGファイル、サウンドデータはSMAFファイルに対応しています。

保存したデータを確認する

メインメニュー ▶ カメラ ▶ バーコードリーダー

1 ⊡(メニュー)→「読取りデータ確認」→●

2 QRコードデータを選択→●

補　足

- QRコードデータを選択中に⊡(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  選択／**名称変更**／**一件削除**／**全件削除**

6

カメラ

静止画／動画の設定

静止画の設定

静止画の画質を設定する

撮影した画像を保存するときの画質を設定できます（保存形式はJPEG形式です）。高画質であるほど圧縮率が低くファイルサイズが大きくなります。画質を設定すると、ファインダー画面に「■」（ファイン）、「■」（ノーマル）または「■」（エコノミー）が表示されます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定 ▶ カメラ設定

1 「撮影設定」→◉→「画質」→◉

2 画質を選択→◉

静止画の画像サイズを設定する

画像サイズはファインダー画面にアイコン（6-1ページ）で表示されます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定 ▶ カメラ設定

1 「撮影設定」→◉→「画像サイズ」→◉

2 カメラモードを選択→◉

3 画像サイズを選択→◉

●画像サイズについては6-5ページを参照してください。

静止画に日付を入れる

静止画撮影時に撮影した日付を入れることができます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定 ▶ カメラ設定

1 「撮影設定」→◉→「日付スタンプ」→◉

2 「On」→◉

3 文字色を選択→◉

重　要

● 撮影モード（6-5ページ）を「**デジタルカメラモード**」にしている場合や、画像サイズ（6-5ページ）を「**W112×H112**」にしている場合は、日付スタンプを入れることはできません。

静止画の撮影ガイドラインを設定する

ファインダー画面に縦横の撮影ガイドラインを表示します。静止画撮影時の垂直・水平の目安として利用できます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定 ▶ カメラ設定

1 「グリッド線」→◉

2 「On」／「Off」→◉

静止画撮影時のシャッター音を設定する

2種類から選択できます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定 ▶ カメラ設定

1 「シャッター音」→◉

2 「パターン1」／「パターン2」→◉

補　足

- モード設定(11-1ページ)にかかわらず、シャッター音が鳴ります。
- シャッター音を確認する場合は、確認したいシャッター音を選択中に、(メニュー)→「**再生**」を選択します。

動画の設定

動画の画質を設定する

撮影した動画を保存するときの画質を設定できます（保存形式はMPEG形式またはH.263形式です）。高画質であるほど圧縮率が低く、ファイルサイズが大きくなります。画質を設定すると、ファインダー画面に「」（ファイン）、「」（ノーマル）または「」（エコノミー）が表示されます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定 ▶ ムービー設定

1 「撮影設定」→◉→「画質」→◉

2 画質を選択→◉

補　足

- 画質の設定にかかわらず、録画モード(6-9ページ)を「**ムービー写メール**」にしている場合は、「**エコノミー**」で撮影されます。
- 画質によって録画できる時間が異なります。

動画のコントローラー表示を設定する

動画撮影時や再生時のアイコン表示／非表示を設定できます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定 ▶ ムービー設定

1 「スクリーン設定」→◉→「コントローラー表示」→◉

2 「On」／「Off」→◉

補　足

- ファインダー画面やプレビュー画面表示中に、(メニュー)→「**コントローラー表示**」／「**コントローラー非表示**」を選択しても、コントローラー表示を設定できます。

動画の撮影開始／終了音を設定する

2種類から選択できます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定 ▶ ムービー設定

1 「開始／終了音」→◉

2 「パターン1」／「パターン2」→◉

補　足

- モード設定(11-1ページ)にかかわらず、開始／終了音が鳴ります。
- 開始／終了音を確認する場合は、確認したい開始／終了音を選択中に、[-](メニュー)→「**再生**」を選択します。

動画のフルスクリーン表示を設定する

ファインダー画面表示中、動画（ビデオカメラを除く）を画面の幅に合わせたサイズで表示します。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定 ▶ ムービー設定

1 「スクリーン設定」→◉→「フルスクリーン表示」→◉

2 「ノーマル」／「フルスクリーン」→◉

補　足

- プレビュー画面表示中にフルスクリーン表示を設定する場合は、プレビュー画面表示→[-](メニュー)→「**フルスクリーン表示**」／「**ノーマルスクリーン表示**」を選択します。

静止画／動画の共通設定

保存先を変更する

撮影した静止画や動画が自動的に保存される保存先を変更できます。保存先を設定すると、ファインダー画面に「[本体アイコン]」（本体）または「[メモリカードアイコン]」（メモリカード）が表示されます。

1 ファインダー画面→[-](メニュー)→「保存先設定」→◉

2 「本体」／「メモリカード」→◉→フォルダを選択→◉

補　足

- 「**デジタルカメラモード**」(6-5ページ)で撮影した場合の保存先は、「**本体**」または「**メモリカード**」の「**ピクチャー**」フォルダ内の「**デジタルカメラ**」フォルダとなります。

セルフタイマーを設定する

セルフタイマーを設定すると、◉／[シャッターキー]を押してから設定時間が経過したあとに撮影されます。セルフタイマーを設定すると、ファインダー画面に「[20秒アイコン]」（20秒）、「[10秒アイコン]」（10秒）または「[5秒アイコン]」（5秒）が表示されます。

1 ファインダー画面→[-](メニュー)→「その他の機能」→◉

2 「セルフタイマー」→◉

6 カメラ

3 秒数を選択→◉

重　要

- セルフタイマー起動中は、ズーム(6-3ページ)を利用できません。

補　足

- セルフタイマー起動中に◉、または(撮影)を押すと、撮影します。
- セルフタイマー起動中に(キャンセル)またはを押すと撮影を中止します。
- セルフタイマーの設定は、撮影終了後に「**Off**」に戻ります。

ホワイトバランスを設定する

撮影時の状況によって、画像の色合いが実際の色合いと異なる場合があります。その場合は、実際の色合いに近づくようにホワイトバランスを設定します。ホワイトバランスを設定すると、ファインダー画面に「」（太陽光）、「」（曇り）、「」（蛍光灯（昼光色））、「」（蛍光灯（昼白色））または「」（白熱灯）が表示されます。

1 **ファインダー画面→(メニュー)→「その他の機能」→◉**

2 **「ホワイトバランス」→◉**

3 **項目を選択→◉**

重　要

- 静止画撮影でホワイトバランスを「**オート**」以外に設定している場合は、夜景モード(6-7ページ)は利用できません。

補　足

- ホワイトバランスの設定は、カメラ／ムービー終了時に「**オート**」に戻ります。

色調を調整する

色調を設定すると、ファインダー画面に「」（鮮やか）または「」（あっさり）が表示されます。

1 **ファインダー画面→(メニュー)→「その他の機能」→◉**

2 **「色調調整」→◉**

3 **色調を選択→◉**

重　要

- 静止画撮影で色調調整を「**鮮やか**」／「**あっさり**」にしている場合は、夜景モード(6-7ページ)は利用できません。
- 画像効果を「**セピア**」／「**白黒**」にしている場合は、色調調整は利用できません。

補　足

- 色調調整は、カメラ／ムービー終了時に「**標準**」に戻ります。

画像効果を設定する

セピアや白黒で撮影できます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定

1 「カメラ設定」／「ムービー設定」→◉→「撮影設定」→◉→「画像効果」→◉

2 画像効果を選択→◉

重 要

● 画像効果を「**セピア**」／「**白黒**」にしている場合は、色調調整は利用できません。

プレビューを設定する

撮影したあとのプレビュー画面表示の表示／非表示を設定できます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定

1 「カメラ設定」／「ムービー設定」→◉→「撮影設定」→◉→「プレビュー設定」→◉

2 「On」／「Off」→◉

ファイル名を設定する

デジタルカメラモード以外で撮影した場合のファイル名を、撮影日時か「**任意のファイル名nnn**」から選択できます。nnnは001～999の連続した番号です。デジタルカメラモードで撮影した場合は「**DCF_nnnn**」で、nnnnは0001～9999の連続した番号です。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定

1 「カメラ設定」／「ムービー設定」→◉→「ファイル名設定」→◉

■日時を利用したファイル名にする

「日時」→◉

■任意のファイル名にする

「ユーザ指定」→◉→ファイル名を入力→◉

テンキーショートカットを設定する

撮影時に利用できるショートカットから各機能設定を行うかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ カメラ ▶ 設定

1 「カメラ設定」／「ムービー設定」→◉→「テンキーショートカット」→◉

2 「On」／「Off」→◉

補　足

- 静止画･動画撮影時に割り当てられているショートカットは以下の通りです。

ボタン	静止画撮影	動画撮影
1※	キーガイド表示	
2	撮影モード	録画モード切替
3	セルフタイマー	
4	画像効果	
5	画質	
6	ホワイトバランス	
7	―	音声録音
8	夜景モード	フルスクリーン表示
9	画像サイズ	―
0	色調調整	
*※	モバイルライト	

※ テンキーショートカットを「**Off**」にしていても、使用できます。

撮影した静止画／動画の確認

705Tのデータフォルダやメモリカードに保存した静止画や動画を確認する場合は、ファインダー画面から確認する方法とデータフォルダから確認する方法があります。

撮影した静止画を確認する

カメラ起動中にデータフォルダ内の静止画を確認できます。

1 **カメラのファインダー画面→⊡(メニュー)→「データフォルダ参照」→◉**

2 **静止画を選択→◉**

- ⊡を押すとフルスクリーン表示できます。

補　足

- メモリカードに保存されている静止画を確認する場合は、「**ピクチャー**」フォルダを表示中に、⊡(メニュー)→「**メモリカード**」を選択します。
- 静止画表示中に、⊡(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  送信／**ズーム**※／**フルスクリーン表示**／**壁紙設定**(11-7ページ)／**プロパティ**／**画像編集**※／**サムネイル保存**※
  ※ 撮影モードによっては選択できない場合があります。

6
カメラ

撮影した動画を確認する

ムービー起動中にデータフォルダ内の動画を確認できます。

1 **ムービーのファインダー画面→[-](メニュー)→「データフォルダ参照」→◉**

2 **動画を選択→◉**

● [1]を押すと、キーガイドを表示できます。

補　足

- メモリカードに保存されている動画を確認する場合は、「**ムービー**」フォルダを表示中に、[-](メニュー)→「**メモリカード**」を選択します。
- 動画再生中に、[-](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  再生／**フルスクリーン表示**／**ノーマルスクリーン表示**／**送信**※1／**着信音設定**※1／**ミュート**／**ミュート解除**／**コントローラー非表示**※2／**コントローラー表示**※2／**プロパティ**
  ※1 撮影モードによっては選択できない場合があります。
  ※2 フルスクリーン表示時のみ選択できます。
- 再生中に◎で音量を調節できます。ただし、音量を調節するとミュートは自動的に解除されます。

撮影した静止画／動画を送信する

プレビュー設定（6-17ページ）を「**On**」にしている場合、撮影した直後に送信できます。

重　要

- 「**ビデオカメラ**」で撮影した動画は送信できません。

メールで送信する

1 **プレビュー画面→[-](メニュー)→「送信」→◉**

■静止画を送信する場合

「メール送信-MMS」→◉→添付方法を選択→◉

■動画を送信する場合

「メール送信-MMS」→◉

●MMSの作成については16-4ページを参照してください。

補　足

- 「**デジタルカメラモード**」で撮影した静止画を送信する場合
  300Kバイト以上:「**メール送信-MMS**」を選択すると画像サイズやファイルサイズが自動的に縮小･圧縮されます。
  300Kバイト以下:「**メール送信-MMS**」を選択すると撮影した静止画が添付されたMMS作成画面が表示されます。
- 「**メール送信-MMS**」で静止画を添付して送信する場合
  実画像添付　　　:圧縮しないで、添付します。
  30Kbyteで添付:約30Kバイトに圧縮して、添付します。
  6Kbyteで添付　:約6Kバイトに圧縮して、添付します。

6 カメラ

Bluetooth™通信で送信する

1 プレビュー画面→⊡(メニュー)→「送信」→◉

2 「Bluetooth送信」→◉

- Bluetooth™送信については10-3ページを参照してください。

撮影した静止画を編集する

プレビュー画面の静止画やデータフォルダ、メモリカードに保存されている静止画を画像編集できます。編集可能なファイルは、100Kバイト以下で、画像サイズがW240×H320（W320×H240）以下のJPEGファイル、PNGファイルです。また、「**デジタルカメラモード**」（6-5ページ）で撮影した静止画はサムネイルの保存のみ行うことができます。

- 「**上書き保存**」を行ったファイルは元のファイルに戻すことはできません。元のファイルを残しておきたい場合は、「**新規保存**」を選択してください。
- データフォルダが一杯の場合は、画像編集できません。あらかじめデータフォルダの不要なファイルを削除してください。
- カメラのファインダー画面→⊡（メニュー）→「**データフォルダ参照**」を選択して静止画を表示させた場合は、画像編集できません。

画像サイズを変更する

画像のサイズを「**W240×H320**」、「**W144×H176**」、「**W120×H160**」、「**W112×H112**」、「**W96×H128**」、「**ユーザ指定**」に変更できます。

1 静止画を表示中→⊡(メニュー)→「画像編集」→◉→「画像サイズ変更」→◉→画像サイズを選択→◉

- 画像サイズを選択したあと✣で切り取る画像の位置を調節できます。

2 ⊡(メニュー)

■画像を切り取る

「切り取り」→◉（3回）→「上書き保存」／「新規保存」→◉

■横または縦に合わせる

「横に合わせる」／「縦に合わせる」→◉（4回）→「上書き保存」／「新規保存」→◉

補足

- 画像サイズに「**ユーザ指定**」を選択した場合は、画像サイズ（W16～240×H16～320）を入力します。
- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、◉を押します。

フレームを付ける

本体にあらかじめ用意されているフレームは7種類（W240×H320、W144×H176、W120×H160）と3種類（W112×H112）です。また、データフォルダからも選択できます。

1 静止画を表示中→[-](メニュー)→「画像編集」→●→「フレーム合成」→●

■本体にあらかじめ用意されているフレームを付ける

「プリセットフレーム」→●→フレームサイズの選択→●→フレームを選択→●（3回）→「上書き保存」／「新規保存」→●

■ダウンロードフレームを付ける

「ダウンロードフレーム」→●→「ピクチャー」→●→フレームを選択→●（3回）→「上書き保存」／「新規保存」→●

補足

- フレームを選択したあと[*]または[#]を押すと、フレームを切り替えることができます。
- フレームサイズが画像サイズより小さい場合は、[◎]でフレームの位置を調節できます。
- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、●を押します。

スタンプを貼り付ける

本体にあらかじめ用意されているスタンプは10種類です。また、データフォルダからも選択できます。

1 静止画を表示中→[-](メニュー)→「画像編集」→●→「スタンプ貼り付け」→●

■本体にあらかじめ用意されているスタンプを貼り付ける

「プリセットスタンプ」→●→スタンプを選択→●(4回)→「上書き保存」／「新規保存」→●

■ダウンロードスタンプを貼り付ける

「ダウンロードスタンプ」→●→「ピクチャー」→●→スタンプを選択→●（4回）→「上書き保存」／「新規保存」→●

重要

- スタンプサイズが画像サイズより大きい場合は、スタンプを貼り付けることができません。

補足

- [◎]でスタンプの位置を調節できます。
- 一度貼り付けたスタンプを取り消す場合は、スタンプを貼り付けたあと[-](メニュー)→「**全て元に戻す**」を選択します。
- 同じスタンプを連続して貼り付ける場合は、[-](メニュー)→「**繰り返し**」を選択します。
- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、●を押します。

文字を貼り付ける

画像に3種類の文字サイズ、9種類の文字色から選択して文字を貼り付けることができます。

1 静止画を表示中→□(メニュー)→「画像編集」→◉→「テキスト貼り付け」→◉

2 文字の大きさを選択→ ◉→文字色を選択→◉→文字の入力→◉(3回)

3 「上書き保存」/「新規保存」→◉

補　足

- ◈で貼り付ける文字の位置を調節できます。
- 入力可能文字数は大フォントで最大9文字、標準フォントで最大12文字、小フォントで最大20文字です。
- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、◉を押します。

画像を回転させる

1 静止画を表示中→□(メニュー)→「画像編集」→◉→「回転」→◉

2 回転角度を選択→◉(3回)

3 「上書き保存」/「新規保存」→◉

補　足

- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、◉を押します。

サムネイル保存をする

「**デジタルカメラモード**」(6-5ページ)で撮影した静止画をメールに添付できるように小さなデータにして保存します。

1 静止画を表示中→□(メニュー)→「サムネイル保存」→◉

補　足

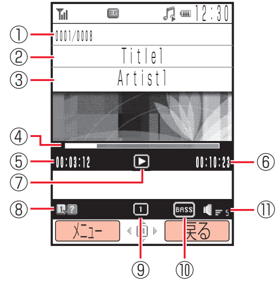
- 静止画によっては、メールに添付できる静止画として保存できない場合があります。

メディアプレイヤーについて

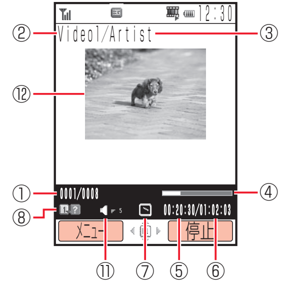
メディアプレイヤーでは、本体やメモリカードに保存されている音楽ファイルやムービーファイルを再生したり、ストリーミングができます。また、音楽ファイルを再生しながらメールを作成したりもできます。
メディアプレイヤーで再生できるファイル形式は、3GPP、3GPP2、MP3、MP4ファイルです。ただし、ファイルによっては、再生できない場合があります。詳しくは、CD-ROM内のBeat Engineご利用ガイドをご覧ください。

- ●ストリーミング中は、MMSを自動受信（16-17ページ）できません。
- ●音楽ファイル（MP3）は、音楽転送ソフトウェアを使ってパソコンから転送した場合のみ、705Tで再生できます。また、転送された音楽ファイルは暗号化されています。音楽ファイルの転送方法については、10-7ページを参照してください。
- ●バックグラウンド再生中（7-8ページ）に使用する機能によっては、バックグラウンド再生が一時停止または停止することがあります。例えば、Vアプリを起動すると、バックグラウンド再生が一時停止します。本体を閉じるとVアプリが一時停止し、ミュージックプレイヤーが起動したあと、自動的に再生されます。

ディスプレイ表示について



音楽ファイル再生画面



ムービーファイル再生画面

①ファイル番号／総ファイル数
②タイトル／ファイル名
③アーティスト名
④プログレスバー
⑤再生経過時間
⑥総再生時間
⑦再生状態

再生	早送り	コマ戻し
一時停止	巻き戻し	バッファリング中
スロー再生	コマ送り	停止

⑧ガイド表示
⑨プレイモード

全曲再生	リピート	全曲リピート
ランダム	1曲再生	

⑩低音強調（BASS）
⑪再生音量
⑫ムービー

メディアファイルを再生する

1 待受画面→[キー]→[キー]で♫タブ／[アイコン]タブを選択する

■Beat Engine Box
音楽転送ソフトウェア（Beat Engine）によりパソコンから転送された音楽ファイルをアーティスト別、アルバム別または全曲表示します。

■サウンド
データフォルダの「**メロディ&ミュージック**」フォルダの内容を表示します。

■ムービー
データフォルダの「**ムービー**」フォルダの内容を表示します。

2 ファイルを選択→[キー]

●メディアプレイヤーを終了する場合は、[キー]を押します。

補　足

- メディアプレイヤーで音楽ファイルを再生中に705Tを閉じると、サブディスプレイにミュージックプレイヤーが表示されます。
- マナーモード／ミーティングモード設定中(11-1ページ)は、確認画面が表示されます。マナーモード／ミーティングモードを一時解除する場合は、[キー](Yes)を押します。一時解除しない場合は、[キー](No)を押します。ただし、イヤホン接続時は表示されません。
- 再生中、[キー]／[キー]／[キー]で音量調節できます。音量調節をするとミュートは解除されます。
- 待受画面で[キー]を長く(約1秒以上)押すと、前回再生した音楽ファイルを再生します。

補　足

- 音楽ファイルをバックグラウンドで再生中に待受画面で[キー]を押すと、バックグラウンド再生を終了できます。
- ファイル選択中に[キー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うこともできます（表示される項目はファイルの種類によって異なります）。
  再生／**プレイリストへ追加**／**複数選択**／**削除**／**送信**／**リスト表示**／**サムネイル表示**／**プロパティ**／**メニューに戻る**
- ファイル再生／一時停止中に[キー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うこともできます（表示される項目はファイルの種類によって異なります）。
  一時停止／**再生**／**プレイリストへ追加**／**プレイモード**／**送信**／**BASSオン**／**BASSオフ**／**バックグラウンド再生**／**ノーマルスクリーン表示**／**フルスクリーン表示**／**ミュート**／**ミュート解除**／**コントローラー表示**／**コントローラー非表示**／**プロパティ**／**メニューに戻る**

再生中／一時停止中の操作について

機能	一時停止中の操作（停止中を含む）	再生中の操作
ファイルの先頭に戻る・前のファイルを再生	* ／ ◀を押す	* ／ ◀を押す
次のファイルを再生	# ／ ▶を押す	# ／ ▶を押す
早送り	▶を押し続ける（音楽ファイルのみ）	▶を押し続ける
巻き戻し	◀を押し続ける（音楽ファイルのみ）	◀を押し続ける
コマ戻し（ムービーファイルのみ）	◀を押す	―
コマ送り（ムービーファイルのみ）	▶を押す	―
スロー再生（ムービーファイルのみ）	▶を押し続ける	―
音量を調節	▲▼を押す	▲▼を押す
キーガイド表示	1を押す	1を押す

補　足

- ファイル再生時に割り当てられているショートカットは以下の通りです。

ボタン	音楽ファイル再生中	ムービーファイル再生中
	バックグラウンド再生	―
（長押し）	お気に入り追加	TV 出力
	マルチアプリ	マルチアプリ
*	前ファイルへスキップ※	前ファイルへスキップ※
#	次ファイルへスキップ※	次ファイルへスキップ※
1	キーガイド表示	キーガイド表示
2	BASS オン／オフ	ミュート設定
3	プレイモード切替※	コントローラー表示
0	―	フルスクリーン表示

※ 再生履歴では使用できません。

プレイリストを利用する

プレイリストを使って、自分だけの選曲集を作ることができます。Beat Engine Boxやサウンドから、音楽ファイルを登録します。プレイリストはあらかじめ作成するリストの他に、再生中のファイルを登録するお気に入りプレイリストがあります(7-6ページ)。登録したファイルをプレイリストから削除しても、Beat Engine Boxやサウンドからは削除されません。

プレイリストを作成する

プレイリストは本体とメモリカードに10件ずつ作成できます。1つのプレイリストには、50曲まで登録できます。

1 **待受画面→▣→♫タブを選択→「プレイリスト」→◉→「本体」/「メモリカード」→◉**

2 **「プレイリスト作成」→◉→プレイリスト名を入力→◉**

3 **「Beat Engine Box」/「サウンド」/「再生履歴」→◉**

4 **音楽ファイルを選択→◉**

●ファイルを複数選択する場合は、この操作を繰り返します。

5 **⊟(メニュー)→「プレイリストへ追加」→◉**

補　足

- 音楽ファイルを選択しないとプレイリストは作成できません。
- お気に入りプレイリスト(7-6ページ)を「**名前を付けて保存**」することで通常のプレイリストとして登録できます。

プレイリストを再生する

1 **待受画面→▣→♫タブを選択→「プレイリスト」→◉→「本体」/「メモリカード」→◉**

2 **プレイリストを選択→◉**

補　足

- マナーモード/ミーティングモード設定中(11-1ページ)は、確認画面が表示されます。マナーモード/ミーティングモードを一時解除する場合は、⊟(Yes)を押します。一時解除しない場合は⊟(No)を押します。ただし、イヤホン接続時は表示されません。
- プレイリストを選択中に⊟(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  再生/**開く**/**削除**/**コピー**/**名称変更**/**名前を付けて保存**※/**メニューに戻る**
  ※ お気に入りプレイリスト選択時

プレイリストを編集する

1 待受画面→□→♫タブを選択→「プレイリスト」→◉→「本体」／「メモリカード」→◉

2 プレイリストを選択→□(メニュー)

■名称を変更する
「名称変更」→◉→プレイリスト名を編集→◉

■削除する
「削除」→◉→□（Yes）

■コピーする
「コピー」→◉→「本体」／「メモリカード」→◉

■プレイリストに音楽ファイルを追加する
「開く」→◉→□（メニュー）→「プレイリスト管理」→◉→「曲追加」→◉→「Beat Engine Box」／「サウンド」／「再生履歴」→◉→音楽ファイルを選択→◉→□(メニュー)→「プレイリストへ追加」→◉

■プレイリストの音楽ファイルを削除する
「開く」→◉→□（メニュー）→「プレイリスト管理」→◉→「曲削除」→◉→ファイルを選択→◉→□（メニュー）→「削除」→◉→□（Yes）

●プレイリストに登録されているファイルをすべて削除するとプレイリストも削除されます。

■プレイリストの再生順を変更する
「開く」→◉→□（メニュー）→「プレイリスト管理」→◉→「曲順変更」→◉→ファイルを選択→◉→◎で曲順を変更→◉

再生履歴を利用する

再生履歴は、以前再生したファイルの確認、またはプレイリストへの登録を行うための機能です。再生履歴には、20件まで表示されます。

1 待受画面→□→♫タブ／▦タブを選択→「再生履歴」→◉→ファイルを選択→◉

重　要

- 再生履歴からの再生中は、以下の操作は行えません。
  - ・前後のファイルへスキップ
  - ・プレイモードの変更
- 一時停止中にスキップした場合は、再生履歴に登録されません。

補　足

- 再生履歴には、再生できるファイルだけが登録されます。
- 同じファイルを再生した場合、最新の履歴が登録されます。
- ファイル選択中に以下の操作を行うこともできます(表示される項目はファイルの種類によって異なります)。
  再生／プレイリストへ追加／削除／送信／リスト表示／サムネイル表示／プロパティ／メニューに戻る
- ファイル再生中に以下の操作を行うこともできます(表示される項目はファイルの種類によって異なります)。
  再生／一時停止／プレイリストへ追加／フルスクリーン表示／ノーマルスクリーン表示／送信／BASSオン／BASSオフ／ミュート／ミュート解除／コントローラー表示／コントローラー非表示／プロパティ／バックグラウンド再生／メニューに戻る

メディアファイルをダウンロードする

メロディやムービーをボーダフォンライブ！などからダウンロードします。

1 待受画面→□→♫タブ／▦タブを選択

2 「ミュージックダウンロード」／「ムービーダウンロード」→◉(2回)

●以降の操作は画面の表示に従ってください。

ストリーミングする

ウェブに接続してストリーミングができます。

●ストリーミングご利用中は、一時停止した場合でも通信は継続され、パケット通信料が発生します。

●モード設定（11-1ページ）を「**マナーモード**」または「**ミーティングモード**」にしている場合は、確認画面が表示されます。一時解除する場合は、□（Yes）を押します。一時解除しない場合は、□（No）を押します。ただし、イヤホン接続時は表示されません。

1 待受画面→□→◎タブを選択→「URL入力」→◉→URLを入力→◉

ブックマークからストリーミングする

ブックマークされているサイトに接続し、ストリーミングします。

1 待受画面→□→◎タブを選択→「ブックマーク」→◉

2 ブックマークを選択→◉

再生履歴からストリーミングする

1 待受画面→□→◎タブを選択→「再生履歴」→◉

2 タイトルを選択→◉

メールやウェブからストリーミングする

リンクを選択するとストリーミングできます。

■MMSからストリーミングする

リンクを表示→◉→「ページジャンプ」→◉

■SMSからストリーミングする

リンクを表示→◉→「再生」→◉

■ウェブからストリーミングする

リンクを表示→◉

●サイトによって、操作が異なる場合があります。

メディアプレイヤーのその他の機能

お気に入りプレイリストに登録する

音楽ファイル再生中に□を押すだけで、50曲までお気に入りプレイリストに登録できます。

1 音楽ファイルを再生／一時停止中→□を長く(約1秒以上)押す

補　足

- お気に入りプレイリストを「**名前を付けて保存**」すると、通常のプレイリストとして保存され、新しいお気に入りプレイリストが自動的に作成されます。

再生中の音楽ファイルをプレイリストに追加する

再生／一時停止中の音楽ファイルをプレイリストに登録できます。

1 **音楽ファイルを再生中→[-](メニュー)→「プレイリストへ追加」→◉→「本体」／「メモリカード」→◉**

2 **プレイリストを選択→◉**

プレイモードを切り替える

再生方法をランダム再生やリピート再生に設定できます。

1 **音楽ファイルを再生／一時停止中→[-](メニュー)→「プレイモード」→◉**

2 **再生パターンを選択→◉**

重　要

- 再生履歴では、プレイモードは切り替えられません。

ファイルを送信する

音楽ファイル、ムービーファイルを他の携帯電話やBluetooth™通信対応機器に送信できます。

1 **ファイル選択→[-](メニュー)→「送信」→◉**

2 **送信方法を選択→◉**

●Bluetooth™送信については10-3ページを参照してください。

プロパティを確認する

音楽ファイル、ムービーファイルの詳細情報を表示します。

1 **ファイルを選択→[-](メニュー)→「プロパティ」→◉**

補　足

- プロパティではファイル名、ファイルサイズまたは再生時間などが表示されます。表示される項目はファイルによって異なります。

低音強調（BASS）を設定する

イヤホン接続時に低音を強調できます。

1 **音楽ファイルを再生中→[-](メニュー)→「BASSオン」／「BASSオフ」→◉**

バックグラウンドで再生する

音楽を聴きながら他の機能を使えます。

1 **音楽ファイルを再生／一時停止中→[-](メニュー)→「バックグラウンド再生」→●**

補　足

- 音楽ファイルを再生中に[メディア]を押しても、バックグラウンド再生になります。バックグラウンド再生中、待受画面でもう一度[メディア]を押すとメディアプレイヤーが表示されます。

リスト更新する

メモリカードを他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データ編集や追加、消去など）したときは、音楽ファイルの管理情報を更新する必要があります。

1 **待受画面→[メディア]→♫タブを選択→「Beat Engine Box」→●→「リスト更新」→●(2回)**

重　要

- リスト更新を行っているときは、自動的にオフラインモード(2-10ページ)になります。リスト更新が完了するとオフラインモードは解除されます。

メディアプレイヤーの設定

メディアプレイヤー再生中の優先度を設定する

メディアプレイヤーで音楽ファイルを再生中に電話／TVコールがかかってきたときなどに、着信を優先して再生を一時停止するか、一時停止せずに着信の通知だけを行うか設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ メディアプレイヤー設定

1 **「優先度」→●**

2 **「着信優先」／「再生優先」を選択→●**

バックライトを設定する

メディアプレイヤー起動中のバックライトを設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ メディアプレイヤー設定

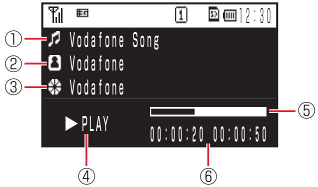
1 **「バックライト」→●**

2 **点灯タイミングを選択→●**

ミュージックプレイヤーについて

705Tを閉じたままで、音楽ファイルを再生できます。

ディスプレイ表示について



①タイトル名が表示されます。
②アーティスト名が表示されます。
③アルバム名が表示されます。
④再生状態が表示されます。
⑤プログレスバーが表示されます。
⑥再生経過時間/総再生時間が表示されます。

ミュージックプレイヤーを起動する

1 待受画面→

重　要

- 電池残量が少ないときは、起動できません。

補　足

- を長く（約1秒以上）押すと、前回再生していた曲の先頭から再生が始まります。
- マナーモード／ミーティングモード設定中（11-1ページ）に起動すると、確認画面が表示されます。マナーモード／ミーティングモードを一時解除する場合は、（Yes）を押します。一時解除しない場合は、（No）を押します。ただし、イヤホン接続時は表示されません。
- ミュージックプレイヤーで再生中に705Tを開くと、バックグラウンドでの再生になります。

ミュージックプレイヤーを終了する

1 音楽ファイルを再生中→を長く（約1秒以上）押す

音楽ファイルを再生する

プレイリスト、Beat Engine Box、サウンド、再生履歴から再生できます。

1 ミュージックプレイヤー起動→「プレイリスト」／「サウンド」／「Beat Engine Box」／「再生履歴」→（選択）

2 音楽ファイルを選択→（選択）

再生中の操作

音楽ファイル再生／一時停止中に、以下の操作ができます。

ボタン	機能
	ミュージックプレイヤーメイン画面表示
（約 1 秒以上）	プレイモード変更※
	曲の先頭へ／前の曲へ※／前の曲がない場合は無効
（押し続ける）	巻き戻し
	次の曲へ※／次の曲がない場合は無効
（押し続ける）	早送り
	一時停止／再生
（約 1 秒以上）	ミュージックプレイヤー終了
／	音量調節

※再生履歴では操作できません。

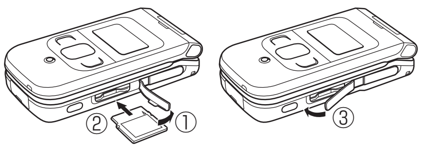
メモリカードをご利用になる前に

705Tで撮影した静止画や動画、ダウンロードしたさまざまなファイルを保存できます。

- 本書では、miniSD™メモリカードを「メモリカード」と記載しています。
- メモリカードへのファイルの保存方法については、各機能の説明を参照してください。
- 705Tでは、記憶容量が1Gバイト（※2006年3月現在）までのメモリカードに対応していますが、市販されているすべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。

メモリカードを取り付ける

必ず電源を切った状態で行ってください。メモリカードのファイル消失の原因となります。



1 メモリカードスロットのキャップを開ける（①）

2 金色の端子が見える面を下にして、左図の向きにメモリカードがロックするまで差し込む（②）

メモリカードをカチッと音がするまでゆっくり奥に差し込みます。

3 メモリカードスロットのキャップを閉じる（③）

重　要

- キャップを開けるとき、キャップに無理な力を加えると、キャップが破損するおそれがあります。

メモリカードを取り外す

メモリカードを取り外すときは、取り付けるときとは逆の手順で行ってください。

重　要

- キャップを開けるとき、キャップに無理な力を加えると、キャップが破損するおそれがあります。
- メモリカードを取り外すときは、メモリカードを指先で軽く押し込んでから手をはなすと、メモリカードが少し飛び出てきます。
- メモリカードを取り外すとき、メモリカードが本体から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

メモリカードの利用

メモリカードに保存したピクチャーやムービーなどのファイルを確認、編集できます。また、本体のデータフォルダやアドレス帳などのファイルをメモリカードに移動、コピーできます(4-9、9-10ページ)。

- ●電池残量が少ないとファイルの読込みや書き込みができない場合があります。
- ●ファイルの読込み中、書き込み中、または初期化中にメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外したりしないでください。ファイル消失の原因になります。
- ●ファイルによっては、各種処理に時間がかかる場合があります。
- ●メモリカード内のファイルは誤った使いかたをしたり、事故や故障によって変化・消失する場合があります。大切なファイルはバックアップを取っておかれることをおすすめします。
- ●パソコンなどからメモリカードに取り込んだファイルは、表示/再生できない場合があります。
- ●メモリカード内に保存されているファイルで33文字以上の名前のファイルは表示されません。
- ●メモリカード内のファイルやフォルダの名前を大文字・小文字を問わず全角文字の同名にすると、パソコンなどではそれらを正しく表示できない場合があります。

メモリカードのファイル管理

メモリカードには、以下のフォルダがあります。

フォルダ名	説明
DCIM	デジタルカメラモード(6-5ページ)で撮影した静止画が保存されます。
PRIVATE	―
TOSHIBA	―
Music Lib	メディアプレイヤーからのみ参照でき暗号化されたファイルが保存されます。
VODAFONE	―
My Items	本体のデータフォルダの各フォルダ(ピクチャー、ムービー、メロディ&ミュージック、Vアプリ、その他ファイル)と同じ構成です(9-1ページ)。
TS_Folder	―
Utility	―
Calendar	スケジュールのバックアップが保存されます。
Contacts	アドレス帳のバックアップが保存されます。

●ファイルによっては、再生できない場合があります。

メモリカードをフォーマット（初期化）する

メモリカードを初期化すると、メモリカード内のファイルがすべて削除されます。

●他の機器でフォーマット（初期化）したメモリカードは、705Tでは正常に使用できない場合があります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ メモリ設定 ▶ メモリカード

1 「フォーマット」→◉

2 操作用暗証番号（1-16ページ）を入力→⊡（Yes）

保存されているファイルを確認する

メモリカードのファイルを確認する

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選択→◉

2 ⊡（メニュー）→「メモリカード」→◉

3 ファイルを選択→◉

各機能からメモリカードのファイルを呼び出す

1 各機能からデータフォルダを閲覧中→⊡（メニュー）→「メモリカード」→◉

補足

● 機能によっては、メモリカードのファイルが本体のデータフォルダにコピーされることがあります。

メモリカードの使用率を確認する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ メモリ設定 ▶ メモリカード

1 「メモリ容量確認」→◉

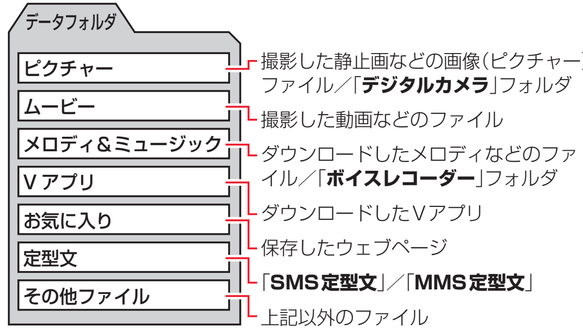
データフォルダについて

撮影した静止画や動画、外部機器から受信したファイル、ウェブからダウンロードしたファイルなどがデータフォルダに保存されます。保存したファイルは、壁紙や着信音パターンなどとして設定したり、メールに添付（16-5ページ）できます。
データフォルダには最大約40Mバイトまたは最大約500件まで保存できます。

- 「**ピクチャー**」、「**ムービー**」、「**メロディ＆ミュージック**」、「**V アプリ**」のフォルダからは、ボーダフォンのポータルサイトへ直接アクセスし、データをダウンロードできます。

データフォルダの構成について

データフォルダに保存できるファイルと、保存されるフォルダは以下の通りです。



データフォルダに保存できるファイル

データフォルダには、フォルダ別に以下のファイルを保存できます。

フォルダ名	ファイル形式（拡張子）	参照先
ピクチャー※1 デジタルカメラ※2	JPEG（.JPEG、.JPG、.JPE） GIF（.GIF） WBMP（.WBMP） PNG（.PNG）※3	9-3ページ
ムービー※1	MPEG-4※4（.3GP、.3G2、.MP4）	9-4ページ
メロディ&ミュージック※1 ボイスレコーダー※5	AMR（.AMR） SMF、SP-MIDI※4（.MID、.MIDI） SMAF（.MMF） XMF（.XMF0、.XMF1） MPEG-4※4（.3GP、.MP4、.M4A）	9-4ページ
Vアプリ	Java（.JAD、.JAR、.RMS）	18-1ページ
お気に入り	HTML、XHTML（.HTM、.HTML、.XML、.XHTML など）	9-4ページ
定型文	、定型文ファイル	16-17ページ
その他ファイル※1	vCard（.VCF） vCalendar（.VCS） SVG（.SVG） Text（.TXT） 上記以外のファイル※6（上記以外の拡張子）	9-5ページ

※1 それぞれのフォルダ内にフォルダを作成できます。
※2 DCF規格に準拠しないファイルは表示できません。
※3 ダウンロードしたフレームやスタンプはPNG（.PNG）ファイルで保存されます。
※4 ファイルによっては再生できない場合があります。
※5 「**ボイスレコーダー**」フォルダに保存できるファイルタイプは、AMR（.AMR）ファイルのみです。
※6 705Tでは表示／再生できません。

補足

- 705Tの修理やUSIMカードを交換した場合、本体やメモリカードに保存した着うた®やVアプリ、動画などのファイルがご利用できなくなる可能性があります。
  - ・着うた®は(株)ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- 705Tでファイル名を変更したり、または作成したファイル名に「～」、「－」が含まれていると、パソコン、PDAなどで開けない場合があります。ファイル名を変更することにより、開くこともあります。
- DCF規格とはJEIDA(日本電子工業振興協会)で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。デジタルカメラ画像をさまざまな機器で利用できることを目的としています。
- Bluetooth™通信で送信できるファイルやメモリカードに移動できるファイルは、プロパティの転送･外部転送の可･不可に従います。

保存されているファイルの確認

各種ファイルを確認／再生する

メインメニュー▶データフォルダ

1 フォルダを選択→◉

2 ファイルを選択→◉

ダウンロードサイトを選択した場合

「**ピクチャーダウンロード**」や「**ムービーダウンロード**」、「**メロディダウンロード**」、「**Vアプリダウンロード**」を選択した場合は、インターネット上のダウンロードサイトに接続します。ダウンロードサイトを選択中に⊡（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

接続：インターネットに接続します。
カメラ／ムービー：静止画や動画を撮影します(6-5、6-9ページ)
メモリカード：閲覧するフォルダを切り替えます。
リスト表示：表示方法を切り替えます（9-6ページ）。
フォルダ作成：フォルダを新規作成します。
並び替え：ファイルの一覧をさまざまな順序に並び替えます（9-11ページ）。

ピクチャーファイルを選択／表示した場合

⊡（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

表示：選択したファイルを表示します。
送信：以下の項目が表示されます。
- **メール送信-MMS**：メールに添付して送信します（16-4ページ）。
- **Bluetooth送信**：Bluetooth™通信で送信します（10-3ページ）。

削除：以下の項目が表示されます。
- **一件**：選択しているファイルを削除します（9-9ページ）。
- **全件**：表示されているフォルダ内のすべてのファイルを削除します（9-9ページ）。

名称変更：選択しているファイルの名称を変更します（9-9ページ）。
壁紙設定：選択しているファイルを壁紙に設定します。
複数選択：複数のファイルを選択し、コピーや移動、削除します（9-5ページ）。
フォルダ管理：以下の項目が表示されます。
- **フォルダ作成**：フォルダを新規作成します（9-8ページ）。
- **フォルダ名変更**：フォルダの名称を変更します(9-9ページ)。
- **フォルダ削除**：フォルダごと削除します(9-9ページ)。
- **フォルダセキュリティ**：フォルダにセキュリティを設定します（9-11ページ）。

表示切替：以下の項目が表示されます。
- **リスト表示**：表示方法を切り替えます（9-6ページ）。
- **スライドショー**：フォルダ内にあるすべてのファイルを切り替えて表示します（9-11ページ）。

プロパティ：ファイル名、種類、画像サイズ、ファイルサイズ、保存・転送・外部転送の可・不可、作成日時、再生可否、設定情報、ベンダー名を表示します。

ズーム　：表示または再生しているファイルを拡大・縮小します。
フルスクリーン表示：表示または再生しているファイルを全画面表示します。
画像編集　：表示または再生している画像を編集します（6-20ページ）。
サムネイル保存：「**デジタルカメラモード**」（6-5ページ）で撮影した静止画のサムネイルを保存します（6-22ページ）。
「**メモリカード**」、「**カメラ**」、「**並び替え**」についてはダウンロードサイトを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。

ムービーファイルを選択／再生した場合

（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
再生：選択したファイルを再生します。
着信音設定：以下の項目が表示されます。
- **音声着信**　：音声着信時の着信音に設定します。
- **TVコール着信**：TVコール着信時の着信音に設定します。

プロパティ：ファイル名、ファイルサイズ、再生時間、ビットレート、サンプリングレート、保存・転送・外部転送の可・不可、種類、タイトル、アーティスト、著作権情報、作成日時、説明、再生可否、設定情報、ベンダー名が表示されます。
フルスクリーン表示／ノーマルスクリーン表示
：動画サイズに応じて画面表示を切り替えて表示します。
ミュート　：再生している音声がミュートになります。
コントローラー非表示：再生時のアイコンなどを表示／非表示にします。フルスクリーン表示時のみ有効です。

「**メモリカード**」、「**ムービー**」、「**リスト表示**」、「**並び替え**」についてはダウンロードサイトを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。
「**送信**」、「**削除**」、「**名称変更**」、「**複数選択**」、「**フォルダ管理**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。

メロディファイルを選択／再生した場合

（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
録音　：音声を録音します。ボイスレコーダーフォルダ内から操作します（9-2ページ）。
プロパティ：ファイル名、種類、タイトル、ファイルサイズ、保存・転送・外部転送の可・不可、アーティスト、著作権情報、作成日時、説明、再生可否、設定情報、ベンダー名が表示されます。
拡大　：画像を拡大して再生します。
「**メモリカード**」、「**並び替え**」についてはダウンロードサイトを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。
「**送信**」、「**削除**」、「**名称変更**」、「**複数選択**」、「**フォルダ管理**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。
「**再生**」、「**着信音設定**」、「**ミュート**」についてはムービーファイルを選択した場合（左記）を参照してください。

お気に入りファイルを選択した場合

（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
ソート：以下の項目が表示されます。
- **タイトル**：タイトル順に並び替えます。
- **日付**　：日付順に並び替えます。

「**表示**」、「**削除**」、「**複数選択**」、「**名称変更**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。

vファイルを選択／表示した場合

⊡（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

スケジュール登録／アドレス帳登録
：表示したvファイルをスケジュールやアドレス帳に登録します（9-8ページ）。

プロパティ：ファイル名、種類、ファイルサイズ、保存･転送･外部転送の可・不可、作成日時、再生可否が表示されます。

詳細：表示したvファイルの詳細画面が表示されます。

「**メモリカード**」、「**並び替え**」についてはダウンロードサイトを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。

「**表示**」、「**送信**」、「**削除**」、「**名称変更**」、「**複数選択**」、「**フォルダ管理**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。

テキストファイルを選択／表示した場合

⊡（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

「**メモリカード**」、「**並び替え**」についてはダウンロードサイトを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。

「**表示**」、「**送信**」、「**削除**」、「**名称変更**」、「**複数選択**」、「**フォルダ管理**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。

「**プロパティ**」についてはvファイルを選択した場合（上記）を参照してください。

テキストファイル表示中に⊡（コピー）を押すと、選択した文字列をクリップボードに記憶することができます（3-13ページ）。

SVGファイルを選択／再生した場合

⊡（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

巻き戻し：動画を再生中に、再生位置を最初に戻します。

リセット：ファイルを読み込んだ直後の状態に戻します。

プロパティ：ファイル名、種類、タイトル、ファイルサイズ、説明、アニメーション時間、ズーム／パン･保存･転送・外部転送の可・不可、作成日時、再生可否が表示されます。

ガイダンス表示：再生時のアイコンなどを表示／非表示にします。

「**メモリカード**」、「**並び替え**」についてはダウンロードサイトを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。

「**表示**」、「**送信**」、「**削除**」、「**名称変更**」、「**複数選択**」、「**フォルダ管理**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（9-3ページ）を参照してください。

補足

- ファイルサイズによっては､再生できない場合があります。

ファイルを複数選択した場合

⊡（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

チェック／チェック解除：チェックしたり、チェックの解除をします。

削除：チェックした複数のファイルを削除します。

コピー：チェックした複数のファイルを本体やメモリカードの別のフォルダにコピーします（9-10ページ）。

移動：チェックした複数のファイルを本体やメモリカードの別のフォルダに移動します（9-10ページ）。

再生／表示：カーソルのあたっているファイルを再生、表示します。

全チェック／全チェック解除

：表示されているフォルダ内のすべてのファイルをチェックしたり、すべてのチェックを解除することができます。

データフォルダの表示方法を切り替える

「**ピクチャー**」、「**ムービー**」フォルダ内のファイル一覧画面をリスト表示とサムネイル表示に切り替えることができます。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」／「ムービー」→◉→⍈(メニュー)

● 「**ピクチャー**」フォルダで画像を選んでいる場合は、「**表示切替**」を選択します。

2 「リスト表示」→◉

● 「**リスト表示**」にしている場合は「**サムネイル表示**」を選択します。

メモリの使用率を確認する

データフォルダで使用しているメモリの使用率を確認できます。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 「メモリ容量確認」→◉

プロパティを確認する

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選択→◉

2 ファイルを選択→⍈(メニュー)→「プロパティ」→◉

ピクチャーファイルの利用

データフォルダ内のピクチャーファイルを壁紙、着信画像、TVコール、アドレス帳（顔写真）などに利用できます。

1 各機能からデータフォルダを参照

● 壁紙の設定については11-7ページを参照してください。
● 着信画像の設定については11-7ページを参照してください。
● TVコールの設定については5-4ページを参照してください。
● アドレス帳の顔写真の設定については4-2ページを参照してください。

2 「ピクチャー」→◉→ファイルを選択→◉

3 画像の位置を調節→◉(2回)

● 画像サイズの調節については6-20ページを参照してください。

重　要

● アニメーションのGIFファイルを選択した場合は、一番始めの画像(静止画)だけ表示されます。

補足

- 機能によっては、画像サイズの調節ができない場合があります。
- ファイルを選択中に[-](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  表示／**メモリカード**(8-3ページ)／**リスト表示(サムネイル表示)**／**並び替え**／**プロパティ**

ムービー／メロディファイルの利用

データフォルダ内のムービーファイルやメロディファイルを着信音や着信画像、アラームなどに利用できます。

1 各機能からデータフォルダを選択

- 音の設定については11-3ページを参照してください。
- スケジュールアラーム音の設定については13-5ページを参照してください。
- アラーム音の設定については13-8ページを参照してください。
- アドレス帳ごとの着信音の設定については4-3ページを参照してください。

2 「ムービー」／「メロディ&ミュージック」→◉→ファイルを選択→◉→[-](設定)

- ムービーやメロディファイルをアドレス帳に設定する場合は、設定したいファイルを選択し、◉を押すとアドレス帳に設定されます。

補足

- ファイルを選択中に[-](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  選択／**再生**／**メモリカード**(8-3ページ)／**リスト表示(サムネイル表示)**※／**並び替え**／**プロパティ**
  ※ ムービーファイルのみ

vファイルの利用

vファイルについて

vファイルは、705Tのアドレス帳やスケジュールを他のvファイル対応ボーダフォン携帯電話やパソコンなどとやりとりし、相互で利用できるようにしたファイルタイプの総称です。メールに添付（16-5ページ）したり、Bluetooth™通信（10-1ページ）、USB（10-7ページ）を利用して送受信できます。また、メモリカードを利用して、vファイルのやりとりができます。

- パソコンなどでvファイルを利用するには、vファイルに対応するソフトウェアが必要となります。
- vファイルの内容によっては、やりとりがうまくいかない場合があります。
- vファイル内の文字数が多い場合は、一部のデータをやりとりできない場合があります。
- エクスポートまたはインポートするソフトによっては、vファイル内の文字が正しく表示されない場合があります。

vファイルをデータフォルダに保存する

1 **アドレス帳／スケジュールを表示→⊟(メニュー)→「エクスポート」→◉**

- アドレス帳については4章を参照してください。
- スケジュールについては13-2ページを参照してください。

2 **「データフォルダ」／「メモリカード」→◉**

vファイルを各機能に取り込む

メインメニュー ▶ データフォルダ ▶ その他ファイル

1 **vファイルを選択→◉→内容を表示**

2 **⊟(メニュー)→「アドレス帳登録」／「スケジュール登録」→◉**

- vファイル内に複数のデータがある場合は、「**一件**」または「**全件**」を選択します。「**全件**」を選択した場合は、確認画面が表示され、⊟（Yes）を押すと各機能にファイルを取り込みます。

補足

- vファイルをアドレス帳に取り込む場合、W112×H112を超える顔写真はアドレス帳に登録できません。

フォルダ／ファイルの編集

- 1つのフォルダに同名のフォルダは作成できません。
- 以下の半角記号や絵文字、改行アイコン「↵」は、フォルダ名に使用できません。「\/¥：；?"<>|.¥」

新しいフォルダを作成する

「**ピクチャー**」、「**ムービー**」、「**メロディ&ミュージック**」、「**その他ファイル**」内に新しいフォルダを作成できます。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 **各フォルダを選択→◉**

2 **ファイルを選択→⊟(メニュー)→「フォルダ管理」→◉**

3 **「フォルダ作成」→◉→フォルダ名を入力→◉**

補足

- 各フォルダのダウンロード項目、またはフォルダを選択中に⊟(メニュー)を押して、「**フォルダ作成**」を選択してもフォルダを作成できます。

フォルダ／ファイル名を変更する

メイン メニュー ▶ データフォルダ

■フォルダ名を変更する

作成したフォルダを選択→⊡（メニュー）→「フォルダ名変更」→◉→フォルダ名を入力→◉

●フォルダにセキュリティ（9-11ページ）が設定されている場合は、「**フォルダ名変更**」を選択したあと、操作用暗証番号（1-16ページ）の入力画面が表示されます。

■ファイル名を変更する

ファイルを選択→⊡（メニュー）→「名称変更」→◉→ファイル名を入力→◉

フォルダ／ファイルを削除する

フォルダを削除する

メイン メニュー ▶ データフォルダ

1 作成したフォルダを選択→⊡(メニュー)→「フォルダ削除」→◉

2 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力→⊡(Yes)

ファイルを1件削除する

メイン メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選択→◉

2 ファイルを選択→⊡(メニュー)→「削除」→◉

3 「一件」→◉→⊡(Yes)

ファイルを全件削除する

メイン メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選択→◉

2 ファイルを選択→⊡(メニュー)→「削除」→◉

3 「全件」→◉

4 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力→⊡(Yes)

補 足

● 各種機能で設定されているピクチャーファイルやメロディファイルなどを削除しようとすると、確認画面が表示されます。削除した場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。

ファイルを移動する

本体またはメモリカードに保存されているファイルを別のフォルダに移動します。

メインメニュー▶データフォルダ

1 フォルダを選択→◉

2 ファイルを選択→⊡(メニュー)→「複数選択」→◉

3 ファイルを選択→◉→⊡(メニュー)→「移動」→◉

4 「本体」／「メモリカード」→◉

5 移動先のフォルダを選択→◉

重　要

- プロパティで転送および外部転送が「**不可**」となっているファイルは、移動元のデータフォルダ以外のフォルダに移動できません。
- データフォルダの「**デジタルカメラ**」フォルダおよび「**ボイスレコーダー**」フォルダ内に保存されているファイルは、本体またはメモリカードの同じ名前のフォルダ間でのみ移動することができます。

補　足

- 各種機能で設定されているピクチャーファイルやメロディファイルなどを移動しようとすると、確認画面が表示されます。移動した場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。

ファイルをコピーする

本体またはメモリカードに保存されているファイルを別のフォルダにコピーできます。

メインメニュー▶データフォルダ

1 フォルダを選択→◉

2 ファイルを選択→⊡(メニュー)→「複数選択」→◉

3 ファイルを選択→◉→⊡(メニュー)→「コピー」→◉

4 「本体」／「メモリカード」→◉

5 コピー先のフォルダを選択→◉

重　要

- プロパティで転送が「**不可**」となっているファイルはコピーできません。
- データフォルダの「**デジタルカメラ**」フォルダおよび「**ボイスレコーダー**」フォルダ内に保存されているファイルは、本体またはメモリカードの同じ名前のフォルダ間でのみコピーすることができます。

フォルダにセキュリティを設定する

フォルダにセキュリティを設定すると、フォルダを選択したときに、操作用暗証番号（1-16ページ）の入力画面が表示されます。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 作成したフォルダを選択→[-]（メニュー）→「フォルダセキュリティ」→◉

2 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力

3 「On」／「Off」→◉

その他の編集機能

スライドショーを再生する

ピクチャーファイルを約2秒ごとに切り替えて表示します。

メインメニュー ▶ データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択→[-](メニュー)→「表示切替」→◉

2 「スライドショー」→◉

ファイルを並び替える

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選択→◉

2 ファイルを選択→[-](メニュー)→「並び替え」→◉

3 並び替える条件を選択→◉

●メモリカード内のファイルは並び替えできません。

Bluetooth™ について

Bluetooth™ 通信を利用してBluetooth™ 対応機器やBluetooth™を搭載したパソコンと、アドレス帳やスケジュール、データフォルダのファイルを送受信したり、またハンズフリー対応機器を利用できます。

Bluetooth™ 通信をご利用になる前に

Bluetooth™通信の取り扱いについて

- ワイヤレスLANやBluetooth™対応機器が使用する2.4GHz帯はさまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためBluetooth™対応機器は同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度や通信距離は、通信機器間の距離や障害物、電波状況、Bluetooth™対応機器により異なります。

主な仕様

通信方式	Bluetooth™ 標準規格 Ver.1.1準拠
出力	Bluetooth™ 標準規格 Power Class2
見通し通信距離※1	約 10 m以内
対応プロファイル※2	HFP(Hands-Free Profile) HSP(Headset Profile) DUN(Dialup Networking Profile) OPP(Object Push Profile) FTP(File Transfer Profile)※3
使用周波数帯	2.4GHz（2.402GHz～2.480GHz）

※1　通信機器間の障害物や電波状況などにより変化します。
※2　Bluetooth™対応機器間の通信目的に応じた仕様のことで、Bluetooth™標準規格で定められています。
※3　サーバー機能のみサポートされています。

周波数について

705TのBluetooth™機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を利用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

- 705TのBluetooth™機能の使用周波数は2.4GHzです。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特

定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 万一、705Tと「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに705Tの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
2. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは**お問い合わせ先**（21-28ページ）までご連絡ください。

2.4FH1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

Bluetooth™通信利用時のご注意

- 705TはすべてのBluetooth™対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth™対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth™の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth™によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth™通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth™通信を利用中は、USBの機能を起動したり、設定することができません。ただし、USBケーブルが接続されるとBluetooth™通信が終了します。

Bluetooth™ 通信の利用

Bluetooth™通信を利用して、ファイルを送受信したり、ダイヤルアップ接続ができます。

PINコード（認証用）について

PINコード（認証用）はBluetooth™対応機器どうしを接続するための専用コード（任意の4～16桁）です。機器登録を行うときは、送信側／受信側とも同じ認証用のPINコードを入力する必要があります。

- PINコード（認証用）は、登録する機器ごとに異なる番号を設定できます。

Bluetooth™ を設定する

Bluetooth™対応機器からBluetooth™接続できるように設定できます。また、Bluetooth™接続待機状態になると、画面上に「Ⓑ」が表示されます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ On/Off設定

1 「On」→◉

- Bluetooth™接続待機状態を解除する場合は「**Off**」を選択します。

Bluetooth™ 対応機器を検索して登録する

接続したいBluetooth™対応機器が周辺デバイス情報リストに登録されていない場合は、Bluetooth™対応機器を検索して登録できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 周辺デバイス情報

1 「検索」→◉

705Tの検索に応答した機器の機器種別アイコンと機器名称が表示されます。
機器種別アイコンは以下の通りです。

- ：パソコン
- ：携帯電話
- ：LAN
- ：ヘッドセット
- ：ハンズフリー
- ：オーディオ機器
- ：周辺機器
- ：プリンタ
- ：その他

2 機器を選択→◉→PINコード（認証用）を入力→◉

Bluetooth™対応機器と接続されると、周辺デバイス情報リストに登録されます。

●705TとBluetooth™対応機器で同じ認証用のPINコード（任意の4～16桁）を入力してください。

重　要

- 同じ認証用のPINコード（任意の4～16桁）の入力はセキュリティ確保のため、約30秒以内に入力してください。

補　足

- 1回で検索できる機器は、最大8件です。
- 機器名称が取得できない場合は、機器のデバイスアドレスが表示されます。
- 周辺デバイス情報リストに登録できるBluetooth™対応機器は、最大20件です。

信頼デバイスを設定する

登録したBluetooth™対応機器を信頼デバイスに設定すると、その機器から接続要求があった場合は、接続確認を行わずに接続できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 周辺デバイス情報

1 機器を選択→◉

●機器が登録されていない場合は、「**検索**」を選択したあと、機器を選択します。

2 「信頼デバイス設定」→◉→「On」→◉

ファイルを送受信する

ファイルを1件送信する

1 Bluetooth™通信が利用できる機能を呼び出す→ファイルを選択→□（メニュー）→「送信」→◉

●アドレス帳やスケジュールから呼び出した場合は「**エクスポート**」を選択します。
●「**ご自分の電話番号**」から呼び出した場合は「**名刺送信**」を選択します。

2 「Bluetooth送信」→◉

自動的にオフラインモードになります。

3 送信先の機器を選択→◉

●送信が完了すると、自動的にオフラインモードが解除されます。
●送信先の機器が登録されていない場合は、「**検索**」を選択したあと、送信先の機器を選択します。

重　要

- データフォルダに保存されている転送不可に設定されているファイルやお気に入りのファイル、定型文のファイルは送信できません。
- メモリカードのファイルを送信しているときに、メモリカードを抜くと、ファイルの消失やメモリカードの破損の原因となります。

補　足

- 受信先の機器の設定によっては、送信先の機器を選択して◉を押したあと、同じ認証用のPINコード（任意の4～16桁）の入力画面が表示される場合があります。

ファイルを受信する

Bluetooth™の設定（10-2ページ）を「**On**」にしている場合に、ファイルを受信できます。

1 接続要求を受ける→⊡(Yes)

自動的にオフラインモードになります。
●送信側に705Tのデバイス情報が登録されていない場合は、同じ認証用のPINコード（任意の4～16桁）の入力画面が表示されます。705TとBluetooth™対応機器で同じ認証用のPINコード（任意の4～16桁）を入力してください。

2 「保存」→◉

●ファイルの受信を拒否する場合は、「**破棄**」を選択します。
●アドレス帳またはスケジュールのファイルを受信した場合は、「**保存**」を選択すると、アドレス帳またはスケジュールに登録されます。

3 「本体」／「メモリカード」→◉

●ファイルを複数件受信する場合は、操作2、3を繰り返します。
●受信が完了すると、自動的にオフラインモードが解除されます。

補　足

- ファイルを受信する場合は、接続要求を受ける前に待受画面にしてから操作を行ってください。
- vファイルによっては、一部の情報が受信できない場合があります。

補　足

- vファイル以外のファイルを受信した場合は、ファイル形式(拡張子)によって登録されるフォルダが異なります(9-2ページ)。また、データフォルダに登録されているファイルと同じ名前のファイルを受信した場合は、受信したファイル名が変更される場合があります。

外部機器と接続する

ハンズフリー対応機器と接続する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 周辺デバイス情報

1 ハンズフリー対応機器を選択→◉

●ハンズフリー対応機器が登録されていない場合は、「**検索**」を選択したあと、ハンズフリー対応機器を選択し、周辺デバイス情報リストへ登録してください（10-3ページ）。

2 「接続」→◉

補　足

- ハンズフリー対応機器の設定によっては、操作2のあと、同じ認証用のPINコード(任意の4～16桁)の入力画面が表示される場合があります。
- ハンズフリー対応機器と接続中に着信があった場合、ハンズフリー専用着信音が鳴動します。使用するBluetooth™対応機器によっては、705Tとハンズフリー対応機器の両方からハンズフリー専用着信音が鳴動する場合があります。

ハンズフリー対応機器との接続を解除する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 周辺デバイス情報

1 ハンズフリー対応機器を選択→◉

2 「切断」→◉

Bluetooth™通信を使ってダイヤルアップ接続をする

Bluetooth™通信対応機器とBluetooth™通信を行い、705Tを経由してインターネットにアクセスできます。Bluetooth™通信対応機器のモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

1 接続要求を受ける→⃞(Yes)→PINコード(認証用)を入力→◉

●705TとBluetooth™対応機器で同じ認証用のPINコード（任意の4～16桁）を入力すると接続されます。

重　要

- 発信した相手から応答がない場合は、同じ相手には約3分以内に3回までしか発信されません。

Bluetooth™の設定

登録している機器のプロパティを確認する

メインメニュー▶設定▶外部接続▶Bluetooth▶周辺デバイス情報

1 機器を選択→◉→「デバイスプロパティ」→◉

登録している機器名称を編集する

メインメニュー▶設定▶外部接続▶Bluetooth▶周辺デバイス情報

1 機器を選択→◉→「名称変更」→◉→操作用暗証番号(1-16ページ)を入力

2 機器名称を入力→◉

登録している機器を削除する

メインメニュー▶設定▶外部接続▶Bluetooth▶周辺デバイス情報

1 機器を選択→◉

2 「削除」→◉

マイデバイスを公開する

公開／非公開の設定をする

705Tを他のBluetooth™対応機器へ公開するかしないかを設定できます。

メインメニュー▶設定▶外部接続▶Bluetooth▶マイデバイス設定

1 「公開設定」→◉

2 「公開」／「非公開」→◉

- 公開設定を「**非公開**」にしていても、接続要求を受ける場合があります。

マイデバイスの確認

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ マイデバイス設定

■**自機情報を確認する**

「マイデバイス」→◉→「マイデバイスプロパティ」→◉

■**自機名称を編集する**

「マイデバイス」→◉→「名称変更」→◉→操作用暗証番号（1-16ページ）を入力→自機名称を入力→◉

ハンズフリーの設定

ハンズフリー対応機器接続中に、ハンズフリー対応機器を使用して電話の発着信をする際は「**ハンズフリーモード**」に設定してください。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ マイデバイス設定

1 「ハンズフリー設定」→◉

2 「ハンズフリーモード」→◉

●電話の発着信をする際に705Tを持って通話したい場合は、「**プライベートモード**」を選択します。

USBについて

パソコンと705TをUSBケーブルで接続して、ファイルの送受信ができます。また、パソコンで705Tのデータフォルダの中身を確認できます。

USBをご利用になる前に

●705TとパソコンをUSBケーブルで接続する前に、USBホストドライバおよびMy Mobileをパソコンにインストールする必要があります。インストール手順などについては、CD-ROM（付属）のMy Mobileのクイックガイドをご覧ください。
●ご利用いただけるパソコンの動作環境については、CD-ROM（付属）のMy Mobileのクイックガイドをご覧ください。
●パソコンとUSBケーブルの接続については、CD-ROM（付属）のMy Mobileのクイックガイドをご覧ください。
●705TとパソコンをUSBケーブルで接続する場合は、必ずUSBケーブルのプラグをパソコンのUSBコネクターに直接差し込んでください。
●USBを利用中は、Bluetooth™通信を起動したり、設定することができません。
●パソコン側でスケジュールの同期を行った場合、2000年以前のスケジュールは同期できません。
●パソコン側のアドレス帳やスケジュールに記号「¥」などを含むデータがあると、同期が失敗したり、空白になったりする場合があります。

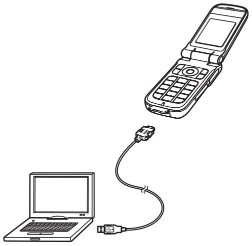
パソコンから音楽ファイルを転送する

メディアプレイヤーで再生する音楽ファイルをパソコンからメモリカードのMusic Libフォルダに転送します。音楽ファイルを転送するときには、705Tをミュージック転送モードにします。

●ミュージック転送モードでは、オフラインモードになり、電話の発着信やメールの送受信、ボーダフォンライブ！への接続はできません。また、すべてのキー操作が無効になります。
●音楽ファイルは、音楽転送ソフトウェアを使って転送しないと、705Tでは再生できません。

USB接続時にミュージック転送モードにする

1 本体を開いた状態(待受画面表示中)で705Tとパソコンを USBケーブルで接続する→[-](Yes)



補　足

● 待受アプリ実行中でも、確認画面は表示されます。
● 以下の場合、待受画面表示中にパソコンとUSB接続してもミュージック転送モードになりません。
・本体操作ロック中
・本体を閉じているとき
・メモリカード未挿入時
・確認画面設定(10-9ページ)を「**表示しない**」にしているとき

メインメニューからミュージック転送モードにする

USB接続時にミュージック転送モードにならなかった場合や、ミュージック転送モード解除後にもう一度接続する場合などメインメニューからミュージック転送モードに切り替えることができます。

1 705TとパソコンをUSB接続する

2 待受画面→(●)→「設定」→(●)→「外部接続」→(●)→「USB」→(●)→「ミュージック転送」→(●)

補　足

● ミュージック転送モード中は、オフラインモードになります。通信中でオフラインに移行できない場合、確認画面が表示されます。
● メモリカードが正しくフォーマットされていない場合、確認画面が表示されます。メモリカードのフォーマットをする場合は[-](Yes)を押し、フォーマットします。
● ミュージック転送中画面でUSBケーブルを抜いた場合、確認画面が表示され、接続は解除されます。

音楽ファイルを転送する

1 705Tをミュージック転送モードにする

2 パソコン側の操作で705Tに音楽ファイルを転送する

●転送した音楽ファイルは、メモリカードのMusic Libフォルダに保存されます。
●詳しい操作方法については、付属の音楽転送ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

外部接続
10

重　要

- ミュージック転送中画面でメモリカードを抜かないでください。

ミュージック転送モードを解除する

1 接続先のパソコンで、デバイスの取り外し操作をする

ミュージック転送モード確認画面を設定する

待受画面でパソコンとUSBケーブルで接続したときに、ミュージック転送モードへの移行確認画面を表示するか設定します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ USB ▶ 確認画面設定

1 「表示する」／「表示しない」→●

補　足

- 「**表示しない**」を選択すると、待受画面表示中にUSB接続しても、ミュージック転送モードで接続するための確認画面が表示されませんが、メインメニューからミュージック転送モードに切り替えることはできます（10-8ページ）。

パソコンと接続する

ファイルを送受信する

パソコンと705T間でデータフォルダのファイルの送受信ができます。

1 705TとパソコンをUSBケーブルで接続する

2 待受画面→●→「設定」→●→「外部接続」→●→「USB」→●→「データ転送」→●

3 操作用暗証番号（1-16ページ）を入力

●ファイル転送の待機状態になります。

4 パソコン側で送受信の操作をする

補　足

- ファイル送受信中は、オフラインモードになります。通信中でオフラインに移行できない場合、確認画面が表示されます。

バックアップファイルの送受信

パソコンへのバックアップおよび、パソコンからバックアップファイルを読込むことができます。

1 705TとパソコンをUSBケーブルで接続する

2 待受画面→●→「設定」→●→「外部接続」→●→「USB」→●→「データ転送」→●

3 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力

●ファイル転送の待機状態になります。

4 パソコン側でバックアップまたは読込み操作をする

●705Tで操作用暗証番号(1-16ページ)の入力が必要な場合があります。

補足

- ファイル送受信中は、オフラインモードになります。通信中でオフラインに移行できない場合、確認画面が表示されます。
- 読込むバックアップファイルによってはすべてのデータを読込むことができない場合があります。

USBを使ってダイヤルアップ接続をする

705Tをパソコンなどと USB接続を行い、705Tを経由してインターネットにアクセスできます。パソコンなどのモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になるパソコンなどの取扱説明書をご覧ください。

重要

- 発信した相手から応答がない場合は、同じ相手には約3分以内に3回までしか発信されません。

充電機能を利用する

パソコンと705TをUSBケーブルで接続したときに705Tを充電するように設定できます。パソコンから充電するには、電池充電の設定を「**On**」にします。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ USB ▶ 電池充電

1 「On」/「Off」→◉

重要

- パソコンや705Tの電源を切った状態では、充電できません。
- パソコンとの接続環境によっては、充電できない場合があります。
- 705TとパソコンをUSBケーブルで接続している場合は、データ通信を行っていない状態でも、電池充電の設定によってパソコンのバッテリーまたは705Tの電池が消耗します。
  On:パソコンのバッテリーが消耗します。
  Off:705Tの電池が消耗します。

補足

- USBケーブルを使用して充電すると、急速充電器やシガーライター充電器(オプション品)を使用した場合より、充電に時間がかかることがあります。

音の設定

状況に合わせ、着信音量、バイブレーターなどが調整された4種類のモードから選択できます。各モードの音やバイブレーターの設定はそれぞれ変更できます。

モード	内容
通常モード	モードを選択していない状態です。※
マナーモード **( )**	音を鳴らさないように設定されています。（バイブレーターとアラームについては設定できます。）
運転中モード **( )**	運転中でも聞こえるように、音量が最大に設定されています。※
ミーティングモード **( )**	用途に応じてすべてを設定できます。お買い上げ時は、音を鳴らさないように設定されています。

※ アラーム音の設定は変更できません。

モードを切り替える

メインメニュー ▶ **設定** ▶ **モード設定**

1 モードを選択→●

●マナーモードに切り替えた場合は、バイブレーターが振動します。

補 足

- 「**通常モード**」／「**運転中モード**」／「**ミーティングモード**」に設定した場合、#を長く（約1秒以上）押すと、それぞれのモードとマナーモードが切り替わります。「**マナーモード**」を設定した場合、#を長く（約1秒以上）押すと、「**通常モード**」と切り替わります。
- 通常モードの設定を変更する場合は、以下の方法でも設定できます。
  待受画面→●→「**設定**」→●→「**音・バイブ設定**」

各モードの設定内容

お買い上げ時は以下のように設定されています。

<table>
<tr><th colspan="2">設定項目</th><th>通常</th><th>マナー</th><th>運転中</th><th>ミーティング</th></tr>
<tr><td colspan="2">着信音量
（音声着信／TVコール着信／メール受信）</td><td>レベル3</td><td>サイレント</td><td>レベル5</td><td>サイレント</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信音パターン
（音声着信／TVコール着信／メール受信）</td><td>パターン1</td><td>―</td><td>パターン1</td><td>パターン1</td></tr>
<tr><td colspan="2">鳴動時間（メール受信）</td><td>5秒</td><td>5秒</td><td>5秒</td><td>5秒</td></tr>
<tr><td colspan="2">バイブレーター
（音声着信／TVコール着信／メール受信）</td><td>Off</td><td>On</td><td>Off</td><td>Off</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボタン確認音量</td><td>レベル3</td><td>サイレント</td><td>レベル3</td><td>サイレント</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボタン確認音</td><td>オリジナル1</td><td>―</td><td>オリジナル1</td><td>オリジナル1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">効果音量</td><td>ウェイクアップ音／シャットダウン音／エラー音</td><td>レベル2</td><td rowspan="2">サイレント</td><td>レベル3</td><td rowspan="2">サイレント</td></tr>
<tr><td>オープン音／クローズ音</td><td>サイレント</td><td>サイレント</td></tr>
<tr><td colspan="2">効果音
（ウェイクアップ音／シャットダウン音／オープン音／クローズ音）</td><td>プリセットパターン</td><td>―</td><td>プリセットパターン</td><td>プリセットパターン</td></tr>
<tr><td colspan="2">サウンド音量</td><td>レベル3</td><td>サイレント</td><td>レベル5</td><td>サイレント</td></tr>
<tr><td colspan="2">電池アラーム音</td><td>On（音量固定）</td><td>サイレント※</td><td>On（音量固定）</td><td>On（音量固定）</td></tr>
<tr><td colspan="2">アラーム（スケジュールアラーム含む）</td><td>On</td><td>Off</td><td>On</td><td>On</td></tr>
</table>

※ 通話中のみレシーバー（受話口）から聞こえます。

■は設定を変更できる項目です。

音・バイブ設定

着信音量、着信音パターンなどを各モードごとに設定できます。モードによっては表示されない項目もあります。

着信音量を設定する

着信音量の大きさを5段階に調節したり、音が鳴らないようにできます。また、着信音量を徐々に上げたり（ステップアップ）、徐々に下げたり（ステップダウン）することもできます。音声着信の着信音量を「**サイレント**」に設定すると、待受画面に「」または「」が表示されます。

●マナーモードの着信音量は設定できません。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 **モードを選択→(メニュー)→「音・バイブ設定」→●→「着信音量」→●→着信の種別を選択→●**

2 **音量を調節→●**

補　足

- 待受画面で／を押し、現在設定されているモード(マナーモードを除く)の着信音量を変更できます。

着信音パターンを設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 **モードを選択→(メニュー)→「音・バイブ設定」→●→「着信音パターン」→●**

2 **着信の種別を選択→●**

■本体にあらかじめ用意されている音を設定する

「プリセットパターン」／「プリセットメロディ」→●→着信音を選択→●→（設定）

■データフォルダのファイルを設定する

「データフォルダ」→●→「ムービー」／「メロディ＆ミュージック」→●→ファイルを選択→●→（設定）

重　要

- 「**メール受信**」の着信音パターンにムービーファイルは設定できません。
- 着信音パターンに画像付きSMAFデータを設定しても画像が正しく表示されない場合があります。

メール受信の鳴動時間を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 モードを選択→⊡(メニュー)→「音・バイブ設定」→◉→「着信音パターン」→◉

2 「メール受信」→⊡(メニュー)→「鳴動時間」→◉

■時間を直接入力して指定する

「時間指定」→時間を入力→◉

■設定したファイルを最後まで再生する

「一周期」→◉

バイブレーターを設定する

電話がかかってきたときやメールを受信したときに、振動でお知らせします。音声着信のバイブレーターを「**Off**」以外にすると、待受画面に「▯」または「▯」が表示されます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 モードを選択→⊡(メニュー)→「音・バイブ設定」→◉→「バイブレーター」→◉

2 着信の種別を選択→◉

3 パターンを選択→◉

補　足

- マナーモードの場合、「**On**」/「**Off**」を設定します。
- マナーモードの場合、「**Off**」に設定すると、スケジュール(13-5ページ)やアラーム(13-8ページ)の設定にかかわらず振動しません。

ボタン確認音量を設定する

ボタンを押したときの音量を調節します。また、音が鳴らないようにすることもできます。

●マナーモードのボタン確認音量は設定できません。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 モードを選択→⊡(メニュー)→「音・バイブ設定」→◉→「ボタン確認音量」→◉

2 音量を調節→◉

ボタン確認音を設定する

ボタンを押したときの確認音を設定します。

●マナーモードのボタン確認音は設定できません。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 モードを選択→⊡(メニュー)→「音・バイブ設定」→◉→「ボタン確認音」→◉

2 ボタン確認音を選択→◉

効果音量を設定する

各種効果音の音量を調節します。また、音が鳴らないようにすることもできます。

●マナーモードのボタン効果音量は設定できません。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 **モードを選択→⊟(メニュー)→「音・バイブ設定」→◉→「効果音量」→◉**

2 **効果音の種別を選択→◉**

3 **音量を調節→◉**

効果音を設定する

電源を入れたときや切るとき、本体を開閉したときに音を鳴らすことができます。

●マナーモードの効果音は設定できません。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 **モードを選択→⊟(メニュー)→「音・バイブ設定」→◉→「効果音」→◉→効果音の種別を選択→◉**

■本体にあらかじめ用意されているパターンを設定する

「プリセットパターン」→◉

■本体にあらかじめ用意されているメロディを設定する

「プリセットメロディ」→◉→メロディを選択→◉→⊟(設定)

■データフォルダのファイルを設定する

「データフォルダ」→◉→「メロディ＆ミュージック」→◉→ファイルを選択→◉→⊟(設定)

重　要

● 画像を含んだファイルは設定できません。

サウンド音量を設定する

メロディファイルなどを再生する音量を調節します。また、音が鳴らないようにすることもできます。

●マナーモードのサウンド音量は設定できません。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 **モードを選択→⊟(メニュー)→「音・バイブ設定」→◉→「サウンド音量」→◉**

2 **音量を調節→◉**

電池アラーム音を設定する

電池がなくなるときに鳴る電池アラーム音を鳴らすかどうかの設定をします。

●マナーモードの電池アラーム音は設定できません。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 **モードを選択→⊟(メニュー)→「音・バイブ設定」→◉→「電池アラーム音」→◉**

2 **「On」／「Off」→◉**

●マナーモード設定中は、通話中にのみレシーバーから電池アラーム音が聞こえます。

アラーム音を設定する

スケジュール（13-5ページ）やアラーム（13-8ページ）で登録したアラームの音を鳴らすかどうかの設定をします。
●通常モード、運転中モードのアラーム音は設定できません。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 **モードを選択→□(メニュー)→「音・バイブ設定」→◉→「アラーム」→◉**

2 **「On」／「Off」→◉**

●モード設定（11-1ページ）を「**マナーモード**」または「**ミーティングモード**」に、アラームを「**Off**」にしている場合は、スケジュール（13-5ページ）やアラーム（13-8ページ）の設定にかかわらずアラーム音は鳴りません。

各モードをリセットする

各モードで設定した内容をお買い上げ時の状態（11-2ページ）にもどします。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

1 **モードを選択→□(メニュー)→「設定リセット」→◉**

2 **操作用暗証番号(1-16ページ)を入力**

3 **□(Yes)**

受話音量の設定

レシーバーから聞こえる相手の声の大きさを調節します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 共通設定 ▶ 受話音量

1 **音量を調節→◉**

補　足

● 通話中に調節した場合(2-5、5-2ページ)は通話終了後、通話前の設定音量に戻ります。

スピーカー音量の設定

スピーカーから聞こえる相手の声の大きさを調節します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 共通設定 ▶ スピーカー音量

1 **音量を調節→◉**

ディスプレイの設定

壁紙設定

あらかじめ登録されている画像、データフォルダやメモリカードの画像、カメラで撮影した静止画などを壁紙として設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メインディスプレイ設定 ▶ 壁紙

■本体にあらかじめ用意されている画像を設定する
「プリセット壁紙」→●→画像を選択→●（2回）

■データフォルダの画像を設定する
「データフォルダ」→●→画像を選択→●→画像の位置を調節→●（2回）

■壁紙を表示しない
「Off」→●

■カスタムスクリーンに連動させる
「カスタムスクリーン連動」→●

補　足

- 「**データフォルダ**」を選択した場合、画像を選択したあと⊡(メニュー)を押して以下の操作を行うことができます。ただし、ファイルによってはできない場合もあります。
  切り取り　：画面のサイズに合わせて画像を切り取ります。
  ズーム　：画像を拡大･縮小し、位置を調節し切り取ります。
  横に合わせる：画面の幅に合わせて画像を調節します。
  縦に合わせる：画面の高さに合わせて画像を調節します。
  回転　：画像を左に90˚回転します。

カスタムスクリーン設定

壁紙、メインメニューのアイコンおよびメインメニューの背景などを一度に変更できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メインディスプレイ設定 ▶ カスタムスクリーン

1 **スクリーンを選択→●（2回）**

重　要

- カスタムスクリーン設定中に壁紙設定（左記）を行った場合、壁紙設定で設定された壁紙が表示されます。

着信表示設定

通常の着信画像を設定する

あらかじめ登録されている画像、データフォルダやメモリカードに保存されている画像、カメラで撮影した画像などを音声／TVコール着信時の着信画像として設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定

1 **「音声通話設定」／「TVコール設定」→●→「着信表示設定」→●→「着信画像」→●**

■本体にあらかじめ用意されている画像を設定する
「プリセット画像」→●（2回）

■データフォルダの画像を設定する
「データフォルダ」→●→画像を選択→●→画像の位置を調節→●（2回）

重 要

- かかってきた相手の顔写真がアドレス帳に登録されていて、顔写真表示（下記）を「**On**」にしている場合は、着信画像の設定にかかわらず、顔写真が表示されます。ただし、シークレットメモリ（4-3ページ）に設定している相手から電話がかかってきても、シークレットモード（12-5ページ）が「**Off**」の場合は、着信画像が表示されます。
- 着信音パターン（11-3ページ）にムービーファイルが設定されている場合は、着信画像は表示されません。

顔写真表示を設定する

アドレス帳に顔写真（4-2ページ）を登録している相手から音声／TVコール着信したときに顔写真を表示するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定

1 「音声通話設定」／「TVコール設定」→● →「着信表示設定」→● →「アドレス帳登録画像」→●

2 「On」／「Off」→●

重 要

- 顔写真表示を「**On**」にしている場合、着信画像は表示されません。また、シークレットメモリ（4-3ページ）に設定している相手から電話がかかってきても、シークレットモード（12-5ページ）が「**Off**」の場合、顔写真は表示されません。
- 着信音パターン（11-3ページ）にムービーファイルが設定されている場合は、顔写真は表示されません。

サブディスプレイの着信表示を設定する

音声着信時に、アドレス帳に登録されている名前をサブディスプレイに表示するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定

1 「音声通話設定」／「TVコール設定」→● →「着信表示設定」→● →「着信表示」→●

2 「On」／「Off」→●

待受画面設定

メインディスプレイの時計表示、サブディスプレイの時計を設定できます。

●日付／時刻の設定については、1-14ページを参照してください。

メインディスプレイの時計表示を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メインディスプレイ設定 ▶ 時計表示設定

1 時計のタイプを選択→●

サブディスプレイの待受画面を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ サブディスプレイ設定 ▶ 待受画面設定

1 待受画面のタイプを選択→◉(2回)

時計表示を12／24時間制に切り替える

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ 12h/24h設定

1 「12時間表示」／「24時間表示」→◉

バックライト設定

本体を操作したときの、バックライトの明るさ、点灯時間を設定できます。

明るさを調節する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メインディスプレイ設定 ▶ バックライト設定 ▶ 明るさ調節

1 「明るさ1」／「明るさ2」→◉

点灯時間を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定

■メインディスプレイを設定する

「メインディスプレイ設定」→◉→「バックライト設定」→◉→「点灯時間」→◉→点灯時間を入力→◉

■サブディスプレイを設定する

「サブディスプレイ設定」→◉→「バックライト設定」→◉→点灯時間を入力→◉

補　足

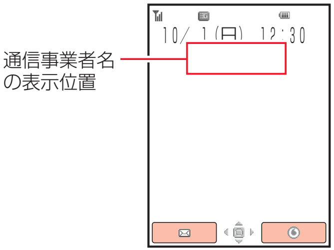
● メインディスプレイのバックライト点灯中は、サブディスプレイのバックライトも点灯し、サブディスプレイのバックライト点灯中はメインディスプレイのバックライトも点灯します。

事業者名表示

待受画面に通信事業者名を表示するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メインディスプレイ設定 ▶ 事業者名表示

1 「On」／「Off」→◉



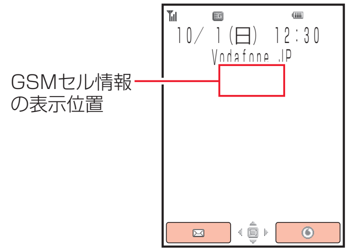
GSM セル情報表示設定

待受画面にGSMセル情報を表示するかどうかを設定できます。

●GSMセルとは、1つのGSM（21-14ページ）基地局の圏内のことです。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メインディスプレイ設定 ▶ GSMセル情報表示

1 「On」／「Off」→◉



ディスプレイ省電力設定

音声通話中や待受画面表示中に無操作の状態で一定時間経過したときに、メインディスプレイの表示を消して電池の消耗を抑えることができます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メインディスプレイ設定 ▶ ディスプレイ省電力

1 時間を選択→◉

サブディスプレイのコントラスト調節

サブディスプレイの濃淡（コントラスト）を調節できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ サブディスプレイ設定 ▶ コントラスト調節

1 本体を閉じる→▲／▼で調節→本体を開く→●

表示言語の切り替え

ディスプレイの表示を日本語／英語に設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ Language

1 表示言語を選択→●

イルミネーション設定

お知らせイルミネーションの設定

不在着信などの未確認の情報がある場合、本体を閉じた状態でイルミネーションが点滅します。また、点滅しないようにすることもできます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ イルミネーション設定

1 「お知らせ」→●→未確認情報の種別を選択→●

2 色を選択→●

補　足

- 不在着信を含む未確認の情報が複数ある場合は、「**不在着信表示**」で設定された色が点滅し、未読メールと留守番電話通知のみの場合は、「**未読メール**」で設定された色が点滅します。

着信イルミネーションの設定

着信時にイルミネーションが点滅します。また、点滅しないようにすることもできます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ イルミネーション設定

1 「着信設定」→●→着信の種別を選択→●

2 色を選択→●

重　要

- アドレス帳ごとの着信イルミネーション（4-3、4-5ページ）が設定されている場合は、アドレス帳の設定が優先されます。

キー設定

サイドキーの機能を設定する

サイドキー の機能を設定できます。設定した機能は、待受画面でサイドキー を長く（約1秒以上）押すと呼び出せます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ ショートカット設定 ▶ 上サイドキー長押し

1 割り当てる機能を選択→●

重 要

- スポットライト機能を利用する場合は、上サイドキー長押しに「**スポットライト**」を設定してください。

スポットライト

の機能を「**スポットライト**」にしている場合は、モバイルライトを簡易ライトとして使うことができます。

1 待受画面で を長く（約1秒以上）押す

●を押している間モバイルライトが点灯します。

2 をはなす

重 要

- モバイルライトの発光部を、人の目に近づけて発光させないでください。視力障害の原因となります。
- 本体操作ロック中（12-2ページ）、ホールド設定中（12-6ページ）に本体を閉じているときはモバイルライトは点灯しません。

マルチファンクションボタンの機能を設定する

マルチファンクションボタンの機能を設定できます。設定した機能は、待受画面でマルチファンクションボタンを押すと呼び出せます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ ショートカット設定

1 「マルチファンクションボタン」→●

■マルチファンクションボタンの機能を変更する

（メニュー）→「変更」→●→に設定する機能を選択→●→に設定する機能を選択→●→に設定する機能を選択→●

●には残りの機能が自動的に設定されます。

■お買い上げ時の状態に戻す

（メニュー）→「初期化」→●（2回）

簡易留守録

音声電話に出られないとき、応答メッセージが流れたあと、本体に相手のメッセージを録音できます。簡易留守録を「**On**」にすると待受画面に「■」が表示されます。簡易留守録は、最大3件、1件あたり最大15秒録音できます。

簡易留守録を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 簡易留守録

1 「簡易留守録設定」→◉

2 「On」/「Off」→◉

●待受画面で■を長く（約1秒以上）押しても、簡易留守録の設定／解除ができます。

重 要

- 待受アプリ（18-4ページ）を設定するとメッセージを録音できない場合があります。
- TVコールや割込通話の着信（14-5ページ）では簡易留守録を使用できません。

補 足

- 自動応答設定（13-20ページ）を「**On**」にしても、簡易留守録の応答が優先されます。
- 応答メッセージ再生中または相手のメッセージの録音中に■（応答）を押すと、通話できます。
- メッセージ録音中に■（■）を押すと、録音中のメッセージをスピーカーで聞くことができます。

応答時間を設定する

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 簡易留守録

1 「応答時間」→◉

2 応答時間を入力→◉

録音されたメッセージを再生／削除する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 簡易留守録

■メッセージを再生する

「再生」→◉→メッセージを選択→◉

●録音されたメッセージが未再生の場合は「■」が表示されます。再生済みの場合は「■」が表示されます。

■メッセージを削除する

「再生」→◉→メッセージを選択→■（メニュー）→「削除」→◉→■（Yes）

応答の設定

音声ミュートを設定する

音声通話中の送話または送受話の音声をミュートに設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定

1 「音声通話設定」→◉→「音声ミュート設定」→◉

2 ミュートの方法を選択→◉

補足

- 通話中に音声ミュートを設定する場合は、通話中に[-](メニュー)→「**送話音声Off**」／「**全音声Off**」を選択します。
- 通話中に音声ミュートを解除する場合は、通話中に[-](解除)を押します。

パケット通信時の音声着信を許可／拒否する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 音声通話設定 ▶ パケット通信時着信

1 「許可」／「拒否」→◉

オープン通話を設定する

オープン通話を「**On**」にすると、電話がかかってきたときに、本体を開くだけで応答できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 共通設定 ▶ オープン通話

1 「On」／「Off」→◉

応答ボタンを設定する（エニーキーアンサー）

エニーキーアンサーを「**On**」にすると[発信]の他に、[0]～[9]、[*]、[#]のいずれかを押して電話を受けることができます。「**Off**」にすると[発信]で受けることができます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 共通設定 ▶ エニーキーアンサー

1 「On」／「Off」→◉

通知設定

電話をかけるとき、お客様の電話番号を相手に通知するかどうかをあらかじめ設定しておくことができます。

自動的に通知／非通知にする

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 音声通話設定 ▶ 発信番号通知設定 ▶ 自動設定

1 通知の可否を選択→◉

重　要

- 「**番号通知**」にすると、発信者番号通知サービス（14-1ページ）のお申し込みに関係なく、相手にお客様の電話番号が常に通知されます。また、「**番号非通知**」にすると、お申し込みに関係なく、相手にはお客様の電話番号が一切通知されません。「**Off**」にするとお申し込みいただいた設定になります。

補　足

- 自動設定を設定しなくても電話番号表示中に、⊡（メニュー）→「**発信者番号非通知**」／「**発信者番号通知**」を選択して電話をかけることもできます。

不在着信履歴からの発信を非通知／通知にする

不在着信履歴（2-7ページ）から、アドレス帳に登録されていない電話番号を選択して電話をかける場合に、お客様の電話番号を相手に通知するかどうかをあらかじめ設定しておくことができます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 音声通話設定 ▶ 発信番号通知設定 ▶ 不在非通知

1 「On」／「Off」→◉

重　要

- 不在非通知を「**On**」にした場合は、自動設定（左記）を「**番号通知**」や「**Off**」にしていても、不在非通知が優先されます。

メモリ設定

メモリ使用率を確認する

メールやデータフォルダなどの使用率が確認できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ メモリ設定 ▶ 本体

1 「メモリ容量確認」→●

オールリセット

本体の各種設定や登録したすべてのデータをお買い上げ時の状態に戻します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ メモリ設定 ▶ 本体 ▶ オールリセット

1 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力→□(Yes)

●本体メモリおよび設定がリセット（初期化）され、自動的に電源を入れなおします。

補　足

● 「**オールリセット**」を行ってもUSIMカード、メモリカードのデータはお買い上げ時の状態に戻りません。

外部機器設定

My Mobileを利用して、外部機器（パソコン）からパケット通信を行うときの接続先名（Access Point Name）を8件まで設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ネットワーク設定 ▶ 外部機器設定

1 「未登録」→●→接続先名(APN)を入力→●→□(Yes)

ネットワーク設定

アプリケーション設定を行う

705Tのアプリケーション（ブラウザ、Vアプリ、MMS、ストリーミング）がネットワークに接続するために必要な情報を設定します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ネットワーク設定 ▶ アプリケーション設定

1 変更したい項目を選択→●→プロファイルを選択→□(メニュー)

●設定や編集などを行うことができます。

重　要

● 通常、設定を変更する必要はありません。特定の接続先などに接続するときになどに、設定してください。

インターネット設定を行う

インターネットのアクセスポイントの設定を変更したり、あらたに設定できます。

メインメニュー▶ 設定 ▶ ネットワーク設定 ▶ インターネット

1 プロファイルを選択→[-](メニュー)

- 設定や編集などができます。
- 新規にプロファイルを追加する場合は、「**未登録**」を選択し、[-](追加)を押します。以降の操作は画面の指示に従ってください。

重　要

- 通常、設定を変更する必要はありません。特定の接続先に接続するときなどに、設定してください。

ネットワーク自動調整を行う

ネットワーク自動調整は、一度調整すると自動的に表示されなくなります。設定を変更する場合は、メインメニューからネットワーク自動調整を行います。

メインメニュー▶ 設定 ▶ ネットワーク設定

1 「ネットワーク自動調整」→◉(2回)

操作用暗証番号の変更

●操作用暗証番号（1-16ページ）は忘れないように、別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 暗証番号変更

1 **現在の操作用暗証番号(1-16ページ)を入力**

2 **新しい操作用暗証番号を入力**

3 **確認のためにもう一度新しい操作用暗証番号を入力**

PIN コード設定

PIN1 コードを設定する

USIMカードを本体に取り付けて電源を入れたときにPIN1コード（1-3ページ）を入力して照合を行うかどうかを設定できます。第三者による705Tの無断使用を防ぐため「**有効**」にすることをおすすめします。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ PIN1設定

1 **「有効」／「無効」→●**

2 **PIN1コードを入力→●**

PIN コードを変更する

PIN1／PIN2コード（1-3ページ）を変更できます。PIN1コードを変更する場合は、PIN1設定（左記）を「**有効**」にしてください。

●PINコードは忘れないように別にメモなどに取り、他人に知られないように保管にしてください。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定

1 **「PIN1変更」／「PIN2変更」→●**

2 **現在のPIN1／PIN2コードを入力→●**

3 **新しいPIN1／PIN2コードを入力→●**

4 **確認のためにもう一度新しいPIN1／PIN2コードを入力→●**

PIN ロックを解除する

PIN1／PIN2コードの入力を続けて3回間違えるとPIN1／PIN2ロックがかかり、705Tの使用が制限されます。PIN1／PIN2ロックを解除するには、PINロック解除コード（PUK1／PUK2コード）を入力します。PINロック解除コードについては、**お問い合わせ先**（21-28ページ）までご連絡ください。

1 **PIN1／PIN2ロック状態でPINコードの入力が必要な操作をする**

2 **PUK1／PUK2コードを入力→●**

3 新しいPIN1／PIN2コードを入力→◉

4 確認のためにもう一度新しいPIN1／PIN2コードを入力→◉

重　要

- PINロック解除コード(PUKコード)の入力を10回続けて間違うとUSIMカードがロック(USIMロック)されます。USIMカードがロックされた場合は、解除することはできません。**お問い合わせ先**(21-28ページ)までご連絡ください。

無断で使用されたくないとき（本体操作ロック）

操作用暗証番号（1-16ページ）を入力しない限り、ボタン操作を行えないように設定できます。本体操作ロックが有効になると待受画面に「」と「**本体操作ロック**」が表示されます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 本体操作ロック

1 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力

■本体を閉じたときにロックをかける
「本体クローズ」→◉→「On」／「Off」→◉

■省電力のためディスプレイの表示が消えたときにロックをかける
「ディスプレイ省電力」→◉→「On」／「Off」→◉

■電源を入れるたびにロックをかける
「電源オン」→◉→「On」／「Off」→◉

重　要

- 本体操作ロックは、設定を「**Off**」にするまで選択したタイミングでボタン操作がロックされます。
- 解除するには、操作用暗証番号(1-16ページ)を入力し、ロックを一時解除してから本体操作ロックの設定を「**Off**」にしてください。
- 「**本体クローズ**」では、待受画面表示中に本体を閉じたときロックがかかります。また、「**ディスプレイ省電力**」では、待受画面表示中にディスプレイ省電力設定(11-10ページ)で設定されている時間が経過し、メインディスプレイの表示が消えたときロックがかかります。
- メディアプレイヤーでバックグラウンド再生中(7-8ページ)は、ロックされません。
- Bluetooth™起動中は、本体操作ロックを設定できません。
- 本体操作ロックを一時解除してもBluetooth™の起動設定はできません。本体操作ロックの設定を「**Off**」にしてください。
- 本体操作ロック中は、マルチステレオイヤホンマイクからワンタッチで電話をかけることはできません。

補　足

- 本体操作ロックの設定を「**On**」にしても以下の操作は行うことができます。
  - ・電源を入れる／切る
  - ・「**PIN1設定**」(12-1ページ)を「**有効**」にしたときのPIN1コードの入力
  - ・本体操作ロックの一時解除
  - ・110番(警察)、119番(消防･救急)、118番(海上保安本部)へ電話をかける
  - ・電話を受ける(オープン通話、エニーキーアンサーでは、電話を受けられません)
  - ・アラームの停止(13-9ページ)
  - ・スケジュールのアラーム停止(13-6ページ)
  - ・応答保留(2-3ページ)
  - ・転送電話(14-2ページ)
  - ・着信拒否(2-5ページ)
  - ・着信中の着信音量調節(2-3、5-2ページ)
  - ・待受アプリ一時停止(18-4ページ)
- 本体操作ロック中は、お知らせ一発メニュー(1-9ページ)は表示されません。
- 本体操作ロックを「**On**」にしても一時解除すると待受画面の「」と「**本体操作ロック**」は表示されません。

電話の着信制限

電話番号非通知の着信や公衆電話からの着信などを拒否できます。また、受けたくない電話番号を拒否電話リストに登録して着信を拒否することもできます。

特定の着信を拒否する

拒否設定した項目に該当する相手から電話がかかってきた場合は、着信の動作は行いませんが、お知らせ一発メニュー（1-9ページ）が表示され、不在着信履歴（2-7ページ）で確認できます。

●着信規制（14-7ページ）が設定されている場合は、着信規制が優先されます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 着信拒否設定

■番号を通知しない電話からの着信を拒否する

「非通知番号拒否」→●→「On」／「Off」→●

■公衆電話からの着信を拒否する

「公衆電話拒否」→●→「On」／「Off」→●

■番号を通知できない電話からの着信を拒否する

「通知不可拒否」→●→「On」／「Off」→●

■アドレス帳に登録されている番号以外からの着信を拒否する

「アドレス帳以外拒否」→●→「On」／「Off」→●

■指定した番号からの着信を拒否する

拒否電話リストに登録する（12-4ページ）を参照してください。

拒否電話リストに登録する

受けたくない相手の電話番号を登録し、着信を拒否します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 着信拒否設定

1 「指定番号拒否」→◉→「On」→◉

2 操作用暗証番号（1-16ページ）を入力

3 ⊡（メニュー）→「追加」→◉

●拒否電話リストに1件も登録していない場合は、⊡（追加）を押してください。

■アドレス帳から登録する

「アドレス帳」→◉→相手を選択→◉→電話番号を選択→◉（2回）

■電話番号を直接入力して登録する

「ダイヤル入力」→◉→電話番号を入力→◉

■通話履歴から登録する

「通話履歴」→◉→電話番号を選択→◉（2回）

補　足

● すでに電話番号が登録されている場合、操作用暗証番号（1-16ページ）を入力したあと、⊡（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
詳細／**追加**／**編集**／**削除**

受信拒否アドレスの登録

受信したくない相手のメールアドレスまたは電話番号を登録し、受信を拒否します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定

1 「受信拒否アドレス」→◉→「On」→◉

2 操作用暗証番号（1-16ページ）を入力

3 ⊡（メニュー）→「追加」→◉

●受信拒否リストに1件も登録していない場合は、⊡（追加）を押してください。

■アドレス帳から登録する

「アドレス帳」→◉→相手を選択→◉→電話番号／メールアドレスを選択→◉

■電話番号／メールアドレスを直接入力して登録する

「アドレス入力」→◉→電話番号／メールアドレスを入力→◉

補　足

● すでに電話番号またはメールアドレスが登録されている場合、操作用暗証番号（1-16ページ）を入力したあと、⊡（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
詳細／**追加**／**編集**／**削除**

シークレットモードの設定

シークレットメモリ（4-3ページ）として登録したアドレス帳を表示できます。シークレットモードを「**On**」にすると画面上に「」が表示されます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ シークレットモード

1 **操作用暗証番号（1-16ページ）を入力**

2 「On」／「Off」→◉

重　要

- 電源を切ると、シークレットモードは「**Off**」になります。

補　足

- シークレットメモリとして登録している相手との電話の発着信やメールの送受信があっても、シークレットモードを「**Off**」にしている場合は、電話番号またはE-mailアドレスだけが表示されます。

発信制限（固定電話番号設定）

番号リストに登録した相手にだけ電話をかけたりSMSを送信できるように設定できます。番号リストにはすべての桁を登録しなくても使用でき、登録した番号から始まる電話番号には電話やSMSの送信ができます。また、番号リストはUSIMカードに記憶されます。

●発信制限（固定電話番号設定）は、対応したUSIMカードを使用時のみご利用できます。

発信を制限する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 固定電話番号設定

1 **「設定」→◉ →PIN2コードを入力→◉**

2 「On」／「Off」→◉

重　要

- 発信制限をしても110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安本部）へは発信できます。

番号リストに登録する

番号リストに登録できる件数は、USIMカードによって異なります。

●番号リストに登録する場合は、発信制限（12-5ページ）を「**On**」にしてください。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 固定電話番号設定

1 「番号リスト」→◉

2 「未登録」→◉→PIN2コードを入力→◉

3 「電話番号」→◉→電話番号を入力→◉

- 登録可能文字数は、USIMカードによって異なります。
- 1つの桁にすべての番号（0〜9）を設定したい場合は、⊟（メニュー）を押し、「**ワイルドカード**」を選択し「**?**」を表示させます。
  （例：「090????1234」に設定した場合は、「090**0000**1234」〜「090**9999**1234」の電話番号に発信できます。）

4 「名前」→◉ →名前を入力→◉

5 ⊟(メニュー)→「決定」→◉

重　要

- メール送信を行うには、SMSセンター番号と宛先（SMS送信）または¥99＃（MMS送信）を番号リストに登録する必要があります。

ホールド（Hold）

本体を閉じているときにミュージックプレイヤーボタンやサイドキーを無効にし、誤動作を防ぎます。開いた状態では通常の操作を行えます。ホールドを設定するとサブディスプレイに「🔒」が表示されます。

ホールドを設定する

1 本体を閉じた状態で、▯を長く（約1秒以上）押す

ホールドを解除する

1 ホールド設定中に本体を閉じた状態で、▯を長く（約1秒以上）押す

重　要

- 電池残量が少ないと本体を閉じてもホールドが有効にならない場合があります。

補　足

- 一度ホールドを設定すると、解除するまで本体を閉じるたびにホールドが有効になります。

マルチアプリ

使用中の機能を終了させずに複数の機能を同時に起動できます。ただし、機能によっては、他機能と同時に起動できない場合があります。

重要

- Vアプリ（待受アプリを除く）実行中は、マルチアプリを利用できません

複数の機能を同時に起動する

1 ある機能を使用中→[メニュー]→「ツール」→◉

2 機能を選択→◉

重要

- あとから起動できる機能は以下の通りです。
  - ・スケジュール
  - ・カウントダウンタイマー
  - ・アラーム
  - ・メモ帳
  - ・辞書
  - ・番号メモ
  - ・簡易電卓
  - ・世界時計
  - ・通貨換算
  - ・バックアップ
  - ・ボイスレコーダー
- Vアプリは機能を選択する画面には表示されません。

補足

- ウェブへアクセス中またはVアプリ起動中に音声電話を受けることができます。音声電話を受ける場合は、着信中に[通話]を押します。

使用する機能を切り替える

複数の機能を同時に起動しているときに、機能を切り替えて使用できます。

1 複数の機能を起動中→[メニュー]→機能を選択→◉

重要

- Vアプリは他機能の起動中には再開できません。他に起動している機能を終了させてください。

補足

- ウェブへアクセス中に音声電話を受けた場合も、ウェブと音声通話を切り替えることができます。

スケジュール

スケジュールは、100件まで登録できます。時計表示設定(11-8ページ)を「**カレンダー**」にしている場合には、スケジュールが登録されている日は待受画面のカレンダーにも水色で表示されます。

スケジュールを表示する

表示を月間表示、週間表示、一日表示、全件表示に切り替えることができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 ⊡(メニュー)→「表示切替」→◉

2 表示方法を選択→◉

3 日付/スケジュールを選択→◉

月間表示画面でできること



月間表示画面中の黒色はカーソル、緑色は今日、水色はスケジュールが登録されていることを示します。
✱を押すと先月が表示されます。
#を押すと翌月が表示されます。
⊡(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。

一日表示：表示を一日表示に切り替えます。
新規作成：スケジュールを登録します。
削除：「**当日分全件**」、「**前日以前全件**」、「**全件**」の削除を行います。
ジャンプ：指定した日を表示します。
スケジュールロック：スケジュールにロックをかけます。
休日設定：指定した日や曜日の表示の色を変更します。
表示切替：「**週間表示**」、「**一日表示**」、「**全件表示**」に表示を切り替えます。

週間表示画面でできること

週間表示画面では、日付の黒色はカーソル、緑色は今日、水色はスケジュールが登録されていることを示します。

◎を押すと先週が表示されます。

◎を押すと翌週が表示されます。

⊟（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

一日表示：表示を一日表示に切り替えます。

新規作成：スケジュールを登録します。

削除：「**当日分全件**」、「**前日以前全件**」、「**全件**」の削除を行います。

ジャンプ：指定した日を表示します。

スケジュールロック：スケジュールにロックをかけます。

休日設定：指定した日や曜日の表示の色を変更します。

表示切替：「**月間表示**」、「**一日表示**」、「**全件表示**」に表示を切り替えます。

一日表示画面でできること

◎を押すと前日が表示されます。

◎を押すと翌日が表示されます。

⊟（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

詳細：スケジュールの詳細が表示されます。

新規作成：スケジュールを登録します。

編集：スケジュールを編集します。

削除：「**一件**」、「**当日分全件**」の削除を行います。

ジャンプ：指定した日を表示します。

エクスポート：「**メール送信-MMS**」、「**データフォルダ**」、「**メモリカード**」、「**Bluetooth送信**」を行います。

スケジュールロック：スケジュールにロックをかけます。

休日設定：指定した日や曜日の表示の色を変更します。

表示切替：「**月間表示**」、「**週間表示**」、「**全件表示**」に表示を切り替えます。

全件表示画面でできること

（＊）、（＃）を押すとページの切り替えができます。
（－）（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

詳細：スケジュールの詳細が表示されます。
新規作成：スケジュールを登録します。
編集：スケジュールを編集します。
削除：「**一件**」、「**前日以前全件**」、「**全件**」の削除を行います。
複数選択：複数のスケジュールを選択し、削除やエクスポートをすることができます。
エクスポート：「**メール送信-MMS**」、「**データフォルダ**」、「**メモリカード**」、「**Bluetooth送信**」を行います。
スケジュールロック：スケジュールにロックをかけます。
表示切替：「**月間表示**」、「**週間表示**」に表示を切り替えます。

スケジュールを登録する

「**開始日時**」を入力しないと、スケジュールは登録できません。

メインメニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 （－）(メニュー)→「新規作成」→（●）

■タイトルを登録する
「タイトル」→（●）→タイトルを入力→（●）

■開始日時を登録する
「開始日時」→（●）→「日時設定」／「終日設定」→（●）→日時を入力→（●）
●時刻は24時間制で入力してください。
●「**終日設定**」を選択した場合は、日付のみ入力します。開始日時の時刻に「**0：00**」、終了日時に翌日の日付と「**0：00**」が自動的に設定されます。

■終了日時を登録する
「終了日時」→（●）→日時を入力→（●）
●時刻は24時間制で入力してください。

2 （－）(メニュー)→「登録」→（●）

重 要

● 「**2 都市時計設定**」でメインの都市を切り替えた場合（13-14ページ）は、スケジュールで設定した日時も、変更後の都市の時刻に合わせて自動的に変更されます。また、サマータイムを設定した場合も変更されます。

アラームを設定する

メイン メニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 ⊡(メニュー)→「新規作成」→◉→「アラーム」→◉

2 「On」→◉

■**アラーム時刻を設定する**

「アラーム時刻」→◉→日時を入力→◉

●時刻は24時間制で入力してください。

■**本体にあらかじめ登録されている音をアラーム音に設定する**

「アラーム音」→◉→「プリセットパターン」／「プリセットメロディ」→◉→アラーム音を選択→◉→⊡（設定）

■**データフォルダのファイルをアラーム音に設定する**

「アラーム音」→◉→「データフォルダ」→◉→「ムービー」／「メロディ＆ミュージック」→◉→ファイルを選択→◉→⊡（設定）

■**アラーム音量を設定する**

「アラーム音量」→◉→音量を調節→◉

■**バイブレーターを設定する**

「バイブレーター」→◉→パターンを選択→◉

3 ⊡(メニュー)→「登録」→◉

補　足

- 電源を切っているときでも、アラームの設定時刻になると自動的に電源が入り、アラームが起動します。「**PIN1設定**」(12-1ページ)を「**有効**」に設定している場合は、PIN1コード(1-3ページ)を入力しないと、着信やメールの受信ができません。
- モード設定(11-1ページ)を「**マナーモード**」または「**ミーティングモード**」に、音･バイブ設定のアラーム(11-6ページ)を「**Off**」にしている場合は、アラームは鳴りません。
- モード設定(11-1ページ)を「**マナーモード**」に、音･バイブ設定のバイブレーター(11-4ページ)を「**Off**」にしている場合は、振動しません。

その他の設定をする

メイン メニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 ⊡(メニュー)→「新規作成」→◉

■**繰り返しを設定する**

「繰り返しなし」→◉→「繰り返しなし」／「毎日」／「毎週」／「毎月」／「毎年」／「月末」→◉→繰り返し回数を入力→◉

■**内容を設定する**

「内容」→◉→内容を入力→◉

■**場所を設定する**

「場所」→◉→場所を入力→◉

■**カテゴリを設定する**

「カテゴリなし」→◉→カテゴリを選択→◉

●スケジュールを表示すると、設定されたカテゴリがアイコンで表示されます。

重　要

- 開始日時を設定していない場合は、繰り返しを設定することができません。
- 開始日時に月末の日付を設定していない場合は、「**月末**」を選択することはできません。

補　足

- 繰り返し回数を無制限にする場合は、「**00**」を入力します。
- 繰り返し設定で、30日または31日に「**毎月**」を設定し、翌月に30日または31日がない場合は、翌々月の30日または31日に設定されます。

スケジュールを編集する

登録したスケジュールを編集できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 **日付を選択→**

2 **スケジュールを選択→(メニュー)→「編集」→**

3 **項目を選択→→項目を編集→**

4 **(メニュー)→「登録」／「新規登録」→**

スケジュールを削除する

メインメニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

■1件削除する

日付を選択→→削除するスケジュールを選択→（メニュー）→「削除」→→「一件」→→（Yes）

■当日分をすべて削除する

日付を選択→→（メニュー）→「削除」→→「当日分全件」→→（Yes）

■前日以前をすべて削除する

（メニュー）→「削除」→→「前日以前全件」→→（Yes）

■全件削除する

（メニュー）→「削除」→→「全件」→→操作用暗証番号（1-16ページ）を入力→（Yes）

■複数選択して削除する

（メニュー）→「表示切替」→→「全件表示」→→（メニュー）→「複数選択」→→スケジュールを選択→→（メニュー）→「削除」→→（Yes）

起動したアラームを停止する

アラームが起動すると、メインディスプレイにカテゴリアイコンおよびタイトルが表示されます。起動後1分経過すると、自動的に停止しますが、どのボタン（ミュージックプレイヤーボタンを除く）を押しても停止できます。停止後、（終了）を押すと待受画面に戻ります。（詳細）を押すと、スケジュールの詳細画面を表示できます。

補　足

- 操作中でも、設定した時刻になるとアラームが起動します。ただし、通話中や撮影中、データ通信中に設定した時刻になった場合は、それぞれの操作終了後にアラームが起動します。

指定した日へ移動する

月間表示、週間表示、一日表示で指定した日へカーソルを移動できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 ⊟(メニュー)→「ジャンプ」→◉

2 日付を入力→◉

スケジュールロックを設定する

操作用暗証番号（1-16ページ）を入力しない限り、スケジュールを確認できないように設定できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 ⊟(メニュー)→スケジュールロック→◉

2 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力

3 「On」／「Off」→◉

重　要

- スケジュールロックを「**On**」にしている場合は、アラーム起動時（13-6ページ）カテゴリアイコンやタイトルは表示されません。また、詳細画面も表示できません。

日付や曜日の表示色を変更する

月間表示、週間表示のスタイルや時計表示設定（11-8ページ）をカレンダーにした場合に待受画面に表示されるカレンダーについて、指定した日付や曜日の表示色を変更できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 ⊟(メニュー)→「休日設定」→◉

■日付を指定して色を変更する

「当日」→◉→日付を選択→◉→色／「初期値」→◉→⊟（メニュー）→「登録」→◉

■曜日ごとに色を変更する

「曜日指定」→◉→曜日を選択→◉→色を選択→◉→⊟（メニュー）→「登録」→◉

補　足

- 「**当日**」、「**曜日指定**」で重ねて設定している場合は、「**当日**」で設定した色が優先されます。

13 便利な機能

アラーム

アラームにはアラーム名、アラーム時刻、鳴動設定、起動設定、スヌーズを設定できます。アラームを設定すると待受画面に「🔔」が表示されます。

アラームを登録する

メインメニュー ▶ ツール ▶ アラーム

1 アラームを選択→「On」→◉

■アラーム名を設定する
アラーム名を選択→◉→アラーム名を入力→◉

■アラーム時刻を設定する
「0：00」→◉→時刻を入力→◉

2 ⊟(メニュー)→「登録」→◉

重　要

- 電源を切っているときでも、アラームの設定時刻になると自動的に電源が入り、アラームが起動します。「**PIN1設定**」(12-1ページ)を「**有効**」に設定している場合は、PIN1コード(1-3ページ)を入力しないと、着信やメールの受信ができません。
- 世界時計でメイン都市切替(13-14ページ)を行ったり、サマータイムを「**On**」にしても、アラーム時刻は、変更後の都市の時刻に合わせて自動的に更新されません。

アラーム音／アラーム音量／バイブレーターを設定する

メインメニュー ▶ ツール ▶ アラーム

1 アラームを選択→◉→「On」→◉

2 「鳴動設定」→◉

■本体にあらかじめ用意されている音をアラーム音に設定する
「アラーム音」→◉→「プリセットパターン」／「プリセットメロディ」→◉→アラーム音を選択→◉→⊟（設定）

■データフォルダのファイルをアラーム音に設定する
「アラーム音」→◉→「データフォルダ」→◉→「ムービー」／「メロディ＆ミュージック」→◉→ファイルを選択→◉→⊟(設定)

■アラーム音量を設定する
「アラーム音量」→◉→音量を調節→◉

■バイブレーターを設定する
「バイブレーター」→◉→パターンを選択→◉

●バイブレーターのパターンでSMAF連動を選択した場合は、アラーム音で設定しているメロディ（SMAF形式でバイブレーターが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

3 ⊟(メニュー)→「登録」→◉

補　足

- モード設定(11-1ページ)を「**マナーモード**」に、音･バイブ設定のバイブレーター(11-4ページ)を「**Off**」にしている場合は、振動しません。

起動日／スヌーズの設定をする

メインメニュー ▶ ツール ▶ アラーム

1 **アラームを選択→◉→「On」→◉**

■**起動日を設定する**

「毎日」→◉→起動条件を選択→◉

- 「曜日選択」を選択した場合は、◉→起動したい曜日の横に☑を表示→⊟（メニュー）→「決定」→◉
- 「一回のみ」を選択した場合は、起動したい年月日を入力→◉

■**スヌーズを設定する**

「スヌーズ」→◉→「On」／「Off」→◉

- スヌーズを「**On**」にすると、いったんアラームを止めても5分後に再びアラームが鳴り、5回繰り返します。

重　要

- 電源を切っているときでも、アラームの設定時刻になると自動的に電源が入り、アラームが起動します。「**PIN1設定**」（12-1ページ）を「**有効**」に設定している場合は、PIN1コード（1-3ページ）を入力しないと、着信やメールの受信ができません。

アラームを停止する

設定した時刻になるとアラームの設定に従って、アラーム音、バイブレーターでお知らせします。また、イルミネーションも点滅します。アラーム起動後、約1分経過すると自動的にアラームは停止します。

■**スヌーズが設定されていないとき**

アラーム起動→いずれかのボタン（ミュージックプレイヤーボタンを除く）を押す／そのまま約1分経過→⊟（終了）

■**スヌーズが設定されているとき**

アラーム起動→いずれかのボタン（ミュージックプレイヤーボタンを除く）を押す／そのまま約1分経過→「スヌーズ終了」→◉→⊟（Yes）

補　足

- 操作中でも、設定した時刻になるとアラームが起動します。ただし、通話中や撮影中、データ通信中に設定した時刻になった場合は、それぞれの操作終了後にアラームが起動します。

13

便利な機能

辞書

国語辞書（約4万語）、英和辞書（約4万語）、和英辞書（約3万6千語）の辞書データ（辞スパ）が登録されています。

国語･英和･和英辞書は © 株式会社学習研究社の「辞スパ」を使用しています。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 辞書

■単語（漢字、読み仮名）入力による意味検索をする

「国語辞書」→◉→キーワードを入力→◉→単語を選択→◉

■英単語入力による意味検索をする

「英和辞書」→◉→キーワードを入力→◉→単語を選択→◉

■単語（漢字、読み仮名）入力による英単語を検索する

「和英辞書」→◉→キーワードを入力→◉→単語を選択→◉

補　足

- 単語を選択中に[メニュー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  詳細表示／**検索**／**ユーザ辞書へ登録**／**見出し語をコピー**／**キーワードクリア**／**辞書切替**
- 単語を選択したあと[メニュー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  意味をコピー／**見出し語をコピー**

簡易電卓

メインメニュー ▶ ツール ▶ 簡易電卓

ボタン	機能	ボタン	機能
[0]～[9]	数字を入力	◉	＝
[▲]	＋	[発信]	＋／－切替
[▼]	－	[メール]	Tax（税計算）
[◀]	×	[クリア/メモ]	C（クリア）
[▶]	÷	[＊]	小数点
[終話]	Exit（電卓を終了）		

補　足

- [メール]を1回押すと税率計算結果が赤色の文字で、もう一度押すと税込み計算結果が緑色の文字で表示されます。
- 簡易電卓表示中に、[メニュー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

＝：計算結果を表示します。
全クリア：入力値とメモリを消去します。
MS：入力値をメモリに保存します。
M+：入力値をメモリの数値に加算します。
MR：メモリに保存された値を表示します。
%：パーセント計算をします。
1／X：逆数計算をします。
SQRT：平方根計算をします。
税率設定：[メール]を押した場合に行われる税計算の設定を行います。税率を入力し、◉を押します。

通貨換算

メインメニュー ▶ ツール ▶ 通貨換算

1 レートを入力→◎

2 金額を入力→●

補　足

- 小数点を入力する場合は、*を押します。
- もう一度換算したい場合や、換算結果をクリアしたい場合は、ー(再スタート)を押します。この場合は、入力した換算レートや換算金額はクリアされません。
- 入力した換算レートや換算金額をクリアしたい場合は、カーソルをクリアしたい項目へ移動し、ー(クリア)またはクリア/メモを押します。

ボイスレコーダー

音声を録音し、本体やメモリカードに保存できます。1件あたり90分まで録音できます。ただし、メモリの空き容量によって録音できる時間が短かくなる場合があります。

●ボイスレコーダー機能は、一般的なモラルやマナーを守ってお使いください。

音声を録音する

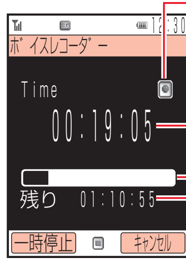
ボイスレコーダーで録音した音声は「**メロディ&ミュージック**」フォルダ内の「**ボイスレコーダー**」フォルダに自動的に保存されます。録音はマイク（送話口）で行います。

●実演および興行などには、個人として楽しむための録音自体が制限されている場合がありますので、ご注意ください。

●録音中に着信があった場合は、着信を優先するため、録音を停止し、自動保存します。録音中の着信を禁止する場合はオフラインモード（2-10ページ）に設定してください。

録音画面について

録音画面は、以下のように表示されます。



状態表示
◉：録音中
▣：停止中
Ⅱ：一時停止中

録音時間
録音した時間を表示します。

録音バー
現在録音している位置を表示します。

録音可能時間
残りの録音可能時間を表示します。

録音する

メインメニュー ▶ ツール ▶ ボイスレコーダー

1 「録音」→◉(2回)

●一時停止する場合は⊟（一時停止）を押します。録音を再開する場合は◉を、保存する場合は⊟（保存）を押します。
●録音を終了するには◉を押します。
●録音可能時間が10秒未満になると「◙」が点滅します。

保存先を変更する

メインメニュー ▶ ツール ▶ ボイスレコーダー

1 「録音」→◉

2 ⊟(メニュー)→「保存先設定」→◉

3 「本体」/「メモリカード」→◉

録音内容を再生する

通話中に録音した音声（2-5ページ）も再生できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ ボイスレコーダー

1 「再生」→◉

2 ファイルを選択→◉

●メモリカードに保存されているファイルを選択する場合は、⊟（メニュー）→「**メモリカード**」を選択します。

カウントダウンタイマー

設定時間が経過すると、アラーム音、バイブレーター、イルミネーションの点滅でお知らせします。

メインメニュー ▶ ツール ▶ カウントダウンタイマー

1 アラーム起動までの時間を入力→◉

2 ⊟(スタート)

3 ⊟(ストップ)

補　足

● アラーム音量はサウンド音量(11-5ページ)の設定に従います。「**マナーモード**」(11-1ページ)に設定されている場合は鳴りません。

メモ帳

メインメニュー ▶ ツール ▶ メモ帳

1 空いている項目を選択→◉→内容を入力→◉

補　足

● すでに内容が登録されている項目を選択中に⊟(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
編集/**一件削除**/**全件削除**

世界時計

時計表示、スケジュール、アラームに表示されている時刻は、メイン都市の切り替え（13-14ページ）で設定した都市の時刻です。都市1／都市2に時刻を設定し、時計表示設定（11-8ページ）で「**2都市表示**」を選択した場合や、待受画面設定（11-9ページ）で「**2都市時計**」を選択した場合は、都市1と都市2の日時を待受画面に表示できます。

2 都市時計を設定する

都市1／都市2を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ 2都市時計設定

1 「都市1」／「都市2」→◉

2 ◎で都市を選択→◉

GMTからオフセットで都市を設定する

GMT（グリニッジ標準時）との時差を入力することで、都市を選択できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ 2都市時計設定

1 「都市1」／「都市2」→◉→⊟(メニュー)→「GMTオフセット」→◉

2 ◎で時差を選択→◉(2回)

●＋、－を切り替えるには、時差入力中に⊟（メニュー）→「**＋／－**」を選択します。

サマータイムを設定する

サマータイムの設定を「**On**」にしている場合は、世界時計の画面上に「☼」が表示されます。待受画面の時計には「※」が表示されます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ 2都市時計設定

1 「都市1」／「都市2」→◉→⊟(メニュー)→「サマータイムOn／Off」→◉

2 「On」／「Off」→◉

都市名を編集する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ 2都市時計設定

1 「都市1」／「都市2」→◉

2 ◎で名称を編集する都市を選択→□(メニュー)→「都市名編集」→◉

3 都市名を入力→◉

補　足

- 都市名をすべてお買い上げ時の状態に戻すには、「**都市1**」／「**都市2**」→◉→□(メニュー)→「**都市名リセット**」→◉
- 都市名は、全角半角を問わず15文字まで設定できます。表示される場所によっては、都市名の一部を省略表示する場合もあります。

メイン都市の切り替えをする

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ 2都市時計設定

1 「メイン都市切替」→◉

2 「都市1」／「都市2」→◉

世界時計を表示する

世界時計表示では、主要都市の日付、時刻、時差を、地図上のカーソル（黄線）を動かすことにより確認できます。2都市時計設定（13-13ページ）で設定された都市1は緑線、都市2は赤線で表示されます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 世界時計

1 ◎で都市を選択

●サマータイムの表示を切り替える場合は、□（on）または□（off）を押します。

ファイルのバックアップ

本体からメモリカードへアドレス帳のデータやスケジュールのデータをファイルにしてバックアップできます。また、バックアップしたファイルをメモリカードから本体に読込むこともできます。

本体からメモリカードにバックアップする

メインメニュー ▶ ツール ▶ バックアップ

1 「バックアップ」→◉→「アドレス帳」／「スケジュール」→◉

2 □(メニュー)→「バックアップ」→◉

3 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力→□(Yes)

●アドレス帳をバックアップする場合は、アドレス帳に登録している画像も含めてバックアップするかどうかの確認画面が表示されます。□（No）を押すと、登録画像を含めずにバックアップできます。

●スケジュールをバックアップする場合は、前日以前のスケジュールも含めてバックアップするかどうかの確認画面が表示されます。□（No）を押すと、当日以後のスケジュールだけをバックアップできます。

バックアップ中は自動的にオフラインモードになります。メモリカードへのバックアップが完了すると解除されます。

重 要

- メモリカードにバックアップしたファイルをパソコンなどで参照したり、書き替えたりしないでください。ファイルが破損するおそれがあります。

補 足

- バックアップしたファイルの名前は、2桁の年月日と連番で登録されます。

メモリカードから本体にバックアップファイルを読込む

メインメニュー ▶ ツール ▶ バックアップ ▶ 読込み

1 「アドレス帳」/「スケジュール」→◉

2 ファイルを選択→◉

3 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力→⊡(Yes)

読込み方法の確認画面が表示されます。本体のアドレス帳またはスケジュールに登録されている内容をすべて消去してからバックアップファイルを読み込む場合は、⊡(Yes)を押します。⊡(No)を押すと、本体の登録内容を削除せずに追加登録できます。

●読込み中は自動的にオフラインモードになります。本体への読込みが完了すると解除されます。

バックアップファイルを削除する

メインメニュー ▶ ツール ▶ バックアップ ▶ 読込み

1 「アドレス帳」/「スケジュール」→◉

■1件削除する

ファイルを選択→⊡(メニュー)→「**一件削除**」→◉→⊡(Yes)

■全件削除する

⊡(メニュー)→「**全件削除**」→◉→操作用暗証番号(1-16ページ)を入力→⊡(Yes)

テレビに出力する

ビデオ出力ケーブル（オプション品）を使用して、テレビのビデオ入力端子に接続することにより、静止画、動画をテレビに出力できます。また、テレビ表示に対応したVアプリ（18章）をテレビ表示することもできます。

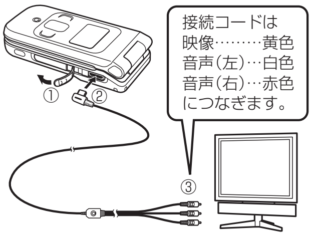
13

便利な機能

1 AV OUT端子のキャップを開ける(①)

2 ビデオ出力ケーブルの接続プラグをAV OUT端子に差し込む(②)

3 ビデオ出力ケーブルをテレビのビデオ入力端子(映像・音声)に接続する(③)



4 テレビ出力したい画面をメインディスプレイに表示→▣を長く(約1秒以上)押す→▭(Yes)

●終了する場合は、▣を長く（約1秒以上）押します。

重　要

- ファイルによってはテレビ表示できない場合があります。
- 動画撮影中、セルフタイマー起動中(6-15ページ)は、テレビ表示に変更できません。

海外でテレビ出力するとき

テレビの規格によっては、TV出力の設定をPALに変更する必要があります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ ＴＶ出力

1 「NTSC」／「PAL」→◉

国際電話サービスの設定

国際電話をかける際に、付加する国際コードの変更、国番号リストへの追加もすることができます。

●国際電話サービスをご利用になるには、あらかじめお申し込みが必要となります。国際電話サービスについて、詳しくは3Gガイドブックをご覧ください。

国際コードを変更する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 音声通話設定 ▶ 国際発信設定

1 「国際コード」→◉

現在設定されている国際コードが表示されます。

2 番号を入力→◉

国番号リストに追加登録する

国番号リストにはあらかじめ17カ国の国番号が登録されています。また、この国番号リストは編集や追加登録できます。国番号リストの登録可能国数は最大20カ国です。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 音声通話設定 ▶ 国際発信設定

1 「国番号リスト」→◉

2 ⊟(メニュー)→「追加」→◉

3 国名を入力→◉

4 国番号を入力→◉

国番号リストに登録されます。

補　足

- 国番号リストで国を選択したあと⊟(メニュー)を押して、以下の操作を行うこともできます。
  編集／削除※
  ※ 追加登録した3ヵ国のみ削除できます。

ショートカット

よく使う機能をショートカットメニューに登録すると、少ない操作でその機能を呼び出せます。

補　足

- マルチファンクションボタンの設定(11-12ページ)を変更している場合は、操作が異なる場合があります。

ショートカットメニューに登録する

1 待受画面→Ô

2 「未登録」→◉→⊟(Yes)→機能を選択→◉

- アドレス帳、データフォルダを選択した場合は、続いてアドレス帳またはファイルを選択します。
- メモリカードに保存されているファイルを選択する場合は、「**データフォルダ**」→フォルダを選択→⊟（メニュー）→「**メモリカード**」を選択します

重　要

- USIMカードに登録されているアドレス帳やシークレットメモリ(4-3ページ)のアドレス帳は、登録できません。
- データフォルダのファイルによっては、ショートカットメニューに登録できない場合があります。

ショートカットメニューから機能を呼び出す

1 待受画面→Ⓞ

2 機能を選択→◉

補　足

- ショートカットメニューに登録されているファイルを呼び出した場合、操作が制限される場合があります。

名称を変更する

1 待受画面→Ⓞ

2 機能を選択→⊡(メニュー)→「編集」→◉

3 名称を入力→◉

ショートカットメニューから削除する

1 待受画面→Ⓞ

2 機能を選択→⊡(メニュー)→「削除」→◉→⊡(Yes)

表示方法を切り替える

ショートカットメニュー画面は、サムネイル表示とリスト表示に切り替えることができます。

1 待受画面→Ⓞ

2 ⊡(メニュー)→「リスト表示」／「サムネイル表示」→◉

プッシュトーンを送る

プッシュトーンを送って自動音声応答サービスなど各種プッシュホンサービスをご利用になれます。

プッシュトーンをひとつずつ送る

1 通話中に0〜9、*、#のいずれかのボタンを押す

プッシュトーンを一括して送る

プッシュトーンで送りたい内容を、あらかじめアドレス帳に電話番号として登録（4-2ページ）しておき、プッシュホンサービスなどで利用の際、一括して送ることができます。ポケットベルにメッセージを送るときなどに便利です。

1 相手とつながったあと、⊡(メニュー)を押す

2 「アドレス帳」→◉→アドレス帳を選択→◉

3 登録しておいたプッシュトーン(電話番号)を選択→⊡(メニュー)

4 「プッシュトーン送信」→◉

●最大40桁まで一度に送信できます。

ポーズ「P」を使ってプッシュトーンを送る

ポーズ「P」を利用するとプッシュトーンを「P」ごとに区切って順に送信できます。ご自宅の電話機の遠隔操作番号など複数のプッシュトーンをまとめてアドレス帳に登録すると便利です。

アドレス帳に登録する

例 以下の3つの番号を登録する場合

電話番号　　　　　　　　:「**03-123X-XXX3**」

留守番電話の暗証番号　　:「**#7777**」

留守番電話の再生操作番号:「**#1**」

1 アドレス帳の電話番号に、「03123XXXX3P#7777P#1」を登録する

●アドレス帳の登録方法については4-2ページを参照してください。

プッシュトーンを送信する

1 送信したいプッシュトーンが登録されたアドレス帳を呼び出す

●アドレス帳の呼び出しかたについては4-7ページを参照してください。

2 [通話キー]

1つ目の「P」より前の電話番号に電話がかかります。

3 [-](トーン)

次の「P」までのプッシュトーンが送信されます。

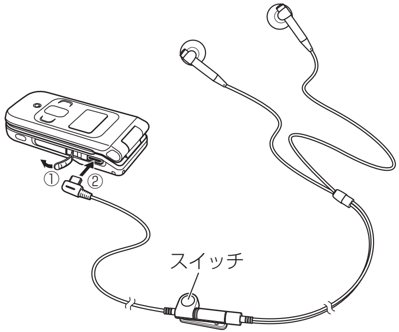
●すべてのプッシュトーンを送信するまで、この操作を繰り返します。

マルチステレオイヤホンマイクの利用

付属のマルチステレオイヤホンマイク接続時に、イヤホンマイクのスイッチを押すだけで、かかってきた電話を受けたり、あらかじめ設定した電話番号に電話をかけたりできます。また、自動応答を設定して、ボタン操作をすることなく電話を受けることもできます。

1 イヤホンマイク端子のキャップを開ける(①)

2 イヤホンマイクの接続プラグをイヤホンマイク端子に差し込む(②)



イヤホン発信の番号登録

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 音声通話設定 ▶ イヤホン発信

1 「On」→◉

■電話番号を直接入力して登録する
「ダイヤル入力」→◉→電話番号を入力→◉（2回）

■アドレス帳から登録する
「アドレス帳」→◉→相手を選択→◉→電話番号を選択→◉（2回）

ワンタッチで電話をかける

1 待受画面でイヤホンマイクのスイッチを長く（約1秒以上）押す

●発信中にスイッチを長く（約1秒以上）押すと、発信を中止します。

2 通話終了後、イヤホンマイクのスイッチを長く（約1秒以上）押す

●を押しても電話が切れます。

ワンタッチで電話を受ける

1 電話がかかってきたら、イヤホンマイクのスイッチを長く（約1秒以上）押す

2 通話終了後、イヤホンマイクのスイッチを長く（約1秒以上）押す

●を押しても電話が切れます。

補　足

- イヤホンマイク接続時にマナーモード（11-1ページ）にしていても、イヤホンからは通常モードで設定された着信音が聞こえます。

自動応答を設定する

付属のマルチステレオイヤホンマイク接続時に、ボタン操作をせずに音声電話を受けるように設定できます。また、電話を受けるまでの時間（応答時間）を変更できます。
モード設定（11-1ページ）にかかわらずスピーカーから「ピーピーピー」と音が鳴り、電話がつながります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 音声通話設定 ▶ 自動応答設定

1 「On」→◉

2 応答時間を入力→◉

重　要

- 自動応答設定と簡易留守録（11-13ページ）を設定している場合は、簡易留守録が優先されます。
- 自動応答設定と留守番電話サービス（14-3ページ）を設定している場合は、応答時間の短い方が優先されます。応答時間を同じにしている場合は、留守番電話サービスが優先されます。

オプションサービスの概要

●オプションサービスについては3Gガイドブックをご覧ください。
●電波の届かない場所では、705Tからは操作できません。

転送電話サービス	かかってきた電話を指定した電話に転送します（14-2ページ）。
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話にでられないときなどに、留守番電話センターで伝言をお預かりします（14-3ページ）。
割込通話サービス	今まで話していた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます（14-5ページ）。
多者通話サービス	通話中に別の相手に電話をかけ、同時に複数の相手と通話できます（14-6ページ）。
発着信規制サービス	国際電話を含む、すべての発着信を規制できます（14-7ページ）。
発信者番号通知サービス	お客様の番号を相手に通知することができます（11-15ページ）。

転送電話サービス

電源を切っているときや電波の届かない場所にいるときなどに、かかってきた音声電話やＴＶコールを指定した電話へ転送します。転送条件を「**呼出なし**」に設定した場合は、待受画面に「」（全サービス）、「」（音声電話）、「」（TVコール）が表示されます。

転送電話サービスを設定／開始する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 転送電話

1 「全サービス」／「音声電話」／「TVコール」→◉

■転送条件を呼出なしに設定する

着信をお知らせせずに転送します。

「呼出なし」→◉

■転送条件を着信／通話中に設定する

着信中または通話中に別の相手から電話がかかってきたときに⊡（転送）を押して転送します。

「着信／通話中」→◉

■転送条件を呼出ありに設定する

着信未応答の場合に転送します。このあと応答時間を設定します。

「呼出あり」→◉→応答時間の設定→◉

■転送条件を電源オフ／圏外時に設定する

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるときに転送します。

「電源オフ／圏外時」→◉

■転送条件を一括に設定する

「**着信／通話中**」、「**呼出あり**」、「**電源オフ／圏外時**」のいずれかの条件にあった場合に転送します。このあと応答時間を設定します。

「一括」→◉→応答時間の設定→◉

●個別に転送電話サービスを停止する場合は、「**停止**」を選択します。また、個別に設定状況を確認する場合は、「**確認**」を選択します。

2 電話番号を登録する

■アドレス帳から登録する

「アドレス帳」→◉→相手を選択→◉→電話番号を選択→◉（2回）→自動的にネットワークに接続→◉

■電話番号を直接入力して登録する

「ダイヤル入力」→◉→電話番号を入力→◉（2回）→自動的にネットワークに接続→◉

■通話履歴から登録する

「通話履歴」→◉→相手を選択→◉（2回）→自動的にネットワークに接続→◉

重　要

- 転送電話サービスと留守番電話サービスは同時に利用できません。
- すでに留守番電話サービスが開始されているときに、転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

補　足

- 次の電話番号は転送先として登録できません。
  - ・「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
  - ・「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
  - ・「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービス開始後の着信中

●着信音が鳴っている間に[通話キー]を押すと、そのまま通話できます。

・「**呼出なし**」にしているときは、そのまま転送先へ転送されます。

転送電話サービスをすべて停止する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 転送電話

1 「サービス全停止」→◉

●転送電話サービスの設定状況を確認する場合は、「**全確認**」を選択します。

留守番電話サービス

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。留守番電話センターへの転送条件を「**呼出なし**」に設定した場合は、待受画面に「[アイコン]」が表示されます。留守番電話センターに新しくメッセージをお預かりすると、お知らせ一発メニュー（1-9ページ）が表示されます。また、待受画面に「[アイコン]」が表示されます。

留守番電話サービスを開始する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 留守番電話

1 「設定」→◉→「留守番設定」→◉

●留守番電話サービスの設定状況を確認する場合は、「**設定確認**」を選択します。

呼出なし	：着信を知らせずに留守番電話センターへ転送します。
着信／通話中	：着信中または通話中に別の相手から電話がかかってきたときに[キー]（転送）を押して留守番電話センターへ転送します。
電源オフ／圏外時	：電源を切っているときや電波の届かない場所にいるときに留守番電話センターへ転送します。
呼出あり	：着信未応答の場合に留守番電話センターへ転送します。このあと応答時間を設定します。
一括	：「**着信／通話中**」、「**電源オフ／圏外時**」、「**呼出あり**」のいずれかの条件に合った場合に留守番電話センターへ転送します。このあと応答時間を設定します。

重　要

- 留守番電話サービスと転送電話サービスは同時に利用できません。
- すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始後の着信中

●着信音が鳴っている間に[通話キー]を押すと、そのまま通話できます。
・「**呼出なし**」にしているときは、そのまま留守番電話センターへ転送されます。

留守番電話サービスの機能

●留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在応答メッセージの利用など、いろいろな機能があります(詳しくは3Gガイドブックをご覧ください)。

留守番電話サービスを停止する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 留守番電話

1 「設定」→◉→「設定停止」→◉

重　要

● 留守番電話サービスと転送電話サービス(14-2ページ)を停止している場合は、着信中に[ソフトキー](転送)を押すと、着信を拒否します。

伝言メッセージを聞く

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 留守番電話

1 「再生」→◉

補　足

● 待受画面で[1キー]を長く(約1秒以上)押しても伝言メッセージを聞くことができます。
● 海外でメッセージを聞く場合は「**+819066514170**(有料)」に電話をかけてください。

センター番号／再生番号を変更する

●お買い上げ時は、センター番号が「**09066517000**」、再生番号が「**1416**」に設定されています。センター番号および再生番号は、ボーダフォンからお知らせがあったとき以外は、変更しないでください。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 留守番電話

1 「設定」→◉→「センター番号変更」→◉

2 「センター番号変更」／「再生番号変更」→◉

3 番号を入力→◉

補　足

- センター番号または再生番号をお買い上げ時の状態に戻す場合は、「**センター番号変更**」／「**再生番号変更**」を選択し、⊟(メニュー)→「**設定リセット**」→◉→操作用暗証番号(1-16ページ)を入力→⊟(Yes)を押します。

着信お知らせ機能

留守番電話の設定中に電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信をSMSでお知らせします。また、通話中に留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1 待受画面で「1414」を入力し、☎を押す

●以降の操作は音声ガイダンスに従ってください。

補　足

- 国内の固定電話から設定する場合は「**0906651414**」に電話をかけてください。
- 海外から設定する場合は「**+819066514191**(有料)」に電話をかけてください。

割込通話サービス

今まで話していた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。また、通話中の相手と保留中の相手を切り替えて通話できます。
●TVコールでは利用できません。

割込通話サービスを設定／停止する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 割込み通話

1 「起動」／「停止」→◉

ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。
●割込通話サービスの設定状況を確認する場合は、「**確認**」を選択します。

割込通話を受ける

1 通話中に割込通話着信音が聞こえる

割込みをしてきた相手の名前と電話番号が表示されます。

2 ⊟(メニュー)→「着信応答」→◉

最初に話していた相手を保留にして、割込みをしてきた相手の着信に応答します。画面には両方の名前が表示されます。

補　足

- 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスを「**呼出なし**」にしているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。
- 通話中の着信を転送する場合は、転送サービスを「**呼出あり**」にしてください。
- 割込着信中は、[-](メニュー)を押して、以下の操作を行うこともできます。
  着信応答／**終話応答**／**着信拒否**／**着信転送**／**全終話**

通話の相手を切り替える

1 割込通話中→[通話]

●[通話]を押すたびに、話す相手と保留中の相手が切り替わります。

割込通話中に通話中の相手が電話を切ると

●呼び出し音が鳴って画面に「**保留中**」と表示されます。[通話]を押すと、保留中の相手との通話になります。

多者通話サービス

通話中に、別の相手へ電話をかけ、相手を切り替えながら通話したり、複数で同時に通話できます。自分を含めて最大6人までの通話ができます。

●TVコールでは利用できません。

通話中に別の相手へ電話をかける

1 通話中→電話番号を入力→[通話]

通話していた相手を保留にし、別の相手と通話できます。

●[-](メニュー)を押してアドレス帳(4-7ページ)、通話履歴(2-6ページ）から相手を呼び出すこともできます。

相手を切り替えながら通話する（切替通話）

1 通話中→電話番号入力→[通話]

2 [通話]

●[通話]を押すたびに、話す相手と保留中の相手が切り替わります。

切替通話中に通話中の相手の方が電話を切ると

●呼び出し音が鳴って画面に「**保留中**」と表示されます。[通話]を押すと、保留中の相手との通話になります。

複数で同時に通話する

1 通話中→電話番号を入力→[通話]

2 相手が出たら、☐(メニュー)

3 「多者通話」→●→「多者通話」→●

複数の相手と同時に通話することができます。

多者通話中に☐を押すと
●通話していたすべての相手との電話が同時に切れます。

多者通話中に通話中の相手の1人が電話を切ると
●残された相手との通話になります。

多者通話中に1人とだけ通話する
●通話する相手を選択し、☐(メニュー)→「**多者通話**」→●→「**個別通話**」を選択します。選択した相手との通話となり、他の相手は保留となります。

発着信規制サービス

音声電話、TVコール、SMSの発信や着信を制限できます。

発着信規制サービスを開始する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 発着信規制

1 「発着信規制設定」→●

●発着信規制サービスの設定状況を確認する場合は、「**発着信規制確認**」を選択します。

■発信規制サービスを開始する
「発信規制」→●→発信規制種別を選択→●→発着信規制用暗証番号（1-16ページ）を入力→自動的にネットワークに接続→●

全発信規制　：発信ができなくなります。
国際発信全規制：国際電話がかけられなくなります。
国際発信規制　：海外で日本への国際電話を除く国際電話がかけられなくなります。

■着信規制サービスを開始する
「着信規制」→●→着信規制種別を選択→●→発着信規制用暗証番号（1-16ページ）を入力→自動的にネットワークに接続→●

全着信規制　：着信ができなくなります。
国際着信規制：海外での着信ができなくなります。
●ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

重　要
● 発着信規制を設定しても110番(警察)、119番(消防･救急)、118番(海上保安本部)へは発信できます。

発着信規制サービスを停止する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 発着信規制

1 「発着信規制停止」→●

■発信規制サービスを停止する
「発信規制停止」→●→発着信規制用暗証番号（1-16ページ）を入力→自動的にネットワークに接続→●

■着信規制サービスを停止する

「着信規制停止」→◉→発着信規制用暗証番号（1-16ページ）を入力→自動的にネットワークに接続→◉

■発着信規制サービスをすべて停止する

「規制全停止」→◉→発着信規制用暗証番号（1-16ページ）を入力→自動的にネットワークに接続→◉

●ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

発着信規制用暗証番号を変更する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 発着信設定 ▶ 発着信規制

1 「暗証番号変更」→◉

2 現在の暗証番号を入力

3 新しい暗証番号を入力→◉

4 確認のためもう一度新しい暗証番号を入力→◉

●ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

Vodafone live! をご利用になる前に

Vodafone live!（以下「ボーダフォンライブ！」と記載）とは、ボーダフォンライブ！対応の携帯電話で、メール、ウェブ、Vアプリの機能が利用できる通信サービスです。

●通信サービスは、3G／GPRSサポートエリア内でのみ利用することができます。また、3G／GPRSサポートエリア内にいる場合は､画面上に「 」または「 」が表示されます｡

●各サービスの通信料については、3Gガイドブックをご覧ください。

メールについて

■MMS（16章）

ボーダフォン携帯電話（MMS対応機）やインターネットに接続されたE-mail対応機器に、長い文字メッセージや画像、メロディなどを添付して送受信することができます。

●MMSの利用とE-mailの受信には、別途ご契約が必要です。

■SMS（16章）

ボーダフォン携帯電話（SMS対応機）との間で、電話番号を宛先として短い文字メッセージの送受信ができます。

補　足

● **リトライ機能について**

相手が電源を切っていたり､電波の届かないところにいる場合は､メールサーバーにメールが保管され､電波が届くようになると配信します。

ウェブについて

ボーダフォンの情報提供サービスです。文字情報や画像、メロディを入手できます。

■メニューからアクセス（17-2ページ）

ボーダフォンライブ！のメニューを選択して、必要な情報を入手できます。

■インターネットアクセス（17-2ページ）

URLを入力して、インターネットのホームページから情報を入手できます。

Vアプリについて

■ウェブでダウンロード（18-1ページ）

Vアプリを提供しているウェブの情報画面からゲームや3D画像などのいろいろなVアプリをダウンロードして、利用できます。ウェブからダウンロードしたVアプリはVアプリライブラリに保存されます。

■ネットワーク接続型Vアプリ（18-1ページ）

ネットワークに接続してゲームを楽しんだり、リアルタイムに情報を入手できます。

■待受設定（18-4ページ）

Vアプリを待受画面に設定しておくと、着信やメール受信時にアニメーションや音声でお知らせすることができます。

ネットワーク自動調整をする

ボーダフォンライブ！をお使いになる上で必要な情報をネットワークから取得します。
お買い上げ後、最初に◉、□、□または◎を押すと、ネットワーク自動調整画面が表示されます。

1 **待受画面→◉、□、□または◎**

2 □(Yes)

ネットワークに接続し、情報の取得を行います。

重　要

- ネットワーク自動調整を行わないと、705Tでご利用になれる機能が一部制限されます。
- USIMカードを差し替えた場合は、必ずネットワーク自動調整を行ってください。

補　足

- ネットワーク自動調整は、メインメニューからも行えます（11-17ページ）。

メールアドレスの変更

E-mailサービスをご利用の場合、パソコンなどとのやりとりに使用するE-mailアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。
（例：変更前）
□□□□□□□□□□□□@△.vodafone.ne.jp
（例：変更後）
お好みのアカウント名@△.vodafone.ne.jp

- ドメイン名の△は、お客様のご契約の地域により異なります。
- 詳しくは、3Gガイドブックをご覧ください。
- この操作は、ウェブを利用します。
- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください（11-17ページ）。
- ご契約時にはランダムな英数字が設定されています。迷惑メール防止のためにも、メールアドレスの変更をおすすめします。

1 待受画面→◻（◎）→「My Vodafone」→◉→「各種変更手続き」→◉

2 「オリジナルメール設定・各種メール設定」→◉

●以降の操作は画面の指示に従ってください。

新着メールの確認

メールを受信すると、着信音などとともに、アニメーションが表示されます。
MMSを受信した場合は「▣」が、SMSを受信した場合は「▣」が、画面上に表示されます。受信したメールは「**受信ボックス**」に保存されます。
受信したメールが未読の場合は、お知らせ一発メニュー（1-9ページ）で確認できます。

- 「**受信ボックス**」には最大8個のフォルダを作成でき、受信したメールをフォルダ別に保存できます。また、受信メールを指定したフォルダへ自動的に保存できます（16-11ページ）。
- MMSを受信した場合は、その情報量や添付ファイルの有無などによって受信方法が異なります。あらかじめメールの受信方法を「**自動受信**」（16-17ページ）にしている場合は、すべての内容を自動的に受信します。

1 お知らせ一発メニュー表示→「新着MMS」／「新着SMS」→◉

2 メールを選択→◉

補足

- メール受信時の着信音とバイブレーターは、モードの設定（11-1ページ）に従います。
- 通話中にメールを受信すると、電子音でお知らせします。
- 配信確認（16-18ページ）を「**On**」にしてメールを送信したときは、サービスセンターからメールの配信状況のレポートが届きます。このレポートは、通常のメールと同様の操作で確認できます。

受信メールを保存するメモリがなくなったときは

メールが送られてきたときに保存するメモリが足りないと、メールを受信できません。その場合は、警告メッセージが表示されます。SMSが受信できなかったときは、待受画面に「▭」が表示されます。不要なメールを削除してください(16-14ページ)。

重　要

- メモリ不足により受信できなかったMMS通知は、リトライ機能(15-1ページ)による再配信がされません。メールリストを取得して(16-15ページ)受信するか、受信通知再送機能を利用してMMS通知を受信してください。受信通知再送機能については、3Gガイドブックをご覧ください。
- 自動削除(16-11ページ)を「**On**」にしている場合は、メモリに空きがなくなったとき、MMSを受信すると既読の古いMMSから、SMSを受信すると既読の古いSMSから自動的に削除されます。

受信したメールの確認

以下のいずれかに当てはまるMMSが送られてくると、メールサーバーに一時保存され、メールの一部(先頭部分)をお客様のボーダフォン携帯電話にMMS通知として送信します。
MMS通知を受信すると、画面上に「▭」が表示されます。

●メッセージが半角285文字(285バイト)以上の場合
●添付ファイルがある場合
●複数の宛先が指定されている場合
●件名が半角41文字以上の場合
●相手のアドレスが半角60文字以上の場合

メインメニュー ▶ メール ▶ 受信ボックス

1 メールを選択→◉

●フォルダ内のメールを確認する場合は、フォルダを選択し、◉を押します。

■MMSの続きを受信する

MMSを選択→◉→「続きを受信」→◉

重　要

- 続きを受信するときには、受信側に料金がかかる場合があります。詳しくは3Gガイドブックをご覧ください。
- ファイルによってはコンテンツ・キー(コンテンツの使用権)を取得しないと表示/再生できません。取得中にキャンセル操作を行うと、コンテンツ・キーはしばらくたってから配信されます。
- 約300Kバイト以上のメールや、添付されたファイル数が70を超えるメールは、受信できません。

補　足

- 待受画面で[-]（✉）を押しても、メールメニューを表示することができます。
- 複数のページが設定されているMMSが送られてきたときは、画像、音声およびテキストがスライドショーのように再生されます。スライド再生中に[-]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  一時停止／終了
- MMSに複数のページがある場合は、◎でページを切り替えることができます。
- SMSで、半角161文字以上に相当するメッセージが送られてきたときは、メッセージを自動的に連結します。また、連結メッセージを受信中の場合は、受信ボックス内に「**連結SMSあり**」と表示されます。
- 自動受信選択（16-17ページ）を「**自動受信**」にしている場合は、自動的にMMSの続きを受信します。
- 受信したメールを利用して、返信（16-12ページ）や転送（16-12ページ）を行うこともできます。

メールサーバー内のメールを転送する

MMS通知を受信した場合に、メールサーバー内のメールの全文をご自宅のパソコンなどに転送することができます。

1 **MMS通知を選択→[-]（メニュー）→「転送」→●**

2 **「サーバーメール転送」→●**

■アドレス帳から選択する
「アドレス帳」→●→相手を選択→●→アドレスを選択→●

■直接アドレスを入力する
「宛先入力」→●→アドレスを入力→●

■メールグループから選択する
「グループリスト」→●→メールグループを選択→●→相手を選択→[-]（メニュー）→「決定」→●

3 **「送信」→●**

MMSの作成／送信

1ページあたり全角約10,000文字／半角約30,000文字までの長いメッセージや画像、メロディを添付して送信できます。

●MMSで送信できるファイルは、MMSのアドレス、件名、本文などを合わせて最大約300Kバイトです。添付するファイルのデータ量によって、送信可能文字数は異なります。

メインメニュー ▶ メール ▶ 新規作成 ▶ MMS

1 「宛先」→◉→宛先を入力する

電話番号（20桁まで）またはE-mailアドレス（256文字まで）を指定します。宛先をTo／Cc／Bccそれぞれ最大30件設定できます。ただし、送信できる最大件数は20件です。

■アドレス帳から選択する

「アドレス帳」→◉→相手を選択→◉→電話番号／アドレスを選択→◉

■直接電話番号／アドレスを入力する

「宛先入力」→◉→電話番号／アドレスを入力→◉

■メールグループから選択する

「グループリスト」→◉→メールグループを選択→◉→相手を選択→⊡（メニュー）→「決定」→◉

2 「件名」→◉→件名を入力→◉

3 「本文」→◉→本文を入力→◉

■電話番号などを挿入する

メモ帳、署名、アドレス帳、ご自分の番号、アドレス送信履歴、電話番号を挿入できます（3-14ページ）。

4 ファイルを添付する

●添付方法は16-5ページを参照してください。

5 「メール送信-MMS」→◉

メールが送信されます。

●⊡を押しても送信できます。

重　要

- メモリが不足するとメールを作成できません。「**送信済みボックス**」の不要なメールを削除（16-14ページ）するか、メールの自動削除（16-11ページ）を「**On**」にしてください。
- 相手の携帯電話がMMSをサポートしていない場合は、表示のされかたが異なることがあります。

宛先入力時にできること

宛先は、設定したあと、編集、追加、削除できます。アドレス帳に登録したり、宛先タイプを変更することもできます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 新規作成 ▶ MMS

■宛先を編集する

宛先欄を選択→◉→宛先を選択→⊡（メニュー）→「宛先編集」→◉→宛先を編集→◉

■宛先を追加する

宛先欄を選択→⊡（メニュー）→「宛先設定」→◉→宛先を追加→◉

■宛先を削除する

宛先欄を選択→◉→宛先を選択→⊡（メニュー）→「宛先削除」→◉

■アドレス帳に登録する

宛先欄を選択→●→宛先を選択→⊡（メニュー）→「アドレス帳登録」→●→「新規作成」／「追加登録」→●

●以降の操作は、基本的な項目をアドレス帳に登録する（4-2ページ）を参照してください。

■宛先を「To」、「Cc」、「Bcc」に設定する

宛先を選択→⊡（メニュー）→「To/Cc/Bcc設定」→●→「To」／「Cc」／「Bcc」→●

To ：通常の宛先です。

Cc ：メールのコピーを送信します。メールの内容やメールを出した事実を第三者に確認してもらいたい場合などに利用します。「**To**」の相手にも、「**Cc**」の宛先が表示されます。

Bcc ：メッセージのコピーを送信する宛先です。「**To**」と「**Cc**」の相手には、「**Bcc**」で送信したアドレスがわかりません。

宛先を選択中に◎を押すと、CcまたはBccの一覧表示に切り替えられます。

●宛先を確定する場合は「**完了**」を選択します。

本文入力時にできること

本文は、入力したあと、編集、削除できます。
再生時間の設定や、文字色、文字サイズを変更することもできます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 新規作成 ▶ MMS

1 **本文を選択→⊡（メニュー）**

■本文を編集する

「本文編集」→●→本文を編集→●

■本文を削除する

「本文削除」→●

■テキスト／添付ファイルの再生時間を設定する

「再生時間設定」→●→「開始時間」→●→開始時間を入力→●→「再生時間」→●→再生時間を入力→●

●開始時間と再生時間は、ページ表示秒数（16-6ページ）を超えて設定できません。

■本文の文字色を変更する

「テキストオプション」→●→「文字色」→●→文字色を選択→●

■本文の文字サイズを変更する

「テキストオプション」→●→「フォントサイズ」→●→文字サイズを選択→●

ファイルを添付する

MMSに画像やメロディを添付できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 新規作成 ▶ MMS

■データフォルダから静止画を添付する

「ピクチャー」→●→「データフォルダ」→●→ファイルを選択→●

■静止画を撮影して添付する

「ピクチャー」→●→「カメラ起動」→●→撮影→●

■顔文字アニメを添付する

「ピクチャー」→●→「顔文字アニメ」→●→アニメを選択→●

■メロディファイルを添付する

「メロディ」→●→ファイルを選択→●

■データフォルダから動画を添付する

「ムービー」→●→「データフォルダ」→●→ファイルを選択→●

■動画を撮影して添付する

「ムービー」→●→「ムービー起動」→●→撮影→●

■その他のファイルを添付する

「その他ファイル」→●→ファイルを選択→●

重 要

- ファイルによっては、メールに添付できない場合があります。添付の可、不可については、ファイルのプロパティで確認してください(9-6ページ)。
- 1ページに同じ種類のファイルは添付できません。また、ファイルの組み合わせによっては1ページ内に添付できない場合があります。

補 足

- フォルダ内のファイルを選択する場合は、フォルダを選択し、●を押します。
- 添付ファイルを選択し、⊟(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(カーソルの位置によっては表示されない項目があります)。

  ピクチャー表示／メロディ再生／ムービー再生／ファイル一覧／ピクチャー編集／メロディ編集／ムービー編集／ファイル編集／ピクチャー削除／メロディ削除／ムービー削除／削除

MMS作成時のその他の機能

メインメニュー ▶ メール ▶ 新規作成 ▶ MMS

■作成したメールを下書き保存する

⊟（メニュー）→「下書き保存」→●→⊟（Yes）

■デルモジ表示（16-19ページ）を確認する

⊟（メニュー）→「デルモジプレビュー」→●

■ページを追加する

1つのメッセージには20ページまで設定できます。

⊟（メニュー）→「ファイル・テキスト追加」→●

■複数ページがあるときにページを編集する

ページが複数ある場合は、ページの挿入、削除、入れ替えなどができます。

⊟（メニュー）→「ページ編集」→●→項目を選択→●

■プレビューを確認する

⊟（メニュー）→「プレビュー画面」→●

■ページの表示秒数／背景色を設定する

⊟（メニュー）→「ページオプション」→●→「ページ表示秒数」／「背景色」→●→秒数／色を選択→●

■メールが相手に届いたか確認する

⊟（メニュー）→「送信オプション」→●→「配信確認」→●→「On」／「Off」→●

■相手に配信される日時を指定する

⊟（メニュー）→「送信オプション」→●→「配信時間指定」→配信時間を選択→●

■メールがメールサーバーに保存される期限を設定する

⊟（メニュー）→「送信オプション」→●→「有効期限」→●→有効期限を選択→●

■重要度を設定する

□（メニュー）→「送信オプション」→●→「MMS重要度」→●→重要度を選択→●

補　足

● 「**配信時間指定**」で日付・時刻を指定しなかったときは即時に配信されます。
● MMSの「**有効期限**」は7日間まで設定できます。保存されたMMSは設定された有効期限が経過するか、設定が「**Off**」の場合は一定期間経過すると消去されます。

SMS の作成／送信

ボーダフォン携帯電話との間で、電話番号を宛先として短いメッセージの送信ができます。全角、半角カタカナおよび絵文字を含んだ場合は70文字（140バイト）すべて半角英数字および半角記号で入力した場合は160文字まで送信できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 新規作成 ▶ SMS

1 本文を入力→●

●本文がSMSでの送信可能な文字数を超過すると、MMSに変更するかどうかの確認画面が表示されます。MMSに変更する場合は、□（Yes）を押します。SMSのままにする場合は□（No）を選択し、本文の文字数を減らします。

2 宛先の入力方法を選択

■アドレス帳から宛先を選択する

「アドレス帳」→●→相手を選択→●→電話番号を選択→●

■直接電話番号を入力する

「宛先入力」→●→電話番号を入力→●

●宛先を追加するには、このあと□（メニュー）を押して「**宛先設定**」を選択します。

3 「メール送信-SMS」→●

メールが送信されます。

● □を押しても、送信できます。

重　要

● E-mailアドレスは、宛先に設定できません。
● 送信時には、宛先に設定した人数分の送信料がかかります。
● 送信中に□（キャンセル）を押した場合は、現在送信中の宛先の次に設定されている宛先への送信が取り消されます。

補　足

● 操作2のあと、□（メニュー）を押して、「**デルモジプレビュー**」を選択すると、入力した本文がどのようにデルモジ表示（16-19ページ）されるかを確認できます。
● 操作2のあと、各項目を選択し□（メニュー）を押して、以下の操作を行うこともできます。
送信／**本文編集**／**下書き保存**／**送信オプション**／**宛先編集**／**宛先削除**／**アドレス帳登録**

SMS作成時のその他の機能

メールを送信するときに以下のオプションを設定できます。あらかじめ設定しておくこともできます（16-18ページ）。

メインメニュー ▶ メール ▶ 新規作成 ▶ SMS

1 SMS送信画面→□（メニュー）→「送信オプション」→●

■メールが相手に届いたか確認する

「配信確認」→◉→「On」／「Off」→◉

■メールがメールサーバーに保存される期限を設定する

「有効期限」→◉→有効期限を選択→◉

補足

- SMSの「**有効期限**」は3日まで設定できます。保存されたSMSは設定された有効期限が経過するか、設定が「**Off**」の場合は一定期間経過すると消去されます。

下書きの利用

作成したメールを下書きとして保存する

メインメニュー ▶ メール ▶ 新規作成

1 「MMS」／「SMS」→◉→MMS／SMS作成画面→⊟（メニュー）→「下書き保存」→◉→⊟（Yes）

- SMSの場合は、宛先を設定したあとに⊟（メニュー）を押します。
- SMSの場合は、本文を編集し宛先を設定したあと、「**メール送信 - SMS**」を選択してください。

重要

- 複数の宛先が設定されているSMSでは先頭の宛先（1件）のみ保存されます。

補足

- 下書きメール一覧で、メールを選択中に⊟（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  編集／**削除**／**送信**／**宛先発信**／**並び替え**

下書きしたメールを編集／送信する

メインメニュー ▶ メール ▶ 下書き

1 メールを選択→◉→項目を選択→◉

2 項目を編集→「メール送信-MMS」／「メール送信-SMS」→◉

メールボックス

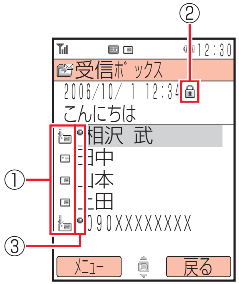
送受信したメールはそれぞれ「**受信ボックス**」、「**送信済みボックス**」のメールボックスに保存されます。また、作成後、送信せずに保存したメールは「**下書き**」に、送信に失敗したメールは「**未送信ボックス**」のメールボックスに保存されます。

●保存件数については、メモリ容量一覧（21-12ページ）を参照してください。

●「**受信ボックス**」に未読メールがあるときは画面上に「」や「」が表示されます。

メールの内容を確認する

メール一覧画面



受信ボックス一覧画面

①メールの種類

- ：受信、下書き、未送信SMS
- ：USIMカード内のSMS
- ：送信完了SMS
- ：重要度「**高**」の受信、下書き、未送信MMS
- ：重要度「**普通**」の受信、下書き、未送信MMS
- ：重要度「**低**」の受信、下書き、未送信MMS
- ：重要度「**高**」のMMS通知
- ：重要度「**普通**」のMMS通知
- ：重要度「**低**」のMMS通知
- ：重要度「**高**」の送信完了MMS
- ：重要度「**普通**」の送信完了MMS
- ：重要度「**低**」の送信完了MMS
- ：重要度「**高**」の配信完了MMS
- ：重要度「**普通**」の配信完了MMS
- ：重要度「**低**」の配信完了MMS
- ：重要度「**高**」の配信失敗MMS
- ：重要度「**普通**」の配信失敗MMS
- ：重要度「**低**」の配信失敗MMS
- ：配信レポート（16-13ページ）
- ：プッシュ（16-19ページ）

②保護表示

- ：保護されているメール（16-14ページ）

③未読／既読状況

- ：未読のメール

メール表示画面

「**受信ボックス**」、「**送信済みボックス**」に保存されたメールは以下のように表示されます。



MMS



SMS

メールの内容を確認する

メインメニュー ▶ メール

1 メールボックスを選択→●

2 メールを選択→●

メール表示中の各種操作

本文をコピーする

メインメニュー ▶ メール

1 メールボックスを選択→●→メールを表示

2 [-](メニュー)→「文字コピー」→●

3 コピーしたい文字の先頭または最後にカーソルを移動→●→コピーする範囲を指定→●

SMSをUSIMカードまたは本体に移動する

メインメニュー ▶ メール

1 メールボックスを選択→●→メールを表示

2 [-](メニュー)→「USIMへ移動」/「本体へ移動」→●

メールのプロパティを確認する

メインメニュー ▶ メール

1 メールボックスを選択→●→メールを表示

2 [-](メニュー)→「詳細」→●

フォルダを管理する

「**受信ボックス**」、「**送信済みボックス**」にメールを保存するフォルダを新規作成して、受信メールや送信済みメールを分類して管理できます。

メインメニュー ▶ メール

1 メールボックスを選択→◉

■フォルダを作成する

⊟（メニュー）→「フォルダ管理」→◉→「フォルダ作成」→◉→フォルダ名を入力→◉

■フォルダ名を変更する

フォルダを選択→◉→⊟（メニュー）→「フォルダ管理」→◉→「フォルダ名変更」→◉→フォルダ名を入力→◉

■フォルダを削除する

フォルダを選択→◉→⊟（メニュー）→「フォルダ管理」→◉→「フォルダ削除」→◉→操作用暗証番号（1-16ページ）を入力→⊟（Yes）

■メールを作成したフォルダに自動的に保存する

フォルダを選択→◉→⊟（メニュー）→「フォルダ管理」→◉→「自動振分」→◉→「未登録」→◉→「アドレス帳」／「アドレス入力」→◉→アドレスを指定→◉

■メールを自動的に削除する

⊟（メニュー）→「フォルダ管理」→◉→「自動削除」→◉→「On」／「Off」→◉

重　要

- 自動削除を「**Off**」にしている場合は、メモリに空きがなくなると、メールを送受信できません。不要なメールを削除してください（16-14ページ）。
- 自動削除を「**On**」にしている場合は、メモリに空きがなくなったとき、MMSを受信すると既読の古いMMSから、SMSを受信すると既読の古いSMSから自動的に削除されます。
- 自動削除の設定にかかわらず、下書き、未送信メール、定型文のメモリに空きがなくなると、メールを新規作成できません。

補　足

- フォルダを削除するときに、保護されたメールがある場合は、確認画面が表示されます。「**全件削除**」または「**保護以外を削除**」を選択します。

受信したメールに返信する

自動的に宛先が設定されたメール作成画面または本文入力画面が表示されます。

●ＭＭＳの場合は、件名も設定されます。件名には、返信を示す「**Re:**」がつきます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 受信ボックス

1 メールを表示→(メニュー)→「返信」→◉

■**MMSで返信する**
「メール返信-MMS」→◉
■**Ccの人も含めてMMSで返信する**
「全員に返信」→◉
■**SMSで返信する**
「メール返信-SMS」→◉

補　足

- 選択できる項目はメールの種類や宛先の種類によって異なります。
- 共通設定の「**返信設定**」(16-19ページ)でメッセージを引用する／引用しないを設定できます。返信設定を「**ユーザ確認**」にしている場合は、引用するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「**全員に返信**」を選択した場合は、すべての送信先(To／Ccに入っている宛先)に同じ内容のメールを一度に返信できます。

受信したメールを転送する

転送元のメッセージが引用された、MMS作成画面または本文入力画面が表示されます。

●ＭＭＳの場合は、件名も設定されます。件名には、転送を示す「**Fw:**」がつきます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 受信ボックス

1 メールを選択→(メニュー)

2 「転送」→◉

補　足

- 転送するメールに添付ファイルがある場合は、添付ファイルも転送されます。
- MMSに対応していない携帯電話機やパソコンから受信したE-mailを転送する場合は、通常のMMSの作成画面とは異なります。「**コンテンツ**」を選択すると、本文や添付ファイルを追加できます。メールの作成方法については16-4ページを参照してください。

送信者に電話をかける

メールの送信者アドレスが電話番号の場合は、送信者に電話をかけることができます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 受信ボックス

1 メールを選択→(メニュー)

2 「送信元に発信」→◉→

配信レポートを確認する

配信確認（16-18ページ）を「**On**」にすると、メールサーバーから配信レポートを受信してメールの配信状況を確認できます。配信レポートは、お知らせ一発メニュー（1-9ページ）でも確認できます。

メインメニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」を選択→◉

2 配信レポートを選択→◉

メール内のリンクを利用する

メールに含まれる電話番号やE-mailアドレス、URLのリンクを利用して、電話の発信、メールの作成、ウェブ接続ができます。

●利用できる項目には、アンダーラインが表示されています。

メインメニュー ▶ メール

1 メールボックスを選択→◉→情報を含むメールを表示→◉→情報を選択→⊟(メニュー)

2 「リンク選択」→◉

■選択した電話番号に電話をかける

「発信」→◉

■選択した電話番号にSMSを送信する

「メール送信-SMS」→◉→本文入力画面が表示されます

■選択した電話番号／E-mailアドレスにMMSを送信する

「メール送信-MMS」→◉→MMS作成画面が表示されます

■選択した電話番号／E-mailアドレスをアドレス帳に登録する

「アドレス帳登録」→◉→「新規作成」／「追加登録」→◉→アドレス帳登録画面が表示されます

■ウェブにアクセスする場合

URLを選択→◉を押す

添付ファイルを保存する

MMSに添付されているファイルをデータフォルダに保存できます。

メインメニュー ▶ メール

1 メールボックスを選択→◉ →ファイルが添付されているメールを表示

2 ⊟(メニュー)→「添付ファイルリスト」→◉

3 ファイルを選択→⊟(メニュー)→「保存」→◉

●ファイルを表示／再生する場合は、「**表示**」または「**再生**」を選択します。

4 「本体」／「メモリカード」→◉

重　要

● ファイルによっては保存できない場合があります。
● データによっては正しく表示／再生できない場合があります。

未送信メールを編集／送信する

メインメニュー ▶ メール ▶ 未送信ボックス

1 メールを選択→●→項目を選択→●

2 項目を編集→●

3 「メール送信-MMS」／「メール送信-SMS」→●

補足

- 未送信ボックスを開いた状態で⊡(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  編集／**送信**／**削除**／**複数選択**／**宛先発信**／**並び替え**／**全件削除**

メールを保護する／保護を解除する

受信したメールを誤って削除したり、自動削除（16-11ページ）されないように保護できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 受信ボックス

1 ⊡(メニュー)→「複数選択」→●

■**保護する**
「保護」→●

■**保護を解除する**
「保護解除」→●

2 メールを選択→●

● メールを複数選択する場合は、この操作を繰り返します。

3 ⊡(メニュー)→「実行」→●

メールを削除する

メインメニュー ▶ メール

1 メールボックスを選択→●

■**1件削除する**
メールを選択→⊡（メニュー）→「削除」→●→⊡（Yes）

■**複数のメールを一括で削除する**
⊡（メニュー）→「複数選択」→●→「削除」→●→メールを選択→●→⊡（メニュー）→「実行」→●→⊡（Yes）

■**メールボックスのメールをすべて削除する**
⊡（メニュー）→「全件削除」→●→操作用暗証番号（1-16ページ）を入力→⊡（Yes）

補足

- 「**下書き**」にあるメールを削除する場合は、メールを選択したあと⊡(メニュー)→「**削除**」→●→「**一件**」／「**全件**」／「**複数選択**」を選択します。

メール一覧画面でできること

メインメニュー ▶ メール

■**メールを並び替える**
メールボックスを選択→●→メールを選択→⊡（メニュー）→「並び替え」→●→並び替える条件を選択→●

16 メール

■未読／既読を切り替える

「受信ボックス」→◉→メールを選択→☐（メニュー）→「複数選択」→◉→「既読へ」／「未読へ」→◉→メールを選択→◉→☐（メニュー）→「実行」→◉

■メールを他のフォルダに移動する

「受信ボックス」／「送信済みボックス」→◉→メールを選択→☐（メニュー）→「複数選択」→◉→「フォルダへ移動」→◉→メールを選択→◉→☐（メニュー）→「実行」→◉→移動先のフォルダを選択→◉

■電話発信を行う

メールボックスを選択→◉→メールを選択→☐（メニュー）→「送信元に発信」／「宛先発信」→◉→☐

■電話番号／E-mailアドレスをアドレス帳に新規登録する

「受信ボックス」→◉→メールを選択→☐（メニュー）→「アドレス帳登録」→◉→「新規作成」→◉→項目を入力→☐（メニュー）→「保存」

■電話番号／E-mailアドレスをアドレス帳に追加登録する

「受信ボックス」→◉→メールを選択→☐（メニュー）→「アドレス帳登録」→◉→「追加登録」→◉→登録先のアドレス帳を選択→◉→☐（メニュー）→「保存」／「新規保存」→◉

サーバーメール操作

メールリストを利用する

受信するメールが以下の条件に当てはまる場合、メールはメールサーバーに一時保存されます。

●携帯電話の電源を切っていたり、電波の届かないところにいる場合
●メッセージが半角285文字（285バイト）以上の場合
●添付ファイルがある場合
●複数の宛先が指定されている場合
●件名が半角41文字以上の場合
●相手のアドレスが半角60文字以上の場合

保存されたメールや、リトライ機能（15-1ページ）による再配信期間を過ぎたMMS通知は、メールリストを利用して受信できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

■メールリストを取得／更新する

☐（メニュー）→「メールリスト更新」→◉→☐（Yes）

■メールリストからMMSの続きを受信する

メール（MMS通知）を選択→☐（メニュー）→「続きを受信」→◉

■複数のメールを一括で受信する

☐（メニュー）→「複数選択」→◉→「続きを受信」→◉→メール（MMS通知）を選択→◉→☐（メニュー）→「実行」→◉

補足

● 受信したメールは「**受信ボックス**」に保存され、メールリストから削除されます。

サーバー内のメールを転送する

メールサーバーに保存されているメールを、パソコンなどに転送できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

1 メールを選択→⊟(メニュー)→「転送」→◉

■宛先をアドレス帳から選択する
「アドレス帳」→◉→相手を選択→◉→アドレスを選択→◉

■直接アドレスを入力して設定する
「宛先入力」→◉→アドレスを入力→◉

■宛先をメールグループから選択する
「グループリスト」→◉→メールグループを選択→◉→相手を選択→⊟（メニュー）→「決定」→◉

2 「送信」→◉

サーバー内のメールを削除する

メールサーバーに保存されているメールを削除します。

1件削除する

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

1 メールを選択→⊟(メニュー)→「削除」→◉

■メールサーバーに保存されているメールを削除する
「サーバーメール」→◉→⊟（Yes）

■MMS通知とメールサーバーに保存されているメールを削除する
「MMS通知&サーバー」→◉→⊟（Yes）

複数削除する

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

1 ⊟(メニュー)→「複数選択」→◉→「削除」→◉

2 メールを選択→◉

3 ⊟(メニュー)→「実行」→◉→⊟(Yes)

全件削除する

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

1 ⊟(メニュー)→「全件削除」→◉

2 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力→⊟(Yes)

サーバー情報を確認する

メールサーバーの使用率を確認できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

1 ⊟(メニュー)→「サーバーメール容量」→◉

●メールリストを更新する場合は、⊟（更新）を押します。

重　要

- メールサーバーの使用率が80%を超えると、警告画面が表示されます。サーバーメールを受信するか(16-15ページ)、削除してください(16-16ページ)。

定型文を利用する

メインメニュー ▶ メール ▶ 定型文

1 「SMS定型文」/「MMS定型文」→◉

2 定型文を選択→◉

補　足

- 「**SMS定型文**」/「**MMS定型文**」を選択したあと(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(操作できる項目はメールの種類によって異なります)。
  メール作成/**削除**/**定型文作成**/**編集**/**並び替え**
- あらかじめ登録されている定型文を削除または編集した場合は、「**オールリセット**」(11-16ページ)を行うとお買い上げ時の状態に戻ります。

メールの各種設定

MMS設定

自動受信を設定する

メールサーバーに届いたMMSを自動的に受信するように設定します。

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ MMS設定 ▶ 受信設定

1 「自動受信選択」→◉

■ご契約いただいたネットワーク内でのMMS受信方法を設定する
「ホームネットワーク」→◉→「自動受信」/「手動受信」→◉

■ご契約いただいたネットワーク外でのMMS受信方法を設定する
「ローミングネットワーク」→◉→「自動受信」/「手動受信」→◉

添付ファイルの自動展開を設定する

受信したMMSを確認するときに、添付されている画像や音ファイルを自動的に表示/再生するように設定します。

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ MMS設定 ▶ 受信設定

1 「ファイル自動展開」→◉→「画像ファイル」/「音ファイル」→◉

2 「On」/「Off」→◉

受信確認応答を設定する

受信したMMSに対して、受信確認を返信するかどうかを設定します。

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ MMS設定 ▶ 受信設定

1 「受信確認応答」→◉

2 「On」/「Off」→◉

匿名メール受信拒否を設定する

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ MMS設定 ▶ 受信設定

1 「匿名メール拒否」→◉

2 「拒否する」/「拒否しない」→◉

送信オプションを設定する

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ MMS設定 ▶ 送信設定

■メールが相手に届いたか確認する
「配信確認」→◉→「On」/「Off」→◉

■相手に配信される日時を指定する
「配信時間指定」→◉→配信時間を選択→◉

■メールがメールサーバーに保存される期限を設定する
「有効期限」→◉→有効期限を選択→◉

■署名を登録する
「MMS署名」→◉→「署名入力」→◉→署名を入力→◉

■署名の挿入を設定する
「MMS署名」→◉→「署名使用」→◉→「On」/「Off」→◉

■重要度を設定する
「MMS重要度」→◉→重要度を選択→◉

SMS設定

送信オプション（16-7ページ）の配信確認設定、有効期限設定などをあらかじめ設定しておくことができます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ SMS設定

■メールが相手に届いたか確認する
「配信確認」→◉→「On」/「Off」→◉

■メールがメールサーバーに保存される期限を設定する
「有効期限」→◉→有効期限を選択→◉

■署名を登録する

「SMS署名」→◉→「署名入力」→◉→署名を入力→◉

■署名の挿入を設定する

「SMS署名」→◉→「署名使用」→◉→「On」／「Off」→◉

■SMS用のセンター番号を変更する

- ●ボーダフォンより番号変更のお知らせがない場合は変更しないでください。サービスがご利用になれなくなります。
- ●SMSセンター番号は、USIMカードに登録されています。お買い上げ時は、「**+819066519300**」に設定されています。

「メッセージセンター」→◉→新しいセンター番号を入力→◉

■SMSのメールタイプを選択する

- ●SMSのメールタイプは、USIMカードに登録されています。設定を変更するとSMSが送信できなくなる場合がありますので、通常は「**テキスト**」にすることをおすすめします。

「SMSタイプ」→◉→メールタイプを選択→◉

デルモジ表示設定

デルモジ表示とは、テキスト中の単語や絵文字、顔文字などに対応して3Dアニメーションが表示される機能です。デルモジ表示の条件や背景色、表示速度を設定できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ デルモジ表示設定

■受信メールをデルモジ表示する条件を設定する

「自動再生」→◉→条件を選択→◉

■表示する文字や背景の色を選択する

「背景色・文字色」→◉→色を選択→◉

重　要

- 2ページ以上にわたるMMS、本文のないSMS／MMS、MMS通知、配信レポート、プッシュはデルモジ表示されません。
- 音楽ファイルのバックグラウンド再生中にデルモジ表示をすると、バックグラウンド再生が一時停止する場合があります。

補　足

- 表示できる文字数は、全角半角問わず150文字までです。以降は「…」と表示されます。
- デルモジ表示のスピードは、デルモジ表示／一時停止中に◉で変更することができます。

SMS／MMS共通設定

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ 共通設定

■返信するときに、相手のメッセージを引用するかどうかの設定

「返信設定」→◉→返信方法を選択→◉

■表示する文字のサイズを選択する

「表示フォントサイズ」→◉→サイズを選択→◉

■◉を押したときのスクロール単位を設定する

「ページスクロール」→◉→スクロール単位を選択→◉

プッシュ（自動配信サービス）

プッシュとは、サービスセンターから通知される自動配信メッセージです。送られてきたメッセージからインターネットに接続して情報を入手できます。

プッシュを受信する

プッシュを受信すると、画面上に「」が表示されます。ブラウザ設定の自動起動（17-10ページ）を「**On**」にしている場合は、受信してすぐに指定されたURLへジャンプします。また、プッシュによってはそのまま「**受信ボックス**」（16-9ページ）に保存されるものもあります。

補　足

- 情報受信時の着信音パターンおよび着信音量は、モードの設定（11-1ページ）に従います。

プッシュを確認する

配信されたプッシュが未読の場合は、お知らせ一発メニュー（1-9ページ）で確認できます。

1 お知らせ一発メニュー表示→「新着プッシュ」→◉

2 タイトルを選択→◉

補　足

- プッシュは、「**受信ボックス**」からも確認できます（16-9ページ）。

ウェブをご利用になる前に

情報の保存について

ウェブで入手したメニューや情報は、「キャッシュ」と呼ばれるメモリ内に一時保存されます（ウェブキャッシュ）。
キャッシュに保存されている情報は、メモリが一杯になると古い情報から自動的に消去されます。

- 一度表示した情報画面をもう一度表示すると、サービスセンター内の情報ではなく、キャッシュに一時保存されている情報が表示されることがあります。最新の内容を見るには、情報を更新してください（17-7ページ）。
- 保存容量については、メモリ容量一覧（21-12ページ）を参照してください。

補　足

- ウェブで入手した情報には､有効期限が指定されている場合があります｡有効期限を指定されている情報がキャッシュに一時保存されている場合は､指定されている有効期限を過ぎると､キャッシュから自動的に消去されます。
- キャッシュに一時保存されている情報は消去できます（17-10ページ）。
- キャッシュに保存されない情報もあります。
- 保存された情報は､ウェブを終了したり､電源を切っても消去されません。

SSL ／ TLSについて

SSL(Secure Sockets Layer)とTLS(Transport Layer Security)とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL ／ TLS接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。
705Tでは、あらかじめ認証機関から発行されたサーバー証明書が登録されていて、確認もできます（17-10ページ）。

SSL／TLS利用に関するご注意

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL ／ TLSを利用するものとします。
お客様自身によるSSL ／ TLSの利用に際し、ボーダフォンおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社 、エントラストジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストネット株式会社は、お客様に対しSSL ／ TLSの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

ウェブへのアクセス

知りたい情報、見たい情報や聞きたい情報を検索して入手できます。また、直接「http://www.△△.ne.jp」などで表示されるアドレス（URL）を入力して接続することもできます。

●通信中は画面上に「⇄」が表示されます。通信中に中断したい場合は、◻（キャンセル）を押します。

メイン メニュー▶ Vodafone live!

■メニューからアクセスする

「Vodafone live!」→◉

■URLを入力してアクセスする

「URL入力」→◉→アドレスを入力→◉

■履歴を使ってアクセスする

履歴には、アクセスしたページのアドレスが新しいものから最大300件（ただし、１ドメインにつき最大30件、最大10ドメイン）まで記憶され、同じホームページへもう一度アクセスできます。

「履歴」→◉→アドレスを選択→◉

補　足

- 待受画面で◻(◎)を押しても、ボーダフォンライブ！を呼び出すことができます。
- ウェブ画面表示中に、◻(メニュー)を押して「**Do Actions**」を選択すると、コンテンツ内で指定された動作を実行できる場合があります。
- 履歴を選択中に◻(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。

  インターネットアクセス／**削除**／**ドメイン別表示**／**複数選択**

ウェブ画面の操作のしかた

画面のスクロール

上下や左右に画面があるときは、画面の右または下にスクロールバーが表示されます。◎または◎を押すと、続きの画面を表示できます。

カーソルの移動

画面内に選択可能な項目がある場合は、カーソルは◎を押すと次の項目に、◎を押すと前の項目に移動します。

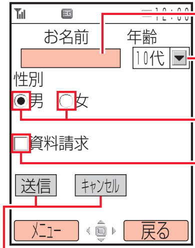
次の画面に進む／前の画面に戻る

表示したウェブ画面は一時的に記憶されています。◻（メニュー）を押したあと「**前ページ**」を選択すると前の画面に戻り、「**次ページ**」を選択すると次の画面に進みます。

●ウェブ画面表示中に◻（戻る）を押しても前の画面に戻ります。

情報内の文字入力や選択／実行ボタンについて

入力欄や選択項目が表示された場合は、以下のように操作します。



文字入力欄

文字が入力できる部分です。

□内の位置にカーソルを合わせて◉を押すと、文字の入力画面が表示されます。文字を入力して◉を押します。

セレクトメニュー

□内の位置にカーソルを合わせて◉を押すと、セレクトメニューが表示されます。選択する項目にカーソルを合わせて◉を押します。

ラジオボタン

項目を選択する部分です。

○にカーソルを合わせて◉を押すと、◉に変わり、選択されていることを示します。

チェックボタン

□にカーソルを合わせて◉を押すと、☑に変わり、選択されていることを示します。

実行ボタン

登録内容の送信やキャンセルなど、動作を選択する部分です。

□の位置にカーソルを合わせて◉を押すと、□内の動作を行います。

重　要

- 左記の画面は内容を説明するための一例です。実際の画面とは異なる場合があります。

ウェブ内のリンクの利用

情報に含まれる電話番号やE-mailアドレス、URLのリンクを利用して、電話の発信、メール作成、ウェブの閲覧ができます。また、電話番号やE-mailアドレスをアドレス帳に登録できます。

●利用できる項目には、アンダーラインが表示されます。

1 ウェブ画面を表示させる→◉

■電話をかける／アドレス帳に登録する

リンクを選択→◉→「発信」／「アドレス帳登録」→◉

■E-mailアドレスにメールを送信する／アドレス帳に登録する

リンクを選択→◉→「メール送信-MMS」／「アドレス帳登録」→◉

■リンクしてあるページにアクセスする

リンクを選択→◉

お気に入り登録

よく利用する情報をお気に入りに登録しておくと、あとでウェブに接続しなくても簡単に呼び出せます。

1 ウェブ画面を表示させる→⊟(メニュー)→「お気に入り」→◉

2 「お気に入りへ保存」→◉

データフォルダ内の「**お気に入り**」に登録されます。

重　要

- 著作権などの制限により情報が保存できないことがあります。
- すでに保存されているページと同じURLのページを保存した場合は、上書き保存されます。

補　足

- お気に入りにはURLや添付データなどのリンク情報を含むコンテンツページが保存されます。
- お気に入りに保存された情報の表示方法については9-3ページを参照してください。

ブックマーク

よく利用する情報のブックマークを登録しておくと、簡単な操作でウェブに接続します。

ブックマークを登録する

1 ウェブ画面を表示させる→⊟(メニュー)→「ブックマーク」→◉

2 「ブックマーク登録」→◉

- 新規にフォルダを作成してブックマークを登録する場合は、「**新規フォルダに登録**」を選択します。
- タイトルまたはURLを編集しない場合は、⊟（OK）を押してください。

3 タイトルの欄を選択→◉→タイトルを編集→◉→⊟(OK)

4 「ルートフォルダ」→◉

- フォルダに登録する場合は、フォルダを選択します。

ブックマークから接続する

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブックマーク

1 情報のタイトルを選択→◉

サービスセンターとの通信後、情報が表示されます。

補足

- 情報画面表示中も、ブックマークから情報を呼び出せます。
  情報画面表示→⊟(メニュー)→「**ブックマーク**」→◉→「**リスト呼出し**」

ブックマークを管理する

ブックマークを分類するためのフォルダを作成したり、ブックマークやフォルダのタイトル変更、削除などができます。

フォルダを作成する

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブックマーク

1 ⊟(メニュー)→「フォルダ作成」→◉

2 フォルダ名を入力→◉

ブックマークのタイトルを編集する

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブックマーク

1 ブックマークを選択→⊟(メニュー)

2 「編集」→◉→タイトルの欄を選択→◉

3 タイトルを編集→◉→⊟(OK)

- フォルダ名を編集する場合は、ブックマーク一覧画面で編集したいフォルダを選択し、⊟（メニュー）→「**フォルダ名変更**」を選択します。

ブックマークを指定したフォルダに移動する

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブックマーク

1 ブックマークを選択→⊟(メニュー)→「移動」→◉

2 「一件」／「全件」→◉

3 フォルダを選択→◉

ブックマークをメールで送信する

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブックマーク

1 ブックマークを選択→⊟(メニュー)→「URL送信」→◉

2 「メール送信-SMS」／「メール送信-MMS」→◉

ブックマークを削除する

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブックマーク

1 ブックマークを選択→⊟(メニュー)→「削除」→◉

2 「一件」／「全件」→◉→⊟(Yes)

補　足

- フォルダを削除する場合は、ブックマーク一覧画面で削除したいフォルダを選択し、[-](メニュー)→「**フォルダ削除**」を選択します。

情報表示中の各種操作

情報内のファイルを利用する

情報内に含まれる画像やメロディファイルをデータフォルダに保存、利用できます。

データフォルダに保存する

1 ファイルを含むウェブ画面を表示させる→[-](メニュー)

2 「ファイル保存モード」→(●)→ファイルを選択→[-](メニュー)

3 「保存」→(●)→「本体」／「メモリカード」→(●)

重　要

- 著作権などの制限によりファイルが保存できない場合があります。

プロパティを確認する

1 ファイルを含むウェブ画面を表示させる→[-](メニュー)

2 「ファイル保存モード」→(●)→ファイルを選択→[-](メニュー)

3 「ファイルプロパティ」→(●)

ファイルを再生する

1 ファイルを含むウェブ画面を表示させる→[-](メニュー)

2 「ファイル保存モード」→(●)→ファイルを選択→[-](メニュー)

3 「再生」→(●)

重　要

- ファイルによっては正しく表示／再生できない場合があります。

リンクからファイルを利用する

1 ファイルを含むウェブ画面を表示させる

2 リンクを選択→◉→⊟(Yes)

ダウンロードが開始されます。

■**ファイルを再生する**

「再生」→◉

■**ファイルを保存する**

「保存」→◉

■**ファイルのプロパティを確認する**

「ファイルプロパティ」→◉

■**ファイルを保存して壁紙に設定する**

「保存して設定」→◉（4回）

■**ファイルを保存して着信音に設定する**

「保存して設定」→◉→「音声着信」／「TVコール着信」／「メール受信」→◉→⊟（設定）

重　要

- 著作権などの制限によりファイルが保存できない場合があります。
- ファイルによっては正しく表示／再生できない場合があります。

補　足

- ストリーミングについては、7-6ページを参照してください。
- ファイルを保存して壁紙に設定する場合、ファイルによっては、表示したあとに⊟(メニュー)を押して切り取りやサイズの調節を行うことができます。

最新の情報に更新する

表示中の情報を最新の情報に更新できます。

1 ウェブ画面を表示させる→⊟(メニュー)→「更新」→◉

画面 URL をメールで送信する

URLが本文に貼り付けられたメールの作成画面が表示されます。

1 ウェブ画面を表示させる→⊟(メニュー)→「ページURL送信」→◉

2 「メール送信-SMS」／「メール送信-MMS」→◉

URL を入力してアクセスする

情報画面を表示中に「http://www.△△.co.jp」などで表示されるアドレス（URL）を入力し、ホームページへアクセスして、情報を入手できます。

1 ウェブ画面を表示させる→⊟(メニュー)→「インターネットアクセス」→◉

- 履歴からアクセスする場合は、このあと「**履歴**」を選択します（17-2ページ）。

2 「URL入力」→◉→アドレスを入力→◉

エンコード種別を変更する

画面の文字が正しく表示されないときに、エンコード種別を変更して再表示します。

1 **ウェブ画面を表示させる→[-](メニュー)→「その他」→◉**

2 **「エンコード種別」→◉→エンコード種別を選択→◉**

情報内の文字をコピーする

情報画面の文字をクリップボードにコピーします。

1 **ウェブ画面を表示させる→[-](メニュー)→「その他」→◉**

2 **「テキストコピー」→◉**

3 **コピーしたい先頭または最後の文字にカーソルを移動→[-](始点)→コピーしたい範囲を指定→[-](終点)**

●コピーされるのは文字と絵文字だけです。

サーバー証明書を確認する

SSL ／ TLS通信対応の情報画面を表示中に、適用されている証明書を確認できます。

●SSL ／ TLSについては17-1ページを参照してください。

1 **SSL／TLSで保護されているウェブ画面を表示させる→[-](メニュー)→「その他」→◉**

2 **「SSL接続情報」→◉**

情報画面のプロパティを確認する

情報画面のタイトル、ファイルサイズ、保存・転送の可・不可、URLを確認できます。

1 **ウェブ画面を表示させる→[-](メニュー)**

2 **「ページプロパティ」→◉**

ブラウザの設定

画像やメロディの受信を拒否する（テキストブラウズ）

ウェブから文字情報だけを受信するように設定できます。受信完了までの時間を短縮できます。

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブラウザ設定 ▶ テキスト設定

1 「テキストブラウズ設定」→●

■画像の受信を拒否する
「イメージ」→●→「表示しない」→●
■メロディの受信を拒否する
「サウンド」→●→「再生しない」→●

補　足

- 受信を拒否した画像やメロディはアイコン(🖼、♫)で表示されます。⊟(メニュー)→「**ファイル保存モード**」を選択すると、画像やメロディを受信できます。

文字のサイズを変更する

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブラウザ設定 ▶ テキスト設定

1 「フォントサイズ」→●→サイズを選択→●

補　足

- 情報画面の表示中に文字のサイズを変更する場合は、情報画面で⊟(メニュー)→「**その他**」→●→「**フォントサイズ**」を選択します。

メモリを管理する

アクセス履歴を消去する

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブラウザ設定 ▶ メモリ操作

1 「履歴消去」→●→⊟(Yes)

Cookieの有効／無効を設定する

Cookieとはサービスセンターと705Tの間でやりとりするユーザ情報やアクセス履歴などの情報です。Cookieを有効(「**On**」)にすると、サイトに接続したときの設定情報がCookieとして保存されるため、次回接続時に保存されているお客様専用の環境を利用できます。

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブラウザ設定 ▶ メモリ操作

1 「Cookie設定」→●

2 「On」／「Off」→●

保存されているCookieをすべて消去する

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブラウザ設定 ▶ メモリ操作

1 「Cookie全消去」→◉→⃞(Yes)

ウェブキャッシュをすべて消去する

「キャッシュ」と呼ばれるメモリ内に一時的に保存されている情報をすべて消去します。

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブラウザ設定 ▶ メモリ操作

1 「キャッシュ消去」→◉→⃞(Yes)

DNSキャッシュをすべて消去する

DNSキャッシュとはボーダフォンライブ！のサーバーのアドレスを一時的に保存するためのメモリです。

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブラウザ設定 ▶ メモリ操作

1 「DNSキャッシュ消去」→◉→⃞(Yes)

製造番号通知を設定する

ネットワークから要求があったときに、本体の製造番号（IMEI）をお客様のユーザIDとして自動的に送信するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブラウザ設定

1 「製造番号通知」→◉

2 「On」／「Off」→◉

SSL ／ TLS 証明書を確認する

705Tにあらかじめ登録されている、認証機関から発行された証明書を確認できます。

●SSL ／ TLSについては17-1ページを参照してください。

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブラウザ設定

1 「証明書」→◉→証明書を選択→◉

プッシュ受信時にブラウザを自動起動する

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブラウザ設定

1 「自動起動」→◉

2 「On」／「Off」→◉

位置情報設定

ブラウザやVアプリから位置情報を取得する際の設定を行います。

位置情報 URL 設定を行う

アドレス帳（4-1ページ）から地図を表示させるときの地図提供プロバイダを設定します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 位置情報設定

1 「位置情報URL設定」→◉

2 「未登録」→☐(編集)→位置情報取得用のURLを入力→◉

●登録可能文字数は、最大1,024文字です。

3 URLを選択→◉

補　足

- 操作2のあと☐(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  設定／編集／詳細／一件削除
  ただし、お買い上げ時に設定されているURL「http://mobile.its-mo.com/MapToLink/p2」は編集、削除することができません。

測位 On ／ Off 設定を行う

位置測位機能を有効にするかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 位置情報設定 ▶ 測位On/Off設定

1 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力

2 「On」／「Off」→◉

位置情報の送信を設定する

情報取得時に位置情報の送信要求があったとき、位置情報を自動的に送信するかどうかを設定します。

メインメニュー ▶ Vodafone live! ▶ ブラウザ設定 ▶ 位置情報送信

1 操作用暗証番号(1-16ページ)を入力

■毎回確認画面を表示させる
「確認画面表示」→◉

■確認画面を表示せずに位置情報を送信する
「送信する」→◉

■確認画面を表示させずに位置情報の送信もしない
「送信しない」→◉

V アプリをご利用になる前に

Vアプリは、Vアプリを提供しているウェブの情報画面からダウンロードできます。ダウンロードするには、ウェブ利用時と同様の通信料がかかります。

●詳しくは、3Gガイドブックをご覧ください。
●705Tでは、ボーダフォン携帯電話専用のVアプリのみご利用できます。

ネットワーク接続型Vアプリについて

Vアプリには利用時に、本体だけで動作するものと、ネットワーク（ウェブ）に接続する必要があるもの（ネットワーク接続型Vアプリ）があります。ネットワーク接続型Vアプリでは、ネットワークに接続してゲームを楽しんだり、リアルタイムに情報を入手できます。

●ネットワーク接続型Vアプリを利用するときは、接続するたびにウェブの通信料がかかります。
●ネットワーク接続型Vアプリを利用するときに、あらかじめセキュリティ設定（18-4ページ）で「**ネットワーク接続**」を「**初回のみ表示**」にしている場合は、初回利用時のみ確認画面が表示され、それ以降は自動的にネットワークに接続されます。

V アプリのダウンロード

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ Vアプリライブラリ

1 「Vアプリダウンロード」→◉→▭(Yes)→Vアプリを選択→▭(Downld.)

2 「本体」／「メモリカード」→◉

Vアプリのダウンロードが始まります。
完了すると、Vアプリライブラリへ移動するかどうかの確認画面が表示されます。ウェブを終了してVアプリライブラリを表示する場合は▭（Yes）を押します。▭（No）を押すと、ウェブ画面に戻ります。

重　要

- 電池残量が少ないとダウンロードを正常に終了できない場合があります。
- USIMカードを差し替えると、ダウンロードしたVアプリは利用できなくなります。

補　足

- ダウンロード開始時に一時停止中のVアプリがある場合は、終了確認画面が表示されます。ダウンロードを続行するには▭(Yes)を押します。
- **保存先のメモリが一杯の場合**
  - ・保存先が本体の場合、確認画面が表示されます。▭(Yes)を押し、不要なデータを削除してください。
  - ・保存先がメモリカードの場合、Vアプリをダウンロードできません。不要なVアプリを削除するか（18-2ページ）、本体に保存してください。

Vアプリの起動

メイン メニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ Vアプリライブラリ

1 Vアプリを選択→◉

補　足

- Vアプリ実行中に着信やメール受信などがあった場合の動作は、優先度設定(18-5ページ)に従います。

Vアプリの一時停止／再開／終了

Vアプリを一時停止／再開／終了する

1 Vアプリの実行中→☎

2 「一時停止」／「再開」／「終了」→◉

補　足

- 本体を閉じるとVアプリは一時停止します。

一時停止中のVアプリを再開／終了する

メイン メニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ Vアプリライブラリ

1 「再開」／「終了」→◉

Vアプリライブラリ

Vアプリを削除する

●お買い上げ時にあらかじめ登録されているVアプリを削除する場合は、操作用暗証番号（1-16ページ）の入力が必要です。

メイン メニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ Vアプリライブラリ

1 Vアプリを選択→⊟(メニュー)

■1件削除する

「削除」→◉→⊟（Yes）

■複数削除する

「複数選択」→◉→Vアプリを選択→◉→⊟（メニュー）→「削除」→◉→⊟（Yes）

V アプリライブラリの表示を切り替える

Vアプリライブラリの表示を本体（データフォルダ）のライブラリからメモリカードのライブラリに切り替えることができます。メモリカード内のライブラリを表示中は、タイトルの左に「」が表示されます。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ Vアプリライブラリ

1 **(メニュー)→「メモリカード」→●**

● メモリカードから本体に切り替える場合は、「**本体**」を選択します。

V アプリのプロパティを確認する

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ Vアプリライブラリ

1 **Vアプリを選択→(メニュー)→「プロパティ」→●**

補　足

● プロパティでは、アプリケーション名、ベンダー名、バージョンなどの詳細情報を確認できます。確認できる項目は、Vアプリによって異なります。

V アプリを移動する

Vアプリを本体（データフォルダ）のVアプリライブラリまたはメモリカードのVアプリライブラリに移動できます。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ Vアプリライブラリ

1 **Vアプリを選択→(メニュー)→「複数選択」→●→Vアプリを選択→●**

2 **(メニュー)→「移動」→●→(Yes)**

重　要

● 待受設定されているVアプリをメモリカードに移動すると、待受設定は解除されます。
● お買い上げ時にあらかじめ登録されているVアプリは移動できません。またダウンロードしたVアプリによっては、メモリカードに移動できない場合があります。
● 本体とメモリカード内に同じVアプリがある場合は、そのVアプリは移動できません。

セキュリティを設定する

Vアプリ実行中、通話発信やネットワーク接続など、特定の機能を利用するときに確認画面を表示するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ Vアプリライブラリ

1 **Vアプリを選択→⊟（メニュー）→「セキュリティ設定」→◉**

2 **機能を選択→◉**

■Vアプリを起動するたびに確認画面を表示する
「アプリ起動毎」→◉

■機能を利用するたびに毎回確認画面を表示する
「機能実行毎」→◉

■Vアプリ初回起動時に1回だけ確認画面を表示する
「初回のみ表示」→◉

■機能を実行せず、確認画面も表示しない
「許可しない」→◉

補　足

- 表示方法の種類は機能によって異なります。

Vアプリの待受設定

待受画面にVアプリを1件設定しておくことができます。待受設定されたVアプリの動作時間も設定できます。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ

1 **「Vアプリ待受設定」→◉**

■Vアプリを選択する
「Vアプリ待受リスト」→◉→Vアプリを選択→◉→⊟（Yes）

■Vアプリの起動開始時間を設定する
「時間設定」→◉→「開始時間」→◉→起動開始までの時間を入力→◉

■Vアプリの動作時間を設定する
「時間設定」→◉→「動作時間」→◉→動作時間を選択→◉

重　要

- 待受アプリ設定中は、電話がかかってきても簡易留守録（11-13ページ）が動作しない場合があります。
- 待受アプリの種類によっては、ディスプレイ省電力（11-10ページ）の設定時間が過ぎると、一時停止する場合があります。

補　足

- 待受アプリ起動中に⌂を押すと、待受設定されているVアプリは一時停止状態になりますが、待受設定は解除されません。待受設定されているVアプリを解除する場合は、「**Vアプリ待受設定**」で「**Off**」を選択します。
- Vアプリライブラリ（18-2ページ）から待受設定可能なVアプリを選択しても、待受設定を行うことができます。

アプリ設定

Vアプリの各種設定ができます。

V アプリ実行中の優先度を設定する

Vアプリ実行中に電話がかかってきたときなどに着信を優先してVアプリを一時停止するか、Vアプリを一時停止せずに着信の通知だけを行うかを設定します。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ アプリ設定

1 「優先度」→◉

■音声着信したときの設定をする

「音声着信」→◉→「音声着信優先」／「通知のみ」→◉

■TVコール着信したときの設定をする

「TVコール着信」→◉→「TVコール着信優先」／「通知のみ」→◉

■メールを受信したときの設定をする

「メール受信」→◉→「メール受信優先」／「通知のみ」→◉

■アラームが起動したときの設定をする

「アラーム」→◉→「アラーム優先」／「通知のみ」→◉

V アプリのバックライトを設定する

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ アプリ設定

1 「バックライト」→◉

■バックライトの点灯方法を設定する

「バックライト」→◉→「常時On」／「常時Off」／「通常設定連動」→◉

■バックライト点滅動作を設定する

「点滅設定」→◉→「On」／「Off」→◉

補　足

- 「**通常設定連動**」を選択した場合は、メインディスプレイ設定のバックライト設定(11-9ページ)に従います。

V アプリの再生音量を設定する

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ アプリ設定

1 「音量」→◉

2 音量を調節→◉

V アプリのバイブレーターを設定する

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ アプリ設定

1 「バイブレーター」→◉

2 「On」／「Off」→◉

Vアプリのリセットを行う

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ アプリ設定

1 「リセット」→◉

■Vアプリの設定をすべてリセットする

Vアプリの各機能の設定内容をすべてお買い上げ時の状態に戻します。

「設定リセット」→◉→操作用暗証番号（1-16ページ）を入力→⊟（Yes）

■Vアプリをすべてリセットする

ダウンロードしたVアプリ（あらかじめ登録されているVアプリを除く）をすべて削除し、Vアプリの各機能の設定内容をすべてお買い上げ時の状態に戻します。

「全アプリリセット」→◉→操作用暗証番号（1-16ページ）を入力→⊟（Yes）

●Vアプリがすべてリセットされ、自動的に電源が入れ直されます。

補　足

- Vアプリの削除（18-2ページ）であらかじめ登録されているVアプリを削除した場合は、全アプリリセットを行うと再インストールされます。ただし、データフォルダが一杯の場合は、再インストールされないことがあります。データフォルダの不要なファイルを削除（9-9ページ）してから全アプリリセットを行ってください。

メモリカードのVアプリ情報を更新する

メモリカードを他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データ編集や追加、消去など）したときは、メモリカードのVアプリの情報を更新する必要があります。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ ▶ アプリ設定

1 「メモリカード同期」→◉→⊟（Yes）

補　足

- Vアプリの数やサイズによっては、情報の更新が終了するまで時間がかかる場合があります。

Vアプリのライセンス情報の確認

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ Vアプリ

1 「ライセンス情報」→◉

ボーダフォンライブ!キャストについて

サービスに登録することにより、定期的に情報が自動配信されます。
情報の配信は深夜から早朝にかけて行われます。ダウンロード中は待受画面に「⇄」が表示されます。ダウンロードが完了すると、待受画面にアイコン「(アイコン)」(新着キャストあり)または「(アイコン)」(ダウンロード失敗)が表示され、同時にお知らせ一発メニュー(1-9ページ)も表示されます。

- ●ボーダフォンライブ!キャストによる課金は、サービスの月額使用料のみで、ダウンロード時の通信料は発生しません。
- ●ボーダフォンライブ!キャストは、日本国内だけでご利用いただけます。

サービスの登録/解除をする

専用サイトへ接続し、配信情報の登録・解除や番組選択をします。
●ウェブに接続中は、通信料がかかります。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ キャスト

1 「サービス登録・解除」→◉→⊟(Yes)

●以降の操作は画面の指示に従ってください。

新着情報を確認する

最新の情報を確認できます。
キャストのメニュー画面で表示される「**最新情報**」のアイコンは、未読の場合は「(アイコン)」、既読の場合は「(アイコン)」で表示されます。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ キャスト

1 「最新情報」→◉

補 足

- 「**最新情報**」を選択中に⊟(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  表示/一件削除

お知らせ一発メニューから確認する

お知らせ一発メニュー(1-9ページ)から最新情報を閲覧できます。

1 お知らせ一発メニュー表示→「新着キャスト」→◉

補 足

- 情報閲覧中に⊟(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  選択/ブックマーク呼出し/前ページ/次ページ/インターネットアクセス/ファイル保存モード/その他
- ウェブ画面表示中に⊟(メニュー)を押して「**Do Actions**」を選択すると、情報内で指定された動作を実行できる場合があります。

手動でダウンロードする

電源を切っていたり、電波状態が悪く情報のダウンロードに失敗した場合、配信日当日に限り再配信ページからダウンロードできます。ダウンロードできるのは、最新の情報です。過去の情報はダウンロードできません。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ キャスト

1 「再配信要求」→◉→⊟(Yes)

●再配信ページへ接続します。

重　要

- 情報の配信がない日は、ダウンロードができません。

お知らせ一発メニューから再配信要求をする

お知らせ一発メニュー（1-9ページ）から、再配信ページへ接続できます。

1 お知らせ一発メニュー表示→「キャスト情報」→◉

2 ⊟(Yes)

バックナンバーを確認する

過去に配信された情報を確認できます。

キャストのメニュー画面で表示される「**バックナンバー**」のアイコンは、未読の情報がある場合は「」、すべて既読の情報の場合は「」で表示されます。

最大7件までリストに表示されます。7件を超えると、古い情報から順に削除されます。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ キャスト

1 「バックナンバー」→◉

2 情報を選択→◉

補　足

- 過去の情報を選択中に⊟(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。

  表示／一件削除

- バックナンバーリスト画面で表示される過去の情報のアイコンも、未読の場合は「」、既読の場合は「」で表示されます。
- 配信された情報は最新情報を含めて3Mバイトまで保存しておけます。件数、容量のどちらかでも超えると、リストの古い情報から削除されます。
- リストを並び替えることはできません。

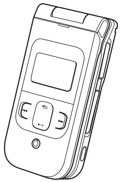
Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

* Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

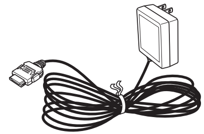
What's in the Box

- Handset



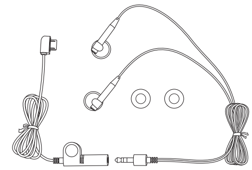
- Macro Lens*1
- Battery Cover
- Utility Software for 705T (CD-ROM)*1*2

- Rapid Charger (TSCS01)



- Battery Pack (TSBAH1)
- User Guide
- 3G Guide (Japanese only)

- Stereo Handsfree Headset*1



- USB Cable*1
- First Step Guide (Japanese only)

*1 Complimentary sample not available for purchase.

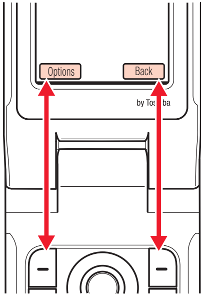
*2 Upgrades or updates of included utility software may become available on the Vodafone Website (www.vodafone.jp) without prior notification. Please check for the newest versions of utility applications and download as required.

- In addition to the above items, optional items such as a cigarette lighter charger, video output cable and stereo earphone-microphone with audio remote control are available. For details, contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone General Information (page 20-52).
- You can use a miniSD™ memory card (hereafter referred to as memory card) with your handset. A memory card is not included.
  Purchase a memory card to use memory card functions. Your handset supports memory cards with a storage capacity of up to 1 GB (as of March, 2006).
  There is no guarantee that all memory cards will work with your handset.

Symbols Used in This Manual

Using Soft Keys

Press soft keys to perform operations indicated at the bottom of the main display.



- Press [-] to access Options menu.
- Press [-] to return to the previous menu.

Using the Navigation Key

Use the navigation key to move the cursor, access functions, display the Main menu, confirm selected items and perform selected operations.

Operation (Notation Used in This Manual)	Function
Press up	Accesses the Shortcut menu Increases the volume Moves the cursor up
Press down	Accesses the Contacts list Decreases the volume Moves the cursor down
Press left	Accesses Dialled Numbers Decreases the volume Moves the cursor left
Press right	Accesses Received Calls Increases the volume Moves the cursor right
Press centre	Accesses the Main menu Confirms the selected item or performs the selected operation Acts as the camera shutter-release

TOSHIBA CORPORATION

IMPORTANT NOTE: PLEASE READ BEFORE USING YOUR HANDSET

BY ATTEMPTING TO USE ANY SOFTWARE ON THE SUPPLIED HANDSET THIS CONSTITUTES YOUR ACCEPTANCE OF THESE EULA TERMS. IF YOU REJECT OR DO NOT AGREE WITH ALL THE TERMS OF THIS EULA, PLEASE DO NOT ATTEMPT TO ACCESS OR USE THE SUPPLIED SOFTWARE.

End User License Agreement

This End User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you (as the user) and TOSHIBA CORPORATION ("Toshiba") with regard to the copyrighted software as installed in a Toshiba 3G handset supplied to you (the "Handset").

Use or disposal of any software installed in the Handset and related documentations (the "Software") will constitute your acceptance of these terms, unless separate terms are provided by the Software supplier on the Handset, in which case certain additional or different terms may apply. If you do not agree with the terms of this EULA, do not use or dispose the Software.

1. License Grant. Toshiba grants to you a personal, non-transferable and non-exclusive right to use the Software as set out in this EULA. Modifying, adapting, translating, renting, copying, making available, transferring or assigning all or part of the Software, or any rights granted hereunder, to any other persons and removing any proprietary notices, labels or marks from the Software is strictly prohibited, except as expressly permitted in this EULA. Furthermore, you hereby agree not to create derivative works based on the Software.
2. Copyright. The Software is licensed, not sold. You acknowledge that no title to the intellectual property in the Software is or will be transferred to you. You further acknowledge that title and full ownership rights to the Software will remain the exclusive property of Toshiba, Toshiba's affiliates, and/or their suppliers, and you will not acquire any rights to the Software, except as expressly set out in this EULA. You may keep a back-up copy of the Software only so far as necessary for its lawful use. All copies of the Software must contain the same proprietary notices as contained in or on the Software and are subject to the terms of this EULA. All rights not expressly granted under this EULA are reserved to Toshiba, Toshiba's affiliates and/or their suppliers.
3. Reverse Engineering. You agree that you will not attempt, and if you are a business organisation, you will use your best efforts to prevent your employees, servants and contractors from attempting to reverse engineer, decompile, modify, translate or disassemble the Software in whole or in part except to the extent that such actions cannot be excluded by mandatory applicable law and only if those actions are taken in accordance with such applicable law. Any failure to comply with the above or any other terms and conditions contained herein will result in the automatic termination of this license and the reversion of the rights granted hereunder to Toshiba.
4. **DISCLAIMER OF WARRANTY.** The Software is provided "AS IS" without warranty of any kind. **TOSHIBA, TOSHIBA'S AFFILIATES, AND THEIR SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, CONDITIONS OR OTHER TERMS (WHETHER EXPRESS OR IMPLIED), INCLUDING BUT NOT LIMITED TO WARRANTIES, CONDITIONS AND TERMS OF SATISFACTORY QUALITY, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD-**

PARTY RIGHTS; AND THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE SOFTWARE IS WITH YOU. YOU ACCEPT THAT SOFTWARE MAY NOT MEET YOUR REQUIREMENTS AND NO WARRANTY CAN BE GIVEN THAT OPERATION OF THE SOFTWARE WILL BE UNINTERRUPTED OR ERROR-FREE.

5. **LIMITATION OF LIABILITY. TO THE FULLEST EXTENT LEGALLY PERMITTED, IN NO EVENT SHALL TOSHIBA, TOSHIBA'S AFFILIATES OR THEIR SUPPLIERS BE LIABLE TO YOU FOR ANY DAMAGES FOR (A) LOST BUSINESS OR REVENUE, BUSINESS INTERRUPTION, LOSS OF BUSINESS DATA; OR (B) CONSEQUENTIAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR INDIRECT DAMAGES OF ANY KIND (WHETHER UNDER CONTRACT, TORT OR OTHERWISE) ARISING OUT OF: (I) THE USE OR INABILITY TO USE THE SOFTWARE, EVEN IF TOSHIBA, TOSHIBA'S AFFILIATES OR THEIR SUPPLIER HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES; OR (II) ANY CLAIM BY A THIRD PARTY. SAVE AS SET OUT IN THIS SECTION, TOSHIBA'S ENTIRE LIABILITY UNDER THIS EULA SHALL NOT EXCEED THE PRICE PAID FOR THE SOFTWARE, IF ANY.**

   PLEASE MAKE AND RETAIN A COPY OF ALL DATA YOU HAVE INSERTED INTO YOUR PRODUCT, FOR EXAMPLE NAMES, ADDRESSES, PHONE NUMBERS, PICTURES, RINGTONES ETC, BEFORE SUBMITTING YOUR PRODUCT FOR A WARRANTY SERVICE, AS SUCH DATA MAY BE DELETED OR ERASED AS PART OF THE REPAIR OR SERVICE PROCESS.

6. Laws. This EULA will be governed by the laws of Japan. All disputes arising out of this EULA shall be subject to the exclusive jurisdiction of the Tokyo District Court.

7. Export Laws. Any use, duplication or disposal of the Software involves products and/or technical data that may be controlled under the export laws of applicable countries or region and may be subject to the approval of the applicable governmental authorities prior to export. Any export, directly or indirectly, in contravention of the export laws of applicable countries or region is prohibited.

8. Third Party Beneficiary. You agree that certain suppliers of the Software to Toshiba have a right as a third party beneficiary to enforce the terms of this EULA against you as a user.

Safety Precautions

- To ensure proper usage, be sure to read the Safety Precautions thoroughly before using your handset. Always keep this manual available for future reference.
- Be sure to follow the safety information contained in the instruction manuals and indicated on the product to prevent injury to the user and other persons, as well as damage to property.
- When a child uses the handset, it is recommended that a parent or guardian reads the instruction manuals thoroughly and provides proper instructions to the child.
- The following describes the meaning of safety symbols and signal words. Be sure to understand their meanings before proceeding to read this manual.

Pictograph Descriptions

Pictograph	Meaning
⚠ Danger	Indicates an imminently hazardous operation that could result in death or serious injury[1] of the user.
⚠ Warning	Indicates a potentially hazardous operation that could result in death or serious injury[1] of the user.
⚠ Caution	Indicates a potentially hazardous operation that could result in minor or moderate injury[2] to the user or damage to property[3].

1 Serious injury includes loss of sight, wounds, high temperature burns, low temperature burns (burns causing reddish areas, blistering and other damage to the skin as a result of heat exceeding the body temperature contacting your skin for a prolonged time), electric shock, fractures and poisoning requiring hospitalization or long-term medical treatment.

2 Injury includes wounds, burns and electric shock not requiring hospitalization or long-term medical treatment.

3 Damage to property includes extensive damage to homes and household property, as well as livestock and pets.

Symbol Descriptions

Symbol	Meaning
🛇 Prohibited	🛇 indicates a prohibited action. The prohibited action is indicated graphically or described in text in or near the symbol.
❗ Compulsory	❗ indicates a compulsory action that must be carried out. The compulsory action is indicated graphically or described in text in or near the symbol.

Limitation of Liability

- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from natural disasters such as earthquakes, lightning, storms and floods, as well as fires through no fault of Vodafone and Toshiba, acts by third parties, other accidents, improper use by the user, whether intentionally or negligently, or use under other abnormal conditions.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for incidental damages arising out of the use or inability to use the product, including, but not limited to, corruption or loss of data, lost business revenue or suspension of business operations.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from improper use not conforming to the instructions in the instruction manuals.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from malfunctions caused by use in combination with connection equipment or software that is not authorized for use by Vodafone and Toshiba.
- Image data recorded with the camera, downloaded data and other data may be corrupted or lost due to malfunction, repair or other improper handling of the product. Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for the restoration of corrupted or lost data, as well as any damages or lost revenue and profits.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for corruption or loss of stored data resulting from failures or malfunctions of the product, regardless of the cause. Be sure to keep a separate memo of important data to limit damage caused by data corruption or loss to a minimum.

⚠ Danger

No disassembly

Do not disassemble, modify or repair the handset, battery pack, charger or Stereo Handsfree Headset

Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock, injury or malfunction. Modification of the handset is prohibited by Japanese Radio Law. For repair, contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (page 20-52).

No flames

Do not dispose of the handset, battery pack, charger or Stereo Handsfree Headset in a fire or expose it to heat

If the handset or battery pack is exposed to water, do not dry it artificially in heating equipment (microwave oven, etc.)

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

No flames

Do not charge, use or leave the handset, battery pack, charger or Stereo Handsfree Headset in hot places such as near a fire or heater

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

⚠ Danger

Keep water away

Do not expose the handset, charger, battery pack or Stereo Handsfree Headset to fluids such as water, perspiration or seawater

Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock or malfunction. If the handset is dropped accidentally in water or any other fluid, immediately turn off the handset and contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (page 20-52).

Keep water away

Do not leave the handset, charger, battery pack or Stereo Handsfree Headset outdoors, in a bathroom or wherever water or any other fluid is used

Do not place the handset, charger or battery pack near cups, vases or other containers of fluids

Exposure to water or other fluids may cause electric shock, overheating, rupturing or fire.

Prohibited

Do not use excessive force when inserting the battery pack into the handset or connecting the handset to the charger

Do not connect any cords with reverse polarity

Doing so may cause the battery pack to leak, rupture, overheat or catch fire, as well as cause electric shock or malfunction.

Prohibited

Do not touch the battery pack connectors (metal parts) with any metal objects (necklace, hairpin, etc.)

Doing so may cause the battery pack to overheat, rupture or catch fire, as well as the metal object to overheat.

Compulsory

Do not use a battery pack other than one supplied with or designated for the handset

Do not use the battery pack for any other handset

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Compulsory

Do not use a charger other than one supplied with or designated for the handset to charge the battery pack

Do not use the charger for any other handset

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

⚠ Warning

Prohibited

Do not charge the battery pack while it is wet or damp

Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock or short circuit. If the battery pack is exposed to fluids such as water, unplug the rapid charger immediately.

Prohibited

Do not use the handset while driving

Do not make or receive a call and do not use other functions (messaging, game, camera, video, music, mobile light, etc.)

Doing so may cause a traffic accident. Use of the handset while driving is prohibited by law. Before using the handset, stop the vehicle in a safe area where parking is permitted.

Prohibited

Do not use the phone wherever there is the risk of a fire or explosion such as in a petrol station

Doing so may ignite the gases and start a fire or explosion. Turn off the handset and do not charge it wherever gases may be present (petrol station, etc.).

Prohibited

Do not swing the handset by its strap, a video output cable or the Stereo Handsfree Headset

Doing so may cause an injury, accident or damage.

Compulsory

Turn off the handset while you are near any precision electronic equipment

Radio waves may adversely affect the operation of electronic equipment. Examples of such equipment: medical electronic equipment such as cardiac pacemakers and hearing aids or fire alarms and automatic doors. If you use medical electronic equipment, consult with the equipment manufacturer or distributor about the influence of radio waves.

Unplug power cable

Remove the power plug from the outlet if the rapid charger is not to be used for a long period of time or before cleaning

Failing to do so may cause an electric shock, fire or malfunction.

Compulsory

Turn off the handset wherever its use is prohibited such as on an aircraft

Cancel schedule and alarm settings before turning handset power off

Use of the handset on an aircraft is prohibited by law.

Compulsory

Check your surroundings to confirm that it is safe to make/receive calls, send/receive messages, take pictures or record videos

Failing to do so may cause you to trip over or cause a traffic accident.

⚠ Warning

Compulsory

Do not use the handset with any power voltage other than the specified voltage

Doing so may cause a fire. The power voltages are 100 to 240 V AC for the rapid charger and 12 or 24 V DC (for a negative ground car only) for a cigarette lighter charger.

Compulsory

Wipe away any dust on the plug of the rapid charger with a dry cloth after removing the plug from the outlet

Dust on the plug or outlet may cause a fire.

Compulsory

Follow the instructions below when installing and wiring in-vehicle devices

- **Make sure that devices do not interfere with driving and safety equipment such as airbags**
- **Make sure that wires are not caught in seatbelt buckles, doors or other moving parts**

Any wire caught around a foot, brake pedal, accelerator pedal, etc. may interfere with driving and cause a traffic accident. If any part of an in-vehicle device drops onto the floor, it may startle you into abrupt braking or steering, leading to a traffic accident.

Compulsory

If electrolyte fluid leaking from the battery pack gets into your eyes, wash your eyes immediately with clean water and have your eyes treated by an ophthalmologist

Failing to receive treatment for your eyes may result in eye injury.

Compulsory

When thunder is heard outside, stop using the handset immediately

Turn off the handset and do not touch it

Failing to do so may attract lightning and cause electric shock. When thunder is heard, stop using the handset and move to a safe place such as inside a building.

Compulsory

If the battery pack fails to charge in the specified time, stop charging immediately

Failing to do so may cause overheating, rupturing or fire. Contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (page 20-52).

Compulsory

When inserting the rapid charger plug into an AC household outlet, make sure that a metal strap or any other metal object does not touch the plug

Failing to do so may cause electric shock, short circuit or fire.

⚠ Warning

Compulsory

If something unusual happens to the handset, battery pack or charger; for example, it emits smoke or an unusual odour or is damaged, perform the following steps immediately

1. If the battery pack is charging, unplug the rapid charger from the AC household outlet or unplug the cigarette lighter charger from the cigarette lighter socket.
2. Make sure that the handset is not hot, then turn it off and remove the battery pack.

Failing to do so and continuing use (charging) may cause the battery pack to overheat, rupture or catch fire or the handset to overheat. If something unusual happens, contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (page 20-52).

Prohibited

Do not drop the handset or battery pack or subject it to excessive shock

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Prohibited

Do not sit down with the handset in your trousers pocket

Excess weight may damage the display, battery pack or other parts resulting in overheating, fire or injury.

Compulsory

If the handset is used near an implanted cardiac pacemaker, defibrillator or other electronic medical equipment, radio waves may interfere with such a device or equipment Observe the following guidelines

1. If you have an implanted cardiac pacemaker or defibrillator, carry and use the handset at a distance of at least 22 centimetres away from the implanted device.
2. Turn off the handset in crowded places such as packed trains because a person with an implanted cardiac pacemaker or defibrillator may be nearby. Radio waves can interfere with the operation of a cardiac pacemaker or other medical device.
3. Follow the precautions below in medical institutions.
   - Do not bring the handset into an operating room, intensive care unit or coronary care unit.
   - Turn off the handset in a hospital ward.
   - Turn off the handset in a lobby or other location close to medical equipment.
   - Observe the instructions of individual medical institutions and do not use the handset in or bring it into prohibited areas.
   - Turn off the handset after cancelling any settings such as schedule and alarm settings that turn on the handset automatically.

4. When using electronic medical devices other than an implanted cardiac pacemaker or defibrillator outside of medical institutions (such as at home), consult with the individual medical device manufacturer about the possible influence of radio waves.

The above information conforms to "The Guidelines on Use of Mobile Phones and Other Devices to Prevent Electromagnetic Wave Interference with Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference Japan, April 1997), as well as refers to "The Investigative Research Report on the Influence of Electromagnetic Waves on Medical Equipment" (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Prohibited

Do not use the rapid charger with any power supply other than a 100 to 240 V AC household power supply

Doing so may result in a fire, as well as cause the charger to overheat, catch fire or malfunction.

⚠ Caution

Prohibited

Do not use or leave the handset or battery pack in places where it will be exposed to direct sunlight or in hot places such as inside a car in the sun

Doing so may cause overheating, fire or malfunction.

Prohibited

Keep the handset, battery pack, macro lens and charger away from infants and small children

Failing to do so may result in the battery pack, macro lens or memory card being accidentally swallowed or cause an injury.

Prohibited

Make sure that the charger terminals (metal parts) do not come into contact with wires or other metal objects

Failing to do so may cause overheating or burns.

Prohibited

Do not pull the cord when unplugging the rapid charger or cigarette lighter charger from an AC household outlet or socket

Damage to the cord may cause electric shock, overheating or fire. Hold the plug when unplugging the rapid charger or cigarette lighter charger.

Prohibited

Do not pull, bend with excessive force or twist the cords of the rapid charger and cigarette lighter charger

Do not damage or modify them

Do not place objects on them

Do not apply heat and keep them away from heaters

Damage to a cord may cause electric shock, overheating or fire.

No wet hands

Do not plug or unplug the rapid charger with wet hands

Doing so may cause electric shock or malfunction.

Prohibited

Keep magnetic cards away from the handset and macro lens and make sure that a magnetic card is not trapped when closing the handset

Failing to do so may cause the magnetic data on a cash card, credit card, telephone card or floppy disk to be lost.

Prohibited

Do not use the handset in a vehicle if it affects in-vehicle electronic devices

Use of the handset in some types of vehicles may, in some rare cases, affect in-vehicle electronic devices and interfere with safe driving.

⚠ Caution

Prohibited

Do not place the handset on an unstable or unlevel surface

Doing so may result in the handset falling and causing injury or malfunction. Be particularly careful when vibration is set.

Prohibited

Do not dispose of the used battery pack with ordinary garbage

Insulate the connectors with tape and then dispose of the used battery pack separately from ordinary garbage or take it to your nearest Vodafone Shop. Be sure to observe local regulations on the separate collection of used batteries, wherever applicable.

Prohibited

Do not touch the handset with sweaty hands or place it into a pocket of sweaty clothes

Sweat and humidity may erode the internal components of the handset and cause overheating or malfunction.

Prohibited

Do not use the cigarette lighter charger when the car engine is not running

Doing so may result in a flat battery.

Compulsory

If the fuse for the cigarette lighter charger blows, replace it with a designated fuse

Replacing the fuse with other than a designated fuse may cause overheating and fire.

For details on replacing the fuse, refer to the instruction manual of the cigarette lighter charger.

Compulsory

If fluid leaking from the battery pack comes into contact with skin or clothing, wash it away immediately with clean water

Failing to do so may cause skin irritation.

⚠ Caution

If your skin becomes irritated, immediately stop using the handset and consult with a dermatologist

Compulsory

The following materials and surface treatments have been used for the handset. Some of these materials may cause itching, irritation, eczema, etc. in some rare cases depending on the individual's constitution and physical condition.

Part	Material (Surface Treatment)
Outer housing (keypad, main display side, external display side, battery compartment, camera section (screw cover))	PC resin (UV cured acrylic coating)
Front key section	PC resin/Silicone rubber (UV cured coating)
Main display panel, external display panel	Tempered glass (polyester film)
Keypad	PC resin
Keys other than keypad	PC resin (UV cured acrylic coating)
Earpiece	Polyester elastomer resin (urethane coating)
External light LED lamp, charging LED lamp	Acrylic resin
Flash panel	Acrylic resin
Logo badge	UV cured acrylic resin
Earphone microphone jack cap, memory card slot cap	Polyester elastomer resin (urethane coating)
Cable connector cap	Polyester elastomer resin (urethane coating)
Screws	Steel (nickel coating, copper undercoat)
Speaker hole mesh	Stainless steel (acrylic baking coating)
Stereo Handsfree Headset	TPE/ABS resin
Camera panel	Tempered glass
Macro lens	PC resin/Sintered neodymium alloy (epoxy resin coating)
Hinge side cap	PC resin

⚠ Caution

Compulsory **Before using the handset, make sure that no metal objects (such as pins) are stuck to the earpiece**
Failing to do so may result in a metal object causing an ear injury, etc.

Compulsory **If you have a weak heart, be careful with the call vibration and ringtone volume settings**
Failing to do so may startle you and may be harmful to your heart.

Compulsory **Be careful not to trap your fingers or objects when closing the handset and not to trap your fingers in the hinge when opening the handset**
Failing to do so may cause injury or damage to the LCD display.

Prohibited **Do not use the mobile light and flashlight for purposes other than taking pictures, recording videos or lighting**
Doing so may dazzle the eyes and cause impaired vision or other injury.

Prohibited **Make sure things like paper, cloth and bedding are not placed on the handset during charging using a USB connection, AC adapter, etc.**
Failing to do so may cause overheating, fire, burns or malfunction.

Compulsory **Do not turn the volume up too high while using the Stereo Handsfree Headset**
Do not use Stereo Handsfree Headset continuously for long periods of time
Exposure to high sound levels may impair hearing and prolonged use may cause hearing defect regardless of the volume level. Sound leakage may annoy other people and surrounding sounds may not be heard clearly resulting in an accident.

Prohibited **Do not insert objects other than the memory card into the memory card slot**
Doing so may cause overheating, electric shock or malfunction. Cover the slot with the cap at times other than when you are inserting or removing the memory card.

Prohibited **Keep your face away from the memory card slot when inserting or removing the memory card**
Keep the memory card out of the reach of small children
If the memory card is let go of suddenly, it may fly out and hit your face resulting in injury.

⚠ Caution

Prohibited

Do not subject the memory card to vibration or shock or remove it from the slot or turn off the handset while data is being written to or read from the memory card
Doing so may cause data loss or malfunction.

Prohibited

Use only the memory card supported by the handset
Failing to do so may cause data loss or malfunction.
The handset supports memory cards with a storage capacity of up to 1 GB (as of March, 2006).

Prohibited

Do not let children use cables such as a video output cable or the Stereo Handsfree Headset unsupervised and keep cables out of infant's reach
An injury may be caused if, for instance, the cable is wrapped around a neck.

Prohibited

Do not use the mobile light close to eyes
Doing so may cause eye damage. Be especially careful not to take pictures or record videos with the mobile light too close to the eyes of infants.

Prohibited

Do not use excessive force when inserting or removing the USIM card
Doing so may cause a malfunction. Be careful not to injure a hand or finger when removing the card.

Prohibited

Use only a USIM card designated for the handset
Failing to do so may cause data loss or malfunction.

Prohibited

Do not remove the polyester film from the external display
Using the handset without the polyester film to protect against shattering of the reinforced glass may result in an injury if the external display is damaged.

Prohibited

Do not look through the macro lens at the sun or other objects emitting a strong light
Doing so may damage your eyesight due to the light-collecting property of the macro lens.

General Notes

Using Your Handset

- The handset employs radio waves. Signals may be disrupted even within service areas if you are indoors, underground, inside a tunnel or inside a vehicle. If you move to a location with poor signal reception, a call may be suddenly cut off.
- When using the handset in public places, take care not to annoy other people around you. Use of the handset is prohibited in some public places such as in theatres or on buses and trains.
- The handset is a radio transceiver under Japanese Radio Law. You may be requested to submit the handset for inspection based on this law.
- Use of the handset near a landline phone, TV or radio may affect the image and sound quality of the equipment.
- The handset employs a digital system to maintain a high level of communication quality even at very low signal levels. However, calls may be suddenly cut off when the signal strength becomes too weak.
- The digital system provides a high level of privacy protection. However, the possibility of someone eavesdropping on your conversation cannot be ruled out as long as radio waves are used.
- Data stored on the handset may be corrupted or lost on the following occasions.
  - The handset is used improperly.
  - The handset is exposed to static electricity or electric noise.
  - The handset is turned off during operation.
  - The battery pack is completely discharged.
  - The handset malfunctions or is sent for repairs.

  Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for the corruption or loss of stored data. Be sure to keep a separate memo of important data to limit damage caused by data corruption or loss to a minimum.
- Be sure to charge the battery pack before using the handset for the first time or if the handset has not been used for a long time. When the battery pack is stored for a long time, it discharges over time even if it is not used.
- Before using a memory card, read the instruction manual of the memory card thoroughly to ensure safe and proper operation.
- When the handset is used for extended periods of time, especially in high temperature conditions, the handset surface could become hot. Please use caution when touching the handset under such conditions.
- When certain items are taken out of the country, documentation may be required to certify that the export of the items is not controlled, prohibited, or restricted by the Export Trade Control Order and Foreign Exchange Order. Basically, no such documentation is required if you take the handset out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips. In some cases, however, an export permit may be required if the handset is to be used by or transferred to anyone else.

  Furthermore, a US government export permit may be required when taking the handset to countries for which the US government has imposed export restrictions (Cuba, Libya, North Korea, Iran, Sudan, Syria).

  For details on export laws, regulations and procedures, refer to the Web page of the Security Export Control Policy Division of the Ministry of Economy, Trade and Industry.
- If you have hearing aids, use of the handset may interfere with some operations of the hearing aids. If there is any interference, consult with the manufacturer or distributor of the hearing aids.

Inside Vehicles

- Do not use the handset while driving. Use of the handset while driving is prohibited by law.
- Before using the handset, stop the vehicle in a safe area where parking or stopping is permitted.

Aboard Aircraft

- Do not use the handset on an aircraft. Turn off the handset after cancelling any settings such as schedule and alarm settings that turn on the handset automatically. Do not turn the handset back on while you are on the aircraft. Use of the handset on an aircraft is prohibited by law.

Electromagnetic Waves

- For body worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

Handling Basics

- Do not use the handset in extreme temperatures, direct sunlight and humid or dusty places.
- Do not drop the handset or subject it to excessive shock.
- To clean the handset, wipe it with a dry soft cloth. Do not use alcohol, thinner, benzene or other solvents. Doing so may cause discoloration and remove the printed logo.
- To clean the macro lens, wipe it with a dry soft cloth. Do not use alcohol, thinner, benzene or other solvents. Doing so may cause discoloration.
- Avoid exposing the handset to rain, snow or high humidity. The handset, battery pack, charger, Stereo Handsfree Headset and other optional accessories are not waterproof.
- Do not remove the battery pack while handset power is on to avoid malfunction.
- If the battery pack has been removed from the handset or the handset has not been charged for a long time, stored data and settings may be lost or altered. Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damage or loss resulting from such negligence.
- The battery pack is a consumable item employing lithium ions. Replace the battery pack with a new one if the operation time becomes extremely short after it is fully charged. Buy a new battery pack designated for the handset.
- When disposing of a used battery pack after battery pack replacement or discontinued use of the handset, insulate the connectors with tape or place the battery pack into a plastic bag and then take it to your nearest Vodafone Shop or battery pack recycling cooperative store. Be sure to observe local regulations on the separate collection of used batteries, wherever applicable.

Li-ion

- Some handset display pixels may be missing or remain lit. This is not a defect or malfunction. If the display is left on for a long period of time, pictures may be permanently burned into it.
- Make sure the Stereo Handsfree Headset is securely plugged into the earphone microphone jack. Failing to do so may generate noise on the other party's phone during calls.
- Do not turn the volume up too high while using the Stereo Handsfree Headset. Exposure to high sound levels may impair hearing and prolonged use may cause hearing damage regardless of the volume level. Sound leakage may annoy other people and surrounding sounds may not be heard clearly when walking, resulting in an accident.

- When earphone microphone jack and external connector are not in use, make sure to replace the caps. Otherwise dust or water may enter the handset causing handset malfunction.
- Hold the plug and do not pull the cord when unplugging the Stereo Handsfree Headset or a video output cable. Pulling the cord may cause damage or malfunction.
- Do not close the handset with the strap, macro lens, USB cable, Stereo Handsfree Headset or a video output cable inside. Doing so may cause malfunction or damage.
- The antenna of the handset is built into the body and does not protrude. Signal sensitivity may be reduced if you touch or cover the portion of the body containing the internal antenna (page 20-26). In particular, do not affix things like stickers onto this portion of the body.
- The handset's open/close status is detected by a magnetic sensor. Therefore, take care not to place the macro lens or other magnetic objects close to the microphone (mouthpiece) to prevent a malfunction.
- When you replace the handset or send it for repair, messages and other data stored in the handset cannot be transferred to another handset.
- Do not drop the USIM card or subject it to excessive shock. Doing so may cause a malfunction.
- Do not bend the USIM card or place a heavy object on it. Doing so may cause a malfunction.
- Do not allow the USIM card to get wet or leave it in places of high humidity. Doing so may cause a malfunction.
- Do not use or leave the USIM card in hot places such as near a fire or heater. Doing so may cause a malfunction.
- Avoid storing the USIM card in direct sunlight or hot and humid places. Failing to do so may cause a malfunction.
- Keep the USIM card out of infants' reach. Failing to do so may result in the USIM card being accidentally swallowed or cause an injury.
- Before using the USIM card, read the instruction manual of the USIM card thoroughly to ensure safe and proper operation.

Mobile Camera

- Be sure to observe proper etiquette when using the camera.
- Do not expose the camera lens to direct sunlight. Concentrated sunlight through the lens may cause the handset to malfunction.
- Be sure to try taking and previewing pictures before using the camera on important occasions like wedding ceremonies.
- Do not commercially use or transfer pictures taken with the camera without the permission of the copyright holder (photographer), except for personal use.
- Do not use the camera in locations where taking photos and recording videos are prohibited.

Mobile Light & External Light

- Do not use the mobile light in hot, cold or humid places. Doing so may shorten its life.
- The mobile light and external light have a limited life. Repeated use will decrease the light intensity.

Copyrights

Copyrighted materials, such as music, images, computer programs and databases, and their respective holders are protected by copyright laws. Duplication of copyrighted materials is permitted only for individual or home use. Making copies (including data conversion), modifications, transfers or network distributions of copies for purposes other than stated above without proper authorization constitutes an infringement of copyrights and moral rights, potentially resulting in claims for reparations or criminal punishment. If you use the handset to make copies, observe the copyright laws. Furthermore, recording materials using the camera is also subject to the same laws.

Right of Portrait

Portrait right is the right of an individual to refuse to be photographed by others and protects from the unauthorized publication or use of an individual's photograph by others. Right of personality is a portrait right applicable to all citizens and right of publicity is a portrait right (property right) designed to protect celebrities' interests. Be careful when taking pictures with the handset camera. Photographing, publicizing and distributing photographs of citizens and celebrities without permission are illegal.

FCC Notice

The handset may cause TV or radio interference if used in close proximity to receiving equipment. The FCC can require you to stop using the handset if such interference cannot be eliminated.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving aerial.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution: Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.346 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.618 W/kg. Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset.

The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on SP2-CC4-J01.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.630 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.838 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a ‘hands-free’ device to keep the mobile phone away from the head and body. Additional Information can be found on the websites of the World Health Organization (http://www.who.int/emf).

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

** Please see the <FCC RF Exposure Information> section about body worn operation.

TOSHIBA

TOSHIBA INFORMATION SYSTEMS (U.K.) LTD
MOBILE COMMUNICATIONS DIVISION
Watchmoor Park, Riverside Way, Camberley, Surrey GU15 3YA
Tel: +44 (0)1276 405100 Fax: +44 (0)1276 405111

DECLARATION OF CONFORMITY

We, **Toshiba Information Systems UK (Ltd), Mobile Communications Division**

of **Toshiba Court**
Weybridge Business Park
Addlestone Road
Weybridge
KT15 2UL

declare under our sole responsibility that the product

Vodafone 705T
Type (Model) Name is CC4 - J01
UMTS & GSM/DCS/PCS Terminal (Tri band 900, 1800 & 1900)

to which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents.

3GPP TS 51.010-1, 3GPP TS 34.121, EN 301 489-1, EN 301 489-7, EN 301 489-17, EN 301-489-24, EN 300 328, EN 60950 and EN 50360

We hereby declare that all essential radio test suites, EMC & safety requirements have been carried out and that the above named product is in conformity to all the essential requirements of Directive 1999/5/EC.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10(5) and detailed in Annex IV of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

Cetecom GmbH, Im Teelbuch 122, 45219 Essen, Germany

Identification mark: **0682**

The technical documentation relevant to the above equipment will be held at:

Toshiba Information Systems UK (Ltd), Mobile Communications Division
Riverside Way, Camberley, Surrey, GU15 3YA

Name:- Noritaka Tanigawa

Title:- Deputy Managing Director of TIU
General Manager Mobile Communications Division

Signature:- **Date:-** 28. 2. 2006

INVESTOR IN PEOPLE

Registered Office: Toshiba Court, Weybridge Business Park, Addlestone Road, Weybridge, Surrey KT15 2UL
Registered Number: 918861 England. Telephone (Switchboard) 01932 841600 Facsimile 01932 852455
www.toshiba.co.uk

FS14787

USIM Card

The USIM card is an IC card that stores customer information such as your phone number. Only insert the USIM card in a USIM card compatible Vodafone handset.

- If the USIM card is not inserted, the handset cannot be used.

PIN Codes

For security, the USIM card has two security codes: PIN1 and PIN2. Do not forget these codes and do not reveal them to others.

PIN1

This is a four to eight digit security code to prevent others from using your handset. The default setting is "9999."

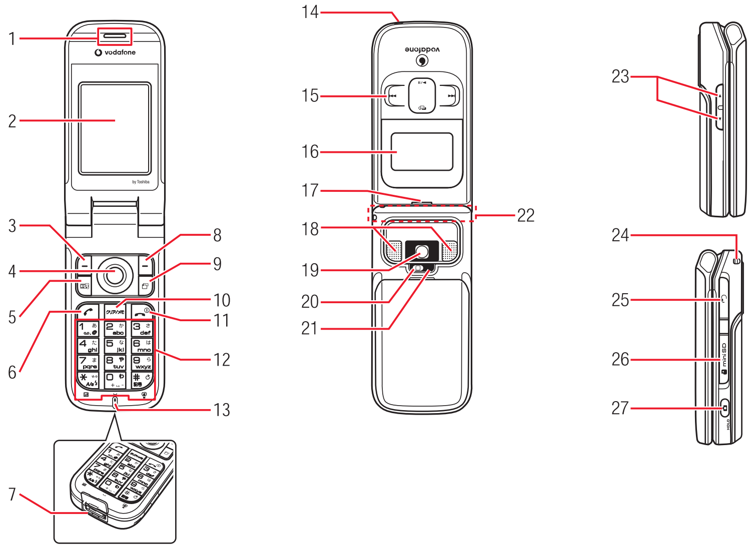
PIN2

This is the four to eight digit security code required for operations such as resetting Call Costs and setting Fixed Dialling Numbers. The default setting is "9999."

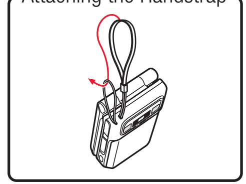
PUK (Personal Unblocking Key) Codes

PUK codes are required to cancel PIN1 lock and PIN2 lock. PIN1/PIN2 lock is set when an incorrect PIN1 or PIN2 is entered three times consecutively. To obtain the PUK1/PUK2 code, contact Vodafone General Information (page 20-52). If the PUK1/PUK2 code is incorrectly entered ten times in a row, the USIM card is locked. There is no way to cancel the USIM card lock. Contact Vodafone General Information (page 20-52).

Handset Parts & Functions

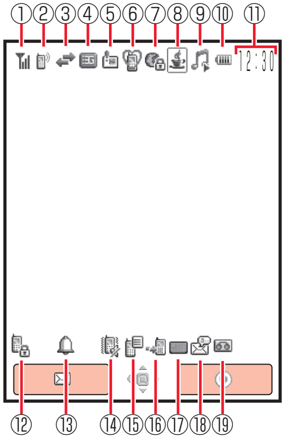


Attaching the Handstrap



1. **Earpiece**
2. **Main Display**
3. **Left Soft Key** [-]: Select items and access the Options menu. Also use this key to access the Messaging menu from standby.
4. **Navigation Key**: Move cursor up, down, left or right, access functions assigned to the navigation key, etc.
   Centre Key: Access the Main menu from standby. Use this key to confirm selected items and perform selected operations.
5. **Media Player Key**: Start Media Player from standby.
6. **Send Key**: Make and answer calls.
7. **Cable and Handset Charging Connector**: Connect Rapid Charger and other devices.
8. **Right Soft Key** [-]: Return to the previous operation, cancel operations, etc. Also use this key to access Vodafone live! from standby.
9. **Multi Task Key**: Switch to another function without ending the function currently in use.
10. **Clear/Memo Key**: Delete characters and return to the previous operation. Also use this key to access Answerphone from standby.
11. **End/Power Key**: Power handset on/off, end calls/operations and return to standby.
12. **Keypad**: Enter phone numbers, characters, etc.
    Press and hold [1] from standby to access Voicemail messages.
    To enter "+" for making an international call, press and hold [0] from standby.
    ***/ /Key**: Switch between uppercase and lowercase. Also use this key to scroll to the previous page in a screen displaying a list or turn the mobile light on or off during camera use.
    #/ Key: Enter symbols, etc. Also use this key to scroll to the next page in a screen displaying a list.
    To set or cancel Silent, press and hold [#] from standby.
13. **Microphone**
14. **Charging Indicator**: Lights during charging and goes out when charging is complete.
15. **Music Player Keys**: Play, pause, rewind and forward music files.
16. **External Display**: Notifies of incoming calls, received messages and other information while your handset is closed.
17. **External Light**: Flashes for incoming calls, messages, etc.
18. **Stereo Speakers**
19. **Camera Lens**: Used for taking pictures and recording videos.
20. **Mobile Light**: Used as a light when taking pictures or recording videos at night time or while indoors.
21. **Camera/Video Indicator**: Flashes when the camera or video is activated.
22. **Internal Antenna**: The antenna is built into your handset.
23. **Side Key /Side Key**: Move cursor up and down and adjust the volume. Press and hold to use it as a shortcut key.
24. **Handstrap Hole**
25. **Earphone Microphone/AV OUT Jack**: Connect the Stereo Handsfree Headset or video output cable.
26. **Memory Card Slot**
27. **Side Key**: Activate the camera, etc. This key also acts as the shutter button during camera use. Press and hold while your handset is closed to set/cancel the Hold setting for the side keys.

Main Display Indicators



① **Signal Strength**

Strong　Weak
Moderate　Faint

Out of Range

Offline Mode On

External Connection for Data Synchronisation

② / **Voice/Video Call**

Secret Mode On

Dial-up Connection

③ **Packet Communication**

Packet Transmission Ready

Packet Network Range

④ / **3G/UMTS Network Connection/Roaming**

/ **GSM Network Connection/Roaming**

/ **GPRS Network Connection/Roaming**

Service Area of Operator Other than Vodafone

⑤ **Reception of High Priority MMS**

Reception of Rights Object

Indicates the reception of a content key during operation.

/ **New MMS/SMS**

New WAP Push Message

New CAST

⑥ **Silent**

Car

Meeting

⑦ **Web SSL**

Indicates a connection to an information page with security protection.

/ **Bluetooth™ Connection Established/Connection Standby**

Bluetooth™ Connection Lost

⑧ / **V-appli Activated/Paused**

⑨ **Music File Playing**

Music File Playback Paused

Video File Playing

Streaming

Memory Card Inserted

⑩ **Battery Level**

Sufficiently Charged
Very Low
Moderate
Charge Immediately
Low

Charging

⑪ **Time**

⑫ **Phone Lock Active**

⑬ **Alarm Set**

⑭ **Silent and Vibration Set**

Silent Set

Vibration Set

⑮ **Information Prompt**

⑯ **Missed Call**

⑰ **SMS maximum for Received Msgs.**

Indicates Received Msgs. contains the maximum number of SMS messages.

⑱ **New Voicemail Message**

Call Diverting without Ringer Set for Voice Call

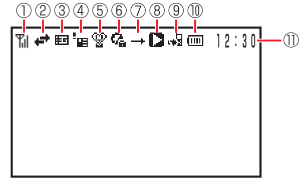
Call Diverting without Ringer Set for Video Call

Call Diverting without Ringer Set for Voice and Video Calls

⑲ **/ / / Answerphone On and You Have a Message**

/ / Answerphone Off and You Have a Message

External Display Indicators



① **Signal Strength**

Strong
Weak
Moderate
Faint

Out of Range

Offline Mode On

External Connection for Data Synchronisation

② **Packet Communication**

Packet Transmission Ready

Packet Network Range

③ **/ 3G/UMTS Network Connection/Roaming**

/ GSM Network Connection/Roaming

/ GPRS Network Connection/Roaming

Service Area of Operator Other than Vodafone

④ **Reception of High Priority MMS**

Reception of Rights Object

Indicates the reception of a content key during operation.

/ New MMS/SMS

New WAP Push Message

New CAST

⑤ **Silent**
Car
Meeting
⑥ **Web SSL**
Indicates a connection to an information page with security protection.
Bluetooth™ Connection Established/Connection Standby
Bluetooth™ Connection Lost
Phone Lock Active
Hold Active
⑦ **All Playback Mode**
Repeat Playback Mode
Repeat All Playback Mode
Random Playback Mode
One Track Playback Mode
V-appli Activated/Paused
Alarm Set
⑧ **Background Playback**
Background Playback Paused
Music Player Cannot be Started
New Voicemail Message
/ / / **Answerphone On and You Have a Message**
/ / **Answerphone Off and You Have a Message**
⑨ **Missed Call**
Memory Card Inserted
⑩ **Battery Level**
Sufficiently Charged
Moderate
Low
Very Low
Charge Immediately
Charging
⑪ **Time**

Codes

Your security code, centre access code and call barring service code are required for some functions and settings.

Security Code

Your security code is "9999" or the four-digit number you selected when you concluded your contract. It is required to use various functions.

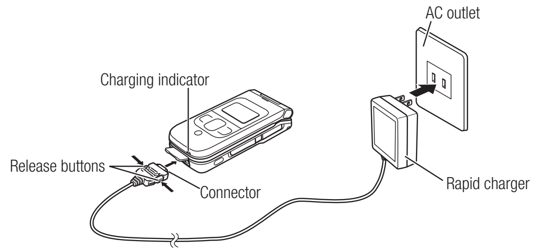
Centre Access Code

Your centre access code is the four-digit number you wrote on your application form when you concluded your contract. It is required to perform optional service operations from a fixed-line phone.

Call Barring Service Code

Your call barring code is the four-digit number you selected when you concluded your contract. It is required to set call barring.

Charging the Battery Pack



1 **Connect the rapid charger to your handset and then to an AC outlet**

The inscription on the rapid charger connector should be facing up. Charging indicator lights red and goes out when charging is complete.

2 **Disconnect the rapid charger from the AC outlet and then from your handset**

Press and hold the release buttons on the rapid charger connector to remove it from your handset.

Note

- The rapid charger supports a power supply of 100 to 240 V AC.
- To use the rapid charger in another country, purchase an appropriate adapter plug. Vodafone accepts no liability whatsoever for any problem resulting from charging overseas.

Basic Operations

Turning Handset Power On

1 **Press and hold** [end/power key]

Turning Handset Power Off

1 **Press and hold** [end/power key]

Language Setting

1 **In standby mode, press** ●

The Main menu appears.

2 **Select** *設定* → *一般設定* → *Language*

3 **Select language and press** ●

自動選択 : Selects the language set for the language setting in the USIM card automatically.

日本語 : Sets the language to Japanese.

English : Sets the language to English.

Time & Date Setting

1 **In standby mode, press** ●

2 **Select** *Settings* → *Phone Settings* → *Date&Time* → *Set Date/Time*

3 **Enter the year, month, day and time and press** ●

Making a Call

1 **Enter a phone number and press** [call key]

2 **Press** [end key] **to end the call**

Redialing a Phone Number

1 **In standby mode, press** [left navigation key]

2 **Select a phone number and press** [call key]

3 **Press** [end key] **to end the call**

Answering a Call

1 **Press [call key] to answer a call**

2 **Press [end key] to end the call**

Placing a Call on Hold

1 **Press [-] (Hold) when a call is received**

Voice guidance in Japanese notifies the caller that you are unable to answer the call at the moment.

2 **Press [-] (Unhold) to answer the call**

3 **Press [end key] to end the call**

Rejecting a Call

1 **Press [end key] when a call is received**

Viewing Call Log

1 **In standby mode, press [left key]**

Dialled Numbers appears.

2 **Press [left key]**

Received Calls appears.

3 **Press [left key]**

Missed Calls appears.

Tip

- To display Received Calls, press [right key] from standby. Press [right key] once to switch to Dialled Numbers and twice to switch to Missed Calls.

Viewing the Call Time

1 **In standby mode, press [center key]**

2 **Select *Phonebook* → *Call Log* → *Call Timers***

3 **Select *Last Call* or *All Calls* and press [center key]**

Note

- The displayed call time serves as a guide only and may differ from the actual call time.

Viewing the Call Cost

1 **In standby mode, press ◉**

2 **Select *Phonebook* → *Call Log* → *Call Costs***

3 **Select *Last Call* or *All Calls* and press ◉**

Note

- The displayed call cost serves as a guide only and may differ from the actual call cost.

Viewing the Data Transfer Volume

1 **In standby mode, press ◉**

2 **Select *Phonebook* → *Call Log* → *Data Counter***

3 **Select *Last Data* or *All Data* and press ◉**

Note

- The displayed data transfer volume serves as a guide only and may differ from the actual data transfer volume.

Viewing Your Phone Number

1 **In standby mode, press ◉ and press [key]**

Tip

- To view your phone number during a call, press [-] (Options), select *My Details* and press ◉.

Setting the Network

To use your handset when travelling outside Japan, change the network setting.

1 **In standby mode, press ◉**

2 **Select *Settings* → *Network Settings* → *Select Network* → *Select Network***

3 **Select *Automatic* or *Manual* and press [-] (OK)**

Automatic: Selects an available network automatically.
Manual: Select a network from the Network list.

Setting the System Mode

You can switch the system mode depending on the country or area in which you are located.

1 **In standby mode, press ◉**

2 **Select *Settings* → *Network Settings* → *System Mode***

3 **Select *Dual*, *UMTS Only* or *GSM Only* and press ◉**

Dual: Selects the available system mode automatically.
UMTS Only: Sets the system mode to UMTS only.
GSM Only: Sets the system mode to GSM only.

Setting/Cancelling Manner Mode

1 **In standby mode, press and hold [#]**

Answerphone

This feature can record a caller's message when you are unable to answer a voice call.

Setting Answerphone

1 **In standby mode, press and hold [クリア/メモ]**

To cancel Answerphone, press and hold [クリア/メモ] again.

Playing a Message

1 **In standby mode, press [クリア/メモ]**

2 **Select a message and press ●**

Text Entry

Your handset has four text entry modes.

Text Entry Modes

1 **From a text entry window, press [-] (Options)**

2 **Select *Input Method* and press ●**

3 **Select a text entry mode and press ●**

T9 abc/T9 Abc/T9 ABC: Enter characters in T9 mode.
abc/Abc/ABC (Multi Tap mode): Enter roman letters using the keypad.
Symbols: Symbols input mode.
Numeric: Numeric input mode.

Tip

- In T9 mode or Multi Tap mode:
  - Press and hold [*] to switch between T9 mode and Multi Tap mode.
  - Press [*] to switch between initial caps, lowercase, numeric and uppercase, input modes.
  - Press [0] to enter a space.
  - Press and hold a digit key to enter a number.
- To enter symbols and pictographs:
  - Press [#] once to access symbol list.
  - Press [#] twice to access pictograph list.
- To delete a character, press [-] (Clear) or [クリア/メモ].
- To enter +, press and hold [0] in a number entry mode.
- To switch to Japanese entry mode, press [-] (Options) from a text entry window and select *Japanese Entry*. To switch back to T9 mode, press [-] (Options) and select *English Entry(T9)*.

Entering Characters in T9 Mode

In T9 mode, press a key once for each letter you want to enter. This feature displays word predictions while you enter characters.

Example: Entering "dog"

1 Press 3 6 4

2 Press ◎ to display the next prediction

3 Press ● to confirm your selection

Tip

- To enter a symbol, press 1 and use ◎ to select a symbol.

Entering Characters in Multi Tap Mode

In Multi Tap mode, each press of a key cycles through the letters and symbols assigned to the key.

Example: Entering "dog"

1 Press 3 once, 6 three times and 4 once

Tip

- To enter a symbol, press 1.

Contacts List

Save contacts to your handset, USIM card and memory cards. Save up to 500 contacts to your handset. The maximum number of entries you can save differs depending on the capacity of the USIM card and the memory card.

Creating a New Contact

1 In standby mode, press ●

2 Select *Phonebook* → *Create Contact*

3 Select an item, enter information and press ●

4 Press ⌐ (Options)

5 Select *Save* and press ●

Dialling from Contacts

1 **In standby mode, press ◉**

2 **Select *Phonebook* → *Contacts List***

3 **Select an entry and press ◉**

4 **Select a phone number and press**

Video Call

A video call allows two parties with video call compatible handsets to see each other's image during the call.

- Video calling is only available in 3G-network coverage areas (UMTS areas). appears when you are in a 3G-network coverage area.

Making a Video Call

1 **Enter a phone number and press (Options)**

2 **Select *Video Call* and press ◉**

3 **Press to end the call**

Answering a Video Call

1 **Open the handset**

2 **Press**

3 **Press to end the call**

Placing a Call on Hold

1 Press [-] (Hold) when a video call is received

Voice guidance in Japanese notifies the caller that you are unable to answer the call at the moment.

2 Press [-] (Unhold) to answer the call

3 Press [End] to end the call

Rejecting a Call

1 Press [End] when a video call is received

Camera

Taking a Picture

Digital Camera: Take pictures at VGA (W640×H480) size or larger.
Mobile Camera: Take pictures at QVGA (W240×H320) size or smaller for use as wallpaper, etc.
Scanner: Scan QR Codes.

1 In standby mode, press [Camera]

2 Frame the subject and press [●] or [Camera]

The shutter clicks and the picture is saved automatically to the preset storage place.

Recording a Video

Camcorder: Record videos up to 20 minutes long and save them to your handset or the memory card.
For MMS: Record videos for sending as MMS attachments.
Short Video: Record videos for sending as MMS attachments to MPEG-4 compatible Vodafone handsets (PDC).

1 In standby mode, press and hold

2 Frame the subject and press or

The start sound is heard and recording begins.

3 Press or

The end sound is heard and the video is saved automatically to the preset storage place.

Tip

- In Camcorder mode, press to pause recording and press to resume recording.

Media Player

Play video/melody files, stream files and add files to Favourites.

Playing a Media File

1 In standby mode, press

2 Select a file and press

Creating a Playlist

Group files together in playlists.

1 In standby mode, press

2 Select *Playlists* → *Phone Memory/Memory Card* → *Create Playlist*

3 Enter the name of the playlist and press

4 Select *Beat Engine Box*, *My Sounds* or *Recent* and press

5 Select a file and press

To add another file, repeat Step 5.

6 Press (Options)

7 Select *Add to Playlist* and press

Abridged English Manual

20

Playing a Playlist

1 **In standby mode, press** [key icon]

2 **Select** ***Playlists*** **→** ***Phone Memory/Memory Card***

3 **Select a playlist and press** ◉

Memory Card

Save pictures, videos and other files to a memory card.

- If the battery level is low, your handset may not be able to read or write files.
- Processing may take a while for some types of files.
- Some files saved from a PC or other device, may not be displayed/played on your handset.

Memory Card Configuration

Folder Name	Description
DCIM	Stores pictures taken in Digital Camera mode.
PRIVATE	—
TOSHIBA	—
Music Lib	Only available from Media Player.
VODAFONE	—
My Items	The folder configuration (Pictures, Videos, Melody&Music, V-appli, Other Files) is identical to that of Data Folder in your handset (page 20-40).
TS_Folder	—
Utility	—
Calendar	Stores appointment backup files.
Contacts	Stores Contacts list backup files.

Data Folder

Save pictures, videos and various downloaded files to Data Folder.

- You can directly access Vodafone live! from the Pictures, Videos, Melody&Music and V-appli folders and then download data.

Data Folder Configuration

Data Folder

- **Pictures** – Save pictures taken with handset camera and other picture files. Access Digital Camera folder.
- **Videos** – Save videos recorded with handset camera and other files.
- **Melody&Music** – Save downloaded melodies and other sound files. Access Recordings folder.
- **V-appli** – Save downloaded V-appli files.
- **My Saved Pages** – Save Web pages.
- **Templates** – Access and save SMS/MMS templates.
- **Other Files** – Save other files.

Files Storable in Data Folder

Folder	File Format (Extension)
Pictures **Digital Camera**[1]	JPEG (.jpeg, .jpg, .jpe) GIF (.gif) WBMP (.wbmp) PNG (.png)
Videos	MPEG-4[2] (.3gp, .3g2, .mp4)
Melody&Music **Recordings**[3]	AMR (.amr) SMF, SP-MIDI[2] (.mid, .midi) SMAF (.mmf) XMF (.xmf0, .xmf1) MPEG-4[2] (.3gp, .mp4, .m4a)
V-appli	Java (.jad, .jar, .rms)
My Saved Pages	HTML, XHTML (.htm, .html, .xml, .xhtml, etc.)
Templates	, Template
Other Files	vCard (.vcf) vCalendar (.vcs) SVG (.svg) Text (.txt) Files other than the above[4] (extensions other than the above)

1: Files that do not comply with the DCF standard cannot be displayed.

2: Some files may not be able to be played.

3: Only files of AMR (.amr) format can be saved to the Recordings folder.

4: These files cannot be displayed/played on your handset.

Note

- Chaku Uta®, V-appli, video and other files saved to the handset or memory card may become inaccessible after handset repairs, handset upgrades or the USIM card is replaced.
  - Chaku Uta® is a registered trademark of Sony Music Entertainment Inc.
- You may not be able to open a file on a PC, PDA, or other device if: You change the file name on your handset or the file name includes a " ～ " or " — ."

Tip

- DCF is an abbreviation for "Design rule for Camera File system," a standard developed by the Japan Electronic Industry Development Association (JEIDA) for the purpose of facilitating the transfer of digital camera images among various devices.
- Whether a file can be sent by Bluetooth™ connection or moved to the memory card depends on the forwarding and external device forwarding permission properties.

Connectivity

Using Bluetooth™

Transfer Contacts List, picture and other files between your handset and another Bluetooth™ compatible device. Also use a handsfree compatible device to make a handsfree call.

- Communication tests have not been performed for all Bluetooth™ compatible devices. There is no guarantee of connection with all Bluetooth™ devices.
- The security function used for wireless communication complies with the standard specifications of Bluetooth™. However, take care when using Bluetooth™ for data communication because, in some cases, security may be inadequate depending on the operating environment and configuration.
- Vodafone accepts no liability whatsoever for any data generated or information leaked during Bluetooth™ communication.
- The default setting for the Bluetooth™ connection standby status is Off.
- The default setting for Visibility is Show My Phone.

Sending Data

1. **Select a file from a function that supports Bluetooth™**
2. **Press [-] (Options)**
3. **Select *Send*, *Send vCard* or *Send vCalendar* and press ◉**
4. **Select *Via Bluetooth* and press ◉**
5. **Select the destination device and press ◉**

Receiving Data

1 **Press ⎕ (Yes) when a connection is requested by another Bluetooth™ compatible device**

2 **Select *Save* and press ◉**

To reject the reception of files, select *Reject*.

Using USB

Use the USB cable to connect your handset to a PC to transfer Data Folder files.

- Install the USB driver and My Mobile software before connecting the USB cable. For details on the installation procedure, refer to the Installation Guide on the supplied Utility Software for 705T (CD-ROM).
- For details on the PC operating environments supported, refer to the Installation Guide on the supplied Utility Software for 705T (CD-ROM).
- For details on connecting the USB cable to a PC, refer to the Installation Guide on the supplied Utility Software for 705T (CD-ROM).

Transferring Music Files from a PC

1 **In standby mode, use the USB cable to connect your handset to the PC**

A confirmation screen appears.

2 **Press ⎕ (Yes)**

Your handset switches to music transfer mode. You are now ready to transfer music files.

Sending Data

1 **In standby mode, press ◉**

2 **Select *Settings* → *Connectivity* → *USB* → *Data Transfer***

3 **Enter your security code (page 20-30)**

4 Follow the instructions on the PC

You may need to enter your security code (page 20-30) on your handset.

Receiving Data

1 In standby mode, press ◉

2 Select *Settings* → *Connectivity* → *USB* → *Data Transfer*

3 Enter your security code (page 20-30)

4 Follow the instructions on the PC

You may need to enter your security code (page 20-30) on your handset.

Optional Services

Call Divert

This service allows you to divert calls to a preset phone number.

Voicemail

This service allows a caller to leave a message at the Voicemail Centre when your handset is out of range or a call is in progress. This service is unavailable when Call Divert is set.

Call Waiting

This service allows you to place a call on hold to receive another incoming call.

Multiparty Call

This service allows you to call another party during a call and talk to multiple parties simultaneously.

Call Barring

This service allows you to stop all outgoing and incoming calls including international calls.

Caller ID

This service allows you to notify the other party of your phone number when you make a call and allows you to confirm the phone number of a caller.

Vodafone live!

Use Vodafone live! to access Messaging, Web and V-appli services. Download pictures, sounds and various applications.

Retrieving Network Information

Before using Vodafone live!, retrieve the network connection information. The first time you press ●, ⊟, ⊟ or Ô after purchasing your handset, a prompt appears.

1 **In standby mode, press ●, ⊟, ⊟ or Ô**

2 **Press ⊟ (Yes)**

A network connection is established and the network information is retrieved.

Messaging

MMS

Exchange long text messages and picture, melody and other attachments with MMS compatible Vodafone handsets and email compatible devices connected to the Internet.

SMS

Exchange short text messages with SMS compatible Vodafone handsets.

Changing Your Mail Address

You can change the account name (part before @) of your email address.

1 **In standby mode, press ⊟ (◎)**

2 **Select *My Vodafone* and press ●**

3 **Select *各種変更手続き* and press ●**

4 **Select *ｵﾘｼﾞﾅﾙﾒｰﾙ設定・各種ﾒｰﾙ設定* and press ●**

5 **Select the centre access code input field and press ●**

6 **Enter your centre access code and press ●**

7 **Select *OK* and press ●**

8 **Select *1. 各種ﾒｰﾙ設定* and press ●**

9 **Select *1.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ編集* and press ●**

10 **Select the character input field and press ●**

11 **Enter an account name and press ◉**

12 **Select *OK* and press ◉**

Note

- If ご希望のＥメールアドレスは既に登録されています。他のアドレスを入力してください (The address has already been registered. Enter another address.) appears, repeat from Step 10.
- The above procedure may change without prior notice. For further information, contact Vodafone General Information (page 20-52).

Receiving Messages

Checking the Contents of a Message

1 **In standby mode, press [-] (✉)**

2 **Select *Received Msgs.* and press ◉**

3 **Select the message you want to check and press ◉**

MMS　MMS Notification　SMS
WAP Push　Report

Tip

- Press [-] (Options) after Step 3 to perform the following. (Available items will vary depending on the message type.)

Menu Item	Description
Extract	Allows you to use a phone number, email address, URL or file in the message.
Play[1]	Plays the MMS message.
View as 3D Pict.	Displays a message as a 3D picture.
Delete	Deletes the message.
Save Sender	Allows you to save the phone number of the sender to the Contacts list.
View Item[1]	Allows you to play or save a file attached to an MMS message.
Save as Template	Allows you to save the message as a template.
Copy Text	Allows you to copy text to the clipboard.
Move to Phone/USIM[2]	Allows you to move the SMS message to your USIM card or handset.
Details	Displays the message properties.

1: Only available for MMS.
2: Only available for SMS.

Retrieving MMS Message

When an MMS exceeds 285 characters (285 bytes), the initial portion of the message is delivered as a notification. To retrieve the complete message, perform the following steps:

1 Open an MMS notification

For details on displaying messages, see page 20-45.

2 Select *Retrieve MMS* and press ◉

The complete message is downloaded.

Tip

- To delete the message from the server, press ⊟ (Options) after Step 1 and select *Delete*.

Replying to a Message

1 Open the message

For details on displaying messages, see page 20-45.

2 Press ⊟ (Options)

3 Select *Reply* and press ◉

4 Select *Reply as MMS*, *Reply All* or *Reply as SMS* and press ◉

For details on creating messages, see below.

Forwarding a Message

1 Open the message

For details on displaying messages, see page 20-45.

2 Press ⊟ (Options)

3 Select *Forward* and press ◉

For details on creating messages, see below.

Sending Messages

Sending an MMS Message

1 In standby mode, press ⊟ (✉)

2 Select *Create Message* → *MMS* → *Add Recipients*

3 Select *Enter Recipient* and press ◉

Alternatively, you can search for an address from the Contacts list or set a group.

4 Enter an address and press ◉

5 Select *Add Subject* and press ◉

6 Enter the subject and press ◉

7 Select *Add Text* and press ◉

8 Enter the body text and press ◉

9 **Select** ***Add Picture*****,** ***Add Sound*****,** ***Add Video*** **or** ***Add Other Files*** **and press ◉**

10 **Specify an attachment file and press ◉**

11 **Press** ⌐

Sending an SMS Message

1 **In standby mode, press** ⊟ **(✉)**

2 **Select** ***Create Message*** **→** ***SMS***

3 **Enter the body text and press ◉**

4 **Select** ***Enter Recipient*** **and press ◉**

Alternatively, you can specify a phone number from the Contacts list.

5 **Enter a phone number and press ◉**

6 **Press** ⌐

Messaging Settings

1 **In standby mode, press** ⊟ **(✉)**

2 **Select** ***Settings*** **and press ◉**

3 **Select an item and press ◉**

You can configure the following settings.

MMS Settings	Receiving Settings	● Retrieve Mode ● Auto-extract File ● Reply for Delivery ● Anonymous Msg.
	Sending Settings	● Delivery Report ● Delivery Time ● Expiry Time ● MMS Signature ● MMS Priority
SMS Settings	● Delivery Report ● Expiry Time ● SMS Signature ● Message Centre ● SMS Type	
3D Pict. Settings	Auto Play	● All ● Unread Only ● Off
	Colour Settings	● Random ● Colour 1-6
Common Settings	● Reply Settings ● Display Font Size ● Page Scroll	

Web

Vodafone live!

Searching the Mobile Internet

Search for information from the Vodafone live! home page.

1 In standby mode, press [-] (◎)

2 Select *English* and press ◉

3 Select the item you want to check and press ◉

The information appears.
To display more information, repeat Step 3.

WAP Push Message

A WAP Push message is a message delivered automatically from the service centre. Use the included links to access information.

V-appli

V-appli are Java™ compatible applications for use on Vodafone handsets. You can download a variety of applications.

V-appli

Downloading V-appli

Download applications from the Web pages of V-appli providers.

Network V-appli

Play network games online and download information in real time.

Standby Setting

Set an application to run in standby mode.

Vodafone live! CAST

Subscribe to contents and receive automatic updates. Content updates are received during the night. When updates are received, Information Prompt appears and the following indicators appear:

- Downloading content
- New CAST content
- Download failed

- A monthly subscription fee is required to use this service. No additional fees required for receiving content.
- Vodafone live! CAST contents available only in Japanese (as of March, 2006).
- Vodafone live! CAST is only available in Japan.

Subscribing/Cancelling Subscription

1 **In standby mode, press ◉**

2 **Select *Entertainment* and press ◉**

3 **Select *CAST* and press ◉**

4 **Select *Reg./Cancel*, press ◉ and then press [-] (Yes)**

Follow the onscreen instructions.

Note

- Communication fees apply while you are connected to the Web.

Checking Content Updates

1 **In standby mode, press ◉**

2 **Select *Entertainment* and press ◉**

3 **Select *CAST* and press ◉**

4 **Select *What's New?* and press ◉**

Indicator Description:

Unread

Read

Checking Content from Information Prompt

1 **Information Prompt appears**

2 **Select *New CAST Contents* and press ◉**

Downloading Content Manually

When an update cannot be received because your handset is turned off or the signal is weak, manually download the update. Only updates for that day can be downloaded.

1 **In standby mode, press ◉**

2 **Select *Entertainment* and press ◉**

3 **Select *CAST* and press ◉**

4 **Select *Get Latest*, press ◉ and then press [-] (Yes)**

Requesting Redelivery from Information Prompt

1 **Information Prompt appears**

2 **Select *CAST Information* and press ◉**

3 **Press [-] (Yes)**

Checking History

Past updates are saved to History.

1 In standby mode, press ◉

2 Select *Entertainment* and press ◉

3 Select *CAST* and press ◉

Indicator Description:

You have unread content

You have read all content

4 Select *History* and press ◉

Indicator Description:

Unread

Read

5 Select content and press ◉

Note

- Up to seven items are saved to History. The oldest item is deleted automatically.
- Up to 3 MB of content including the latest item can be saved. When either the maximum number of content items or the maximum content size is reached, the oldest item is deleted each time there is a new item.

Main Specifications

705T

Frequency Range : 3G/UMTS 2100 1920-2170 MHz
: GSM 900 880-960 MHz
: DCS 1800 1710-1880 MHz
: PCS 1900 1850-1990 MHz

Continuous Talk Time : Within 3G/UMTS area Approx. 170 min.
: Video call Approx. 90 min.
: Within GSM area Approx. 300 min.

Continuous Standby Time : Within 3G/UMTS area Approx. 370 hrs.
: Within GSM area Approx. 250 hrs.

Charging Time : Approx. 140 min.

Dimensions when closed (WxHxD) : Approx. 47 × 98 × 23 mm (excluding the camera)

Maximum Output : 3G/UMTS 2100 Class 3 0.25 W
: GSM 900 Class 4 2 W
: DCS 1800 Class 1 1 W
: PCS 1900 Class 1 1 W

Weight : Approx. 121 g (when the battery pack is attached)

- The values above were calculated with the battery pack attached.
- The continuous talk time refers to the average length of time a signal can be received normally when the handset is in a stationary state and a new fully charged battery pack is attached.

- The continuous standby time refers to the average length of time a signal can be received normally when the handset is closed, the handset is in a stationary state, a new fully charged battery pack is attached and there are no calls made/received or operations performed. If the handset is in a location outside the service area or where it is difficult to receive a signal (in a building, vehicle, bag, etc.), this time may be reduced to half or less. This time may also be affected by other factors such as the operating environment (battery state, temperature, etc.). The value for continuous standby time is when the system mode was set to *UMTS Only*.
- The operating time of the battery was calculated when a stable signal was received constantly. However, this time may be reduced to half or less if the handset is used in a location where the signal is weak or the handset is left in standby mode when it is outside the service area.
  Repeated charging and discharging a battery shortens the operating time. If the operating time becomes too short, purchase a new battery pack.
- If the mobile light is used frequently for taking pictures and recording videos or as a flashlight, the continuous talk time and continuous standby time become shorter.
- When a V-appli is activated, the continuous talk time and continuous standby time become significantly shorter.
- If the handset is used with the main display and external display illuminated frequently (for Vodafone live! use, etc.), the continuous talk time and continuous standby time become shorter.
- Note that the LCD display may have defective pixels (dead or stuck pixels).

Rapid Charger

Input Voltage : 100 to 240 V AC
: 50/60 Hz
Charging Temperature Range : 5 to 35°C

Customer Service

If you have any questions about a Vodafone handset or service, please call General Information. For service or handset repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centres
From a Vodafone handset, dial toll free at 157 for General Information or 113 for Customer Assistance.

Vodafone International Call Centre
From outside Japan, dial
+81-3-5351-3491 (Please take care to dial the correct number. International charges will apply to this call.)

Call These Numbers Toll Free from Fixed Line Phones

Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	Free Call 0088-240-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	Free Call 0088-241-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	Free Call 0088-242-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	Free Call 0088-259-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	Free Call 0088-247-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	Free Call 0088-250-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-250-113

付　録

機能名		初期値	参照先
エンタテイメント	アプリ設定	Vアプリ待受設定：Off、時間設定（開始時間：3秒、動作時間：常時表示）、優先度（音声着信：音声着信優先、TVコール着信：TVコール着信優先、メール受信：メール受信優先、アラーム：アラーム優先）、バックライト（バックライト：通常設定連動、点滅設定：On）、音量：レベル3、バイブレーター：On	18章
	ボーダフォンライブ！キャスト	—	19章
ブラウザ設定		テキストブラウズ設定（イメージ：表示する、サウンド：再生する）、フォントサイズ：標準、Cookie設定：On、製造番号通知：Off、自動起動：Off、位置情報送信：確認画面表示、エンコード種別：自動認識	17章
メディアプレイヤー		プレイモード：全曲再生、BASS：BASSオフ、音量：レベル6、スクリーン表示：ノーマルスクリーン表示（H144×W176以下の場合）／フルスクリーン表示（H144×W176より大きい場合）	7章
カメラ	カメラ	画質：ファイン、画像サイズ（デジタルカメラモード：W1280×H960、モバイルカメラモード：W240×H320）、画像効果：Off、プレビュー設定：On、日付スタンプ：Off、グリッド線：Off、ファイル名設定：日時、シャッター音：パターン1、テンキーショートカット：On、撮影モード：モバイルカメラモード、夜景モード：Off、連写：Off、フレーム：Off、保存先設定：本体、セルフタイマー：Off、モバイルライト：Off、ホワイトバランス：オート、色調調整：標準、露出補正：±0.0EV	6章

機能名		初期値	参照先
カメラ	ムービー	画質：ノーマル、画像効果：Off、プレビュー設定：On、フルスクリーン表示：ノーマル、コントローラー表示：On、ファイル名設定：日時、開始／終了音：パターン1、テンキーショートカット：On、録画モード切替：MMSメール、音声録音：On、保存先設定：本体、セルフタイマー：Off、モバイルライト：Off、ホワイトバランス：オート、色調調整：標準、露出補正：±0.0EV、エンコード形式：MPEG4（日本）	6章
	バーコードリーダー	露出補正：±0.0EV	6-11ページ
メール	MMS受信設定	自動受信選択（ホームネットワーク：手動受信、ローミングネットワーク：手動受信）、ファイル自動展開（画像ファイル：On、音ファイル：On）、受信確認応答：On、匿名メール拒否：拒否する	16-17ページ
	MMS送信設定	配信確認：Off、配信時間指定：自動配信、有効期限：Off、MMS署名：未登録、MMS重要度：普通	16-18ページ
	SMS設定	配信確認：Off、SMS署名：未登録	
	デルモジ表示設定	自動再生：未読のみ、背景色・文字色：ランダム	16-19ページ
	共通設定	返信設定：ユーザ確認、表示フォントサイズ：標準、ページスクロール：1行単位	
	受信ボックス	自動削除：Off	16-11ページ
	送信済みボックス	自動削除：On	
データフォルダ		サムネイル表示（ピクチャー、ムービーフォルダのみ）	9章

機能名		初期値	参照先
ツール	**スケジュール**	スケジュール：未登録、アラーム（アラーム：Off、アラーム音：パターン1、アラーム音量：レベル3、バイブレーター：パターン1）、スケジュールロック：Off、休日設定（日曜日：赤、平日：黒、土曜日：青）	13-2ページ
	アラーム	アラーム：Off、アラーム音：パターン1、アラーム音量：レベル3、バイブレーター：パターン1、起動設定：毎日、スヌーズ：Off	13-8ページ
	辞書	—	13-10ページ
	簡易電卓	税率設定：5%	
	通貨換算	換算レート：0	13-11ページ
	ボイスレコーダー	保存先設定：本体	
	カウントダウンタイマー	—	13-12ページ
	メモ帳	—	
	番号メモ	—	2-6ページ
	世界時計	on／off：off	13-14ページ
	バックアップ	—	
アドレス帳		ご自分の番号：自局電話番号のみ、スピードダイヤル：未登録、アドレス帳保存先：本体、スクロール速度：速い、アドレス帳使用禁止：Off、検索切替：リスト表示	4章

機能名		初期値	参照先
音・バイブ設定	通常モード	着信音量：レベル3、着信音パターン：パターン1、メール着信音鳴動時間：5秒、バイブレーター：Off、ボタン確認音量：レベル3、ボタン確認音：オリジナル1、効果音量（ウェイクアップ音：レベル2、シャットダウン音：レベル2、オープン音：サイレント、クローズ音：サイレント、エラー音：レベル2）、効果音：プリセットパターン、サウンド音量：レベル3、電池アラーム音：On	11章
	マナーモード	バイブレーター：On、アラーム：Off	
	運転中モード	着信音量：レベル5、着信音パターン：パターン1、メール着信音鳴動時間：5秒、バイブレーター：Off、ボタン確認音量：レベル3、ボタン確認音：オリジナル1、効果音量（ウェイクアップ音：レベル3、シャットダウン音：レベル3、オープン音：サイレント、クローズ音：サイレント、エラー音：レベル3）、効果音：プリセットパターン、サウンド音量：レベル5、電池アラーム音：On	
	ミーティングモード	着信音量：サイレント、着信音パターン：パターン1、メール着信音鳴動時間：5秒、バイブレーター：Off、ボタン確認音量：サイレント、ボタン確認音：オリジナル1、効果音量：サイレント、効果音：プリセットパターン、サウンド音量：サイレント、電池アラーム音：On、アラーム：On	
モード設定		通常モード	11-1ページ
ディスプレイ設定	メインディスプレイ設定	壁紙：カスタムスクリーン連動、カスタムスクリーン：Black、時計表示設定：1行デジタル時計、バックライト設定（明るさ調節：明るさ2、点灯時間：15秒）、事業者名表示：On、ディスプレイ省電力：1分、GSMセル情報表示：Off	11章
	サブディスプレイ設定	待受画面設定：Normal、点灯時間：15秒、コントラスト調節：明るさ±0	

機能名		初期値	参照先
一般設定	日時設定	12h／24h設定：24時間表示、2都市時計設定（都市1：東京、都市2：東京、メイン都市切替：都市1、サマータイム On／Off：Off）	1-14、11-9、13-13ページ
	Language（言語選択）	自動選択	11-11ページ
	ショートカット設定	上サイドキー長押し：#長押しと同じ、マルチファンクションボタン（◎：ショートカットメニュー、◎：アドレス帳、◎：発信履歴、◎：着信履歴）	11-12ページ
	ユーザ辞書	未登録	3-11ページ
	イルミネーション設定	お知らせ（不在着信表示：レッド、未読メール：ブルー、留守番電話通知：グリーン）、着信設定（音声着信：パープル、TVコール着信：パープル、メール受信：アクア）	11-11ページ
	オフラインモード	Off	2-10ページ
	TV出力	NTSC	13-16ページ
発着信設定	簡易留守録	簡易留守録設定：Off、応答時間：6秒	2-4、11-13ページ
	音声通話設定	着信表示設定（着信画像：プリセット画像、アドレス帳登録画像：On、着信表示：On）、自動応答設定：Off、音声ミュート設定：解除、イヤホン発信：Off、パケット通信時着信：許可、国際発信設定（国際コード：0046010）、発信番号通知設定（自動設定：Off、不在非通知：Off）	11-7、11-14、11-15、13-16、13-20ページ
	TVコール設定	送信画像：プリセット画像、受信画質：標準モード、着信表示設定（着信画像：プリセット画像、アドレス帳登録画像：On、着信表示：On）、ズーム：標準（x1）、遠隔監視モード：Off、音声ミュート設定：解除、ハンズフリー設定：On、バックライト設定：On、保留画像設定：プリセット画像	5章、11-7ページ
	共通設定	受話音量：レベル3、スピーカー音量：レベル3、オープン通話：Off、エニーキーアンサー：Off	11-6、11-14ページ

機能名		初期値	参照先
メディアプレイヤー設定		優先度：着信優先、バックライト：常時On	7-8ページ
セキュリティ設定	PIN1設定	―	12-1ページ
	PIN1変更	―	
	PIN2変更	―	
	暗証番号変更	―	
	本体操作ロック	本体クローズ：Off、ディスプレイ省電力：Off、電源オン：Off	12-2ページ
	着信拒否設定	非通知番号拒否：Off、公衆電話拒否：Off、通知不可拒否：Off、アドレス帳以外拒否：Off、指定番号拒否：Off（未登録）	12-3ページ
	受信拒否アドレス	Off（未登録）	12-4ページ
	シークレットモード	Off	12-5ページ
	固定電話番号設定	Off（未登録）	
メモリ設定	本体	―	11-16ページ
	メモリカード	―	8-3ページ
ネットワーク設定		事業者選択（事業者選択設定：自動）、海外設定（3G ／ GSM）：3G（日本／海外）	2-10、2-11ページ
外部接続	Bluetooth™	On／Off設定：Off、周辺デバイス情報（信頼デバイス設定：Off）、マイデバイス設定（公開設定：公開、デバイス名：Vodafone 705T、ハンズフリー設定：ハンズフリーモード）	10-2、10-3、10-6ページ
	USB	確認画面設定：表示する、電池充電：On	10-9、10-10ページ

機能名		初期値	参照先
位置情報設定		位置情報URL設定：http://mobile.its-mo.com/MapToLink/p2、測位On／Off設定：On	17-11ページ
オプションサービス	**転送電話サービス**	―	14-2ページ
	留守番電話サービス	―	14-3ページ
	割込通話サービス	―	14-5ページ
	多者通話サービス	―	14-6ページ
	発着信規制サービス	―	14-7ページ
通話履歴	**発信履歴**	―	2-6ページ
	不在着信履歴	―	2-7ページ
	着信履歴	―	
	通話時間	通話時間：000:00:00、累積通話時間：000:00:00	2-8ページ
	通話料金	通話料金：0円、累積通話料金：－、通貨設定（通貨：－、レート：－）、通話料金表示設定：Off	
	データ通信量	データ通信量：0Kbyte、累積データ通信量：0Kbyte	
文字入力		入力予測：On、かな入力方式：標準方式、文字サイズ：大、改行制御：On、クリップボード：未登録、変換時のカーソル操作：4方向	3章
マルチアプリ		―	13-1ページ
ショートカットメニュー		サムネイル表示、未登録	13-17ページ
長押し※	**ホールド**	解除	12-6ページ
#**長押し**	**マナーモード**	解除	2-9ページ

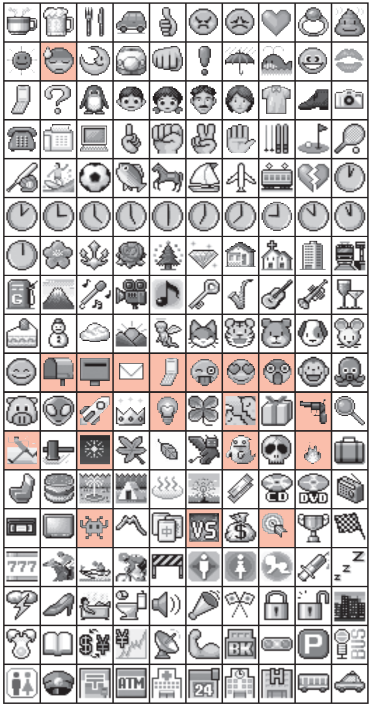
※ 705Tを閉じた状態での操作です。

故障かな？と思ったら

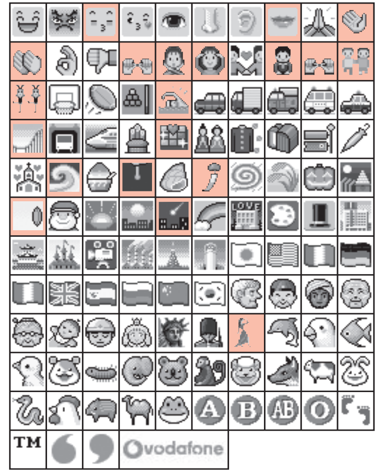
現象	確認すること／対処方法
電源が入らない	・電池パックは正しく取り付けられていますか？（1-11ページ） ・電池切れになっていませんか？（1-10ページ）
「充電器との接続を確認してください」と表示され、充電できない	・充電端子や外部接続端子、電池パックのコネクターなどが汚れていませんか？ 乾いた綿棒などで清掃してください。
電源を入れたあと、通常の操作ができない	・PIN1認証画面が表示されていませんか？ 「**PIN1設定**」（12-1ページ）を「**有効**」にしています。PIN1コードを入力してください。 ・「」、「**本体操作ロック**」と表示されていませんか？ 本体操作ロックが設定されています（12-2ページ）。操作用暗証番号（1-16ページ）を入力してください。 ・「**有効なUSIMカードを挿入してください**」と表示されていませんか？ 電源をオフにし、USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください（1-2ページ）。
電話やTVコールがつながらない、またはメールやウェブが利用できない	・「」が表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ・「」が表示されていませんか？海外でご利用ではありませんか？ 海外でご利用になる場合は、事業者や海外設定（3G／GSM）の変更が必要です（2-10、2-11ページ）。 ・内蔵アンテナ部分（1-6ページ）を手などで覆っていませんか? ・「」、「**オフラインモード**」と表示されていませんか？ オフラインモードを解除してください（2-10ページ）。
電話やTVコールがかけられない	・市外局番からかけていますか？ ・「**現在電話がかかりにくくなっております**」と表示されていませんか? 回線が混み合っています。しばらくたってからもう一度かけ直してください。 ・固定電話番号を設定していませんか？（12-5ページ） ・発信規制を設定していませんか?（14-7ページ）

現象	確認すること／対処方法
電話やTVコールが着信しない	・着信拒否を設定していませんか？（12-3ページ） ・転送電話サービス（14-2ページ）や留守番電話サービス（14-3ページ）で、「**呼出なし**」の設定をしていませんか？ ・着信規制を設定していませんか？（14-7ページ）
メールが送信できない	・固定電話番号を設定していませんか？（12-5ページ） ・発信規制を設定していませんか？（14-7ページ）
メールが受信できない	・受信拒否アドレスを設定していませんか？（12-4ページ） ・着信規制を設定していませんか？（14-7ページ）
通話の途中に途切れたり、切れたりする	・「」が表示されていませんか？電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。 ・内蔵アンテナ部分（1-6ページ）を手などで覆っていませんか？
ボタンを押しても、何も反応しない	・「」、「**本体操作ロック**」と表示されていませんか？ 本体操作ロックが設定されています（12-2ページ）。操作用暗証番号（1-16ページ）を入力してください。 ・本体を閉じた状態で操作し、サブディスプレイに「」が表示されていませんか？ ホールドが設定されています（12-6ページ）。本体を閉じた状態でを長く（約1秒以上）押して、ホールドを解除してください。

絵文字一覧







- □部分の絵文字は、動く絵文字となります。
- 一部の絵文字は、受信したボーダフォン携帯電話の機種により正しく表示されない場合があります。

メモリ容量一覧

データフォルダ

データフォルダ	最大約40Mバイト※

※Vアプリライブラリはデータフォルダとメモリを共有しています。

メール

メールボックス※		最大約7Mバイト
	受信ボックス	SMS最大1,000件 MMS最大600件
	送信済みボックス	SMS最大500件 MMS最大150件
	下書き、未送信ボックス、定型文合わせて	SMS最大100件 MMS最大50件

※メールボックス内の受信ボックス、送信済みボックス、下書き、未送信ボックス、定型文はメモリを共有しています。

ウェブ

キャッシュ	最大約600Kバイト
ブックマーク	最大200件
履歴（URL）	最大300件

主な仕様

705T

周波数範囲：3G/UMTS 2100　1920～2170MHz
：GSM 900　880～960MHz
：DCS 1800　1710～1880MHz
：PCS 1900　1850～1990MHz
連続通話時間：3G/UMTS圏内　約170分
：TVコール　約90分
：GSM圏内　約300分
連続待受時間：3G/UMTS圏内　約370時間
：GSM圏内　約250時間
充電時間：約140分
折りたたみ時のサイズ（W×H×D）：約47×約98×約23mm
（モバイルカメラ部分含まず）
最大出力：3G/UMTS 2100　Class3　0.25W
：GSM 900　Class4　2W
：DCS 1800　Class1　1W
：PCS 1900　Class1　1W
質量：約121g（電池パック装着時）

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

●連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、705T を閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によってはご利用時間が変動することがあります。連続待受時間は海外設定（3G ／ GSM）を「**3G（日本／海外）**」に設定した場合の値です。
●電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
なお、利用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。利用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
●モバイルライトを使用した撮影やスポットライト機能のご利用が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
● V アプリを起動させた状態では、著しく通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
●メインディスプレイやサブディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用（ボーダフォンライブ！ご利用時など）が多い場合は、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
●液晶ディスプレイは、ドット落ち（画素欠け）や常時点灯する画素がある場合もありますので、あらかじめご了承ください。

急速充電器

入力電圧 ：AC100 ～ 240V
：50 ／ 60Hz
充電可能温度：5 ～ 35℃

用語集

用　語	説　明
3G/UMTS	第3世代（3G）移動体通信システムです。UMTSは、ヨーロッパの3G移動体通信システムのことです。
GSM	デジタル携帯電話の通信方式のひとつです。ヨーロッパやアジアを中心に世界で最も一般的に利用されています。
GPRS	GSM方式の携帯電話網を使ったデータ伝送技術です。パケット通信方式の高速なデータ通信が可能です。
USIM カード	705Tに取り付けて使います。カード内にはお客様の電話番号や契約している携帯電話機の情報などが記憶されています。また、アドレス帳などを保存することができます。携帯電話機を変更する際も同じUSIMカードを継続して利用することにより、その情報を新しい携帯電話機へ引き継ぐことができます。
PIN コード	Personal Identification Number（個人識別番号）の略で、705TでUSIMカードを使うために必要な暗証番号のことです。705Tが紛失・盗難などにあった場合でも、第三者が携帯電話を使えないようにできます。
MMS	長い文字のメッセージや静止画、動画、メロディを添付して送受信できます。
SMS	携帯電話どうしで短い文字のメッセージを送受信できます。
プッシュ	プッシュとは、サービスセンターから通知される自動配信メッセージです。送られてきたメッセージからインターネットに接続して情報を入手できます。
SSL	インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法です。プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号などを安全に送受信でき、盗聴、改ざん、なりすましなどのインターネット上の危険を防げます。SSL通信ではサーバー証明書を利用します。

用　語	説　明
サーバー証明書	サーバーを運用しているサイトが信頼できることを示す電子的な証明書です。SSL通信（暗号化された通信）に必要な情報、サーバーの情報、また、そのサーバーが本物であると証明した認証機関の電子的な署名がされています。
キャッシュ	ウェブで表示されたホームページなどのデータを705T本体に一時的に記憶しておく場所です。
V アプリ	Vアプリを提供しているウェブの情報画面から、ゲームや3D画像などのいろいろなアプリケーションをダウンロードして楽しむことができます。また、ネットワークに接続してリアルタイムに情報を入手したり、壁紙として起動させておくこともできます。

索引

T

U

V

あ

い

う

え

お

か

き

け

こ

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

は

ふ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

よ

ら

り

る

れ

わ

保証とアフターサービス

保証について

お買い上げいただいた場合には、保証書が添付されています。保証書に「お買い上げ日」および「取扱店」が記載されているかをご確認の上、内容をよくお読みになって大切に保管してください。

重　要

- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」（21-9 ページ）をお読みになり、もう一度お調べください。
それでも正常に戻らない場合には、最寄りの**ボーダフォンショップ**または**お問い合わせ先**（21-28 ページ）までご連絡ください。

●**保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

●**保証期間経過後の修理**
修理によって使用できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

※修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

重　要

- 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切なアドレス帳などは控えを取っておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に 705T に登録したデータ（アドレス帳やデータフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解､改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

補　足

- アフターサービスについてご不明な場合は、最寄りの**ボーダフォンショップ**または**お問い合わせ先**（21-28 ページ）までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

ボーダフォンお客さまセンター
総合案内：ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付：ボーダフォン携帯電話から113（無料）

ボーダフォン国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
+81-3-5351-3491（有料）

一般電話からおかけの場合

北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

MEMO

MEMO

Vodafone 705T 取扱説明書

2006年3月　第1版発行

ボーダフォン株式会社

＊ご不明な点はお求めになられたボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：Vodafone 705T

製造元：株式会社 東芝

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

HDEV1001014-3A

Printed in China